

アクリナトリン

今般の残留基準の検討については、農薬取締法（昭和23年法律第82号）に基づく適用拡大申請に伴う基準値設定依頼が農林水産省からなされたことから、農薬・動物用医薬品部会（以下、「本部会」という。）において審議を行い、以下の報告を取りまとめるものである。

なお、今般の基準値設定依頼に当たって、毒性や代謝に関する新たな知見の提出がなく、既存の食品健康影響評価の結果に影響はないと考えられることから、本部会での審議後に食品安全委員会に対して食品健康影響評価の要請を行うこととしている。

1. 概要

(1) 品目名：アクリナトリン[Acrinathrin (ISO)]

(2) 分類：農薬

(3) 用途：殺虫剤

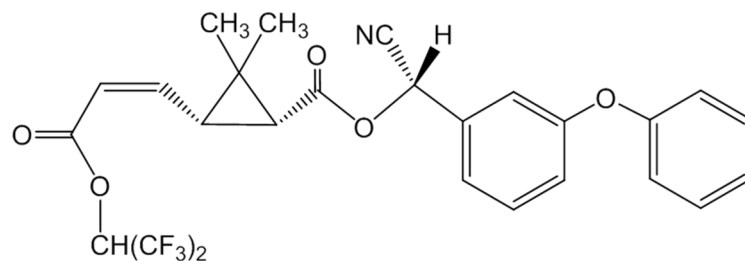
ピレスロイド系殺虫剤である。神経軸索におけるナトリウムイオンチャンネルに作用し、神経系の伝達を遮断することにより殺虫効果を示すと考えられている。

(4) 化学名及びCAS番号

(S)-Cyano(3-phenoxyphenyl)methyl (1R,3S)-3-[(Z)-3-[(1,1,1,3,3,3-hexafluoropropan-2-yl)oxy]-3-oxoprop-1-en-1-yl]-2,2-dimethylcyclopropane-1-carboxylate (IUPAC)

Cyclopropanecarboxylic acid, 2,2-dimethyl-3-[(1Z)-3-oxo-3-[2,2,2-trifluoro-1-(trifluoromethyl)ethoxy]-1-propen-1-yl]-, (S)-cyano(3-phenoxyphenyl)methyl ester, (1R,3S)- (CAS : No. 101007-06-1)

(5) 構造式及び物性



分子式	C ₂₆ H ₂₁ F ₆ NO ₅
分子量	541.44
水溶解度	6 × 10 ⁻⁷ g/L (25℃)
分配係数	log ₁₀ Pow = 5.6 (25℃)

2. 適用の範囲及び使用方法

本剤の適用の範囲及び使用方法は以下のとおり。

(1) 国内での使用方法

一般の基準値設定依頼に当たって、農薬取締法に基づく適用拡大申請がなされている項目を四角囲いしている。

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数	使用時期	散布液量 (目安)	使用 回数	アクリナリン を含む農 薬の総使 用回数
食用ぎく	3.0% WP	散布	1000倍	発生初期 ただし、 収穫14日 前まで	150～300 L/10 a	1回	1回
アスパラガス	3.0% WP	散布	1000倍	収穫前日まで	150～500 L/10 a	2回以内	2回以内
パセリ	3.0% WP	散布	1000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
トマト	6.0% WP 配合剤1	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	3回以内
	3.0% WP	散布	1000倍	収穫前日まで	150～300 L/10 a	3回以内	
ミニトマト	6.0% WP 配合剤1	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
	3.0% WP	散布	1000倍	収穫前日まで	150～300 L/10 a		
ピーマン	6.0% WP 配合剤1	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
	3.0% WP	散布	1000倍	収穫前日まで	150～300 L/10 a		
とうがらし類	6.0% WP 配合剤1	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
	3.0% WP	散布	1000倍	収穫前日まで	150～300 L/10 a		
なす	6.0% WP 配合剤1	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	4回以内
	3.0% WP	散布	1000倍	収穫前日まで	150～300 L/10 a	4回以内	
きゅうり	3.0% WP	散布	1000倍	収穫前日まで	150～300 L/10 a	4回以内	4回以内

WP：水和剤

配合剤1：30.0%スピロメシフェン

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数	使用時期	散布液量 (目安)	使用 回数	アクリナリンを含む農薬の総使用回数
すいか	6.0% WP 配合剤1	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	5回以内
	3.0% WP	散布	1000倍	収穫前日まで	150～300 L/10 a	5回以内	
メロン	3.0% WP	散布	1000倍	収穫前日まで	150～300 L/10 a	5回以内	5回以内
			750倍				
りんご	6.0% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内
	3.0% WP		1000倍				
なし	6.0% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内
	3.0% WP		1000倍	収穫7日前まで			
もも	6.0% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内
	3.0% WP		1000倍				
ネクタリン	6.0% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内
	3.0% WP		1000倍				
小粒核果類	6.0% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内
	3.0% WP		1000倍				
おうとう	6.0% SC	散布	2000～ 4000倍	収穫前日まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内
いちご	3.0% WP	散布	1000倍	収穫前日まで	150～300 L/10 a	4回以内	4回以内
ぶどう	6.0% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	200～700 L/10 a	4回以内	4回以内
	3.0% WP		1000倍	収穫7日前まで			
かき	6.0% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内
	3.0% WP		1000倍	収穫7日前まで			
アボカド	6.0% SC	散布	2000倍	収穫14日 前まで	200～700 L/10 a	2回以内	2回以内
マンゴー	3.0% WP	散布	1000倍	収穫3日前まで	200～700 L/10 a	2回以内	2回以内
いちじく	3.0% WP	散布	1000倍	収穫前日まで	200～700 L/10 a	2回以内	2回以内
茶	6.0% WP 配合剤1	散布	2000倍	摘採14日 前まで	200～400 L/10 a	1回	3回以内
	6.0% SC	散布	2000倍	摘採14日 前まで	200～400 L/10 a	3回以内	
	3.0% WP	散布	1000倍	摘採14日 前まで	200～400 L/10 a		
しそ科葉菜類	3.0% WP	散布	1000倍	収穫3日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内

SC：フロアブル

3. 代謝試験

(1) 植物代謝試験

植物代謝試験が、キャベツ、きゅうり、りんご及びぶどうで実施されており、可食部で親化合物の残留が認められ、10%TRR^{注)}以上認められた代謝物はなかった。

注) %TRR：総放射性残留物 (TRR：Total Radioactive Residues) 濃度に対する比率 (%)

4. 作物残留試験

(1) 分析の概要

① 分析対象物質

・アクリナトリン

② 分析法の概要

試料からアセトンで抽出し、必要に応じて n -ヘキサン、ジクロロメタン、酢酸エチル・ n -ヘキサン (3 : 1) 混液又は酢酸エチル・ n -ヘキサン (1 : 1) 混液に転溶する。必要に応じてアセトニトリル/ヘキサン分配し、フロリジルカラム、シリカゲルカラム、多孔性ケイソウ土カラム及びフロリジルカラム、オクタデシルシリル化シリカゲル (C_{18}) カラム及びフロリジルカラム、又はグラファイトカーボンカラム及びシリカゲルカラム、又はグラファイトカーボンカラム及び C_{18} カラム及びフロリジルカラム、又は C_{18} カラム及びグラファイトカーボンカラム/エチレンジアミン- N -プロピルシリル化シリカゲル (PSA) 積層カラムを用いて精製した後、電子捕獲型検出器付きガスクロマトグラフ (GC-ECD) 又は高感度窒素・リン検出器付きガスクロマトグラフ (GC-NPD) 又は液体クロマトグラフ・タンデム型質量分析計 (LC-MS/MS) で定量する。

または、試料からアセトンで抽出し、 n -ヘキサン又は酢酸エチル・ n -ヘキサン (1 : 1) 混液に転溶し、グラファイトカーボン/アミノプロピルシリル化シリカゲル (NH_2) /シリカゲル積層カラム、又はグラファイトカーボン/トリメチルアミノプロピルシリル化シリカゲル (SAX) /PSA積層カラム及びシリカゲルカラムを用いて精製した後、GC-ECDで定量する。

または、試料からメタノールで抽出し、酢酸エチルに転溶し、グラファイトカーボン/PSA積層カラムで精製した後、ガスクロマトグラフ・質量分析計 (GC-MS) で定量する。

または、試料からアセトニトリルで抽出し、塩析し、グラファイトカーボン/ NH_2 積層カラムを用いて精製した後、GC-ECDで定量する。

あるいは、試料からアセトンで抽出し、 n -ヘキサンに転溶する。あるいは試料を必要に応じて凝固処理した後、 n -ヘキサンで抽出する。シリカゲルカラム及びフロリジルカラム、又はグラファイトカーボン/PSA積層カラム及びフロリジルカラムで精製した後、GC-ECD又はLC-MS/MSで定量する。

定量限界：0.01～0.1 mg/kg

(2) 作物残留試験結果

国内作物残留試験については、アボカド、すいか、メロン及び茶の試験成績を追加した。試験成績の概要を別紙1に示す。

5. ADI及びARfDの評価

食品安全基本法（平成15年法律第48号）第24条第1項第1号の規定に基づき、食品安全委員会あて意見を求めたアクリナトリンに係る食品健康影響評価において、以下のとおり評価されている。

(1) ADI

無毒性量：1.61 mg/kg 体重/day

（動物種） ラット

（投与方法） 混餌

（試験の種類） 慢性毒性/発がん性併合試験

（期間） 2年間

安全係数：100

ADI：0.016 mg/kg 体重/day

ラットを用いた2年間慢性毒性/発がん性併合試験において、雌で良性の卵巣顆粒膜・莢膜細胞腫の発生頻度の増加が認められたが、腫瘍の発生機序は遺伝毒性によるものとは考え難く、評価に当たり閾値を設定することは可能であると考えられた。

(参考)

評価に供された遺伝毒性試験の*in vitro*試験の一部で陽性の結果が得られたが、小核試験を始め*in vivo*試験では陰性の結果が得られたので、アクリナトリンは生体にとって問題となる遺伝毒性はないと結論されている。

(2) ARfD

無毒性量：3 mg/kg 体重

（動物種） ラット

（投与方法） 強制経口

（試験の種類） 急性神経毒性試験

安全係数：100

ARfD：0.03 mg/kg 体重

6. 諸外国における状況

JMPRにおける毒性評価はなされておらず、国際基準も設定されていない。

米国、カナダ、EU、豪州及びニュージーランドについて調査した結果、EUにおいてクレソン、ぶどう等に基準値が設定されている。

7. 残留規制

(1) 残留の規制対象

アクリナトリンのみとする。

植物代謝試験において主な残留物は親化合物であり、可食部において10%TRR以上認められた代謝物はなかったことから、残留の規制対象はアクリナトリンのみとする。

(2) 基準値案

別紙2のとおりである。

8. 暴露評価

(1) 暴露評価対象

アクリナトリンのみとする。

植物代謝試験において主な残留物は親化合物であり、植物代謝試験の可食部において10%TRR以上認められた代謝物はなかった。また、きゅうりで認められた代謝物B及び代謝物Cの残留濃度は、それぞれ0.01 mg/kg未満であり、キャベツについてもGAP相当の代謝物Cは0.01 mg/kg未満と考えられることから、これらの代謝物は暴露評価対象に含めないこととし、暴露評価対象物質はアクリナトリンのみとする。

なお、食品安全委員会は、食品健康影響評価において、農産物中の暴露評価対象物質をアクリナトリン（親化合物のみ）としている。

(2) 暴露評価結果

① 長期暴露評価

1日当たり摂取する農薬の量のADIに対する比は、以下のとおりである。詳細な暴露評価は別紙3参照。

	EDI／ADI (%) 注)
国民全体（1歳以上）	11.1
幼小児（1～6歳）	19.9
妊婦	8.5
高齢者（65歳以上）	12.3

注) 各食品の平均摂取量は、平成17年～19年度の食品摂取頻度・摂取量調査の特別集計業務報告書による。

EDI試算値：作物残留試験成績の中央値（STMR）等×各食品の平均摂取量

② 短期（1日経口）暴露評価

各食品の短期推定摂取量（ESTI）を算出したところ、国民全体（1歳以上）及び幼児（1～6歳）のそれぞれにおける摂取量は急性参照用量（ARfD）を超えていない^{注）}。詳細な暴露評価は別紙4-1及び4-2参照。

注）基準値案、作物残留試験における最高残留濃度（HR）又は中央値（STMR）を用い、平成17～19年度の食品摂取頻度・摂取量調査及び平成22年度の厚生労働科学研究の結果に基づきESTIを算出した。

アクリナトリンの作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験 圃場数	試験条件				残留濃度 (mg/kg) 注1)	設定 の根 拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
食用ぎく (花器)	2	3.0% WP	1000倍 散布 200,300 L/10 a	1	7, 14, 21	圃場A:0.42 圃場B:0.23	◎
アスパラガス (茎)	2	3.0% WP	1000倍 散布 400 L/10 a	1, 2	1, 3, 7	圃場A:0.125 (1回, 1日) 圃場B:0.173	◎
パセリ (茎葉)	2	3.0% WP	1000倍 散布 150 L/10 a	3	3, 7, 14, 21	圃場A:0.47 圃場B:0.44	◎
トマト (果実)	2	3.0% WP	1000倍 散布 200 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A:0.087 圃場B:0.050	◎
ミニトマト (果実)	2	3.0% WP	1000倍 散布 200,300 L/10 a	2, 3	1, 3, 7	圃場A:0.12 圃場B:0.16	◎
ピーマン (果実)	2	3.0% WP	1000倍 散布 300 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A:0.092 圃場B:0.21	◎
		3.0% WP	750倍 散布 300 L/10 a		1, 3, 7	圃場A:0.137(＃) 圃場B:0.343(＃)	
なす (果実)	2	3.0% WP	750倍 散布 140～300, 300 L/10 a	2, 4	1, 3, 7	圃場A:0.095(＃) 圃場B:0.089(＃)	◎
ししとう (果実)	2	3.0% WP	1000倍 散布 300 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A: 0.2 圃場B:<0.1	◎
とうがらし (果実)	2	3.0% WP	1000倍 散布 300, 284.9 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A:0.3 圃場B:0.3	◎
きゅうり (果実)	2	3.0% WP	750倍 散布 250 L/10 a	2, 4	1, 3, 7	圃場A:0.061(＃) 圃場B:0.061(＃)	◎
すいか (果肉)	2	3.0% WP	750倍 散布 150～220, 300 L/10 a	5	1, 3, 7	圃場A:0.009 (5回, 3日) (＃) 圃場B:0.005(＃)	
	3	3.0% WP	1000倍 散布 200～300 L/10 a	5	1, 3, 7	圃場A:<0.01 圃場B:<0.01 圃場C:<0.01	
すいか (果皮)	3	3.0% WP	1000倍 散布 200～300 L/10 a	5	1, 3, 7	圃場A:0.14 圃場B:0.16 圃場C:0.14	
すいか (果実)	3	3.0% WP	1000倍 散布 200～300 L/10 a	5	1, 3, 7	圃場A:0.04 注2) 圃場B:0.04 注2) 圃場C:0.03 注2)	◎
メロン (果肉)	2	3.0% WP	750倍 散布 300 L/10 a	5	1, 3, 7	圃場A:<0.005 圃場B:<0.005	
	3	3.0% WP	750倍 散布 200～300 L/10 a	5	1, 3, 7	圃場A:<0.01 圃場B:<0.01 圃場C:<0.01	
メロン (果皮)	3	3.0% WP	750倍 散布 200～300 L/10 a	5	1, 3, 7	圃場A:1.19 (3回, 3日) 圃場B:1.98 圃場C:1.38	
メロン (果実)	3	3.0% WP	750倍 散布 200～300 L/10 a	5	1, 3, 7	圃場A:0.08 注2) 圃場B:0.19 注2) 圃場C:0.13 注2)	◎
りんご (果実)	2	3.0% WP	1000倍 散布 438, 500 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A:0.25 (3回, 7日) 圃場B:0.24	◎
	2	3.0% WP	1000倍 散布 500 L/10 a	3	7, 14, 28, 45	圃場A:0.088 (3回, 7日) 圃場B:0.052 (3回, 7日)	
	2	6.0% SC	2000倍 散布 450, 500 L/10 a	3	1, 7, 14, 21	圃場A:0.18 (3回, 21日) 圃場B:0.18	
なし (果実)	2	3.0% WP	1000倍 散布 400 L/10 a	3	7, 14, 28, 45	圃場A:0.107 圃場B:0.068	
	2	6.0% SC	2000倍 散布 480, 493 L/10 a	3	1, 7, 14, 21	圃場A:0.09 (3回, 7日) 圃場B:0.16	◎
もも (果肉)	2	3.0% WP	1000倍 散布 400 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A:<0.005 圃場B:<0.005	
	2	6.0% SC	2000倍 散布 387, 400 L/10 a	3	1, 7, 14, 21	圃場A:<0.01 圃場B:<0.01	
もも (果皮)	2	3.0% WP	1000倍 散布 400 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A:1.82 圃場B:1.42 (3回, 3日)	
	2	6.0% SC	2000倍 散布 387, 400 L/10 a	3	1, 7, 14, 21	圃場A:0.40 圃場B:1.24	

アクリナトリンの作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験 圃場数	試験条件				残留濃度 (mg/kg) 注1)	設定 の根 拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
もも (果実)	2	3.0% WP	1000倍 散布 400 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A:0.277 ^{注4)} 圃場B:0.216 ^{注4)} (3回, 3日)	◎
	2	6.0% SC	2000倍 散布 387,400 L/10 a	3	1, 7, 14, 21	圃場A:0.068 ^{注3)} 圃場B:0.230 ^{注3)}	
ネクタリン (果実)	2	3.0% WP	1000倍 散布 600,300 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A:0.08 (3回, 3日) 圃場B:0.15 (3回, 7日)	
	2	6.0% SC	2000倍 散布 381,350 L/10 a	3	1, 7, 14	圃場A:0.27 (3回, 7日) 圃場B:0.78	◎
すもも (果実)	2	3.0% WP	1000倍 散布 400,350 L/10 a	3	1, 7, 14, 21	圃場A:0.06 圃場B:0.03	
	2	6.0% SC	2000倍 散布 400,350 L/10 a	3	1, 7, 14	圃場A:0.06 圃場B:0.18 (3回, 14日)	◎
うめ (果実)	2	3.0% WP	1000倍 散布 303,337.5 L/10 a	3	1, 7, 14, 21	圃場A:0.48 圃場B:0.46	
	2	6.0% SC	2000倍 散布 320,350 L/10 a	3	1, 7, 14, 21	圃場A:1.73 (3回, 7日) 圃場B:0.54	◎
おうとう (果実)	2	6.0% SC	2000倍 散布 462,450 L/10 a	3	1, 7, 14	圃場A:0.28 圃場B:0.80 (3回, 7日)	◎
いちご (果実)	2	3.0% WP	1000倍 散布 200 L/10 a	2, 4	1, 3, 7	圃場A:0.063 圃場B:0.056 (4回, 3日)	◎
小粒ぶどう (果実)	2	3.0% WP	1000倍 散布 200 L/10 a	2, 4	7, 14, 21, 45	圃場A:0.788 圃場B:0.758 (4回, 21日)	◎
	2	6.0% SC	2000倍 散布 286,320 L/10 a	4 1, 4	1, 7, 14, 21 1, 3, 7, 14, 21	圃場A:0.60 (4回, 21日) 圃場B:0.50 (4回, 3日)	
大粒ぶどう (果実)	3	3.0% WP	1000倍 散布 200 L/10 a	4	7, 14, 21	圃場A:0.223 圃場B:0.482 (4回, 14日)	◎
			1000倍 散布 300 L/10 a			圃場C:0.07	
	2	6.0% SC	2000倍 散布 300,333 L/10 a	4 1, 4	1, 7, 14, 21 1, 3, 7, 14, 21	圃場A:0.06 圃場B:0.30	
かき (果実)	2	3.0% WP	1000倍 散布 300,600 L/10 a	3	7, 14, 21	圃場A:0.041 (3回, 14日) 圃場B:0.24	◎
	2	6.0% SC	2000倍 散布 400,450 L/10 a	3	1, 7, 14, 21	圃場A:0.14 圃場B:0.08	
アボカド (果実)	2	6.0% SC	2000倍 散布 200,475 L/10 a	2	14, 21, 28 14, 21, 28, 35, 42	圃場A:0.24 (2回, 28日) 圃場B:0.24 (2回, 28日)	◎
マンゴー (果実)	2	3.0% WP	1000倍 散布 400,750 L/10 a	2	3, 7, 14, 21	圃場A:0.08 圃場B:0.04 (2回, 14日)	◎
いちじく (果実)	2	3.0% WP	1000倍 散布 200 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A:0.07 圃場B:0.08	◎
茶 (荒茶)	2	3.0% WP	1000倍 散布 300 L/10 a	1, 3	7, 14, 21	圃場A:4.30 圃場B:2.07	
茶 (浸出液)	2	3.0% WP	1000倍 散布 300 L/10 a	1, 3	7, 14, 21	圃場A:<0.045(\$) 圃場B:<0.045(\$)	
茶 (荒茶)	6	6.0% SC	2000倍 散布 301,310,378 L/10 a	3	7, 14, 21	圃場A:2.28 圃場B:4.51 圃場C:0.77	○
		6.0% SC	2000倍 散布 306,324,380 L/10 a	3	7, 14, 21	圃場D:4.32 圃場E:2.44 圃場F:2.49	○
茶 (浸出液)	6	6.0% SC	2000倍 散布 301,310,378 L/10 a	3	7, 14, 21	圃場A:<0.01 圃場B:<0.01 圃場C:<0.01	△
		6.0% SC	2000倍 散布 301,310,378 L/10 a	3	7, 14, 21	圃場D:0.02 圃場E:<0.01 圃場F:<0.01	△

アクリナトリンの作物残留試験一覧表（国内）

農作物	試験 圃場数	試験条件				残留濃度（mg/kg） ^{注1)}	設定 の根 拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
しそ(葉)	2	3.0% WP	1000倍 散布 200 L/10 a	2	3, 7, 14	圃場A:5.76	◎
						圃場B:7.80	
バジル(葉)	2	3.0% WP	1000倍 散布 200 L/10 a	2	3, 7, 14	圃場A:4.47	◎
						圃場B:3.54	

WP：水和剤

SC：フロアブル

(#)印で示した作物残留試験成績は、登録又は申請された適用の範囲内で行われていないことを示す。また、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。

今回、新たに提出された作物残留試験成績を網掛けで示した。

基準値の設定の根拠に○、暴露評価に使用されているものに△、基準値の設定根拠及び暴露評価にも使用されているものに◎で示した。

注1) 当該農薬の登録又は申請された適用の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留濃度の最大値を示した。

注2) 果肉及び果皮の重量比から果実全体の残留濃度を算出した。

注3) 果肉、果皮及び種子の重量比から果実全体の残留濃度を算出した。

注4) 果肉、果皮及び種子の重量割合が不明のため、過去の作物残留試験等のデータから、それぞれの割合を果肉77%、果皮15%及び種子8%として果実全体の残留濃度を算出した。

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留濃度が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留濃度が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について（ ）内に記載した。

(\$) 同一圃場から採取された1つのサンプルを2つの分析機関に分けて測定されており、結果を平均値として示したため、実際の定量限界とは異なる。

食品名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	国/地域 基準値 ppm	
その他のきく科野菜	1	2	○			0.23,0.42(¥)(食用ぎく)
アスパラガス	0.5	0.7	○			0.125,0.173(¥)
パセリ	1	1	○			0.44,0.47(¥)
トマト	0.5	0.5	○			0,12,0.16(¥)(ミニトマト)
ピーマン	0.7	0.7	○			0.092,0.21(¥)
なす	0.3	0.5	○			0.067,0.071(＃)(¥)※1
その他のなす科野菜	0.6	1	○			<0.1,0.2(ししとう)、0.3,0.3(とうがらし)
きゅうり(ガーキンを含む。)	0.2	0.3	○			0.045,0.045(＃)(¥)※1
すいか		0.05				
すいか(果皮を含む。)	0.1		○			0.03,0.04,0.04
メロン類果実		0.02				
メロン類果実(果皮を含む。)	0.4		○			0.08,0.13,0.19
その他の野菜(ずいき、もやし及びれんこんを除く。)	20	15	○			3.54,4.47(バジル)、5.76,7.80(しその葉)
りんご	0.7	0.7	○			0.24,0.25(¥)
日本なし	0.5	0.5	○			0.09,0.16(¥)
西洋なし	0.5	0.5	○			(日本なし参照)
もも		0.05				
もも(果皮及び種子を含む。)	0.7		○			0.216,0.277(¥)
ネクタリン	2	2	○			0.27,0.78(¥)
あんず(アプリコットを含む。)	5	5	○			(うめ参照)
すもも(ブルーンを含む。)	0.5	0.5	○			0.06,0.18(¥)
うめ	5	5	○			0.54,1.73(¥)
おうとう(チェリーを含む。)	2	2	○			0.28,0.80(¥)
いちご	0.3	0.3	○			0.056,0.063(¥)
ぶどう	2	2	○			0.07～0.788(n=5)
かき	0.7	0.7	○			0.041,0.24(¥)
アボカド	0.7		申			0.24,0.24(¥)
マンゴー	0.3	0.3	○			0.04,0.08(¥)
その他の果実	0.3	0.3	○			0.07,0.08(¥)(いちじく)
茶	9	10	○			0.77～4.51(n=6)(荒茶)
その他のハーブ	20	15	○			(その他の野菜(ずいき、もやし及びれんこんを除く。)参照)
はちみつ	0.05					※2

(＃)印で示した作物残留試験成績は、登録又は申請された適用の範囲内で行われていないことを示す。

太枠: 本基準(暫定基準以外の基準)を見直した基準値

斜線: 食品区分を別途新設すること等に伴い、削除した食品区分

○: 既に、国内において登録等がされているもの

申: 農薬の登録申請等に伴い基準値設定依頼がなされたもの

(¥): 基準値設定の根拠とした作物残留試験成績(最大値)

※1) なす及びきゅうり(ガーキンを含む。)については、プロポーションナリティ (proportionality) の原則に基づき、処理濃度の比例性を考慮して換算した。なお、GAPに適合した使用量として、3.0%アクリナトリン水和剤1000倍散布を基に換算した。

※2) 「食品中の農薬の残留基準設定の基本原則について」(令和6年6月25日 食品衛生基準審議会農薬・動物用医薬品部会)の別添3「はちみつ中の農薬等の基準設定の方法について」に基づき設定。

アクリナトリンの推定摂取量 (単位: $\mu\text{g}/\text{人}/\text{day}$)

食品名	基準値案 (ppm)	暴露評価に 用いた数値 (ppm)	国民全体 (1歳以上) EDI	幼小児 (1～6歳) EDI	妊婦 EDI	高齢者 (65歳以上) EDI
その他のきく科野菜	1	0.33	0.5	0.0	0.2	0.9
アスパラガス	0.5	0.149	0.3	0.1	0.1	0.4
パセリ	1	0.455	0.0	0.0	0.0	0.1
トマト	0.5	0.14	4.5	2.7	4.5	5.1
ピーマン	0.7	0.151	0.7	0.3	1.1	0.7
なす	0.3	0.069	0.8	0.1	0.7	1.2
その他のなす科野菜	0.6	0.25	0.3	0.0	0.3	0.3
きゅうり (ガーキンを含む。)	0.2	0.045	0.9	0.4	0.6	1.2
ずいか (果皮を含む。)	0.1	0.04	0.3	0.2	0.6	0.5
メロン類果実 (果皮を含む。)	0.4	0.13	0.5	0.4	0.6	0.5
その他の野菜 (ずいき、もやし及びびれんこんを除く。)	20	5.115	68.5	32.2	51.7	72.1
りんご	0.7	0.24	5.8	7.4	4.5	7.8
日本なし	0.5	0.125	0.8	0.4	1.1	1.0
西洋なし	0.5	0.125	0.1	0.0	0.0	0.1
もも (果皮及び種子を含む。)	0.7	0.246	0.8	0.9	1.3	1.1
ネクタリン	2	0.525	0.1	0.1	0.1	0.1
あんず (アブリコットを含む。)	5	1.135	0.2	0.1	0.1	0.5
すもも (ブルーンを含む。)	0.5	0.12	0.1	0.1	0.1	0.1
うめ	5	1.135	1.6	0.3	0.7	2.0
おうとう (チェリーを含む。)	2	0.54	0.2	0.4	0.1	0.2
いちご	0.3	0.0625	0.3	0.5	0.3	0.4
ぶどう	2	0.483	4.2	4.0	9.8	4.3
かき	0.7	0.14	1.4	0.2	0.5	2.5
アボカド	0.7	0.24	0.1	0.0	0.0	0.1
マンゴー	0.3	0.06	0.0	0.0	0.0	0.0
その他の果実	0.3	0.08	0.1	0.0	0.1	0.1
茶	9	0.01	0.1	0.0	0.0	0.1
その他のハーブ	20	5.115	4.6	1.5	0.5	7.2
はちみつ	0.05	● 0.05	0.0	0.0	0.1	0.1
計			97.9	52.6	79.7	110.5
ADI比 (%)			11.1	19.9	8.5	12.3

EDI: 推定一日摂取量 (Estimated Daily Intake)

EDI試算法: 作物残留試験成績の中央値 (STMR) 等×各食品の平均摂取量

●: 個別の作物残留試験がないことから、暴露評価を行うにあたり基準値 (案) の数値を用いた。

茶については、浸出液 (茶葉当たりの残留濃度) における作物残留試験結果を用いてEDI試算をした。

なす及びきゅうり (ガーキンを含む。) については、プロポーションナリティ (proportionality) の原則に基づき、処理濃度の比例性を考慮して換算した値を評価に用いた。

アクリナトリンの推定摂取量（短期）：国民全体(1歳以上)

食品名 (基準値設定対象)	食品名 (ESTI推定対象)	基準値案 (ppm)	評価に用いた 数値 (ppm)	ESTI (μ g/kg 体重/day)	ESTI/ARFD (%)
アスパラガス	アスパラガス	0.5	0.5	1.0	3
パセリ	パセリ (生)	1	1	0.2	1
	パセリ (乾燥)	1	○ 0.455	0.4	1
トマト	トマト	0.5	0.5	5.5	20
ピーマン	ピーマン	0.7	0.7	1.8	6
なす	なす	0.3	0.3	1.9	6
その他のなす科野菜	とうがらし (生)	0.6	○ 0.3	0.5	2
	ししとう	0.6	○ 0.3	0.3	1
きゅうり (ガーキンを含む。)	きゅうり	0.2	0.2	1.3	4
すいか (果皮を含む。)	すいか	0.1	0.1	3.3	10
メロン類果実 (果皮を含む。)	メロン	0.4	0.4	6.8	20
その他の野菜	そら豆 (生)	20	○ 7.8	22.9	80
りんご	りんご	0.7	0.7	10.0	30
	りんご果汁	0.7	○ 0.24	2.5	8
日本なし	日本なし	0.5	0.5	7.6	30
西洋なし	西洋なし	0.5	0.5	7.0	20
もも (果皮及び種子を含む。)	もも	0.7	0.7	9.5	30
すもも (プルーンを含む。)	プルーン	0.5	0.5	2.9	10
うめ	うめ	5	5	6.9	20
おうとう (チェリーを含む。)	おうとう	2	2	5.0	20
いちご	いちご	0.3	0.3	1.1	4
ぶどう	ぶどう	2	○ 0.788	10.6	40
かき	かき	0.7	0.7	10.0	30
アボカド	アボカド	0.7	0.7	5.0	20
マンゴー	マンゴー	0.3	0.3	4.0	10
その他の果実	いちじく	0.3	0.3	2.3	8
茶	緑茶類	9	○ 0.01	0.0	0
はちみつ	はちみつ	0.05	0.05	0.0	0

ESTI：短期推定摂取量 (Estimated Short-Term Intake)

ESTI/ARFD(%)の値は、有効数字1桁（値が100を超える場合は有効数字2桁）とし四捨五入して算出した。

○：作物残留試験における最高残留濃度（HR）又は中央値（STMR）を用いて短期摂取量を推計した。

○を付していない食品については、基準値案の値又は暴露評価対象物質の残留濃度から推定される基準値に相当する値を使用した。

なす及びきゅうり（ガーキンを含む。）については、プロポーショナリティ（proportionality）の原則に基づき、処理濃度の比例性を考慮して換算した値を評価に用いた。

茶については、浸出液（茶葉当たりの残留濃度）における作物残留試験結果を用いて試算をした。

アクリナトリンの推定摂取量（短期）：幼小児(1～6歳)

食品名 (基準値設定対象)	食品名 (ESTI推定対象)	基準値案 (ppm)	評価に用いた 数値 (ppm)	ESTI (μ g/kg 体重/day)	ESTI/ARFD (%)
パセリ	パセリ (生)	1	1	0.2	1
トマト	トマト	0.5	0.5	13.6	50
ピーマン	ピーマン	0.7	0.7	4.6	20
なす	なす	0.3	0.3	4.7	20
きゅうり (ガーキンを含む。)	きゅうり	0.2	0.2	2.9	10
すいか (果皮を含む。)	すいか	0.1	0.1	8.7	30
メロン類果実 (果皮を含む。)	メロン	0.4	0.4	11.7	40
りんご	りんご	0.7		22.5	80
	りんご果汁	0.7	○ 0.24	8.1	30
日本なし	日本なし	0.5	0.5	14.4	50
もも (果皮及び種子を含む。)	もも	0.7	0.7	29.7	100
うめ	うめ	5	5	17.1	60
いちご	いちご	0.3	0.3	3.2	10
ぶどう	ぶどう	2	○ 0.788	24.1	80
かき	かき	0.7	0.7	14.6	50
茶	緑茶類	9	○ 0.01	0.0	0
はちみつ	はちみつ	0.05	0.05	0.1	0

ESTI：短期推定摂取量 (Estimated Short-Term Intake)

ESTI/ARFD(%)の値は、有効数字1桁（値が100を超える場合は有効数字2桁）とし四捨五入して算出した。

○：作物残留試験における最高残留濃度（HR）又は中央値（STMR）を用いて短期摂取量を推計した。

○を付していない食品については、基準値案の値又は暴露評価対象物質の残留濃度から推定される基準値に相当する値を使用した。

なす及びきゅうり（ガーキンを含む。）については、プロポーショナリティ（proportionality）の原則に基づき、処理濃度の比例性を考慮して換算した値を評価に用いた。

茶については、浸出液（茶葉当たりの残留濃度）における作物残留試験結果を用いて試算をした。

(参考)

これまでの経緯

平成 7 年	4 月 2 6 日	初回農薬登録
平成 1 7 年	1 1 月 2 9 日	残留農薬基準告示
平成 2 3 年	6 月 2 1 日	農林水産省から厚生労働省へ適用拡大申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：りんご）
平成 2 3 年	1 0 月 6 日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成 2 9 年	9 月 2 0 日	農林水産省から厚生労働省へ適用拡大申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：小粒核果類及びしそ科葉菜類）
平成 3 0 年	2 月 2 7 日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成 3 0 年	6 月 7 日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
平成 3 1 年	2 月 2 8 日	残留農薬基準告示
令和 5 年	1 0 月 2 7 日	農林水産省から厚生労働省へ適用拡大申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：アボカド）
令和 6 年	9 月 1 9 日	食品衛生基準審議会へ諮問
令和 6 年	9 月 2 5 日	食品衛生基準審議会農薬・動物用医薬品部会

● 食品衛生基準審議会農薬・動物用医薬品部会

[委員]

◎ 穂山	浩	星薬科大学薬学部教授
大山	和俊	一般財団法人残留農薬研究所業務執行理事・化学部長
○ 折戸	謙介	学校法人麻布獣医学園理事（兼）麻布大学獣医学部教授
加藤	くみ子	北里大学薬学部教授
神田	真軌	東京都健康安全研究センター食品化学部副参事研究員
近藤	麻子	日本生活協同組合連合会組織推進本部長
佐藤	洋	岩手大学農学部教授
佐野	元彦	東京海洋大学学術研究院海洋生物資源学部門教授
須恵	雅之	東京農業大学応用生物科学部教授
瀧本	秀美	国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所理事
田口	貴章	国立医薬品食品衛生研究所食品部第一室長
堤	智昭	国立医薬品食品衛生研究所食品部長
中島	美紀	金沢大学ナノ生命科学研究所教授
野田	隆志	一般社団法人日本植物防疫協会技術顧問

(◎：部会長、○：部会長代理)

答申（案）

アクリナトリンについては、以下のとおり食品中の農薬の残留基準を設定することが適当である。

アクリナトリン

今回残留基準を設定する「アクリナトリン」の規制対象は、アクリナトリンのみとする。

食品名	残留基準値 ppm
その他のきく科野菜 ^{注1)}	1
アスパラガス	0.5
パセリ	1
トマト	0.5
ピーマン	0.7
なす	0.3
その他のなす科野菜 ^{注2)}	0.6
きゅうり（ガーキンを含む。）	0.2
すいか（果皮を含む。）	0.1
メロン類果実（果皮を含む。）	0.4
その他の野菜 ^{注3)} （ずいき、もやし及びれんこんを除く。）	20
りんご	0.7
日本なし	0.5
西洋なし	0.5
もも（果皮及び種子を含む。）	0.7
ネクタリン	2
あんず（アブリコットを含む。）	5
すもも（プルーンを含む。）	0.5
うめ	5
おうとう（チェリーを含む。）	2
いちご	0.3
ぶどう	2
かき	0.7
アボカド	0.7
マンゴー	0.3
その他の果実 ^{注4)}	0.3
茶	9

食品名	残留基準値 ppm
その他のハーブ ^{注5)}	20
はちみつ	0.05

注1) 「その他のきく科野菜」とは、きく科野菜のうち、ごぼう、サルシフィー、アーティチョーク、チコリ、エンダイブ、しゅんぎく、レタス（サラダ菜及びちしやを含む。）及びハーブ以外のものをいう。

注2) 「その他のなす科野菜」とは、なす科野菜のうち、トマト、ピーマン及びなす以外のものをいう。

注3) 「その他の野菜」とは、野菜のうち、いも類、てんさい、さとうきび、あぶらな科野菜、きく科野菜、ゆり科野菜、せり科野菜、なす科野菜、うり科野菜、ほうれんそう、たけのこ、オクラ、しょうが、未成熟えんどう、未成熟いんげん、えだまめ、きのこ類、スパイス及びハーブ以外のものをいう。

注4) 「その他の果実」とは、果実のうち、かんきつ類果実、りんご、日本なし、西洋なし、マルメロ、びわ、もも、ネクタリン、あんず（アプリコットを含む。）、すもも（プルーンを含む。）、うめ、おうとう（チェリーを含む。）、ベリー類果実、ぶどう、かき、バナナ、キウイ、パパイア、アボカド、パイナップル、グアバ、マンゴー、パッションフルーツ、なつめやし及びスパイス以外のものをいう。

注5) 「その他のハーブ」とは、ハーブのうち、クレソン、にら、パセリの茎、パセリの葉、セロリの茎及びセロリの葉以外のものをいう。

インピルフルキサム

今般の残留基準の検討については、農薬取締法（昭和23年法律第82号）に基づく適用拡大申請に伴う基準値設定依頼が農林水産省からなされたことから、農薬・動物用医薬品部会（以下、「本部会」という。）において審議を行い、以下の報告を取りまとめるものである。

なお、今般の基準値設定依頼に当たって、毒性や代謝に関する新たな知見の提出がなく、既存の食品健康影響評価の結果に影響はないと考えられることから、本部会での審議後に食品安全委員会に対して食品健康影響評価の要請を行うこととしている。

1. 概要

(1) 品目名：インピルフルキサム[Inpyrfluxam (ISO)]

(2) 分類：農薬

(3) 用途：殺菌剤

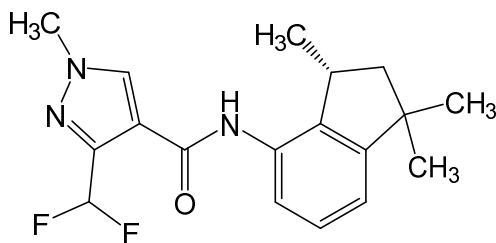
カルボキサミド系殺菌剤である。ミトコンドリア内膜に存在するコハク酸脱水素酵素（複合体Ⅱ）からユビキノンへの電子伝達を阻害することにより、殺菌効果を示すと考えられている。

(4) 化学名及びCAS番号

3-(Difluoromethyl)-1-methyl-*N*-[(3*R*)-1,1,3-trimethyl-2,3-dihydro-1*H*-inden-4-yl]-1*H*-pyrazole-4-carboxamide (IUPAC)

1*H*-Pyrazole-4-carboxamide, 3-(difluoromethyl)-*N*-[(3*R*)-2,3-dihydro-1,1,3-trimethyl-1*H*-inden-4-yl]-1-methyl-
(CAS : No. 1352994-67-2)

(5) 構造式及び物性



分子式	C ₁₈ H ₂₁ F ₂ N ₃ O
分子量	333.38
水溶解度	1.64 × 10 ⁻² g/L (20℃, pH 5.5～5.8)
分配係数	log ₁₀ Pow = 3.65 (25℃, pH 7.1～7.3)

2. 適用の範囲及び使用方法

本剤の適用の範囲及び使用方法は以下のとおり。

(1) 国内での使用方法

今般の基準値設定依頼に当たって、農薬取締法に基づく適用拡大申請がなされている項目を四角囲いしている。

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数 又は 使用量	使用時期	散布(使用) 液量(目安)	使用 回数	インピルフルキ サムを含む農薬 の総使用回数	
稲	2.0% GR 配合剤1	側条施用	1 kg/10 a	移植時	—	1回	1回	
	2.0% GR 配合剤2	側条施用	1 kg/10 a	移植時	—	1回	1回	
稲 (箱育苗)	3.0% GR	育苗箱の上 から均一に 散布する	育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L)1箱当たり50 g	は種時 (覆土前) ～移植当日	—	1回	1回	
	2.0% GR 配合剤1	育苗箱の床 土または覆 土に均一に 混和する	育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約 5 L)1箱当たり50 g	は種前	—	1回	1回	
			高密度には種する 場合は1 kg/10 a (育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L) 1箱当たり 50～100 g)					
		育苗箱の上 から均一に 散布する	育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約 5 L)1箱当たり50 g	は種時 (覆土前) ～移植当日	—			
			高密度には種する 場合は1 kg/10 a (育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L) 1箱当たり 50～100 g)					
			育苗箱の上 から均一に 散布する	育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約 5 L)1箱当たり50 g	移植当日			—
				高密度には種する 場合は1 kg/10 a (育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌 約5 L)1箱当たり 50～100 g)				

—：規定されていない項目

GR：粒剤

配合剤1：2.0%オキサゾスルフィル

配合剤2：2.0%イソチアニル・2.0%オキサゾスルフィル

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数 又は 使用量	使用時期	散布(使用) 液量(目安)	使用 回数	インピルフルキサ ムを含む農薬 の総使用回数
稲 (箱育苗)	2.0% GR 配合剤2	育苗箱の 上から 均一に 散布する	育苗箱(30×60 ×3 cm、使用土 壤約5 L)1箱当 たり50 g	は種時 (覆土前)	—	1回	1回
			高密度に は種する場合は 1 kg/10 a(育苗 箱(30×60×3 cm、使用土 壤約5 L)1箱当 たり50～100 g)				
			育苗箱(30×60 ×3 cm、使用土 壤約5 L)1箱当 たり50 g	は種時 (覆土前) ～ 移植当日	—		
			高密度に は種する場合は 1 kg/10 a(育苗 箱(30×60×3 cm、使用土 壤約5 L)1箱当 たり50～100 g)				
麦類 (小麦を除く)	37.0% SC	散布	2000～4000倍	根雪前	60～150 L/10 a	2回 以内	4回以内 (根雪前は 2回以内、 根雪後は 2回以内)
			4000～8000倍	収穫7日 前まで			
			4000倍				
小麦	37.0% SC	散布	2000～4000倍	根雪前	60～150 L/10 a	2回 以内	5回以内 (種子への処理 は1回以内、 根雪前の散布 は2回以内、 根雪後の散布 は2回以内)
			4000倍	収穫7日 前まで			
			4000～8000倍				
	27.3% SC 配合剤3	種子吹き付 け処理又は 塗沫処理	原液	は種前	5 mL/乾燥 種子1 kg	1回	
豆類 (種実、ただし、 あずき、そらまめ、 だいず、らっかせい を除く)	37.0% SC	散布	4000倍	収穫前日 まで	100～300 L/10 a	4回 以内	4回以内
だいず	37.0% SC	株元散布	4000倍	収穫前日 まで	100～300 L/10 a	4回 以内	4回以内
		散布					
あずき	37.0% SC	散布	4000倍	収穫前日 まで	100～300 L/10 a	4回 以内	4回以内
そらまめ	37.0% SC	散布	4000倍	収穫前日 まで	100～300 L/10 a	4回 以内	4回以内

SC：フロアブル

配合剤3：9.1%ピリダクロメチル

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数 又は 使用量	使用時期	散布(使用) 液量(目安)	使用回数	インピルフルキサ ムを含む農薬の 総使用回数
ばれいしょ	37.0% SC	種いも瞬間 浸漬	400倍～ 1000倍	植付前	－	1回	4回以内 (種いもへの処理 は1回以内、 植付後は3回以内)
		10分間 種いも浸漬	400倍	植付前	－		
		種いも散布		植付前	種いも100 kg 当たり3 L		
			40倍		種いも100 kg 当たり300 mL	3回以内	
		散布	4000倍	収穫前日 まで	100～300 L/10 a		
やまのいも	37.0% SC	種いも瞬間 浸漬	200倍	植付前	－	1回	1回
てんさい	37.0% SC	灌注	800倍	定植前	1 L/ペーパーポッ ト1冊(3 L/m ²)	1回	5回以内 (灌注は1回以内、 散布は4回以内)
		散布	4000倍	収穫7日前 まで	100～300 L/10 a	4回以内	
結球あぶらな 科葉菜類 (はくさい、 キャベツ を除く)	37.0% SC	散布	4000倍	収穫前日 まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
はくさい	37.0% SC	散布	4000倍	収穫前日 まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
キャベツ	37.0% SC	散布	4000倍	収穫前日 まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
ブロッコリー	37.0% SC	散布	4000倍	収穫前日 まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
レタス類	37.0% SC	散布	4000倍	収穫前日 まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
にんじん	37.0% SC	散布	4000倍	収穫前日 まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
たまねぎ	37.0% SC	散布	4000倍	収穫前日 まで	100～300 L/10 a	4回以内	4回以内
			4000～ 8000倍				
ねぎ	37.0% SC	散布	4000倍	収穫前日 まで	100～300 L/10 a	4回以内	4回以内
			4000～ 8000倍				
		株元散布	4000倍				
			4000～ 8000倍				
にんにく	37.0% SC	散布	4000倍	収穫前日 まで	100～300 L/10 a	2回以内	4回以内 (散布は2回以内、 株元散布は 2回以内)
		株元散布					
トマト	37.0% SC	散布	4000倍	収穫前日 まで	100～300 L/10 a	4回以内	4回以内
ミニトマト	37.0% SC	散布	4000倍	収穫前日 まで	100～300 L/10 a	4回以内	4回以内

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数 又は 使用量	使用時期	散布(使用) 液量(目安)	使用回数	インピルフルキサ ムを含む農薬の 総使用回数
ピーマン	37.0% SC	散布	4000倍	収穫前日 まで	100～300 L/10 a	4回以内	8回以内 (散布は4回以内、 株元灌注は 4回以内)
		株元灌注			1 L/株		
とうがらし類	37.0% SC	散布	4000倍	収穫前日 まで	100～300 L/10 a	4回以内	8回以内 (散布は4回以内、 株元灌注は 4回以内)
		株元灌注			1 L/株		
なす	37.0% SC	散布	4000倍	収穫前日 まで	100～300 L/10 a	4回以内	4回以内
きゅうり	37.0% SC	散布	4000倍	収穫前日 まで	100～300 L/10 a	4回以内	4回以内
さやえんどう	37.0% SC	散布	4000倍	収穫前日 まで	100～300 L/10 a	4回以内	4回以内
未成熟そらまめ	37.0% SC	散布	4000倍	収穫前日 まで	100～300 L/10 a	4回以内	4回以内
豆類 (未成熟、ただし、 さやえんどう、 未成熟そらまめ を除く)	37.0% SC	散布	4000倍	収穫前日 まで	100～300 L/10 a	4回以内	4回以内
かんきつ	37.0% SC	散布	4000倍	収穫前日 まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内
			4000～ 8000倍				
りんご	37.0% SC	散布	4000倍	収穫前日 まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内
なし	37.0% SC	散布	4000倍	収穫前日 まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内
			4000～ 8000倍				
もも	37.0% SC	散布	4000倍	収穫前日 まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内
			4000～ 8000倍				
ネクタリン	37.0% SC	散布	4000～ 8000倍	収穫前日 まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内
小粒核果類	37.0% SC	散布	4000倍	収穫前日 まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内
おうとう	37.0% SC	散布	4000倍	収穫前日 まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内
いちご	37.0% SC	散布	4000倍	収穫前日 まで	100～300 L/10 a	4回以内	4回以内
ぶどう	37.0% SC	散布	4000倍	収穫前日 まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内
			4000～ 8000倍				
かき	37.0% SC	散布	4000倍	収穫前日 まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内
いちじく	37.0% SC	散布	4000倍	収穫前日 まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内

3. 代謝試験

(1) 植物代謝試験

植物代謝試験が、水稻、だいず、ばれいしょ及びりんごで実施されており、可食部で親化合物の残留が認められた。10%TRR^(注)以上認められた代謝物は、代謝物B（りんご）、代謝物E（水稻及びばれいしょ）及び代謝物Eの糖抱合体（だいず）、代謝物Iの糖抱合体（水稻）並びに代謝物Jの糖抱合体（ばれいしょ）であった。

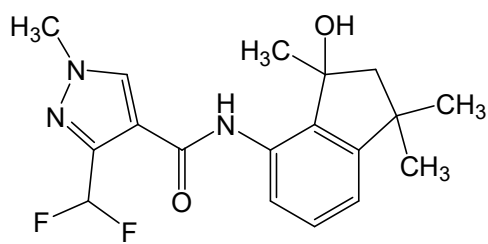
注）%TRR：総放射性残留物（TRR：Total Radioactive Residues）濃度に対する比率（%）

(2) 家畜代謝試験

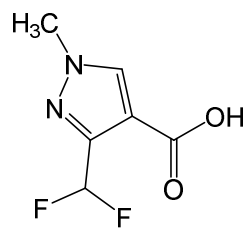
家畜代謝試験が、泌乳山羊及び産卵鶏で実施されており、脂肪、肝臓、乳及び卵では、親化合物の残留が認められている。可食部で10%TRR以上認められた代謝物は、代謝物F（泌乳山羊及び産卵鶏の筋肉）、代謝物I（泌乳山羊の脂肪、産卵鶏の筋肉及び卵）、代謝物Iのグルクロン酸抱合体（泌乳山羊の筋肉、肝臓及び腎臓）、代謝物Iの硫酸抱合体（産卵鶏の筋肉、脂肪及び肝臓）、代謝物J（泌乳山羊の筋肉、脂肪、肝臓、腎臓、乳、産卵鶏の筋肉及び肝臓）であった。

【代謝物略称一覧】

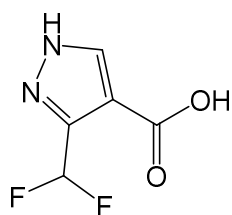
略称	JMPR評価書の略称	化学名
B	3'-OH-S-2840	<i>N</i> -[(3 <i>RS</i>)-2, 3-ジヒドロ-3-ヒドロキシ-1, 1, 3-トリメチル-1 <i>H</i> -インデン-4-イル]-1-メチル-3-(ジフルオロメチル)-1 <i>H</i> -ピラゾール-4-カルボキサミド
D	DFPA	3-ジフルオロメチル-1-メチル-1 <i>H</i> -ピラゾール-4-カルボン酸
E	<i>N</i> -des-Me-DFPA	3-ジフルオロメチル-1 <i>H</i> -ピラゾール-4-カルボン酸
F	DFPA-CONH ₂	3-ジフルオロメチル-1-メチル-1 <i>H</i> -ピラゾール-4-カルボキサミド
I	1'-CH ₂ OH-S-2840	<i>N</i> -[(1 <i>RS</i> , 3 <i>RS</i> ; 1 <i>RS</i> , 3 <i>SR</i>)-2, 3-ジヒドロ-1, 3-ジメチル-1-(ヒドロキシメチル)-1 <i>H</i> -インデン-4-イル]-1-メチル-3-(ジフルオロメチル)-1 <i>H</i> -ピラゾール-4-カルボキサミド
Ia	1'-CH ₂ OH-S-2840A	<i>N</i> -[(3 <i>RS</i>)-1, 3- <i>cis</i> -2, 3-ジヒドロ-1, 3-ジメチル-1-(ヒドロキシメチル)-1 <i>H</i> -インデン-4-イル]-1-メチル-3-(ジフルオロメチル)-1 <i>H</i> -ピラゾール-4-カルボキサミド
Ib	1'-CH ₂ OH-S-2840B	<i>N</i> -[(3 <i>RS</i>)-1, 3- <i>trans</i> -2, 3-ジヒドロ-1, 3-ジメチル-1-(ヒドロキシメチル)-1 <i>H</i> -インデン-4-イル]-1-メチル-3-(ジフルオロメチル)-1 <i>H</i> -ピラゾール-4-カルボキサミド
J	1'-COOH-S-2840	(1 <i>RS</i> , 3 <i>RS</i> ; 1 <i>RS</i> , 3 <i>SR</i>)-2, 3-ジヒドロ-1, 3-ジメチル-4-{[1-メチル-3-(ジフルオロメチル)-1 <i>H</i> -ピラゾール-4-イルカルボニル]アミノ}-1 <i>H</i> -インデン-1-カルボン酸
Ja	1'-COOH-S-2840A	(3 <i>RS</i>)-1, 3- <i>cis</i> -2, 3-ジヒドロ-1, 3-ジメチル-4-{[1-メチル-3-(ジフルオロメチル)-1 <i>H</i> -ピラゾール-4-イルカルボニル]アミノ}-1 <i>H</i> -インデン-1-カルボン酸
Jb	1'-COOH-S-2840B	(3 <i>RS</i>)-1, 3- <i>trans</i> -2, 3-ジヒドロ-1, 3-ジメチル-4-{[1-メチル-3-(ジフルオロメチル)-1 <i>H</i> -ピラゾール-4-イルカルボニル]アミノ}-1 <i>H</i> -インデン-1-カルボン酸



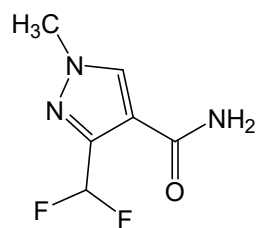
代謝物B



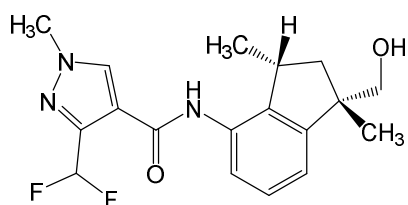
代謝物D



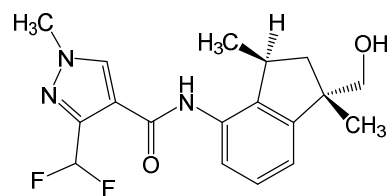
代謝物E



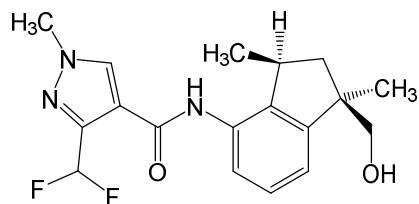
代謝物F



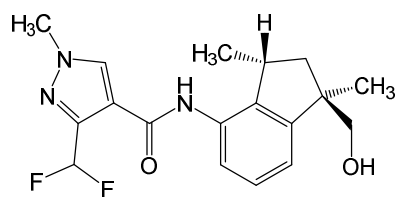
代謝物Ia



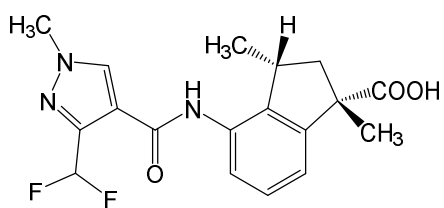
代謝物Ib



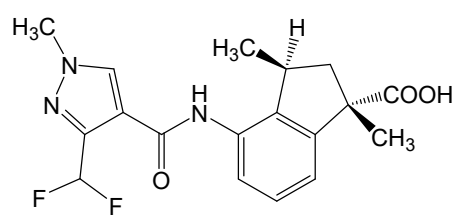
代謝物Ia



代謝物Ib



代謝物Ja



代謝物Jb

注) 残留試験の分析対象、残留の規制対象及び暴露評価対象となっている代謝物について構造式を明記した。

4. 作物残留試験

(1) 分析の概要

① 分析対象物質

- ・インピルフルキサム
- ・代謝物B
- ・代謝物D及びその抱合体
- ・代謝物E及びその抱合体
- ・代謝物F
- ・代謝物Ia及びその抱合体
- ・代謝物Ib及びその抱合体
- ・代謝物Ja及びその抱合体
- ・代謝物Jb及びその抱合体

② 分析法の概要

i) インピルフルキサム及び代謝物B

試料からアセトニトリル・水（1：1）混液で抽出し、ジビニルベンゼン-*N*-ビニルピロリドン共重合体カラム若しくはジビニルベンゼン-*N*-ビニルピロリドン共重合体カラム及びグラファイトカーボン/アミノプロピルシリル化シリカゲル（NH₂）積層カラムを用いて精製した後、液体クロマトグラフ・タンデム型質量分析計（LC-MS/MS）で定量する。

定量限界：インピルフルキサム 0.01 mg/kg
代謝物B 0.01 mg/kg

ii) 代謝物F

試料からアセトニトリル・水（1：1）混液で抽出し、グラファイトカーボンカラムを用いて精製した後、LC-MS/MSで定量する。

定量限界：0.01 mg/kg

iii) 代謝物Ia（抱合体を含む。）及び代謝物Ib（抱合体を含む。）

試料からアセトニトリル・水（1：1）混液で抽出し、4 mol/L塩酸を加え、4時間加熱還流して加水分解、あるいは0.06 mol/L水酸化ナトリウム溶液を加え、1時間放置して加水分解し、酢酸を加えた後にβ-グルコシダーゼで加水分解する。ジビニルベンゼン-*N*-ビニルピロリドン共重合体カラムを用いて精製した後、LC-MS/MSで定量する。

定量限界：代謝物Ia 0.005 mg/kg
代謝物Ib 0.005 mg/kg

代謝物I（代謝物Ia及び代謝物Ibの含量） 0.01 mg/kg

iv) 代謝物E（抱合体を含む。）

試料からアセトニトリル・水（1：1）混液で抽出し、6 mol/L塩酸を加え、6時間加熱還流して加水分解する。多孔性ケイソウ土カラム及びベンゼンスルホンプロピルシリル化シリカゲル（SCX）カラムを用いて精製した後、LC-MS/MSで定量する。

定量限界：0.01 mg/kg

v) 代謝物D（抱合体を含む。）、代謝物Ja（抱合体を含む。）及び代謝物Jb（抱合体を含む。）

試料からアセトニトリル・水（1：1）混液で抽出し、2 mol/L塩酸を加え、2時間加熱還流して加水分解する。ジビニルベンゼン-*N*-ビニルピロリドン共重合体カラム及びSCXカラムを用いて精製した後、LC-MS/MSで定量する。

定量限界：代謝物D	0.01 mg/kg
代謝物Ja	0.005 mg/kg
代謝物Jb	0.005 mg/kg
代謝物J（代謝物Ja及び代謝物Jbの含量）	0.01 mg/kg

（2）作物残留試験結果

国内作物残留試験については、やまいも、にんにく、ピーマン、とうがらし類、なす及びいちじくの試験成績を追加した。試験成績の概要を別紙1に示す。

5. 魚介類における推定残留濃度

本剤については水系を通じた魚介類への残留が想定されることから、本剤の水域環境中予測濃度^{注1)}及び生物濃縮係数（BCF：Bioconcentration Factor）から、以下のとおり魚介類中の推定残留濃度を算出した。

（1）水域環境中予測濃度

本剤は水田及び水田以外のいずれの場合においても使用される。水田PECtier2^{注2)}及び非水田PECtier1^{注3)}は、それぞれ0.13 µg/L及び0.010 µg/Lと示されていることから、水田PECtier2の0.13 µg/Lを採用した。

（2）生物濃縮係数

¹⁴C標識インピルフルキサム（低濃度区：0.2 µg/L、高濃度区：0.6 µg/L）を用いた28日間の取込期間及び3日間の排泄期間を設定したブルーギルの魚類濃縮性試験が実施された。インピルフルキサムの分析の結果から、BCFss^{注4)}は29.2 L/kg（低濃度区）、29.5 L/kg（高濃度区）と示されている。

(3) 推定残留濃度

(1) 及び(2)の結果から、インピルフルキサムの水域環境中予測濃度: 0.13 µg/L、BCF: 29.5 L/kgとし、下記のとおり推定残留濃度を算出した。

$$\text{推定残留濃度} = 0.13 \text{ µg/L} \times (29.5 \text{ L/kg} \times 5) = 19.2 \text{ µg/kg} = 0.019 \text{ mg/kg}$$

注1) 農薬取締法第4条第1項第8号に基づく水域の生活環境動植物の被害防止に係る農薬登録基準設定における規定に準拠

注2) 水田中や河川中での農薬の分解や土壌・底質への吸着、止水期間等を考慮して算出

注3) 既定の地表流出率、ドリフト率で河川中に流入するものとして算出

注4) 定常状態における被験物質の魚体中濃度と水中濃度の比で求められたBCF

(参考) 平成19年度厚生労働科学研究費補助金食品の安心・安全確保推進研究事業「食品中に残留する農薬等におけるリスク管理手法の精密化に関する研究」分担研究「魚介類への残留基準設定法」報告書

6. 畜産物における推定残留濃度

本剤については、飼料として給与した作物を通じ家畜の筋肉等への移行が想定されることから、飼料中の残留農薬濃度及び動物飼養試験の結果を用い、以下のとおり畜産物中の推定残留濃度を算出した。

(1) 分析の概要

① 分析対象物質

- ・インピルフルキサム
- ・代謝物Ia及びその抱合体
- ・代謝物Ib及びその抱合体
- ・代謝物Ja
- ・代謝物Jb

② 分析法の概要

牛の筋肉、肝臓及び腎臓は試料からアセトニトリル・水(1:1)混液、次いでアセトニトリルで抽出する。牛の脂肪は、*n*-ヘキサン・アセトン(4:1)混液で抽出、次いでアセトンで抽出する。鶏の筋肉及び肝臓は、アセトニトリル・水(1:1)混液で抽出し、鶏の脂肪及び卵は、試料から*n*-ヘキサン・アセトン(4:1)混液又は*n*-ヘキサン・アセトン(1:1)混液、次いでアセトンで抽出する。乳は試料からアセトン、次いでアセトニトリル・水(1:1)混液で抽出する。

i) インピルフルキサム、代謝物Ja及び代謝物Jb

脂肪及び卵は、抽出液を*n*-ヘキサンの希釈し、アセトニトリルに分配し、濃縮乾固する。メタノール・水(1:1)混液を加え、LC-MS/MSで定量する。脂肪及び卵以外は、抽出液をメタノール・水(1:1)混液で希釈し、LC-MS/MSで定量する。

定量限界：インピルフルキサム	0.01 mg/kg
代謝物J（代謝物Ja及び代謝物Jbの含量）	0.01 mg/kg
代謝物Ja	0.005 mg/kg
代謝物Jb	0.005 mg/kg

ii) 代謝物Ia（抱合体を含む。）及び代謝物Ib（抱合体を含む。）

脂肪及び卵は、抽出液を濃縮乾固し、アセトニトリル・水（1：1）混液を加え、塩酸酸性下で加熱還流により抱合体を加水分解した後、ジビニルベンゼン-*N*-ビニルピロリドン共重合体カラムを用いて精製し、LC-MS/MSで定量する。脂肪及び卵以外は、抽出液を塩酸酸性下で加熱還流により抱合体を加水分解した後、ジビニルベンゼン-*N*-ビニルピロリドン共重合体カラムを用いて精製し、LC-MS/MSで定量する。

定量限界：代謝物I（代謝物Ia及び代謝物Ibの含量）	0.01 mg/kg
代謝物Ia	0.005 mg/kg
代謝物Ib	0.005 mg/kg

（2）家畜残留試験（動物飼養試験）

① 乳牛を用いた残留試験

乳牛（ホルスタイン種、3～6頭/群）に対して、飼料中濃度として2、6及び20 ppmに相当する量のインピルフルキサムを含むゼラチンカプセルを28日間にわたり経口投与し、筋肉、脂肪、肝臓及び腎臓に含まれるインピルフルキサム、代謝物I及び代謝物Jの濃度を測定した。乳については、投与開始後の経過日数として1、3、7、10、14、17、21、24及び28日に採取した乳に含まれるインピルフルキサム、代謝物I及び代謝物Jの濃度をLC-MS/MSで測定した。結果は投与開始28日後において、6 ppm投与群の腎臓で代謝物Iが最大0.014 mg/kg、平均0.013 mg/kgが残留し、20 ppm投与群の肝臓で代謝物Iが最大0.017 mg/kg、平均0.014 mg/kgが残留し、20 ppm投与群の腎臓で代謝物Iが最大0.033 mg/kg、平均0.022 mg/kgが残留しており、その他は全て定量限界未満であった。

上記の結果に関連して、JMPR は、乳牛及び肉牛の最大飼料由来負荷^{注1)}を2.62 ppm、平均的飼料由来負荷^{注2)}を1.46 ppm と評価している。

注1) 最大飼料由来負荷（Maximum dietary burden）：飼料の原料に農薬が最大まで残留していると仮定した場合に、飼料の摂取によって畜産動物が暴露されうる最大濃度。飼料中濃度として表示される。

注2) 平均的飼料由来負荷（Mean dietary burden）：飼料の原料に農薬が平均的に残留していると仮定した場合に（作物残留試験から得られた残留濃度の中央値を試算に用いる）、飼料の摂取によって畜産動物が暴露されうる平均濃度。飼料中濃度として表示される。

② 産卵鶏を用いた残留試験

産卵鶏（ISA brown種、12～24羽/群）に対して、飼料中濃度として1、3及び10 ppmに相当する量のインピルフルキサムを含むゼラチンカプセルを28日間にわたり摂食させ、筋肉、肝臓、脂肪及び卵に含まれるインピルフルキサム、代謝物I及び代謝物Jの濃度をLC-MS/MSで測定した。結果は投与開始28日後において、10 ppm投与群の脂肪でインピルフルキサムが最大0.018 mg/kg、平均0.017 mg/kgが残留し、10 ppm投与群の卵黄で代謝物Iが最大0.012 mg/kg、平均0.012 mg/kgが残留し、3 ppm投与群の肝臓で代謝物Iが最大0.010 mg/kg、平均0.010 mg/kgが残留し、10 ppm投与群の肝臓で代謝物Iが最大0.018 mg/kg、平均0.017 mg/kgが残留しており、その他は全て定量限界未満であった。

上記の結果に関連して、JMPRは、産卵鶏及び肉用鶏の最大飼料由来負荷を0 ppm、平均飼料由来負荷を0 ppm と評価している。

（3）推定残留濃度

牛について、最大及び平均的飼料由来負荷と家畜残留試験結果から、畜産物中の推定残留濃度を算出した。推定残留濃度はインピルフルキサム及び代謝物 I（抱合体を含む。）をインピルフルキサムに換算した濃度の合計濃度で示した。結果は表1-1を参照。

表1-1. 畜産物中の推定残留濃度：牛（mg/kg）

	筋肉	脂肪	肝臓	腎臓	乳
牛	<0.02 (<0.02)	<0.02 (<0.02)	<0.02 (<0.02)	<0.02 (<0.02)	<0.02 (<0.02)

上段：最大残留濃度 下段括弧内：平均的な残留濃度*

*：最大及び平均的な残留濃度は、インピルフルキサム及び代謝物 I（抱合体を含む。）を含む。

鶏について、最大及び平均的飼料由来負荷と家畜残留試験結果から、畜産物中の推定残留濃度を算出した。推定残留濃度はインピルフルキサム及び代謝物 I（抱合体を含む。）をインピルフルキサムに換算した濃度の合計濃度で示した。結果は表1-2を参照。

表1-2. 畜産物中の推定残留濃度：鶏（mg/kg）

	筋肉	脂肪	肝臓	卵
鶏	0.00 (0.00)	0.00 (0.00)	0.00 (0.00)	0.00 (0.00)

上段：最大残留濃度 下段括弧内：平均的な残留濃度*

*：最大及び平均的な残留濃度は、インピルフルキサム及び代謝物 I（抱合体を含む。）を含む。

7. ADI及びARfDの評価

食品安全基本法（平成15年法律第48号）第24条第1項第1号の規定に基づき、食品安全委員会あて意見を求めたインピルフルキサムに係る食品健康影響評価において、以下のとおり評価されている。

（1）ADI

無毒性量：6 mg/kg 体重/day
（動物種） イヌ
（投与方法） カプセル経口
（試験の種類） 慢性毒性試験
（期間） 1年間
安全係数：100
ADI：0.06 mg/kg 体重/day

（2）ARfD

無毒性量：30 mg/kg 体重
（動物種） ラット
（投与方法） 強制経口
（試験の種類） 急性神経毒性試験
安全係数：100
ARfD：0.3 mg/kg 体重

8. 諸外国における状況

JMPRにおける毒性評価が行われ、2022年にADI及びARfDが設定されている。国際基準はりんご、畜産物等に設定されている。

米国、カナダ、EU、豪州及びニュージーランドについて調査した結果、米国においてりんご、らっかせい等に、カナダにおいてりんご、大麦等に基準値が設定されている。

9. 残留規制

（1）残留の規制対象

農産物、魚介類及びはちみつにあってはインピルフルキサムのみとし、畜産物にあってはインピルフルキサム及び代謝物I（抱合体を含む。）とする。

植物代謝試験において、親化合物が主要残留物であり、可食部で10%TRR以上認められた代謝物は、代謝物B、代謝物E、代謝物Eの糖抱合体、代謝物Iの糖抱合体及び代謝物Jの糖抱合体であったが、作物残留試験において、代謝物I及び代謝物Jの分析が行われており、いずれの残留濃度も大部分が定量限界未満、あるいは親化合物に比較して低い値であることから、これらの代謝物は農産物の残留の規制対象には含めないこととする。

家畜代謝試験において、可食部で10%TRR以上認められた代謝物は、代謝物F、代謝物I

（抱合体を含む。）及び代謝物Jであった。家畜残留試験（動物飼養試験）において、代謝物I及び代謝物Jの分析が行われているが、代謝物Iのみが認められたことから、畜産物の残留の規制対象に含めることとする。

（２）基準値案

別紙2のとおりである。

10．暴露評価

（１）暴露評価対象

農産物、魚介類及びはちみつにあってはインピルフルキサムのみとし、畜産物にあってはインピルフルキサム及び代謝物I（抱合体を含む。）とする。

植物代謝試験において、可食部で10%TRR以上認められた代謝物は、代謝物B、代謝物E、代謝物Eの糖抱合体、代謝物Iの糖抱合体及び代謝物Jの糖抱合体であったが、作物残留試験において、代謝物B及び代謝物E（抱合体を含む。）の残留濃度は親化合物に比較して十分に低く、代謝物J（抱合体を含む。）の残留濃度も大部分が定量限界未満であった。代謝物Iは親化合物と比較して、残留濃度は半分以下がほとんどで、急性毒性は6倍以上弱く、遺伝毒性試験の結果は陰性であった。これらのことから、これら代謝物は暴露評価対象には含めないこととする。

家畜代謝試験において、可食部で10%TRR以上認められた代謝物は、代謝物F、代謝物I（抱合体を含む。）及び代謝物Jであった。家畜残留試験（動物飼養試験）において、代謝物I及び代謝物Jの分析が行われているが、代謝物Iのみが認められたことから、畜産物の暴露評価対象に含めることとする。

なお、食品安全委員会は、食品健康影響評価において、農産物、畜産物及び魚介類中の暴露評価対象物質をインピルフルキサム（親化合物のみ）としている。

（２）暴露評価結果

① 長期暴露評価

1日当たり摂取する農薬の量のADIに対する比は、以下のとおりである。詳細な暴露評価は別紙3参照。

	EDI／ADI (%) 注)
国民全体（1歳以上）	8.1
幼小児（1～6歳）	17.7
妊婦	7.4
高齢者（65歳以上）	9.2

注）各食品の平均摂取量は、平成17～19年度の食品摂取頻度・摂取量調査の特別集計

業務報告書による。

EDI試算法：作物残留試験成績の中央値（STMR）等×各食品の平均摂取量

② 短期（1日経口）暴露評価

各食品の短期推定摂取量（ESTI）を算出したところ、国民全体（1歳以上）及び幼小児（1～6歳）のそれぞれにおける摂取量は急性参照用量（ARfD）を超えていない^注。詳細な暴露評価は別紙4-1及び4-2参照。

注）基準値案、作物残留試験における最高残留濃度（HR）又は中央値（STMR）を用い、平成17～19年度の食品摂取頻度・摂取量調査及び平成22年度の厚生労働科学研究の結果に基づきESTIを算出した。

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度 (mg/kg) ^(注1) 【インビルフルキسام/代謝物B/代謝物F/代謝物I/代謝物E/代謝物D/代謝物J】	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
水稲 (玄米)	6	3.0% GR	50 g/箱 育苗箱施用	1	130	圃場A:<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/-/-	◎
					108	圃場B:<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/-/-	
					130	圃場C:<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/-/-	
					107	圃場D:<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/-/-	
	117	圃場E:<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/-/-	圃場F:<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/-/-				
	3	50 g/箱 育苗箱施用 + 湛水散布 1 kg/10 a	1+2	21, 30, 45, 60	圃場A:<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/-/- (3回, 21日) (#)	圃場B:<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/-/- (3回, 21日) (#)	圃場C:<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/-/- (3回, 21日) (#)
小麦 (玄麦)	6	37.0% SC	2000倍根雪前散布 101～150 L/10 a + 4000倍生育期散布 133～150 L/10 a	2+2	7, 14, 21, 28	圃場A:0.03/<0.01/<0.01/<0.03/<0.01/-/-	◎
						圃場B:0.16/<0.01/<0.01/*0.03/<0.01/-/- (*4回, 14日)	
						圃場C:0.26/0.01/<0.01/*0.07/*0.01/-/- (*4回, 21日)	
						圃場D:0.16/*0.01/<0.01/*0.03/<0.01/-/- (*4回, 14日)	
						圃場E:0.19/<0.01/<0.01/*0.03/*0.01/-/- (*4回, 21日、**4回, 14日)	
						圃場F:0.30/*0.02/<0.01/0.02/<0.01/-/- (*4回, 14日)	
大麦 (脱穀した種子)	3	37.0% SC	2000倍根雪前散布 100～111 L/10 a + 4000倍生育期散布 100～140 L/10 a	2+2	7, 14, 21, 28	圃場A:0.88/*0.09/<0.01/*0.09/*0.04/-/- (*4回, 21日、**4回, 14日)	◎
						圃場B:1.14/0.13/<0.01/0.08/0.05/-/-	
						圃場C:1.03/0.07/<0.01/*0.03/*0.02/-/- (*4回, 21日)	
だいず (乾燥子実)	6	37.0% SC	4000倍散布 179～280 L/10 a	4	1, 3, 7, 14, 21, 28, 35	圃場A:0.09/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/-/-	◎
						圃場B:<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/*0.04/-/- (*4回, 35日)	
						圃場C:0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/-/-	
						圃場D:0.01/<0.01/<0.01/<0.01/*0.04/-/- (*4回, 35日)	
						圃場E:0.03/<0.01/<0.01/<0.01/*0.04/-/- (*4回, 35日)	
						圃場F:0.15/<0.01/<0.01/<0.01/*0.06/-/- (*4回, 35日)	
	6	4000倍株元散布 179～280 L/10 a	4	1, 3, 7, 14, 21, 28, 35	圃場A:<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/-/-	◎	
					圃場B:<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/-/-		
					圃場C:<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/-/-		
					圃場D:<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/-/-		
					圃場E:<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/-/-		
					圃場F:<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/*0.02/-/- (*4回, 35日)		
いんげんまめ (乾燥子実)	2	37.0% SC	4000倍散布 154～185 L/10 a	4	1, 3, 7, 14, 21, 28, 35	圃場A:<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 (4回, 14日)	◎
						圃場B:0.04/<0.01/<0.01/<0.01/*0.02/<0.01/<0.01 (4回, 14日)	
ばれいしょ (塊茎)	6	400倍種いも瞬間浸漬	1	77 91 86 85 83	1, 3, 7, 14, 21, 28, 35	圃場A:<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01	◎
						圃場B:<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01	
						圃場C:<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01	
						圃場D:<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01	
						圃場E:<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01	
						圃場F:<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01	
	2	400倍種いも10分間浸漬	1	89 91	1, 3, 7, 14, 21, 28, 35	圃場A:<0.01/-/-/-/-/-/-	◎
						圃場B:<0.01/-/-/-/-/-/-	
	6	40倍種いも散布 300 mL/100 kg種いも	1	77 91 86 85 83	1, 3, 7, 14, 21, 28, 35	圃場A:<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01	◎
						圃場B:<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01	
						圃場C:<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01	
						圃場D:<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01	
						圃場E:<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01	
						圃場F:<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01	
	6	4000倍散布 193～220 L/10 a	3	1, 3, 7	1, 3, 7, 14, 21, 28, 35	圃場A:*0.03/-/-/-/-/-/- (*3回, 3日)	◎
						圃場B:<0.01/-/-/-/-/-/-	
						圃場C:<0.01/-/-/-/-/-/-	
						圃場D:<0.01/-/-/-/-/-/-	
圃場E:<0.01/-/-/-/-/-/-							
圃場F:*0.01/-/-/-/-/-/- (*3回, 3日)							
やまいも	3	37.0% SC	200倍種いも瞬間浸漬	1	148	圃場A:<0.01/-/-/-/-/-/-	◎
					166	圃場B:<0.01/-/-/-/-/-/-	
					203	圃場C:<0.01/-/-/-/-/-/-	
てんさい (根部)	3	37.0% SC	800倍灌注 1 L/ヘーボット1冊 + 4000倍散布 200 L/10 a	1+4	1, 3, 7, 14, 21, 28	圃場A:0.02/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01	◎
						圃場B:0.02/<0.01/<0.01/0.01/<0.01/<0.01/<0.01	
						圃場C:0.03/<0.01/<0.01/*0.01/<0.01/<0.01/<0.01 (*5回, 21日)	
はくさい (茎葉)	5	37.0% SC	4000倍散布 193～213 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A:0.25/-/-/-/-/-/-	◎
						圃場B:0.50/-/-/-/-/-/-	
						圃場C:0.13/-/-/-/-/-/-	
						圃場D:0.42/-/-/-/-/-/-	
キャベツ (葉球)	6	37.0% SC	4000倍散布 188～300 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場E:0.13/-/-/-/-/-/-	◎
						圃場A:*0.19/-/-/-/-/-/- (*3回, 7日)	
						圃場B:0.22/-/-/-/-/-/-	
						圃場C:0.15/-/-/-/-/-/-	
						圃場D:*0.04/-/-/-/-/-/- (*3回, 3日)	
圃場E:0.21/-/-/-/-/-/-							
圃場F:*0.69/-/-/-/-/-/- (*3回, 3日)							

インピルフルキサムの作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度 (mg/kg) 注1) 【インピルフルキサム/代謝物B/代謝物F/ 代謝物I/代謝物E/代謝物D/代謝物J】	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
ブロッコリー (花蕾)	3	37.0% SC	4000倍散布 188～289 L/10 a	3	1, 3, 7, 14 1, 3, 7, 10 1, 3, 7, 13	圃場A:0.56/-/-/-/-/-/- 圃場B:2.25/-/-/-/-/-/- 圃場C:1.02/-/-/-/-/-/-	◎
レタス (茎葉)	5	37.0% SC	4000倍散布 198～205 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A:0.31/-/-/-/-/-/- 圃場B:*1.25/-/-/-/-/-/- (*3回, 3日) 圃場C:2.70/-/-/-/-/-/- 圃場D:*0.74/-/-/-/-/-/- (*3回, 3日) 圃場E:*1.59/-/-/-/-/-/- (*3回, 3日)	
サラダ菜 (茎葉)	2	37.0% SC	4000倍散布 154～200 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A:3.94/-/-/-/-/-/- 圃場B:11.2/-/-/-/-/-/-	◎
リーフレタス (茎葉)	2	37.0% SC	4000倍散布 200 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A:9.12/-/-/-/-/-/- 圃場B:6.85/-/-/-/-/-/-	
たまねぎ (鱗茎)	6	37.0% SC	4000倍散布 192～227 L/10 a	4	1, 3, 7, 14, 21	圃場A:<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 圃場B:<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 圃場C:0.05/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 圃場D:<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 圃場E:<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 圃場F:*0.01/<0.01/<0.01/0.01/<0.01/<0.01 (*4回, 3日)	◎
ねぎ (茎葉)	6	37.0% SC	4000倍散布 180～200 L/10 a	4	1, 3, 7, 14, 21	圃場A:0.60/*0.04/<0.01/0.07/<0.01/0.02/<0.01 (*4回, 3日) 圃場B:0.96/<0.01/<0.01/0.06/<0.01/<0.01/<0.01 圃場C:0.46/*0.02/<0.01/0.07/<0.01/0.01/<0.01 (*4回, 14日) 圃場D:0.22/<0.01/<0.01/*0.03/<0.01/<0.01/<0.01 (*4回, 7日) 圃場E:*1.16/*0.01/<0.01/*0.15/<0.01/0.02/<0.01 (*4回, 3日、**4回, 7日、***4回, 14日) 圃場F:0.52/0.01/<0.01/0.13/<0.01/0.01/<0.01	◎
	6		4000倍株元散布 180～200 L/10 a	4	1, 3, 7, 14, 21	圃場A:<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 圃場B:0.06/<0.01/<0.01/0.14/<0.01/<0.01/<0.01 圃場C:<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 圃場D:<0.01/<0.01/<0.01/*0.01/<0.01/<0.01/<0.01 (*4回, 21日) 圃場E:0.03/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 圃場F:0.14/<0.01/<0.01/0.06/<0.01/<0.01/<0.01	
にんにく (鱗茎)	2	37.0% SC	4000倍 株元散布 300～304 L/10 a 散布 192～200 L/10 a	2+2	1, 3, 7, 14, 21, 28, 35 1, 3, 7, 12, 21, 28, 32	圃場A:<0.01/-/-/-/-/-/- 圃場B:<0.01/-/-/-/-/-/-	◎
にんじん (根部)	6	37.0% SC	4000倍散布 150～204 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A:*0.06/-/-/-/-/-/- (*3回, 7日) 圃場B:*0.06/-/-/-/-/-/- (*3回, 3日) 圃場C:*0.04/-/-/-/-/-/- (*3回, 3日) 圃場D:*0.06/-/-/-/-/-/- (*3回, 7日) 圃場E:0.06/-/-/-/-/-/- 圃場F:*0.10/-/-/-/-/-/- (*3回, 3日)	◎
にんじん (葉部)	3	37.0% SC	4000倍散布 150～204 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A:2.50/-/-/-/-/-/- 圃場B:8.00/-/-/-/-/-/- 圃場C:5.04/-/-/-/-/-/-	
トマト (果実)	2	37.0% SC	4000倍散布 193～204 L/10 a	4	1, 3, 7, 14, 21	圃場A:0.29/-/-/-/-/-/- 圃場B:*0.23/-/-/-/-/-/- (*4回, 7日)	
ミニトマト (果実)	6	37.0% SC	4000倍散布 198～275 L/10 a	4	1, 3, 7, 14, 21	圃場A:0.56/-/-/-/-/-/- 圃場B:0.58/-/-/-/-/-/- 圃場C:0.23/-/-/-/-/-/- 圃場D:*0.26/-/-/-/-/-/- (*4回, 21日) 圃場E:0.18/-/-/-/-/-/- 圃場F:0.42/-/-/-/-/-/-	◎
ピーマン (果実)	3	37.0% SC	4000倍 株元灌注 1 L/株 散布 160～220 L/10 a	4+4	1, 3, 7, 14	圃場A:0.45/-/-/-/-/-/- 圃場B:0.49/-/-/-/-/-/- 圃場C:0.46/-/-/-/-/-/-	◎
なす (果実)	7	37.0% SC	4000倍散布 190～225 L/10 a	4	1, 3, 7, 14	圃場A:0.26/-/-/-/-/-/- 圃場B:0.17/-/-/-/-/-/- 圃場C:0.28/-/-/-/-/-/- 圃場D:0.32/-/-/-/-/-/- 圃場E:0.14/-/-/-/-/-/- 圃場F:0.07/-/-/-/-/-/- 圃場G:0.10/-/-/-/-/-/-	◎
甘長とうがらし (果実)	2	37.0% SC	4000倍 株元灌注 1 L/株 散布 200～288 L/10 a	4+4	1, 3, 7, 14	圃場A:1.32/-/-/-/-/-/- 圃場B:1.46/-/-/-/-/-/-	◎
ししとう (果実)	2	37.0% SC	4000倍 株元灌注 1 L/株 散布 141～240 L/10 a	4+4	1, 3, 7, 14	圃場A:1.42/-/-/-/-/-/- 圃場B:1.48/-/-/-/-/-/-	◎

インピルフルキサムの作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度 (mg/kg) 注1) 【インピルフルキサム/代謝物B/代謝物F/ 代謝物I/代謝物E/代謝物D/代謝物J】	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
きゅうり (果実)	6	37.0% SC	4000倍散布 192～211 L/10 a	4	1, 3, 7	圃場A:0.13/-/-/-/-/-/- 圃場B:0.10/-/-/-/-/-/- 圃場C:0.06/-/-/-/-/-/- 圃場D:0.03/-/-/-/-/-/- 圃場E:0.10/-/-/-/-/-/- 圃場F:0.18/-/-/-/-/-/-	◎
さやえんどう (さや)	2	37.0% SC	4000倍散布 161～244 L/10 a	4	1, 3, 7, 14, 21	圃場A:0.61/<0.01/<0.01/<0.01/0.02/-/- 圃場B:1.21/0.03/<0.01/<0.01/<0.01/-/-	◎
さやいんげん (さや)	3	37.0% SC	4000倍散布 160～181 L/10 a	4	1, 3, 7, 14, 21	圃場A:1.47/0.06/<0.01/<0.01/0.02/-/- 圃場B:0.32/0.02/<0.01/*0.02/*0.02/-/- (*4回, 3日) 圃場C:*0.84/0.02/<0.01/<0.01/*0.02/-/- (*4回, 3日)	◎
えだまめ (さや)	3	37.0% SC	4000倍散布 273～289 L/10 a	4	1, 3, 7, 14, 21, 28 1, 3, 7, 14, 21, 25	圃場A:1.82/0.09/<0.01/*0.22/*0.18/-/- (*4回, 14日) 圃場B:1.62/*0.05/<0.01/*0.12/*0.17/-/- (*4回, 3日、 **4回, 7日) 圃場C:0.96/0.04/<0.01/*0.07/*0.12/-/- (*4回, 3日、**4 回, 7日)	◎
	3		4000倍 株元散布 273～289 L/10 a	4	1, 3, 7, 14, 21, 28 1, 3, 7, 14, 21, 25	圃場A:*0.04/*<0.01/*<0.01/*0.02/*0.04/-/- (*4回, 1 日、**4回, 28日) (#) 圃場B:*0.51/*0.01/*<0.01/*0.03/*0.09/-/- (*4回, 1日、 **4回, 14日) (#) 圃場C:*<0.01/*<0.01/*<0.01/*<0.01/*<0.01/-/- (*4回, 1 日) (#)	
みかん (果肉)	6	37.0% SC	4000倍散布 500～667 L/10 a	3	1, 3, 7, 14, 21, 28, 35	圃場A:*0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/-/- (*3回, 7日) 圃場B:<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/-/- 圃場C:<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 圃場D:<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 圃場E:<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 圃場F:<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01	
みかん (果皮)	6	37.0% SC	4000倍散布 500～667 L/10 a	3	1, 3, 7, 14, 21, 28, 35	圃場A:5.40/*0.11/<0.01/*0.35/*0.01/-/- (*3回, 35 日、**3回, 21日、***3回, 28日) 圃場B:6.08/*0.10/<0.01/*0.28/<0.01/-/- (*3回, 21日、 **3回, 35日) 圃場C:*4.04/*0.18/<0.01/*0.17/*0.01/0.10/<0.01 (*3回, 3日、**3回, 35日、***3回, 28日) 圃場D:*3.72/*0.10/<0.01/*0.08/<0.01/*0.05/<0.01 (*3 回, 28日、**3回, 35日) 圃場E:4.46/*0.03/<0.01/*0.12/<0.01/0.06/<0.01 (*3 回, 21日、**3回, 28日) 圃場F:*5.36/*0.16/<0.01/*0.39/*0.01/*0.06/ <0.01 (*3回, 3日、**3回, 35日、***3回, 21日、 ****3回, 14日)	◎
みかん (果実)	6	37.0% SC	4000倍散布 500～667 L/10 a	3	1, 3, 7, 14, 21, 28, 35	圃場A:1.14/-/-/-/-/-/-注2) 圃場B:1.23/-/-/-/-/-/-注2) 圃場C:0.73/-/-/-/-/-/-注2) (3回, 28日) 圃場D:1.09/-/-/-/-/-/-注2) (3回, 28日) 圃場E:0.86/-/-/-/-/-/-注2) 圃場F:1.03/-/-/-/-/-/-注2) (3回, 3日)	◎
なつみかん (果実全体)	3	37.0% SC	4000倍散布 556～640 L/10 a	3	1, 3, 7, 14, 21, 28, 35	圃場A:0.80/*0.02/<0.01/*0.02/<0.01/-/- (*3回, 14日、 **3回, 28日) 圃場B:0.36/*0.01/<0.01/<0.01/<0.01/-/- (*3回, 7日) 圃場C:0.10/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/-/-	◎
すだち (果実)	1	37.0% SC	4000倍散布 525 L/10 a	3	1, 3, 7, 14, 21, 28, 35	圃場A:*2.65/*0.09/<0.01/<0.01/<0.01/-/- (*3回, 3日、 **3回, 35日)	◎
かぼす (果実)	1	37.0% SC	4000倍散布 640 L/10 a	3	1, 3, 7, 14, 21, 28, 35	圃場A:1.30/0.02/<0.01/<0.01/<0.01/-/-	
りんご (果実)	8	37.0% SC	4000倍散布 417～500 L/10 a	3	1, 3, 7, 14, 21	圃場A:*1.23/*0.03/<0.01/<0.01/<0.01/-/- (*3回, 3日、 **3回, 21日) 圃場B:1.42/*0.04/<0.01/<0.01/<0.01/-/- (*3回, 7日) 圃場C:*0.98/0.03/<0.01/<0.01/<0.01/-/- (*3回, 3日) 圃場D:0.72/*0.03/<0.01/<0.01/<0.01/-/- (*3回, 21日) 圃場E:*0.84/*0.12/<0.01/<0.01/<0.01/-/- (*3回, 7日、 **3回, 21日) 圃場F:0.78/*0.06/<0.01/<0.01/<0.01/-/- (*3回, 3日)	
					1, 3, 7	圃場G:*1.88/*0.03/<0.01/<0.01/<0.01/-/- (*3回, 3日、 **3回, 7日) 圃場H:0.52/*0.02/<0.01/<0.01/<0.01/-/- (*3回, 7日)	

インピルフルキサムの作物残留試験一覧表（国内）

農作物	試験 圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度 (mg/kg) 注1) 【インピルフルキサム/代謝物B/代謝物F/ 代謝物I/代謝物E/代謝物D/代謝物J】	設定 の根 拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
日本なし (果実)	6	37.0% SC	4000倍散布 400～500 L/10 a	3	1, 3, 7, 12, 21, 28, 33 1, 3, 7, 10, 21, 28, 32 1, 3, 7, 14, 21, 28, 35	圃場A:0.37/0.01/<0.01/*0.09/<0.01/-/- (*3回, 21日) 圃場B:0.57/*0.03/<0.01/*0.04/<0.01/-/- (*3回, 28日) 圃場C:0.62/0.02/<0.01/*0.06/<0.01/0.01/<0.01 (*3回, 28日) 圃場D:0.52/*0.03/<0.01/**0.03/<0.01/<0.01/<0.01 (*3回, 7日、**3回, 21日) 圃場E:*0.68/**0.04/<0.01/*0.05/<0.01/*0.01/<0.01 (*3回, 7日、**3回, 21日) 圃場F:0.96/*0.06/<0.01/*0.10/<0.01/0.01/<0.01 (*3回, 28日)	◎
もも (果肉)	3	37.0% SC	4000倍散布 320～400 L/10 a	3	1, 3, 7, 14, 21, 28, 35 1, 3, 7, 14, 21, 28, 34 1, 3, 7, 14, 21, 28, 35	圃場A:0.03/<0.01/<0.01/*0.02/<0.01/-/- (*3回, 14日) 圃場B:0.04/<0.01/<0.01/*0.02/<0.01/-/- (*3回, 14日) 圃場C:0.03/<0.01/<0.01/*0.01/<0.01/-/- (*3回, 21日)	
もも (果実)	3	37.0% SC	4000倍散布 320～400 L/10 a	3	1, 3, 7, 14, 21, 28, 35 1, 3, 7, 14, 21, 28, 34 1, 3, 7, 14, 21, 28, 35	圃場A:0.88/*0.02/<0.01/*0.03/<0.01/-/- 注3) (*3回, 14日) 圃場B:0.81/*0.03/<0.01/**0.03/**0.01/-/- 注3) (*3回, 21日、**3回, 14日、***3回, 7日) 圃場C:0.49/<0.01/<0.01/*0.04/<0.01/-/- 注3) (*3回, 21日)	◎
すもも (果実)	2	37.0% SC	4000倍散布 444～500 L/10 a	3	1, 3, 7, 10 1, 3, 7, 14	圃場A:0.08/-/-/-/-/-/- 圃場B:0.07/-/-/-/-/-/-/-	◎
うめ (果実)	3	37.0% SC	4000倍散布 333～400 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A:0.87/-/-/-/-/-/- 圃場B:1.48/-/-/-/-/-/- 圃場C:1.30/-/-/-/-/-/-	◎
おうとう (果実)	2	37.0% SC	4000倍散布 444～487 L/10 a	3	1, 3, 7, 10	圃場A:0.73/-/-/-/-/-/- 圃場B:*1.16/-/-/-/-/-/- (*3回, 3日)	◎
いちご (果実)	3	37.0% SC	4000倍散布 179～180 L/10 a	4	1, 3, 7, 14	圃場A:0.97/-/-/-/-/-/- 圃場B:*0.47/-/-/-/-/-/- (*4回, 3日) 圃場C:0.72/-/-/-/-/-/-	◎
ぶどう (果実)	3	37.0% SC	4000倍散布 320～357 L/10 a	3	1, 3, 7, 14, 21, 28, 35 1, 3, 7, 14, 21, 28, 31	圃場A:*1.96/**0.03/<0.01/**0.13/<0.01/-/- (*3回, 7日、**3回, 21日、***3回, 35日) 圃場B:*0.70/<0.01/<0.01/*0.12/<0.01/-/- (*3回, 3日、**3回, 28日) 圃場C:*1.29/<0.01/<0.01/*0.08/<0.01/-/- (*3回, 3日、**3回, 31日)	◎
かき (果実)	6	37.0% SC	4000倍散布 416～480 L/10 a	3	1, 3, 7, 14, 21, 28, 35	圃場A:0.13/<0.01/<0.01/*0.03/<0.01/-/- (*3回, 14日) 圃場B:0.34/*0.01/<0.01/*0.18/<0.01/-/- (*3回, 14日、**3回, 28日) 圃場C:0.32/0.01/<0.01/*0.13/<0.01/<0.01/<0.01 (*3回, 28日) 圃場D:*0.28/<0.01/<0.01/*0.08/<0.01/<0.01/<0.01 (*3回, 3日、**3回, 21日) 圃場E:0.36/*0.01/<0.01/*0.20/*0.01/<0.01/<0.01 (*3回, 28日、**3回, 35日) 圃場F:0.22/*0.01/<0.01/*0.15/*0.02/<0.01/<0.01 (*3回, 35日、**3回, 28日)	◎
いちじく (果実)	2	37.0% SC	4000倍散布 303～343 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A:0.58/-/-/-/-/-/- 圃場B:0.20/-/-/-/-/-/-	◎

SC：フロアブル

GR：粒剤

-：分析せず（ただし、みかん（果実）については「算出せず」を示す）

(H)印で示した作物残留試験成績は、登録又は申請された適用の範囲内で行われていないことを示す。また、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。

今回、新たに提出された作物残留試験成績を網掛けで示した。

基準値の設定根拠及び暴露評価にも使用されているものに◎で示した。

注1) 当該農薬の登録又は申請された適用の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留濃度の最大値を示した。

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留濃度が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留濃度が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について（ ）内に記載した。

代謝物D及び代謝物Eはいずれも抱合体を含む残留濃度を示す。

代謝物Iは代謝物Ia（抱合体を含む。）と代謝物Ib（抱合体を含む。）の含量を示す。

代謝物Jは代謝物Ja（抱合体を含む。）と代謝物Jb（抱合体を含む。）の含量を示す。

注2) 果肉及び果皮の重量比から計算した。

注3) 種子を除いた果実の残留濃度が測定されているため、種子を含む果実の残留濃度に補正した。種子の残留濃度は測定していないことから、残留していないものとして算出した。

食品名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	国/地域 基準値 ppm	
米(玄米をいう。)	0.01	0.01	○	0.01		<0.01(n=6)
小麦	0.6	0.6	○			0.03~0.30(n=6)
大麦	3	3	○			0.88,1.03,1.14
ライ麦	3	3	○			(大麦参照)
とうもろこし	0.01			0.01		
その他の穀類	3	3	○			(大麦参照)
大豆	0.3	0.3	○	0.01		<0.01~0.15(n=6)
小豆類	0.2	0.2	○			<0.01,0.04(¥)(いんげんまめ)
えんどう	0.3	0.3	○			(だいず参照)
そら豆	0.3	0.3	○			(だいず参照)
らっかせい	0.01			0.01		
その他の豆類	0.3	0.3	○			(だいず参照)
ばれいしょ	0.05	0.05	○			<0.01~0.03(n=6)
やまいも(長いもをいう。)	0.01		申			<0.01,<0.01,<0.01
てんさい	0.07	0.07	○	0.01		0.02,0.02,0.03
はくさい	1	1	○			0.13~0.50(n=5)(はくさい)、 0.04~0.69(n=6)(キャベツ)
キャベツ	1	1	○			(はくさい参照)
芽キャベツ	1	1	○			(はくさい参照)
ブロッコリー	5	5	○			0.56,1.02,2.25
その他のあぶらな科野菜	1	1	○			(はくさい参照)
チコリ	30	30	○			(レタス(サラダ菜及びちしゃを含む。))参照)
エンダイブ	30	30	○			(レタス(サラダ菜及びちしゃを含む。))参照)
レタス(サラダ菜及びちしゃを含む。)	30	30	○			3.94,11.2(サラダ菜)、 6.85,9.12(リーフレタス)
その他のきく科野菜	30	30	○			(レタス(サラダ菜及びちしゃを含む。))参照)
たまねぎ	0.09	0.09	○			<0.01~0.05(n=6)
ねぎ(リーキを含む。)	2	2	○			0.22~1.16(n=6)
にんにく	0.05		申			<0.01,<0.01(¥)
にんじん	0.2	0.2	○			0.04~0.10(n=6)
トマト	1	1	○			0.23,0.29(トマト)、 0.18~0.58(n=6)(ミニトマト)
ピーマン	1		申			0.45,0.46,0.49
なす	0.6		申			0.07~0.32(n=7)
その他のなす科野菜	5		申			1.32,1.46(甘長とうがらし)、 1.42,1.48(ししとう)
きゅうり(ガーキンを含む。)	0.4	0.4	○			0.03~0.18(n=6)
未成熟えんどう	3	3	○			0.61,1.21(¥)(さやえんどう)
未成熟いんげん	4	4	○			0.32,0.84,1.47(さやいんげん)
えだまめ	5	5	○			0.96,1.62,1.82
その他の野菜	5	5	○			(えだまめ参照)
みかん(外果皮を含む。)	3	3	○			0.73~1.23(n=6)
なつみかんの果実全体	2	2	○			0.10,0.36,0.80
レモン	5	5	○			1.30(かぼす)、2.65(¥)(すだち)
オレンジ(ネーブルオレンジを含む。)	3	5	○			(みかん(外果皮を含む。))参照)
グレープフルーツ	2	5	○			(なつみかんの果実全体参照)
ライム	5	5	○			(レモン参照)
その他のかんきつ類果実	5	5	○			(レモン参照)

食品名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	国/地域 基準値 ppm	
りんご	4	4	○	4		
日本なし	2	2	○			0.37～0.96(n=6)
西洋なし	2	2	○			(日本なし参照)
もも(果皮及び種子を含む。)	3	3	○			0.49,0.81,0.88
ネクタリン	3	3	○			(もも参照)
あんず(アブリコットを含む。)	4	4	○			(うめ参照)
すもも(プルーンを含む。)	0.3	0.3	○			0.07,0.08(¥)
うめ	4	4	○			0.87,1.30,1.48
おうとう(チェリーを含む。)	3	3	○			0.73,1.16(¥)
いちご	3	3	○			0.47,0.72,0.97
ぶどう	4	4	○			0.70,1.29,1.96
かき	0.9	0.9	○			0.13～0.36(n=6)
その他の果実	2		申			0.20,0.58(¥)(いちじく)
その他のスパイス	15	15	○			3.72～6.08(n=6)(みかんの果皮)
牛の筋肉	0.02			0.02		
豚の筋肉	0.02			0.02		
その他の陸棲哺乳類に属する動物の筋肉	0.02			0.02		
牛の脂肪	0.02			0.02		
豚の脂肪	0.02			0.02		
その他の陸棲哺乳類に属する動物の脂肪	0.02			0.02		
牛の肝臓	0.02			0.02		
豚の肝臓	0.02			0.02		
その他の陸棲哺乳類に属する動物の肝臓	0.02			0.02		
牛の腎臓	0.02			0.02		
豚の腎臓	0.02			0.02		
その他の陸棲哺乳類に属する動物の腎臓	0.02			0.02		
牛の食用部分	0.02			0.02		
豚の食用部分	0.02			0.02		
その他の陸棲哺乳類に属する動物の食用部分	0.02			0.02		
乳	0.02			0.02		
鶏の筋肉	0.02			0.02		
その他の家きんの筋肉	0.02			0.02		
鶏の脂肪	0.02			0.02		
その他の家きんの脂肪	0.02			0.02		
鶏の肝臓	0.02			0.02		
その他の家きんの肝臓	0.02			0.02		
鶏の腎臓	0.02			0.02		
その他の家きんの腎臓	0.02			0.02		
鶏の食用部分	0.02			0.02		
その他の家きんの食用部分	0.02			0.02		
鶏の卵	0.02			0.02		
その他の家きんの卵	0.02			0.02		

食品名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	国/地域 基準値 ppm	
魚介類	0.02	0.02				推:0.019
はちみつ	0.05					※

太枠:本基準(暫定基準以外の基準)を見直した基準値
○:既に、国内において登録等がされているもの
申:農薬の登録申請等に伴い基準値設定依頼がなされたもの
(¥):基準値設定の根拠とした作物残留試験成績(最大値)
推:推定される残留濃度
※「食品中の農薬の残留基準設定の基本原則について」(令和6年6月25日農薬・動物用医薬品部会)の別添3「はちみつ中の農薬等の基準設定の方法について」に基づき設定。

インピルフルキサムの推定摂取量 (単位: $\mu\text{g}/\text{人}/\text{day}$)

食品名	基準値案 (ppm)	暴露評価に 用いた数値 (ppm)	国民全体 (1歳以上) EDI	幼小児 (1～6歳) EDI	妊婦 EDI	高齢者 (65歳以上) EDI
米 (玄米をいう。)	0.01	0.01	1.6	0.9	1.1	1.8
小麦	0.6	0.175	10.5	7.8	12.1	8.7
大麦	3	1.03	5.5	4.5	9.1	4.5
ライ麦	3	1.03	0.1	0.1	0.5	0.1
とうもろこし	0.01	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0
その他の穀類	3	1.03	0.2	0.1	0.1	0.3
大豆	0.3	0.02	0.8	0.4	0.6	0.9
小豆類	0.2	0.025	0.1	0.0	0.0	0.1
えんどう	0.3	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0
そら豆	0.3	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0
らっかせい	0.01	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
その他の豆類	0.3	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0
ばれいしょ	0.05	0.01	0.4	0.3	0.4	0.4
やまいも (長いもをいう。)	0.01	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
てんさい	0.07	0.02	0.7	0.6	0.8	0.7
はくさい	1	0.21	3.7	1.1	3.5	4.5
キャベツ	1	0.21	5.1	2.4	4.0	5.0
芽キャベツ	1	0.21	0.0	0.0	0.0	0.0
ブロッコリー	5	1.02	5.3	3.4	5.6	5.8
その他のあぶらな科野菜	1	0.21	0.7	0.1	0.2	1.0
チコリ	30	7.985	0.8	0.8	0.8	0.8
エンダイブ	30	7.985	0.8	0.8	0.8	0.8
レタス (サラダ菜及びちしゃを含む。)	30	7.985	76.7	35.1	91.0	73.5
その他のきく科野菜	30	7.985	12.0	0.8	4.8	20.8
たまねぎ	0.09	0.01	0.3	0.2	0.4	0.3
ねぎ (リーキを含む。)	2	0.56	5.3	2.1	3.8	6.0
にんにく	0.05	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
にんじん	0.2	0.06	1.1	0.8	1.4	1.1
トマト	1	0.275	8.8	5.2	8.8	10.1
ピーマン	1	0.46	2.2	1.0	3.5	2.3
なす	0.6	0.17	2.0	0.4	1.7	2.9
その他のなす科野菜	5	1.44	1.6	0.1	1.7	1.7
きゅうり (ガーキンを含む。)	0.4	0.1	2.1	1.0	1.4	2.6
未成熟えんどう	3	0.91	1.5	0.5	0.2	2.2
未成熟いんげん	4	0.84	2.0	0.9	0.1	2.7
えだまめ	5	1.62	2.8	1.6	1.0	4.4
その他の野菜	5	1.62	21.7	10.2	16.4	22.8
みかん (外果皮を含む。)	3	1.06	18.9	17.4	0.6	27.8
なつみかんの果実全体	2	0.36	0.5	0.3	1.7	0.8
レモン	5	1.975	1.0	0.2	0.4	1.2
オレンジ (ネーブルオレンジを含む。)	3	1.06	7.4	15.5	13.3	4.5
グレープフルーツ	2	0.36	1.5	0.8	3.2	1.3
ライム	5	1.975	0.2	0.2	0.2	0.2
その他のかんきつ類果実	5	1.975	11.7	5.3	4.9	18.8
りんご	4	0.91	22.0	28.1	17.1	29.5
日本なし	2	0.595	3.8	2.0	5.4	4.6
西洋なし	2	0.595	0.4	0.1	0.1	0.3
もも (果皮及び種子を含む。)	3	0.81	2.8	3.0	4.3	3.6
ネクタリン	3	0.81	0.1	0.1	0.1	0.1
あんず (アブリコットを含む。)	4	1.3	0.3	0.1	0.1	0.5
すもも (ブルーンを含む。)	0.3	0.075	0.1	0.1	0.0	0.1
うめ	4	1.3	1.8	0.4	0.8	2.3
おうとう (チェリーを含む。)	3	0.945	0.4	0.7	0.1	0.3
いちご	3	0.72	3.9	5.6	3.7	4.2
ぶどう	4	1.29	11.2	10.6	26.1	11.6
かき	0.9	0.3	3.0	0.5	1.2	5.5

インピルフルキサムの推定摂取量 (単位: $\mu\text{g}/\text{人}/\text{day}$)

食品名	基準値案 (ppm)	暴露評価に 用いた数値 (ppm)	国民全体 (1歳以上) EDI	幼小児 (1～6歳) EDI	妊婦 EDI	高齢者 (65歳以上) EDI
その他の果実	2	0.39	0.5	0.2	0.4	0.7
その他のスパイス	15	4.91	0.5	0.5	0.5	1.0
陸棲哺乳類の肉類	0.02	筋肉 0.0 脂肪 0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
陸棲哺乳類の食用部分 (肉類除く)	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
陸棲哺乳類の乳類	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
家さんの肉類	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
家さんの卵類	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
魚介類	0.02	0.00589	0.5	0.2	0.3	0.7
はちみつ	0.05	● 0.05	0.0	0.0	0.1	0.1
計			268.5	175.1	260.2	308.2
ADI比 (%)			8.1	17.7	7.4	9.2

EDI: 推定一日摂取量 (Estimated Daily Intake)

EDI試算法: 作物残留試験成績の中央値 (STMR) 等×各食品の平均摂取量

●: 個別の作物残留試験がないことから、暴露評価を行うにあたり基準値 (案) の数値を用いた。

国際基準を参照したものについては、JMPRの評価に用いられた残留試験データを用いてEDI試算をした。

「魚介類」については、摂取する魚介類を内水面 (湖や河川) 魚介類、海産魚介類及び遠洋魚介類に分け、それぞれ海産魚介類での推定残留濃度を内水面魚介類の1/5、遠洋魚介類での推定残留濃度を0として算出した係数 (0.31) を推定残留濃度に乘じた値を用いてEDI試算した。

「陸棲哺乳類の肉類」については、EDI試算では、畜産物中の平均的な残留農薬濃度を用い、摂取量の筋肉及び脂肪の比率をそれぞれ80%、20%として試算した。

インピルフルキサムの推定摂取量（短期）：国民全体(1歳以上)

食品名 (基準値設定対象)	食品名 (ESTI推定対象)	基準値案 (ppm)	評価に用いた 数値 (ppm)	ESTI (μ g/kg 体重/day)	ESTI/ARFD (%)
米（玄米）	米	0.01	○ 0.01	0.1	0
小麦	小麦	0.6	○ 0.175	0.2	0
大麦	大麦	3	○ 1.03	0.9	0
	麦茶	3	○ 1.03	0.8	0
とうもろこし	スイートコーン	0.01	○ 0	0.0	0
大豆	大豆	0.3	○ 0.02	0.0	0
小豆類	いんげん	0.2	○ 0.025	0.0	0
らっかせい	らっかせい	0.01	○ 0.01	0.0	0
ばれいしょ	ばれいしょ	0.05	○ 0.03	0.3	0
やまいも（長いもをいう。）	やまいも	0.01	0.01	0.1	0
はくさい	はくさい	1	○ 0.69	8.9	3
キャベツ	キャベツ	1	○ 0.69	6.6	2
ブロッコリー	ブロッコリー	5	5	30.0	10
その他のあぶらな科野菜	たかな	1	○ 0.69	5.4	2
	菜花	1	○ 0.69	1.9	1
レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）	レタス類	30	○ 11.2	63.2	20
たまねぎ	たまねぎ	0.09	○ 0.05	0.4	0
ねぎ（リーキを含む。）	ねぎ	2	○ 1.16	4.4	1
にんにく	にんにく	0.05	0.05	0.0	0
にんじん	にんじん	0.2	○ 0.10	0.4	0
	にんじんジュース	0.2	○ 0.06	0.4	0
トマト	トマト	1	○ 0.58	6.3	2
ピーマン	ピーマン	1	1	2.6	1
なす	なす	0.6	○ 0.32	2.1	1
その他のなす科野菜	とうがらし（生）	5	○ 1.48	2.4	1
	ししとう	5	○ 1.48	1.5	1
きゅうり（ガーキンを含む。）	きゅうり	0.4	○ 0.18	1.1	0
未成熟えんどう	未成熟えんどう（さや）	3	3	4.9	2
	未成熟えんどう（豆）	3	3	5.1	2
未成熟いんげん	未成熟いんげん	4	4	7.8	3
えだまめ	えだまめ	5	5	12.7	4
その他の野菜	ずいき	5	5	50.6	20
	もやし	5	5	11.5	4
	れんこん	5	5	31.1	10
	そら豆（生）	5	5	14.7	5
みかん（外果皮を含む。）	みかん	3	○ 1.23	11.5	4
なつみかんの果実全体	なつみかん	2	2	24.9	8
レモン	レモン	5	5	10.5	4
オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）	オレンジ	3	○ 1.23	11.6	4
	オレンジ果汁	3	○ 1.06	10.5	4
グレープフルーツ	グレープフルーツ	2	2	34.4	10
その他のかんきつ類果実	きんかん	5	5	12.0	4
	ぼんかん	5	5	52.6	20
	ゆず	5	5	7.9	3
	すだち	5	5	7.9	3
りんご	りんご	4	○ 1.88	26.9	9
	りんご果汁	4	○ 0.91	9.6	3
日本なし	日本なし	2	○ 0.96	14.5	5
西洋なし	西洋なし	2	○ 0.96	13.5	5
もも（果皮及び種子を含む。）	もも	3	3	40.7	10
すもも（ブルーンを含む。）	ブルーン	0.3	0.3	1.8	1
うめ	うめ	4	4	5.5	2
おうとう（チェリーを含む。）	おうとう	3	3	7.5	3
いちご	いちご	3	3	11.4	4
ぶどう	ぶどう	4	4	53.9	20
かき	かき	0.9	○ 0.36	5.1	2
その他の果実	いちじく	2	2	15.3	5

インピルフルキサムの推定摂取量（短期）：国民全体(1歳以上)

食品名 (基準値設定対象)	食品名 (ESTI推定対象)	基準値案 (ppm)	評価に用いた 数値 (ppm)	ESTI (μ g/kg 体重/day)	ESTI/ARFD (%)
はちみつ	はちみつ	0.05	0.05	0.0	0

ESTI：短期推定摂取量 (Estimated Short-Term Intake)

ESTI/ARFD(%)の値は、有効数字1桁（値が100を超える場合は有効数字2桁）とし四捨五入して算出した。

○：作物残留試験における最高残留濃度（HR）又は中央値（STMR）を用いて短期摂取量を推計した。

○を付していない食品については、基準値案の値又は暴露評価対象物質の残留濃度から推定される基準値に相当する値を使用した。

国際基準を参照したものについては、JMPRの評価に用いられた残留試験データを用いてESTI試算をした。

インピルフルキサムの推定摂取量（短期）：幼小児(1～6歳)

食品名 (基準値設定対象)	食品名 (ESTI推定対象)	基準値案 (ppm)	評価に用いた 数値 (ppm)	ESTI (μ g/kg 体重/day)	ESTI/ARFD (%)
米（玄米）	米	0.01	○ 0.01	0.1	0
小麦	小麦	0.6	○ 0.175	0.5	0
大麦	大麦	3	○ 1.03	0.7	0
	麦茶	3	○ 1.03	1.8	1
とうもろこし	スイートコーン	0.01	○ 0	0.0	0
大豆	大豆	0.3	○ 0.02	0.0	0
らっかせい	らっかせい	0.01	○ 0.01	0.0	0
ばれいしょ	ばれいしょ	0.05	○ 0.03	0.7	0
やまいも（長いものをいう。）	やまいも	0.01	0.01	0.1	0
はくさい	はくさい	1	○ 0.69	10.8	4
キャベツ	キャベツ	1	○ 0.69	10.8	4
ブロッコリー	ブロッコリー	5	5	72.0	20
レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）	レタス類	30	○ 11.2	110.0	40
たまねぎ	たまねぎ	0.09	○ 0.05	0.9	0
ねぎ（リーキを含む。）	ねぎ	2	○ 1.16	7.5	3
にんにく	にんにく	0.05	0.05	0.0	0
にんじん	にんじん	0.2	○ 0.1	1.0	0
トマト	トマト	1	○ 0.58	15.8	5
ピーマン	ピーマン	1	1	6.5	2
なす	なす	0.6	○ 0.32	5.0	2
きゅうり（ガーキンを含む。）	きゅうり	0.4	○ 0.18	2.6	1
未成熟えんどう	未成熟えんどう（さや）	3	3	3.7	1
	未成熟えんどう（豆）	3	3	5.4	2
未成熟いんげん	未成熟いんげん	4	4	16.1	5
えだまめ	えだまめ	5	5	14.0	5
その他の野菜	もやし	5	5	21.0	7
	れんこん	5	5	51.4	20
みかん（外果皮を含む。）	みかん	3	○ 1.23	33.7	10
オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）	オレンジ	3	○ 1.23	33.1	10
	オレンジ果汁	3	○ 1.06	18.9	6
りんご	りんご	4	○ 1.88	60.3	20
	りんご果汁	4	○ 0.91	30.7	10
日本なし	日本なし	2	○ 0.96	27.6	9
もも（果皮及び種子を含む。）	もも	3	3	127.3	40
うめ	うめ	4	4	13.7	5
いちご	いちご	3	3	32.4	10
ぶどう	ぶどう	4	4	122.5	40
かき	かき	0.9	○ 0.36	7.5	3
はちみつ	はちみつ	0.05	0.05	0.1	0

ESTI：短期推定摂取量（Estimated Short-Term Intake）

ESTI/ARFD(%)の値は、有効数字1桁（値が100を超える場合は有効数字2桁）とし四捨五入して算出した。

○：作物残留試験における最高残留濃度（HR）又は中央値（STMR）を用いて短期摂取量を推計した。

○を付していない食品については、基準値案の値又は暴露評価対象物質の残留濃度から推定される基準値に相当する値を使用した。

国際基準を参照したものについては、JMPRの評価に用いられた残留試験データを用いてESTI試算をした。

(参考)

これまでの経緯

平成30年	3月28日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（新規：稲、ばれいしょ等）
平成30年	6月21日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成30年10月	7日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成30年12月26日		薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
令和元年	9月20日	残留農薬基準告示
令和4年	7月1日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：ばれいしょ、はくさい等）
令和4年10月19日		厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
令和4年12月14日		食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
令和5年	3月7日	薬事・食品衛生審議会へ諮問
令和5年	3月31日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
令和5年11月	7日	残留農薬基準告示
令和5年10月20日		農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：やまいも（長いもをいう。）、にんにく等）
令和6年	9月19日	食品衛生基準審議会へ諮問
令和6年	9月25日	食品衛生基準審議会農薬・動物用医薬品部会

● 食品衛生基準審議会農薬・動物用医薬品部会

[委員]

◎ 穂山	浩	星薬科大学薬学部教授
大山	和俊	一般財団法人残留農薬研究所業務執行理事・化学部長
○ 折戸	謙介	学校法人麻布獣医学園理事（兼）麻布大学獣医学部教授
加藤	くみ子	北里大学薬学部教授
神田	真軌	東京都健康安全研究センター食品化学部副参事研究員
近藤	麻子	日本生活協同組合連合会組織推進本部長
佐藤	洋	岩手大学農学部教授
佐野	元彦	東京海洋大学学術研究院海洋生物資源学部門教授
須恵	雅之	東京農業大学応用生物科学部教授
瀧本	秀美	国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所理事
田口	貴章	国立医薬品食品衛生研究所食品部第一室長
堤	智昭	国立医薬品食品衛生研究所食品部長
中島	美紀	金沢大学ナノ生命科学研究所教授
野田	隆志	一般社団法人日本植物防疫協会技術顧問

(◎：部会長、○：部会長代理)

答申（案）

インピルフルキサムについては、以下のとおり食品中の農薬の残留基準を設定することが適当である。

インピルフルキサム

今回残留基準を設定する「インピルフルキサム」の規制対象は、農産物、魚介類及びはちみつにあってはインピルフルキサムのみとし、畜産物にあってはインピルフルキサム及び代謝物I【*N*-[(1*RS*, 3*RS*; 1*RS*, 3*SR*)-2, 3-ジヒドロ-1, 3-ジメチル-1-(ヒドロキシメチル)-1*H*-インデン-4-イル]-1-メチル-3-(ジフルオロメチル)-1*H*-ピラゾール-4-カルボキサミド】（抱合体を含む。）とする。ただし、代謝物Iはインピルフルキサムの濃度に換算するものとする。

食品名	残留基準値 ppm
米（玄米をいう。）	0.01
小麦	0.6
大麦	3
ライ麦	3
とうもろこし	0.01
その他の穀類 ^{注1)}	3
大豆	0.3
小豆類 ^{注2)}	0.2
えんどう	0.3
そら豆	0.3
らっかせい	0.01
その他の豆類 ^{注3)}	0.3
ばれいしょ	0.05
やまいも（長いものをいう。）	0.01
てんさい	0.07
はくさい	1
キャベツ	1
芽キャベツ	1
ブロッコリー	5
その他のあぶらな科野菜 ^{注4)}	1
チコリ	30
エンダイブ	30
レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）	30
その他のきく科野菜 ^{注5)}	30
たまねぎ	0.09
ねぎ（リーキを含む。）	2
にんにく	0.05

食品名	残留基準値 ppm
にんじん	0.2
トマト	1
ピーマン	1
なす	0.6
その他のなす科野菜 ^{注6)}	5
きゅうり（ガーキンを含む。）	0.4
未成熟えんどう	3
未成熟いんげん	4
えだまめ	5
その他の野菜 ^{注7)}	5
みかん（外果皮を含む。）	3
なつみかんの果実全体	2
レモン	5
オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）	3
グレープフルーツ	2
ライム	5
その他のかんきつ類果実 ^{注8)}	5
りんご	4
日本なし	2
西洋なし	2
もも（果皮及び種子を含む。）	3
ネクタリン	3
あんず（アプリコットを含む。）	4
すもも（プルーンを含む。）	0.3
うめ	4
おうとう（チェリーを含む。）	3
いちご	3
ぶどう	4
かき	0.9
その他の果実 ^{注9)}	2
その他のスパイス ^{注10)}	15

食品名	残留基準値 ppm
牛の筋肉	0.02
豚の筋肉	0.02
その他の陸棲哺乳類に属する動物 ^{注11)} の筋肉	0.02
牛の脂肪	0.02
豚の脂肪	0.02
その他の陸棲哺乳類に属する動物の脂肪	0.02
牛の肝臓	0.02
豚の肝臓	0.02
その他の陸棲哺乳類に属する動物の肝臓	0.02
牛の腎臓	0.02
豚の腎臓	0.02
その他の陸棲哺乳類に属する動物の腎臓	0.02
牛の食用部分 ^{注12)}	0.02
豚の食用部分	0.02
その他の陸棲哺乳類に属する動物の食用部分	0.02
乳	0.02
鶏の筋肉	0.02
その他の家きん ^{注13)} の筋肉	0.02
鶏の脂肪	0.02
その他の家きんの脂肪	0.02
鶏の肝臓	0.02
その他の家きんの肝臓	0.02
鶏の腎臓	0.02
その他の家きんの腎臓	0.02
鶏の食用部分	0.02
その他の家きんの食用部分	0.02
鶏の卵	0.02
その他の家きんの卵	0.02
魚介類	0.02
はちみつ	0.05

注1) 「その他の穀類」とは、穀類のうち、米（玄米をいう。）、小麦、大麦、ライ麦、とうもろこし及びそば以外のものをいう。

注2) 「小豆類」には、いんげん、ささげ、サルタニ豆、サルタピア豆、バター豆、ペギア豆、ホワイト豆、ライマ豆及びレンズ豆を含む。

注3) 「その他の豆類」とは、豆類のうち、大豆、小豆類、えんどう、そら豆、らっかせい及びスパイス以外のものをいう。

注4) 「その他のあぶらな科野菜」とは、あぶらな科野菜のうち、だいこん類（ラディッシュを含む。）の根、だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉、かぶ類の根、かぶ類の葉、西洋わさび、クレソン、はくさい、キャベツ、芽キャベツ、ケール、こまつな、きょうな、チンゲンサイ、カリフラワー、ブロッコリー及びハーブ以外のものをいう。

注5) 「その他のきく科野菜」とは、きく科野菜のうち、ごぼう、サルシフィー、アーティチョーク、チコリ、エンダイブ、しゅんぎく、レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）及びハーブ以外のものをいう。

注6) 「その他のなす科野菜」とは、なす科野菜のうち、トマト、ピーマン及びなす以外のものをいう。

注7) 「その他の野菜」とは、野菜のうち、いも類、てんさい、さとうきび、あぶらな科野菜、きく科野菜、ゆり科野菜、せり科野菜、なす科野菜、うり科野菜、ほうれんそう、たけのこ、オクラ、しょうが、未成熟えんどう、未成熟いんげん、えだまめ、きのこ類、スパイス及びハーブ以外のものをいう。

注8) 「その他のかんきつ類果実」とは、かんきつ類果実のうち、みかん、なつみかん、なつみかんの外果皮、なつみかんの果実全体、レモン、オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）、グレープフルーツ、ライム及びスパイス以外のものをいう。

注9) 「その他の果実」とは、果実のうち、かんきつ類果実、りんご、日本なし、西洋なし、マルメロ、びわ、もも、ネクタリン、あんず（アプリコットを含む。）、すもも（プルーンを含む。）、うめ、おうとう（チェリーを含む。）、ベリー類果実、ぶどう、かき、バナナ、キウイ、パパイア、アボカド、パイナップル、グアバ、マンゴー、パッションフルーツ、なつめやし及びスパイス以外のものをいう。

注10) 「その他のスパイス」とは、スパイスのうち、西洋わさび、わさびの根茎、にんにく、とうがらし、パプリカ、しょうが、レモンの果皮、オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）の果皮、ゆずの果皮及びごまの種子以外のものをいう。

注11) 「その他の陸棲哺乳類に属する動物」とは、陸棲哺乳類に属する動物のうち、牛及び豚以外のものをいう。

注12) 「食用部分」とは、食用に供される部分のうち、筋肉、脂肪、肝臓及び腎臓以外の部分をいう。

注13) 「その他の家きん」とは、家きんのうち、鶏以外のものをいう。

スピロテトラマト

今般の残留基準の検討については、農薬取締法（昭和23年法律第82号）に基づく適用拡大申請に伴う基準値設定依頼が農林水産省からなされたことに伴い、食品安全委員会において厚生労働大臣からの依頼に伴う食品健康影響評価がなされたことを踏まえ、農薬・動物用医薬品部会において審議を行い、以下の報告を取りまとめるものである。

1. 概要

(1) 品目名：スピロテトラマト [Spirotetramat (ISO)]

(2) 分類：農薬

(3) 用途：殺虫剤

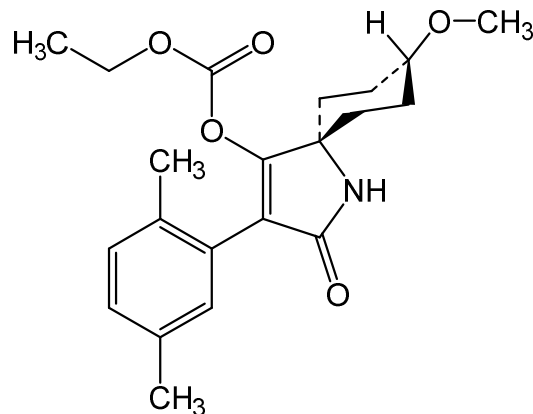
環状ケトエノール構造を有する殺虫剤である。昆虫のアセチルCoAカルボキシラーゼ阻害を介して脂質合成を抑制することにより、殺虫効果を示すと考えられている。

(4) 化学名及びCAS番号

(5*S*, 8*S*)-3-(2, 5-Dimethylphenyl)-8-methoxy-2-oxo-1-azaspiro[4.5]dec-3-en-4-yl ethyl carbonate (IUPAC)

Carbonic acid, *cis*-3-(2, 5-dimethylphenyl)-8-methoxy-2-oxo-1-azaspiro[4.5]dec-3-en-4-yl ethyl ester (CAS : No. 203313-25-1)

(5) 構造式及び物性



分子式	$C_{21}H_{27}NO_5$
分子量	373.44
水溶解度	2.99×10^{-2} g/L (20°C、pH 7)
分配係数	$\log_{10}P_{ow} = 2.51$ (pH 4及び7)

2. 適用の範囲及び使用方法

本剤の適用の範囲及び使用方法は以下のとおり。

(1) 国内での使用方法

今般の基準値設定依頼に当たって、農薬取締法に基づく適用拡大申請がなされている項目を四角囲いしている。

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数	使用時期	散布液量 (目安)	使用 回数	スピロテ トラマト 含む農薬 の総使用 回数
ばれいしょ	22.4% SC	散布	4000倍	収穫7日 前まで	100～300 L/10 a	3回 以内	3回 以内
		無人航空機による 散布	400倍	収穫7日 前まで	16～20 L/10 a	3回 以内	
			320倍		12～16 L/10 a		
			250倍		10～12 L/10 a		
			200倍		8～10 L/10 a		
			160倍		5～8 L/10 a		
			100倍		3～5 L/10 a		
			64倍		1.6～3 L/10 a		
さといも	22.4% SC	散布	2000倍	収穫7日 前まで	100～300 L/10 a	3回 以内	3回 以内
てんさい	22.4% SC	散布	2000～4000倍	収穫14日 前まで	100～300 L/10 a	3回 以内	3回 以内
		無人航空機による 散布	40倍	収穫14日 前まで	3.6～5.3 L/10 a	3回 以内	
			20倍		1.6～2.6 L/10 a		
			16倍		1.6～2.1 L/10 a		

SC：フロアブル

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数	使用時期	散布液量 (目安)	使用 回数	スピロラ トラマト 含む農薬 の総使用 回数
だいこん	22.4% SC	散布	2000～4000倍	収穫7日 前まで	100～300 L/10 a	3回 以内	3回 以内
			2000倍				
はくさい	22.4% SC	散布	4000倍	収穫7日 前まで	100～300 L/10 a	3回 以内	3回 以内
キャベツ	22.4% SC	散布	2000～4000倍	収穫7日 前まで	100～300 L/10 a	3回 以内	3回 以内
			2000倍				
		無人航空機による 散布	320倍	収穫7日 前まで	17～20 L/10 a	3回 以内	
			250倍		14～17 L/10 a		
			200倍		11～14 L/10 a		
			160倍		8.5～11 L/10 a		
			125倍		7～8.5 L/10 a		
			100倍		5.5～7 L/10 a		
			80倍		4.5～5.5 L/10 a		
			64倍		3.5～4.5 L/10 a		
			50倍		2.8～3.5 L/10 a		
			40倍		2～2.8 L/10 a		
			32倍		1.7～2 L/10 a		
			24倍		1.6～1.7 L/10 a		

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数	使用時期	散布液量 (目安)	使用 回数	スピロテ トラマト 含む農薬 の総使用 回数
ブロッコリー	22.4% SC	散布	2000～4000倍	収穫7日 前まで	100～300 L/10 a	3回 以内	3回 以内
			2000倍				
		無人航空機による 散布	320倍	収穫7日 前まで	17～20 L/10 a	3回 以内	
			250倍		14～17 L/10 a		
			200倍		11～14 L/10 a		
			160倍		8.5～11 L/10 a		
			125倍		7～8.5 L/10 a		
			100倍		5.5～7 L/10 a		
			80倍		4.5～5.5 L/10 a		
			64倍		3.5～4.5 L/10 a		
			50倍		2.8～3.5 L/10 a		
			40倍		2～2.8 L/10 a		
			32倍		1.7～2 L/10 a		
			24倍		1.6～1.7 L/10 a		

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数	使用時期	散布液量 (目安)	使用 回数	スピロテ トラマト 含む農薬 の総使用 回数
レタス	22.4% SC	散布	2000～4000倍	収穫7日 前まで	100～300 L/10 a	3回 以内	3回 以内
			2000倍				
		無人航空機による 散布	320倍	収穫7日 前まで	17～20 L/10 a	3回 以内	
			250倍		14～17 L/10 a		
			200倍		11～14 L/10 a		
			160倍		8.5～11 L/10 a		
			125倍		7～8.5 L/10 a		
			100倍		5.5～7 L/10 a		
			80倍		4.5～5.5 L/10 a		
			64倍		3.5～4.5 L/10 a		
			50倍		2.8～3.5 L/10 a		
			40倍		2～2.8 L/10 a		
			32倍		1.7～2 L/10 a		
			24倍		1.6～1.7 L/10 a		

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数	使用時期	散布液量 (目安)	使用 回数	スピロテ トラマト 含む農薬 の総使用 回数
非結球レタス	22.4% SC	散布	2000～4000倍	収穫14日 前まで	100～300 L/10 a	3回 以内	3回 以内
			2000倍				
		無人航空機による 散布	320倍	収穫14日 前まで	17～20 L/10 a	3回 以内	
			250倍		14～17 L/10 a		
			200倍		11～14 L/10 a		
			160倍		8.5～11 L/10 a		
			125倍		7～8.5 L/10 a		
			100倍		5.5～7 L/10 a		
			80倍		4.5～5.5 L/10 a		
			64倍		3.5～4.5 L/10 a		
			50倍		2.8～3.5 L/10 a		
			40倍		2～2.8 L/10 a		
			32倍		1.7～2 L/10 a		
			24倍		1.6～1.7 L/10 a		

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数	使用時期	散布液量 (目安)	使用 回数	スピロラ トラマト 含む農薬 の総使用 回数
ねぎ	22.4% SC	散布	2000倍	収穫7日 前まで	100～300 L/10 a	2回 以内	2回 以内
にんにく	22.4% SC	散布	4000倍	収穫14日 前まで	100～300 L/10 a	2回 以内	2回 以内
アスパラガス	22.4% SC	散布	2000倍	収穫前日 まで	100～300 L/10 a	3回 以内	3回 以内
トマト	22.4% SC	散布	2000倍	収穫前日 まで	100～300 L/10 a	3回 以内	3回 以内
ミニトマト	22.4% SC	散布	2000倍	収穫前日 まで	100～300 L/10 a	3回 以内	3回 以内
ピーマン	22.4% SC	散布	2000倍	収穫前日 まで	100～300 L/10 a	3回 以内	3回以内 (灌注は1 回以内)
		灌注	500倍	育苗期後半～ 定植当日	50 mL/株	1回	
					25～50 mL/株		
なす	22.4% SC	散布	2000倍	収穫前日 まで	100～300 L/10 a	3回 以内	3回以内 (灌注は1 回以内)
		灌注	500倍	育苗期後半～ 定植当日	50 mL/株	1回	
					25～50 mL/株		
とうがらし類	22.4% SC	散布	2000倍	収穫前日 まで	100～300 L/10 a	3回 以内	3回以内 (灌注は1 回以内)
		灌注	500倍	育苗期後半～ 定植当日	50 mL/株	1回	
					25～50 mL/株		

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数	使用時期	散布液量 (目安)	使用 回数	スピロテ トラマト 含む農薬 の総使用 回数
きゅうり	22.4% SC	散布	2000倍	収穫前日 まで	100～300 L/10 a	3回 以内	3回以内 (灌注は1 回以内)
		株元灌注	500倍	育苗期後半～ 定植当日	50 mL/株	1回	
					25～50 mL/株		
かぼちゃ	22.4% SC	散布	2000倍	収穫7日 前まで	100～300 L/10 a	3回 以内	3回 以内
		無人航空機による 散布	100倍	収穫7日 前まで	7.5～15 L/10 a	3回 以内	
			50倍		3.6～7.5 L/10 a		
			24倍		1.6～3.6 L/10 a		
ズッキーニ	22.4% SC	散布	2000倍	収穫前日 まで	100～300 L/10 a	3回 以内	3回 以内
すいか	22.4% SC	散布	2000倍	収穫前日 まで	100～300 L/10 a	3回 以内	3回以内 (灌注は1 回以内)
		灌注	500倍	育苗期後半～ 定植当日	50 mL/株	1回	
					25～50 mL/株		
メロン	22.4% SC	散布	2000倍	収穫前日 まで	100～300 L/10 a	3回 以内	3回以内 (灌注は1 回以内)
		灌注	500倍	育苗期後半～ 定植当日	50 mL/株	1回	
					25～50 mL/株		
ほうれんそう	22.4% SC	散布	2000倍	収穫7日 前まで	100～300 L/10 a	3回 以内	3回 以内
未成熟そらまめ	22.4% SC	散布	2000倍	収穫前日 まで	100～300 L/10 a	3回 以内	3回 以内

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数	使用時期	散布液量 (目安)	使用 回数	スピロテ トラマト 含む農薬 の総使用 回数
オリーブ (葉)	22.4% SC	散布	2000倍	収穫90日 前まで	200～700 L/10 a	2回 以内	2回 以内
かんきつ	22.4% SC	散布	2000倍	収穫7日 前まで	200～700 L/10 a	3回 以内	3回 以内
		無人航空機による 散布	320倍	収穫7日 前まで	40～50 L/10 a	3回 以内	
			250倍		30～40 L/10 a		
			160倍		20～30 L/10 a		
			100倍		15～20 L/10 a		
			80倍		10～15 L/10 a		
			50倍		8～10 L/10 a		
			40倍		6～8 L/10 a		
			32倍		4～6 L/10 a		
		りんご	22.4% SC	散布	2000倍	収穫14日 前まで	
なし	22.4% SC	散布	2000倍	収穫14日 前まで	200～700 L/10 a	3回 以内	3回 以内
びわ	22.4% SC	散布	2000倍	収穫21日 前まで	200～700 L/10 a	2回 以内	2回 以内
もも	22.4% SC	散布	2000倍	収穫7日 前まで	200～700 L/10 a	3回 以内	3回 以内
ネクタリン	22.4% SC	散布	2000倍	収穫7日 前まで	200～700 L/10 a	3回 以内	3回 以内
小粒核果類	22.4% SC	散布	2000倍	収穫7日 前まで	200～700 L/10 a	3回 以内	3回 以内

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数	使用時期	散布液量 (目安)	使用 回数	スピロテ トラマト 含む農薬 の総使用 回数
おうとう	22.4% SC	散布	2000倍	収穫7日 前まで	200～700 L/10 a	3回 以内	3回 以内
いちご	22.4% SC	散布	2000倍	収穫前日 まで	100～300 L/10 a	3回 以内	3回以内 (灌注は1 回以内)
		灌注	500倍	育苗期後半～ 定植当日	50 mL/株	1回	
					25～50 mL/株		
					25 mL/株		
ぶどう	22.4% SC	散布	2000倍	収穫7日 前まで	200～700 L/10 a	3回 以内	3回 以内
かき	22.4% SC	散布	2000倍	収穫7日 前まで	200～700 L/10 a	3回 以内	3回 以内
パイナップル	22.4% SC	散布	2000倍	収穫14日 前まで	200～700 L/10 a	3回 以内	3回 以内
オリーブ	22.4% SC	散布	2000倍	収穫7日 前まで	200～700 L/10 a	2回 以内	2回 以内
みょうが (花穂)	22.4% SC	散布 ただし花穂の発生 期にはマルチフィルム被覆 により散布液が直 接花穂に飛散しな い状態で使用する。	2000倍	収穫前日 まで	100～300 L/10 a	3回 以内	3回 以内
みょうが (茎葉)	22.4% SC	散布	2000倍	みょうが(花 穂)の収穫 前日まで ただし、花穂 を収穫しない 場合にあつて は開花期終了 まで	100～300 L/10 a	3回 以内	3回 以内
しそ	22.4% SC	散布	2000倍	収穫14日 前まで	100～300 L/10 a	3回 以内	3回 以内

(2) 海外での使用方法

① 米国

作物名	剤型	使用方法	1回当たり使用量	スピロテトラマトの 総使用量	使用時期	使用 回数
塊茎及び 球茎状野菜類 (ばれいしょ)	22.4% SC	散布	0.067～0.090 kg ai/ha	0.179 kg ai/ha	収穫7日 前まで	2回 以内
	15.3% OD	散布	0.056～0.090 kg ai/ha	0.179 kg ai/ha	収穫7日 前まで	2回 以内
アブラナ属葉菜類 (キャベツ、 ブロッコリー、 カリフラワー)	22.4% SC	散布	0.056～0.090 kg ai/ha	0.179 kg ai/ha	収穫前日 まで	2回 以内
	15.3% OD	散布	0.056～0.090 kg ai/ha	0.179 kg ai/ha	収穫前日 まで	2回 以内
葉菜類 (アブラナ属を除く) (レタス、セロリ、 ほうれんそう、パセ リ)	22.4% SC	散布	0.056～0.090 kg ai/ha	0.179 kg ai/ha	収穫3日 前まで	2回 以内
	15.3% OD	散布	0.056～0.090 kg ai/ha	0.179 kg ai/ha	収穫3日 前まで	2回 以内
バナナ	22.4% SC	散布	0.179～0.280 kg ai/ha	1.40 kg ai/ha	収穫前日 まで	5回 以内
アボカド	22.4% SC	散布	0.146～0.179 kg ai/ha	0.437 kg ai/ha	収穫前日 まで	3回 以内
	15.3% OD	散布	0.146～0.179 kg ai/ha	0.437 kg ai/ha	収穫前日 まで	3回 以内
グアバ	22.4% SC	散布	0.146～0.179 kg ai/ha	0.437 kg ai/ha	収穫前日 まで	3回 以内
	15.3% OD	散布	0.146～0.179 kg ai/ha	0.437 kg ai/ha	収穫前日 まで	3回 以内
パッション フルーツ	22.4% SC	散布	0.146～0.179 kg ai/ha	0.437 kg ai/ha	収穫前日 まで	3回 以内
	15.3% OD	散布	0.146～0.179 kg ai/ha	0.437 kg ai/ha	収穫前日 まで	3回 以内
コーヒー豆	22.4% SC	散布	0.146～0.179 kg ai/ha	0.527 kg ai/ha	収穫14日 前まで	3回 以内

OD：油分散型フロアブル

② カナダ

作物名	剤型	使用方法	1回当たり使用量	スピロテトラマトの 総使用量	使用時期	使用 回数
鱗茎類野菜 (たまねぎ、 にんにく)	22.4% SC	散布	0.088 kg ai/ha	0.175 kg ai/ha	収穫3日 前まで	2回 以内
ブッシュベリー Low growing ベリー (ブルーベリー、 クランベリー)	22.4% SC	散布	0.053～0.140 kg ai/ha	0.440 kg ai/ha	収穫7日 前まで	3回 以内

③ 豪州

作物名	剤型	使用方法	1回当たり使用量	使用時期	使用 回数
あぶらな科 野菜類 (キャベツ、 ブロッコリー)	22.4% SC	散布 (7ジ ュハント との混用)	200～400 mL/ha (48～96 g ai/ha) または希釈用量 20～40 mL/hL (4.8～9.6 g ai/hL)	収穫3日 前まで	3回 以内

④ EU

作物名	剤型	使用方法	1回当たり使用量	使用時期	使用 回数
にんじん	9.3% SC	散布	0.075 kg ai/ha	収穫21日 前まで	4回 以内

3. 代謝試験

(1) 植物代謝試験

植物代謝試験が、りんご、レタス、ばれいしょ及びわたで実施されており、可食部で親化合物の残留が認められ、可食部で10%TRR^{注)}以上認められた代謝物は、代謝物M1（レタス、ばれいしょ及びわた）、代謝物M5（わた）、代謝物M7（りんご）、代謝物M1グルコシド（レタス）であった。

注) %TRR：総放射性残留物（TRR：Total Radioactive Residues）濃度に対する比率（%）

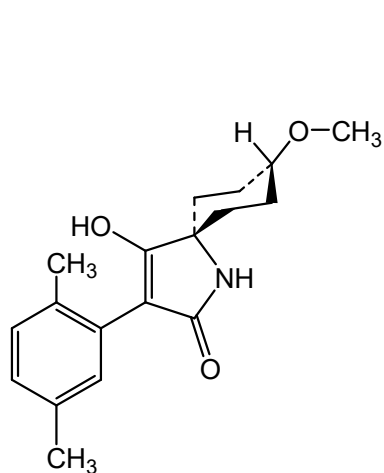
(2) 家畜代謝試験

家畜代謝試験が、泌乳山羊及び産卵鶏で実施されており、可食部で10%TRR以上認められた代謝物は、代謝物M1（泌乳山羊の筋肉、脂肪、肝臓、腎臓及び乳汁並びに産卵

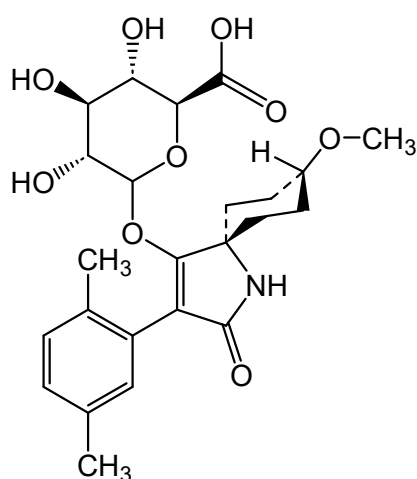
鶏の筋肉、脂肪、肝臓及び卵）及び代謝物M3（泌乳山羊の脂肪、肝臓、腎臓及び乳汁並びに産卵鶏の肝臓）であった。

【代謝物略称一覧】

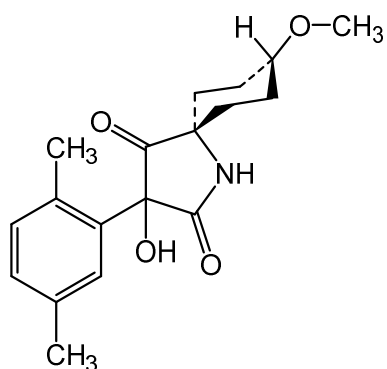
略称	JMPR評価書の略称	化学名
M1	BYI08330-enol	シス-3-(2,5-ジメチルフェニル)-4-ヒドロキシ-8-メトキシ-1-アザスピロ[4.5]デカ-3-エン-2-オン
M3	BYI08330-enol-GA	シス-3-(2,5-ジメチルフェニル)-4,8-ジヒドロキシ-1-アザスピロ[4.5]デカ-3-エン-2-オン グルクロン酸抱合体
M5	BYI08330-ketohydroxy	シス-3-(2,5-ジメチルフェニル)-3-ヒドロキシ-8-メトキシ-1-アザスピロ[4.5]デカン-2,4-ジオン
M7	BYI08330-mono-hydroxy	シス-3-(2,5-ジメチルフェニル)-4-ヒドロキシ-8-メトキシ-1-アザスピロ[4.5]デカン-2-オン
代謝物M1グルコシド	BYI08330-enol-Glc	シス-3-(2,5-ジメチルフェニル)-4,8-ジヒドロキシ-1-アザスピロ[4.5]デカ-3-エン-2-オン グルコース抱合体



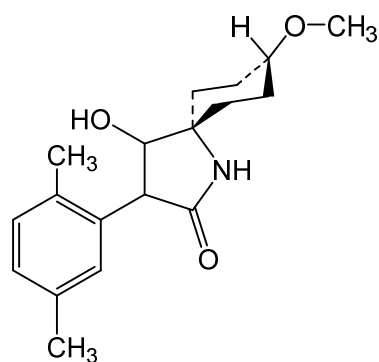
代謝物M1



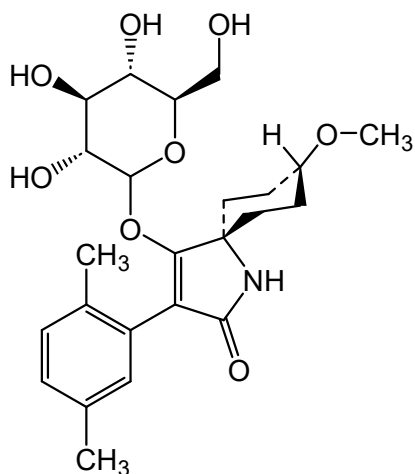
代謝物M3



代謝物M5



代謝物M7



代謝物M1グルコシド

注) 残留試験の分析対象、残留の規制対象及び暴露評価対象となっている代謝物について構造式を明記した。

4. 作物残留試験

(1) 分析の概要

【国内】

① 分析対象物質

- ・スピロテトラマト
- ・代謝物M1
- ・代謝物M5
- ・代謝物M7
- ・代謝物M1グルコシド

② 分析法の概要

試料から0.02%ギ酸含有のアセトニトリル・水（4：1）混液で抽出し、オクタデシルシリル化シリカゲル（C₁₈）カラム及びベンゼンスルホンプロピルシリル化シリカゲル（SCX）カラム又はカーボングラファイトカラムを用いて精製した後、液体クロマトグラフ・タンデム型質量分析計（LC-MS/MS）で定量する。

または、試料から0.022%ギ酸含有のアセトニトリル・水（4：1）混液で抽出し、C₁₈カラム、グラファイトカーボンカラム及びSCXカラムを用いて精製した後、LC-MS/MSで定量する。

または、試料から0.022%ギ酸含有の水・アセトニトリル（4：1）混液で抽出し、必要に応じて酢酸エチルに転溶する。C₁₈カラム又はカルボキシプロピル基シリカゲル及びシラノール基シリカゲルを用いて精製した後、LC-MS/MSで定量する。

あるいは、アセトンで抽出し、C₁₈カラムを用いて精製した後、LC-MS/MSで定量する。

なお、代謝物M1、代謝物M5、代謝物M7及び代謝物M1グルコシドの分析値は、それぞれ換算係数1.24、1.18、1.23及び0.81を用いてスピロテトラマト濃度に換算した値として示した。

定量限界：スピロテトラマト	0.01 mg/kg
代謝物M1	0.007～0.02 mg/kg (スピロテトラマト換算濃度)
代謝物M5	0.006～0.01 mg/kg (スピロテトラマト換算濃度)
代謝物M7	0.007～0.01 mg/kg (スピロテトラマト換算濃度)
代謝物M1グルコシド	0.009～0.01 mg/kg (スピロテトラマト換算濃度)

【海外】

① 分析対象物質

- ・スピロテトラマト
- ・代謝物M1
- ・代謝物M5
- ・代謝物M7
- ・代謝物M1グルコシド

② 分析法の概要

試料から0.02%ギ酸含有のアセトニトリル・水（4：1）混液又は0.022%ギ酸含有のアセトニトリル・水（4：1）混液で抽出する。抽出物に安定同位体で標識した内部標準物質を添加し、または抽出物をC₁₈カラム、グラファイトカーボンカラム又はSCXカラム等を用いて精製し、あるいは抽出物をC₁₈カラムを用いて精製し安定同位体で標識した内部標準物質を添加した後、LC-MS/MSで定量する。

または、試料から0.1%ギ酸含有のアセトニトリル・水（4：1）混液で抽出し、スピロテトラマトはC₁₈カラム、代謝物M1、代謝物M5及び代謝物M7はC₁₈及びグラファイトカーボン・PSA積層カラム、代謝物M1グルコシドはC₁₈及びグラファイトカーボンカラムを用いて精製した後、液体クロマトグラフ・質量分析計（LC-MS）で定量する。

なお、代謝物M1、代謝物M5、代謝物M7及び代謝物M1グルコシドの分析値は、それぞれ換算係数1.24、1.18、1.23及び0.81を用いてスピロテトラマト濃度に換算した値として示した。

定量限界：スピロテトラマト	0.01～0.02 mg/kg
代謝物M1	0.01～0.02 mg/kg (スピロテトラマト換算濃度)
代謝物M5	0.01～0.02 mg/kg (スピロテトラマト換算濃度)
代謝物M7	0.01～0.02 mg/kg (スピロテトラマト換算濃度)
代謝物M1グルコシド	0.008～0.02 mg/kg (スピロテトラマト換算濃度)

（2）作物残留試験結果

国内作物残留試験については、だいこんの根、だいこん類の葉、ねぎ及びほうれんそうの試験成績を追加した。試験成績の概要を別紙1-1に示す。

海外で実施された作物残留試験の結果については前回からの追加試験成績はないが、基本原則（食品中の農薬の残留基準値設定の基本原則（令和6年6月25日部会））に従って試験結果の見直しを行った。試験成績の概要については別紙1-2、1-3、1-4及び1-5に示す。

5. 畜産物における推定残留濃度

本剤については、飼料として給与した作物を通じ家畜の筋肉等への移行が想定されることから、飼料中の残留農薬濃度及び動物飼養試験の結果を用い、以下のとおり畜産物中の推定残留濃度を算出した。

（1）分析の概要

① 分析対象物質

- ・スピロテトラマト
- ・代謝物M1
- ・代謝物M3

② 分析法の概要

筋肉、脂肪、肝臓及び腎臓については、0.22%ギ酸含有のアセトニトリル・水（7：3）混液で、乳については、0.22%ギ酸含有のアセトニトリルで抽出し、内部標準物質として安定同位体 $[^{13}\text{C}]$ で標識した各分析対象物質の標準品を添加する（添加濃度：各0.1 mg/kg）。乳の抽出物については C_{18} カラムを用いて精製する。LC-MS/MSで定量する。

なお、代謝物M1及び代謝物M3の分析値は、それぞれ換算係数1.24及び0.79を用いてスピロテトラマト濃度に換算した値として示した。

定量限界：筋肉、脂肪、肝臓及び腎臓

	スピロテトラマト	0.01 mg/kg
	代謝物M1	0.01 mg/kg（スピロテトラマト換算濃度）
	代謝物M3	0.01 mg/kg（スピロテトラマト換算濃度）
乳	スピロテトラマト	0.005 mg/kg
	代謝物M1	0.005 mg/kg（スピロテトラマト換算濃度）
	代謝物M3	0.005 mg/kg（スピロテトラマト換算濃度）

（2）家畜残留試験（動物飼養試験）

① 乳牛を用いた残留試験

乳牛（ホルスタイン種、3頭/群）に対して、飼料中濃度として3、9及び30 ppmに相当する量のスピロテトラマトを含むゼラチンカプセルを29日間にわたり強制経口投与し、筋肉、脂肪、肝臓及び腎臓に含まれるスピロテトラマト、代謝物M1及び代謝物M3の濃度をLC-MS/MSで測定した。乳については、最高用量投与群の投与開始前日、投与開始0、1、3、7、10、14、17、21、24、26及び28日後に1日2回採取した乳

に含まれるスピロテトラマト、代謝物M1及び代謝物M3の濃度をLC-MS/MSで測定した。結果は表1を参照。

表1. 乳牛の試料中の残留濃度 (mg/kg)

		3 ppm 投与群	9 ppm 投与群	30 ppm 投与群
筋肉	スピロテトラマト	<0.01 (最大) <0.01 (平均)	<0.01 (最大) <0.01 (平均)	<0.01 (最大) <0.01 (平均)
	代謝物M1	<0.01 (最大) <0.01 (平均)	<0.01 (最大) <0.01 (平均)	0.01 (最大) 0.01 (平均)
	代謝物M3	<0.01 (最大) <0.01 (平均)	<0.01 (最大) <0.01 (平均)	<0.01 (最大) <0.01 (平均)
	スピロテトラマト+ 代謝物M1	<0.02 (最大) <0.02 (平均)	<0.02 (最大) <0.02 (平均)	0.02 (最大) 0.02 (平均)
脂肪	スピロテトラマト	<0.01 (最大) <0.01 (平均)	<0.01 (最大) <0.01 (平均)	0.03 (最大) 0.02 (平均)
	代謝物M1	<0.01 (最大) <0.01 (平均)	0.01 (最大) 0.01 (平均)	0.03 (最大) 0.02 (平均)
	代謝物M3	<0.01 (最大) <0.01 (平均)	<0.01 (最大) <0.01 (平均)	<0.01 (最大) <0.01 (平均)
	スピロテトラマト+ 代謝物M1	<0.02 (最大) <0.02 (平均)	0.02 (最大) 0.02 (平均)	0.06 (最大) 0.04 (平均)
肝臓	スピロテトラマト	<0.01 (最大) <0.01 (平均)	<0.01 (最大) <0.01 (平均)	<0.01 (最大) <0.01 (平均)
	代謝物M1	<0.01 (最大) <0.01 (平均)	0.01 (最大) 0.01 (平均)	0.04 (最大) 0.03 (平均)
	代謝物M3	<0.01 (最大) <0.01 (平均)	<0.01 (最大) <0.01 (平均)	0.02 (最大) 0.01 (平均)
	スピロテトラマト+ 代謝物M1	<0.02 (最大) <0.02 (平均)	0.02 (最大) 0.02 (平均)	0.05 (最大) 0.04 (平均)
腎臓	スピロテトラマト	<0.01 (最大) <0.01 (平均)	<0.01 (最大) <0.01 (平均)	<0.01 (最大) <0.01 (平均)
	代謝物M1	0.02 (最大) 0.02 (平均)	0.10 (最大) 0.07 (平均)	0.41 (最大) 0.26 (平均)
	代謝物M3	<0.01 (最大) <0.01 (平均)	<0.01 (最大) <0.01 (平均)	0.03 (最大) 0.02 (平均)
	スピロテトラマト+ 代謝物M1	0.03 (最大) 0.03 (平均)	0.11 (最大) 0.08 (平均)	0.42 (最大) 0.27 (平均)
乳 ^{注)}	スピロテトラマト	-	-	<0.005 (平均)
	代謝物M1	-	-	<0.005 (平均)
	代謝物M3	-	-	<0.005 (平均)
	スピロテトラマト+ 代謝物M1	-	-	<0.01 (平均)

定量限界：スピロテトラマト、代謝物M1及び代謝物M3

筋肉、脂肪、肝臓及び腎臓 0.01 mg/kg、乳 0.005 mg/kg

-：分析せず

注) 投与期間中に採取した乳中の濃度を1頭ずつ別々に算出し、その平均値を求めた。

上記の結果に関連して、JMPRは、肉牛及び乳牛の最大飼料由来負荷^{注1)}をそれぞれ40及び22 ppm、平均的飼料由来負荷^{注2)}をそれぞれ19及び11 ppmと評価している。

注1) 最大飼料由来負荷 (Maximum dietary burden) : 飼料の原料に農薬が最大まで残留していると仮定した場合に、飼料の摂取によって畜産動物が暴露されうる最大濃度。飼料中濃度として表示される。

注2) 平均的飼料由来負荷 (Mean dietary burden) : 飼料の原料に農薬が平均的に残留していると仮定した場合に (作物残留試験から得られた残留濃度の中央値を試算に用いる)、飼料の摂取によって畜産動物が暴露されうる平均濃度。飼料中濃度として表示される。

② 産卵鶏を用いた代謝試験

産卵鶏を用いた残留試験は実施されていないが、放射性同位体標識スピロテトラマトを用いた代謝試験が実施されている。

産卵鶏 (白色レグホン種、雌6羽) に対して、¹⁴Cで標識したスピロテトラマトを含むゼラチンカプセルを飼料中濃度として12.9 ppm (1.01 mg/kg 体重/日) に相当する量を14日間にわたり強制経口投与し、最終投与24時間後に採取した筋肉、脂肪、肝臓及び鶏卵に含まれる総放射性残留物 (TRR) の濃度を液体シンチレーション計数法 (LSC) で測定した。その結果、肝臓から0.0174 mg eq/kg^{注)}、腎臓から0.0388 mg eq/kg、筋肉から0.0030~0.0034 mg eq/kg、脂肪から0.0038 mg eq/kg、脂肪を除いた皮膚から0.0092 mg eq/kg、卵から投与開始後2日以降に平均して0.015 mg eq/kgのTRRが検出された。

注) mg eq/kg : 親化合物スピロテトラマトに換算した濃度 (mg/kg)

上記の結果に関連して、JMPRは、家きんの最大飼料由来負荷を4.9 ppm、平均的飼料由来負荷を2.3 ppmと評価している。

(3) 推定残留濃度

牛について、最大及び平均的飼料由来負荷と家畜残留試験結果から、畜産物中の推定残留濃度を算出した。結果は表2を参照。推定残留濃度はスピロテトラマト及び代謝物M1をスピロテトラマトに換算した濃度の合計濃度で示した。

表2. 畜産物中の推定残留濃度^{注)} : 牛 (mg/kg)

	筋肉	脂肪	肝臓	腎臓	乳
牛	0.027 (0.013)	0.079 (0.030)	0.064 (0.030)	0.57 (0.17)	0.007 (0.004)

上段 : 最大残留濃度

下段括弧内 : 平均的な残留濃度

家きんについて、最大飼料由来負荷と代謝試験結果から、畜産物中の推定残留濃度をスピロテトラマト及び代謝物M1をスピロテトラマトに換算した濃度の合計濃度として算出した。その結果、筋肉で0.00037 mg/kg、脂肪 0.00037 mg/kg、肝臓 0.0033 mg/kg、卵 0.0048 mg/kgとなり、いずれも <0.01 mg/kgであった。

6. ADI及びARfDの評価

食品安全基本法（平成15年法律第48号）第24条第1項第1号及び第2項の規定に基づき、食品安全委員会あて意見を求めたスピロテトラマトに係る食品健康影響評価において、以下のとおり評価されている。

（1）ADI

無毒性量：12.5 mg/kg 体重/day（発がん性は認められなかった。）

（動物種） ラット

（投与方法） 混餌

（試験の種類） 発がん性試験

（期間） 2年間

安全係数：100

ADI：0.12 mg/kg 体重/day

（2）ARfD

無毒性量：100 mg/kg 体重

（動物種） ラット

（投与方法） 強制経口

（試験の種類） 急性神経毒性試験

安全係数：100

ARfD：1 mg/kg 体重

7. 諸外国における状況

JMPRにおける毒性評価が行われ、2008年にADI及びARfDが設定されている。国際基準はばれいしょ、トマト等に設定されている。

米国、カナダ、EU、豪州及びニュージーランドについて調査した結果、米国においてにんじん、バナナ等に、カナダにおいてたまねぎ、ブルーベリー等に、EUにおいて西洋わさび、にんじん等に、豪州においてキャベツ、ブロッコリー等に、ニュージーランドにおいてばれいしょ、トマト等に基準値が設定されている。

8. 残留規制

（1）残留の規制対象

スピロテトラマト及び代謝物M1とする。

農産物については、作物残留試験において、すべての作物において親化合物及び代謝物M1、一部作物において代謝物M5、代謝物M7及び代謝物M1グルコシドについても分

析がなされているが、親化合物もしくは代謝物M1はすべての作物種から検出されており、一部の作物種では代謝物M5は親化合物又は代謝物M1より高い残留濃度が確認されているもののその作物種においても親化合物もしくは代謝物M1の残留が見られること、また代謝物M7及び代謝物M1グルコシドの残留濃度は、親化合物及び代謝物M1の残留濃度に比べて低いことから規制対象物質をスピロトラマト及び代謝物M1とする。

畜産物については、乳牛の飼養試験において親化合物及び代謝物M1が認められ、また産卵鶏の代謝試験においてすべての組織及び卵において代謝物M1が認められていることから、残留の規制対象として農産物と同じくスピロトラマト及び代謝物M1とする。

(2) 基準値案

別紙2のとおりである。

9. 暴露評価

(1) 暴露評価対象

農産物にあつてはスピロトラマト、代謝物M1、代謝物M5、代謝物M7及び代謝物M1グルコシドとし、畜産物においてはスピロトラマト及び代謝物M1とする。

農産物については、作物残留試験において、すべての作物において親化合物及び代謝物M1、親化合物もしくは代謝物M1が主な残留化合物として確認されること、さらに植物代謝試験において代謝物M5、代謝物M7及び代謝物M1グルコシドが可食部において10%TRR以上認められたことから、これらすべてを暴露評価対象とする。

畜産物については、家畜代謝試験において代謝物M3は代謝物M1と同様に組織および乳汁で10%TRR以上認められるものの、家畜残留試験において代謝物M3はほとんど残留が認められないことから、暴露評価対象を親化合物及び代謝物M1とする。

なお、食品安全委員会は、食品健康影響評価において、農産物及び畜産物中の暴露評価対象物質をスピロトラマト（親化合物のみ）としている。

(2) 暴露評価結果

① 長期暴露評価

1日当たり摂取する農薬の量のADIに対する比は、以下のとおりである。詳細な暴露評価は別紙3参照。

	EDI／ADI (%) 注)
国民全体（1歳以上）	10.3
幼小児（1～6歳）	21.2
妊婦	9.2
高齢者（65歳以上）	12.1

注) 各食品の平均摂取量は、平成17～19年度の食品摂取頻度・摂取量調査の特別集計業務報告書による。

EDI試算法：作物残留試験成績の中央値（STMR）等×各食品の平均摂取量

② 短期（1日経口）暴露評価

各食品の短期推定摂取量（ESTI）を算出したところ、国民全体（1歳以上）及び幼小児（1～6歳）のそれぞれにおける摂取量は急性参照用量（ARfD）を超えていない^{注)}。詳細な暴露評価は別紙4-1及び4-2参照。

注) 暴露評価対象物質の残留濃度から推定される基準値に相当する値、作物残留試験における最高残留濃度（HR）又は中央値（STMR）を用い、平成17～19年度の食品摂取頻度・摂取量調査及び平成22年度の厚生労働科学研究の結果に基づき ESTIを算出した

(別紙1-1)

スピロトラマトの作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件				スピロトラマト/代謝物M1 の残留濃度の合計 (mg/kg) (注1)	スピロトラマト/代謝物M1/代謝物M5/代謝物M7/代謝物M1グル コシドの残留濃度の合計 (mg/kg) (注2)	各化合物の残留濃度 (mg/kg) (注3) 【スピロトラマト/代謝物M1/代謝物M5 /代謝物M7/代謝物M1グルコシド】	設定 の根 拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数				
ばれいしょ (塊茎)	2	22.4% SC	4000倍散布 200 L/10 a	3	14, 21, 28	圃場A:0.139 (3回, 14日) 圃場B:0.379 (3回, 14日)	圃場A:0.165 (3回, 14日) 圃場B:0.405 (3回, 14日)	圃場A:<0.01/*0.129/<0.008(\$)/<0.0085(\$)/<0.0095(\$) (*3回, 14日) 圃場B:<0.01/*0.369/<0.008(\$)/<0.0085(\$)/<0.0095(\$) (*3回, 14日)	◎
さといも (塊茎)	3	22.4% SC	2000倍散布 300 L/10 a	3	14, 21	圃場A:0.04 圃場B:0.05 圃場C:<0.02	圃場A:- 圃場B:- 圃場C:-	圃場A:<0.01/0.03/-/-/- 圃場B:<0.01/0.04/-/-/- 圃場C:<0.01/<0.01/-/-/-	
てんさい (根茎)	3	120 g/L SC	1000倍散布 200 L/10 a	3	14, 21, 28, 42	圃場A:<0.02 圃場B:0.02 圃場C:0.02	圃場A:- 圃場B:- 圃場C:-	圃場A:<0.01/<0.01/-/-/- (#) 圃場B:<0.01/0.01/-/-/- (#) 圃場C:<0.01/0.01/-/-/- (#)	
だいこん (根茎)	6	22.4% SC	2000倍散布 200~300 L/10 a	3	3, 14, 21, 28	圃場A:0.22 (3回, 21日) 圃場B:0.19 圃場C:0.15 圃場D:0.18 圃場E:0.20 圃場F:0.11	圃場A:0.55 (\$1) 圃場B:0.48 (\$1) 圃場C:0.38 (\$1) 圃場D:0.45 (\$1) 圃場E:0.50 (\$1) 圃場F:0.28 (\$1)	圃場A:<0.01/*0.21/-/-/- (*3回, 21日) 圃場B:<0.01/0.18/-/-/- 圃場C:<0.01/0.14/-/-/- 圃場D:<0.01/0.17/-/-/- 圃場E:<0.01/0.19/-/-/- 圃場F:<0.01/0.10/-/-/-	◎
だいこん (葉部)	6	22.4% SC	2000倍散布 200~300 L/10 a	3	3, 14, 21, 28	圃場A:0.56 圃場B:3.19 圃場C:0.70 圃場D:3.22 圃場E:9.00 圃場F:1.24	圃場A:0.76 (\$2) 圃場B:4.34 (\$2) 圃場C:0.95 (\$2) 圃場D:4.38 (\$2) 圃場E:12.2 (\$2) 圃場F:1.69 (\$2)	圃場A:0.30/0.26/-/-/- 圃場B:2.68/0.51/-/-/- 圃場C:0.34/0.36/-/-/- 圃場D:2.92/0.30/-/-/- 圃場E:8.00/1.00/-/-/- 圃場F:1.02/0.22/-/-/-	◎
はくさい (茎葉)	6	22.4% SC	2000倍散布 196~210 L/10 a	3	1, 3, 14, 21	圃場A:0.16 (3回, 14日) 圃場B:0.25 (3回, 21日) 圃場C:0.19 (3回, 14日) 圃場D:0.22 (3回, 14日) 圃場E:0.14 (3回, 14日)	圃場A:- 圃場B:- 圃場C:- 圃場D:- 圃場E:- 圃場F:-	圃場A:<0.01/*0.15/-/-/- (*3回, 14日) (#) 圃場B:<0.05/*0.23/-/-/- (*3回, 21日) (#) 圃場D:<0.01/*0.18/-/-/- (*3回, 14日) (#) 圃場E:<0.01/*0.21/-/-/- (*3回, 14日) (#) 圃場F:<0.01/*0.13/-/-/- (*3回, 14日) (#)	
キャベツ (茎葉)	3	22.4% SC	2000倍散布 198~208 L/10 a	3	1, 3, 14, 21	圃場A:0.12 圃場B:0.10 (3回, 14日) 圃場C:0.04	圃場A:- 圃場B:- 圃場C:-	圃場A:<0.01/0.11/-/-/- 圃場B:<0.01/*0.09/-/-/- (*3回, 14日) 圃場C:<0.01/0.03/-/-/-	
ブロッコリー (花蕾)	3	22.4% SC	2000倍散布 143~200 L/10 a	3	1, 3, 14, 21	圃場A:0.30 圃場B:0.24 圃場C:0.35	圃場A:- 圃場B:- 圃場C:-	圃場A:<0.01/0.29/-/-/- 圃場B:<0.01/0.23/-/-/- 圃場C:<0.02/0.33/-/-/-	
レタス (茎葉)	6	22.4% SC	2000倍散布 194~216 L/10 a	3	1, 3, 14, 21	圃場A:0.05 圃場B:1.38 圃場C:0.04 圃場D:0.06 圃場E:0.06 圃場F:0.07	圃場A:- 圃場B:- 圃場C:- 圃場D:- 圃場E:- 圃場F:-	圃場A:<0.01/0.04/-/-/- 圃場B:1.17/0.21/-/-/- 圃場C:<0.01/0.03/-/-/- 圃場D:<0.01/0.05/-/-/- 圃場E:0.01/0.05/-/-/- 圃場F:0.02/0.05/-/-/-	
リーフレタス (茎葉)	2	22.4% SC	2000倍散布 158~183 L/10 a	3	1, 3, 7, 14, 21	圃場A:8.34 圃場B:2.92	圃場A:22.4 (\$3) 圃場B:7.83 (\$3)	圃場A:8.00/0.34/-/-/- 圃場B:2.78/0.14/-/-/-	◎
サラダ菜 (茎葉)	2	22.4% SC	2000倍散布 167~184 L/10 a	3	1, 3, 7, 14, 21	圃場A:0.90 圃場B:2.63	圃場A:2.41 (\$3) 圃場B:7.05 (\$3)	圃場A:0.86/0.04/-/-/- 圃場B:2.24/0.39/-/-/-	◎
根深ねぎ (茎葉)	3	22.4% SC	2000倍散布 200, 300, 300 L/10 a	2	14, 21, 28	圃場A:0.11 圃場B:0.16 圃場C:0.07	圃場A:0.17 (\$4) 圃場B:0.24 (\$4) 圃場C:0.11 (\$4)	圃場A:0.10/<0.01/-/-/- 圃場B:0.13/0.03/-/-/- 圃場C:0.06/<0.01/-/-/-	◎
葉ねぎ (茎葉)	3	22.4% SC	2000倍散布 247~300 L/10 a	2	14, 21, 28	圃場A:0.72 (2回, 14日) 圃場B:0.55 圃場C:0.52	圃場A:1.09 (2回, 14日) (\$4) 圃場B:0.84 (\$4) 圃場C:0.79 (\$4)	圃場A:*0.68/0.04/-/-/- (*2回, 14日) 圃場B:0.53/0.02/-/-/- 圃場C:0.50/0.02/-/-/-	◎
にんにく (鱗茎)	2	22.4% SC	4000倍散布 200 L/10 a	2	14, 21, 28, 35	圃場A:0.30 圃場B:0.22	圃場A:0.46 (\$5) 圃場B:0.34 (\$5)	圃場A:<0.01/0.29/-/-/- 圃場B:<0.01/0.21/-/-/-	◎
アスパラガス (若茎)	2	22.4% SC	2000倍散布 278~289 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A:0.10 圃場B:0.31	圃場A:0.16 (\$6) 圃場B:0.50 (\$6)	圃場A:0.03/0.07/-/-/- 圃場B:0.03/0.28/-/-/-	◎
ミニトマト (果実)	2	22.4% SC	1000倍育苗ポット灌注 50 mL/育苗ポット 2000倍散布 300 L/10 a	3 (1+2)	1, 3, 7, 14	圃場A:0.647 (3回, 3日) 圃場B:0.384 (3回, 7日)	圃場A:0.710 (3回, 3日) 圃場B:0.450 (3回, 7日)	圃場A:*0.565/*0.125/*0.048/<0.0085(\$)/ **0.0585 (*3回, 3日, **3回, 14日) (#) 圃場B:*0.150/*0.234/*0.042/<0.0085(\$)/ **0.032 (*3回, 7日, **3回, 14日) (#)	
	2	22.4% SC	2000倍散布 300 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A:0.950 (3回, 3日) 圃場B:0.399 (3回, 7日)	圃場A:1.040 (3回, 3日) 圃場B:0.470 (3回, 7日)	圃場A:*0.855/*0.124/*0.057/<0.0085(\$)/ **0.0675 (*3回, 3日, **3回, 14日) 圃場B:*0.23/*0.216/*0.035/<0.0085(\$)/ ***0.036 (*3回, 7日, **3回, 3日, ***3回, 14日)	◎
ピーマン (果実)	2	22.4% SC	500倍育苗ポット灌注 50 mL/育苗ポット + 2000倍散布 200~250 L/10 a	3 (1+2)	1, 3, 7, 14	圃場A:1.094 圃場B:1.990 (3回, 14日)	圃場A:1.160 圃場B:2.360 (3回, 14日)	圃場A:0.605/*0.565/*0.059/<0.0085(\$)/ ***0.0095 (*3回, 7日, **3回, 14日, ***3回, 3日) 圃場B:*0.860/*1.575/*0.248/<0.0085(\$)/ **0.116 (*3回, 3日, **3回, 14日)	
	2	22.4% SC	2000倍散布 200~250 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A:1.91 圃場B:2.69 (3回, 7日)	圃場A:2.04 圃場B:3.09 (3回, 7日)	圃場A:0.59/1.32/*0.099/<0.0085(\$)/0.022 (*3回, 3日) 圃場B:*0.93/*2.04/*0.28/<0.0085(\$)/ **0.189 (*3回, 7日, **3回, 14日)	◎
なす (果実)	2	22.4% SC	500倍育苗ポット灌注 50 mL/育苗ポット + 2000倍散布 300 L/10 a	3 (1+2)	1, 3, 7, 14	圃場A:0.48 圃場B:0.40 (3回, 3日)	圃場A:0.53 圃場B:0.43 (3回, 3日)	圃場A:0.31/0.165/0.032/<0.0085(\$)/ *0.011 (*3回, 14日) 圃場B:*0.29/*0.133/*0.01/<0.0085(\$)/ **0.04 (*3回, 3日, **3回, 14日, ***3回, 7日)	◎
	2	22.4% SC	2000倍散布 300 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A:0.45 圃場B:0.44 (3回, 3日)	圃場A:0.50 圃場B:0.48 (3回, 3日)	圃場A:0.23/0.2175/0.027/<0.0085(\$)/ *0.0175 (*3回, 14日) 圃場B:*0.25/*0.188/*0.011/<0.0085(\$)/ ***0.04 (*3回, 3日, **3回, 7日, ***3回, 14日)	

スピロトラマトの作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件				スピロトラマト/代謝物M1 の残留濃度の合計 (mg/kg) ^(注1)	スピロトラマト/代謝物M1/代謝物M5/代謝物M7/代謝物M1グルコシドの残留濃度の合計 (mg/kg) ^(注2)	各化合物の残留濃度 (mg/kg) ^(注3) 【スピロトラマト/代謝物M1/代謝物M5/代謝物M7/代謝物M1グルコシド】	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数				
ししとう (果実)	2	22.4% SC	500倍育苗ポット灌注 50 mL/育苗ポット + 2000倍散布 250〜300 L/10 a	$\frac{3}{(1+2)}$	1, 3, 7, 14	圃場A:2.58 圃場B:1.94	圃場A:2.73 圃場B:2.08	圃場A:1.68/*0.93/*0.155/<0.007/*0.04(*3回, 3日、**3回, 7日) 圃場B:1.10/0.84/*0.108/<0.007/*0.032(*3回, 3日)	
	2	22.4% SC	2000倍散布 250〜300 L/10 a	$\frac{3}{1}$	1, 3, 7, 14	圃場A:3.86 圃場B:2.08	圃場A:4.07 圃場B:2.27	圃場A:2.67/1.19/0.16/<0.007/*0.053 (*3回, 14日) 圃場B:1.14/*1.10/0.142/<0.007/*0.049 (*3回, 3日)	◎
伏見甘長とうがらし (果実)	2	22.4% SC	500倍育苗ポット灌注 50 mL/育苗ポット + 2000倍散布 300 L/10 a	$\frac{3}{(1+2)}$	1, 3, 7, 14	圃場A:2.32 圃場B:1.81	圃場A:2.43 圃場B:1.94	圃場A:1.70/*0.831/*0.120/<0.007/*0.009 (*3回, 7日、**3回, 3日) 圃場B:1.14/*0.991/*0.112/<0.007/*0.049 (*3回, 7日、**3回, 3日、***3回, 14日)	
	2	22.4% SC	2000倍散布 250〜300 L/10 a	$\frac{3}{1}$	1, 3, 7, 14	圃場A:2.17 圃場B:2.14	圃場A:2.32 圃場B:2.32	圃場A:1.40/*0.838/*0.136/<0.007/0.016 (*3回, 7日、**3回, 3日) 圃場B:1.16/*1.30/*0.144/<0.007/0.057 (*3回, 3日)	
きゅうり (果実)	2	22.4% SC	500倍育苗ポット灌注 50 mL/育苗ポット + 2000倍散布 295〜300 L/10 a	$\frac{3}{(1+2)}$	1, 3, 7, 14	圃場A:0.27 圃場B:0.38	圃場A:0.34 圃場B:0.41	圃場A:0.18/0.088/0.05/<0.0085(\$)/<0.0095 圃場B:0.195/0.185/0.01/<0.0085(\$)/<0.0095	◎
	2	22.4% SC	2000倍散布 295〜300 L/10 a	$\frac{3}{1}$	1, 3, 7, 14	圃場A:0.19 圃場B:0.30	圃場A:0.26 圃場B:0.33	圃場A:0.11/0.082/0.05/<0.0085(\$)/<0.0095 圃場B:0.145/0.158/0.0095/<0.0085(\$)/<0.0095	
かぼちゃ (果実)	3	22.4% SC	2000倍散布 185〜300 L/10 a	$\frac{3}{1}$	1, 3, 7, 14	圃場A:0.07 圃場B:0.11 圃場C:0.35	圃場A:0.18 (\$7) 圃場B:0.28 (\$7) 圃場C:0.89 (\$7)	圃場A:0.06/0.01/-/-/- 圃場B:0.10/<0.01/-/-/- 圃場C:0.30/0.05/-/-/-	◎
すいか (果肉)	2	22.4% SC	500倍育苗ポット灌注 50 mL/育苗ポット + 2000倍散布 250〜300 L/10 a	$\frac{3}{(1+2)}$	1, 3, 7, 14	圃場A:<0.02 圃場B:<0.02	圃場A:- 圃場B:-	圃場A:<0.01/<0.0085(\$)/-/-/- 圃場B:<0.01/<0.0085(\$)/-/-/-	
	2	22.4% SC	2000倍散布 250〜300 L/10 a	$\frac{3}{1}$	1, 3, 7, 14	圃場A:<0.02 圃場B:0.02 (3回, 3日)	圃場A:- 圃場B:-	圃場A:<0.01/<0.0085(\$)/-/-/- 圃場B:*0.01/<0.0085(\$)/-/-/- (*3回, 3日)	
メロン (果肉)	2	22.4% SC	500倍育苗ポット灌注 50 mL/育苗ポット + 2000倍散布 300 L/10 a	$\frac{3}{(1+2)}$	1, 3, 7, 14	圃場A:<0.02 圃場B:<0.02	圃場A:- 圃場B:-	圃場A:<0.01/<0.0085(\$)/-/-/- 圃場B:<0.01/<0.0085(\$)/-/-/-	
	2	22.4% SC	2000倍散布 300 L/10 a	$\frac{3}{1}$	1, 3, 7, 14	圃場A:<0.02 圃場B:<0.02	圃場A:- 圃場B:-	圃場A:<0.01/<0.0085(\$)/-/-/- 圃場B:<0.01/<0.0085(\$)/-/-/-	
ほうれんそう (茎葉)	6	22.4% SC	2000倍散布 193〜207 L/10 a	$\frac{3}{1}$	3, 7, 14, 21 7, 14	圃場A:3.60 圃場B:2.15 圃場C:2.07 圃場D:2.21 圃場E:2.68 圃場F:2.67	圃場A:4.36 (\$8) 圃場B:2.60 (\$8) 圃場C:2.50 (\$8) 圃場D:2.67 (\$8) 圃場E:3.24 (\$8) 圃場F:3.23 (\$8)	圃場A:3.44/0.16/-/-/- 圃場B:2.08/<0.07/-/-/- 圃場C:1.96/0.11/-/-/- 圃場D:2.15/0.06/-/-/- 圃場E:2.58/0.10/-/-/- 圃場F:2.54/0.13/-/-/-	◎
未成熟そらまめ (未成熟子実)	2	22.4% SC	2000倍散布 300, 200 L/10 a	$\frac{3}{1}$	1, 3, 7, 14	圃場A:0.59 (3回, 14日) 圃場B:0.49 (3回, 3日)	圃場A:- 圃場B:-	圃場A:<0.01/*0.58/-/-/- (*3回, 14日) 圃場B:<0.01/*0.48/-/-/- (*3回, 3日)	
オリーブ (葉)	2	22.4% SC	2000倍散布 595, 556 L/10 a	2	57, 90, 120 59, 90, 119	圃場A:1.93 圃場B:2.17	圃場A:- 圃場B:-	圃場A:1.86/0.07/-/-/- 圃場B:2.14/<0.03/-/-/-	
温州みかん (果肉)	6	22.4% SC	2000倍散布 500〜667 L/10 a	$\frac{3}{1}$	3, 7, 14, 21, 28	圃場A:0.13 圃場B:0.04 圃場C:0.09 圃場D:0.03 (3回, 28日) 圃場E:0.08 (3回, 28日) 圃場F:0.05 (3回, 14日)	圃場A:0.20 圃場B:0.06 圃場C:0.14 圃場D:0.05 圃場E:0.12 圃場F:0.08	圃場A:0.07/0.06/-/-/- 圃場B:0.02/0.02/-/-/- 圃場C:0.06/0.03/-/-/- 圃場D:*0.02/0.01/-/-/- (*3回, 28日) 圃場E:*0.05/*0.03/-/-/- (*3回, 28日、**3回, 14日) 圃場F:*0.03/0.02/-/-/- (*3回, 14日)	
	6	22.4% SC	2000倍散布 500〜667 L/10 a	$\frac{3}{1}$	3, 7, 14, 21, 28	圃場A:8.51 圃場B:2.65 (3回, 14日) 圃場C:7.28 (3回, 14日) 圃場D:4.39 (3回, 14日) 圃場E:5.21 (3回, 14日) 圃場F:8.17 (3回, 14日)	圃場A:13.11 (\$9) 圃場B:4.08 (3回, 14日) (\$9) 圃場C:11.21 (3回, 14日) (\$9) 圃場D:6.76 (3回, 14日) (\$9) 圃場E:8.02 (3回, 14日) (\$9) 圃場F:12.58 (3回, 14日) (\$9)	圃場A:7.73/0.78/-/-/- 圃場B:*2.32/*0.48/-/-/- (*3回, 14日、**3回, 28日) 圃場C:*6.89/0.45/-/-/- (*3回, 14日) 圃場D:*4.10/*0.29/-/-/- (*3回, 14日) 圃場E:*4.40/*0.81/-/-/- (*3回, 14日) 圃場F:*7.86/*0.31/-/-/- (*3回, 14日)	◎
温州みかん (果実)	6	22.4% SC	2000倍散布 500〜667 L/10 a	$\frac{3}{1}$	3, 7, 14, 21, 28	圃場A:1.81 ^(注4) 圃場B:0.49 ^(注4) (3回, 28日) 圃場C:1.42 ^(注4) (3回, 14日) 圃場D:0.94 ^(注4) (3回, 14日) 圃場E:1.45 ^(注4) (3回, 28日) 圃場F:1.92 ^(注4) (3回, 14日)	圃場A:4.53 ^(注4) (\$10) 圃場B:1.23 ^(注4) (3回, 14日) (\$10) 圃場C:3.55 ^(注4) (3回, 14日) (\$10) 圃場D:2.35 ^(注4) (3回, 14日) (\$10) 圃場E:3.63 ^(注4) (3回, 14日) (\$10) 圃場F:4.80 ^(注4) (3回, 14日) (\$10)	圃場A:-/-/-/-/- 圃場B:-/-/-/-/- 圃場C:-/-/-/-/- 圃場D:-/-/-/-/- 圃場E:-/-/-/-/- 圃場F:-/-/-/-/-	◎
	3	22.4% SC	2000倍散布 519〜571 L/10 a	$\frac{3}{1}$	3, 7, 14, 21, 28	圃場A:0.22 圃場B:0.24 (3回, 21日) 圃場C:0.17	圃場A:0.55 (\$10) 圃場B:0.60 (3回, 21日) (\$10) 圃場C:0.43 (\$10)	圃場A:0.20/0.02/-/-/- 圃場B:*0.15/*0.09/-/-/- (*3回, 21日) 圃場C:0.16/*0.03/-/-/- (*3回, 28日)	◎
すだち (果実)	1	22.4% SC	2000倍散布 640 L/10 a	$\frac{3}{1}$	3, 7, 14, 21, 28	圃場A:0.06	圃場A:0.15 (\$10)	圃場A:0.02/0.04/-/-/-	◎
かぼす (果実)	1	22.4% SC	2000倍散布 417 L/10 a	$\frac{3}{1}$	3, 7, 14, 21, 28	圃場A:0.29	圃場A:0.73 (\$10)	圃場A:0.02/0.27/-/-/-	◎
りんご (果実)	6	22.4% SC	2000倍散布 444〜500 L/10 a	$\frac{3}{1}$	3, 7, 14, 21, 28	圃場A:0.23 圃場B:0.25 圃場C:0.08 圃場D:0.22 (3回, 21日) 圃場E:0.37 (3回, 21日) 圃場F:0.05 (3回, 21日)	圃場A:0.43 (\$11) 圃場B:0.47 (\$11) 圃場C:0.15 (\$11) 圃場D:0.41 (3回, 21日) (\$11) 圃場E:0.69 (3回, 21日) (\$11) 圃場F:0.09 (3回, 21日) (\$11)	圃場A:0.20/0.03/-/-/- 圃場B:0.18/0.07/-/-/- 圃場C:0.06/0.02/-/-/- 圃場D:*0.14/*0.10/-/-/- (*3回, 21日、**3回, 28日) 圃場E:*0.27/0.15/-/-/- (*3回, 21日) 圃場F:*0.04/<0.01/-/-/- (*3回, 21日)	◎
	3	22.4% SC	2000倍散布 431〜500 L/10 a	$\frac{3}{1}$	3, 7, 14, 21, 28	圃場A:0.30 圃場B:0.20 圃場C:0.33	圃場A:0.41 (\$12) 圃場B:0.28 (\$12) 圃場C:0.46 (\$12)	圃場A:0.20/0.10/-/-/- 圃場B:0.18/*0.05/-/-/- (*3回, 21日) 圃場C:0.27/0.06/-/-/-	◎
びわ (果肉・有袋)	2	22.4% SC	2000倍散布 500 L/10 a	2	7, 14, 21	圃場A:0.27 圃場B:0.13	圃場A:0.54 (\$13) 圃場B:0.26 (\$13)	圃場A:0.22/0.05/-/-/- 圃場B:0.10/0.03/-/-/-	

スピロテトラマトの作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件				スピロテトラマト/代謝物M1の残留濃度の合計 (mg/kg) ^(注1)	スピロテトラマト/代謝物M1/代謝物M5/代謝物M7/代謝物M1グルコシドの残留濃度の合計 (mg/kg) ^(注2)	各化合物の残留濃度 (mg/kg) ^(注3) 【スピロテトラマト/代謝物M1/代謝物M5/代謝物M7/代謝物M1グルコシド】	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数				
びわ (果実全体・有袋)	2	22.4% SC	2000倍散布 500 L/10 a	2	7, 14, 21	圃場A:0.99 圃場B:0.98	圃場A:1.98 (\$13) 圃場B:1.96 (\$13)	圃場A:0.92/0.07/-/-/- 圃場B:0.93/0.05/-/-/-	
びわ (果実全体・種子を含む。有袋)	2	22.4% SC	2000倍散布 500 L/10 a	2	7, 14, 21	圃場A:0.83 ^(注5) 圃場B:0.79 ^(注5)	圃場A:1.66 ^(注5) (\$13) 圃場B:1.58 ^(注5) (\$13)	圃場A:-/-/-/-/- 圃場B:-/-/-/-/-	◎
もも (果肉)	3	22.4% SC	2000倍散布 333~400 L/10 a	3	3, 7, 14, 21, 28	圃場A:0.10 圃場B:0.06 圃場C:0.12 (3回, 14日)	圃場A:0.13 (\$14) 圃場B:0.08 (\$14) 圃場C:0.16 (3回, 14日) (\$14)	圃場A:0.01/0.09/-/-/- 圃場B:<0.01/0.05/-/-/- 圃場C:<0.01/*0.11/-/-/- (*3回, 14日)	
もも (果実、種子を除く。)	3	22.4% SC	2000倍散布 333~400 L/10 a	3	3, 7, 14, 21, 28	圃場A:0.39 圃場B:0.33 圃場C:0.29 (3回, 14日)	圃場A:0.51 (\$14) 圃場B:0.43 (\$14) 圃場C:0.38 (3回, 14日) (\$14)	圃場A:0.28/0.11/-/-/- 圃場B:0.27/0.06/-/-/- 圃場C:*0.15/*0.14/-/-/- (*3回, 14日)	
もも (果実、種子を含む。)	3	22.4% SC	2000倍散布 333~400 L/10 a	3	3, 7, 14, 21, 28	圃場A:0.38 圃場B:0.30 圃場C:0.27 (3回, 14日)	圃場A:0.50 (\$14) 圃場B:0.39 (\$14) 圃場C:0.35 (3回, 14日) (\$14)	圃場A:-/-/-/-/- 圃場B:-/-/-/-/- 圃場C:-/-/-/-/-	◎
ネクタリン (果実)	2	22.4% SC	2000倍散布 333 L/10 a	2	3, 7, 14, 21, 28	圃場A:0.45 圃場B:0.34 圃場A:0.63	圃場A:- 圃場B:- 圃場A:-	圃場A:0.22/0.23/-/-/- 圃場B:0.21/0.13/-/-/- 圃場A:0.52/*0.12/-/-/- (*3回, 14日)	
うめ (果実)	3	22.4% SC	2000倍散布 500, 500, 295~296 L/10 a	3	3, 7, 14, 21, 28	圃場B:1.22 圃場C:0.26	圃場B:- 圃場C:-	圃場B:*1.12/*0.17/-/-/- (*3回, 21日、**3回, 14日) 圃場C:*0.21/0.05/-/-/- (*3回, 14日)	
おうとう (果実)	2	22.4% SC	2000倍散布 450~488 L/10 a	2	3, 7, 14, 21 3, 7, 10, 21	圃場A:1.62 圃場B:1.02	圃場A:2.04 (\$15) 圃場B:1.29 (\$15)	圃場A:1.24/*0.52/-/-/- (*3回, 21日) 圃場B:0.74/*0.29/-/-/- (*3回, 10日)	◎
いちご (果実)	2	22.4% SC	50倍育苗ポット灌水 50 mL/育苗ポット 2000倍散布 208~300 L/10 a	1*2	1, 3, 7, 14	圃場A:1.03 圃場B:2.20	圃場A:1.08 圃場B:2.29	圃場A:0.58/0.45/0.037/<0.0085(\$)/<0.0095(\$) 圃場B:0.81/1.39/*0.099/<0.0085(\$)/0.022(*3回, 14日)	
	2	22.4% SC	2000倍散布 208~300 L/10 a	2	1, 3, 7, 14	圃場A:0.92 圃場B:3.19	圃場A:0.98 圃場B:3.36	圃場A:0.44/0.48/0.039/<0.0085(\$)/0.0145 圃場B:0.90/2.29/*0.132/*0.009/0.0485 (*3回, 7日、**3回, 14日)	◎
	2	22.4% SC	2000倍散布 333~381 L/10 a	2	3, 7, 14, 21, 28 3, 7, 14, 21, 28, 42	圃場A:3.24 圃場B:1.09 (3回, 21日)	圃場A:4.44 (\$16) 圃場B:1.49 (3回, 21日) (\$16)	圃場A:2.97/0.27/-/-/- 圃場B:*1.02/*0.07/-/-/- (*3回, 21日)	◎
	2	22.4% SC	2000倍散布 330~363 L/10 a	2	3, 7, 14, 21, 28 3, 7, 14, 21, 28, 42	圃場A:2.08 (3回, 28日) 圃場B:3.33	圃場A:2.85 (3回, 28日) (\$16) 圃場B:4.56 (\$16)	圃場A:*1.96/0.12/-/-/- (*3回, 28日) 圃場B:3.16/*0.18/-/-/- (*3回, 14日)	◎
かき (果実)	6	22.4% SC	2000倍散布 496~500 L/10 a	2	3, 7, 14, 21, 28	圃場A:0.24 圃場B:0.39 (3回, 14日) 圃場C:0.16 圃場D:0.62 圃場E:0.25 圃場F:0.37	圃場A:- 圃場B:- 圃場C:- 圃場D:- 圃場E:- 圃場F:-	圃場A:0.22/0.02/-/-/- 圃場B:*0.37/0.02/-/-/- (*3回, 14日) 圃場C:0.15/0.01/-/-/- 圃場D:0.59/0.03/-/-/- 圃場E:0.23/0.02/-/-/- 圃場F:0.35/0.02/-/-/-	
	2	22.4% SC	2000倍散布 463 L/10 a	2	14, 21, 28	圃場A:0.09 圃場B:0.04	圃場A:0.16 (\$17) 圃場B:0.07 (\$17)	圃場A:*0.06/0.04/-/-/- (*3回, 21日) 圃場B:0.01/0.03/-/-/-	◎
	2	22.4% SC	2000倍散布 595, 556 L/10 a	2	7, 14, 21	圃場A:0.29 圃場B:0.76	圃場A:- 圃場B:-	圃場A:0.206/0.08/-/-/- 圃場B:0.688/0.07/-/-/-	
	2	22.4% SC	2000倍散布 350 L/10 a	2	1, 3, 7, 14 1, 3, 7, 14, 21, 28	圃場A:0.06 圃場B:0.09 (3回, 14日)	圃場A:- 圃場B:-	圃場A:<0.01/0.05/-/-/- 圃場B:<0.01/*0.08/-/-/- (*3回, 14日)	
	2	22.4% SC	2000倍散布 200 L/10 a	2	1, 3, 7, 14	圃場A:0.17 圃場B:7.40	圃場A:0.27 (\$18) 圃場B:11.54 (\$18)	圃場A:0.13/0.04/-/-/- 圃場B:6.99/0.41/-/-/-	◎
	2	22.4% SC	2000倍散布 200 L/10 a	2	1, 3, 7, 14	圃場A:0.17 圃場B:7.40	圃場A:0.27 (\$18) 圃場B:11.54 (\$18)	圃場A:0.13/0.04/-/-/- 圃場B:6.99/0.41/-/-/-	◎

SC：フロアブル

-：分析せず

(\$)同一圃場から採取された1つのサンプルを2つの分析機関に分けて測定されており、結果を平均値として示したため、実際の定量限界とは異なる。

(※)印で示した作物残留試験成績は、登録又は申請された適用の範囲内で行われていないことを示す。また、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。

今回、新たに提出された作物残留試験成績に網掛けで示した。

基準値の設定根拠及び暴露評価にも使用されているものに◎、暴露評価に使用されているものに○で示した。

注1) スピロテトラマト及び代謝物M1の合計濃度(スピロテトラマトに換算した値)を示した。

注2) スピロテトラマト、代謝物M1、代謝物M5、代謝物M7及び代謝物M1グルコシドの残留濃度の合計濃度(スピロテトラマトに換算した値)を示した。(\$)で示しているものは代謝物M5、代謝物M7及び代謝物M1グルコシドが測定されていないため、以下に示す作物種およびPHIの海外作残試験において測定されているスピロテトラマト及び代謝物M1の残留濃度の合計とスピロテトラマト、代謝物M1、代謝物M5、代謝物M7及び代謝物M1グルコシド残留濃度の合計の比から係数を算出し、実測されているスピロテトラマト及び代謝物M1の残留濃度の合計からスピロテトラマト、代謝物M1、代謝物M5、代謝物M7及び代謝物M1グルコシドの残留濃度の合計を算出した。

- (※1)：だいこん (根) 2.50 (米国 carrot root PHI=7)
 (※2)：だいこん (葉) 1.36 (米国 ohlrabi leaf PHI=7)
 (※3)：非結球レタス 2.68 (米国及びEU butterhead, loose leaf, crisp-headレタス PHI=14)
 (※4)：ねぎ 1.52 (EU onion bulb PHI=7)
 (※5)：にんにく 1.53 (EU onion bulb PHI=14)
 (※6)：アスパラガス 1.62 (米国 artichoke, globe PHI=3)
 (※7)：かぼちゃ 2.53 (米国 summer squash PHI=1)
 (※8)：ほうれんそう 1.21 (米国 spinach PHI=7)
 (※9)：温州みかん (果皮) 1.54 (EU mandarin peel PHI=7)
 (※10)：温州みかん (果実) なつみかん (果実)、すだち、かぼす (果実) 2.50 (米国 grapefruits PHI=7)
 (※11)：りんご (果実) 1.86 (米国 pear PHI=14)
 (※12)：なし (果実) 1.38 (米国 pear PHI=14)
 (※13)：びわ (果実) 2.0 (peach及びapricot PHI=21)
 (※14)：もも (果実) 1.31 (米国及びEU peach PHI=7)
 (※15)：おうとう (果実) 1.26 (米国及びEU cherry PHI=7)
 (※16)：ぶどう (果実) 1.37 (EU grape, berry PHI=7)
 (※17)：パイナップル (果実) 1.75 (米国 pineapple PHI=1) (PHI=14では親及び全代謝物ともすべて定量限界以下であったためにPHI=1から算出した)
 (※18)：しそ (葉) 1.56 (米国 mustard green PHI=7)

注3) 当該農業の登録又は申請された適用の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験(いわゆる最大使用条件下の作物残留試験)を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留濃度の最大値を示した。

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留濃度が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留濃度が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について()内に記載した。

代謝物M1、代謝物M5、代謝物M7及び代謝物M1グルコシドの残留濃度は、スピロテトラマト濃度に換算した値で示した。

注4) 果肉及び果皮の重量比から果実全体の残留濃度を算出した。

注5) 種子を除いた果実の残留濃度が測定されているため、種子を含む果実の残留濃度に補正した。種子の残留濃度は測定していないことから、残留していないものとして算出した。

スピロテトラマトの作物残留試験一覧表 (米国)

農作物	試験 圃場数	試験条件				スピロテトラマト/代謝物M1 の残留濃度の合計 (mg/kg) ^{注1)}	スピロテトラマト/代謝物M1/ 代謝物M5/代謝物M7/代謝物M1 グルコンドの残留濃度の合計 (mg/kg) ^{注2)}	各化合物の残留濃度 (mg/kg) ^{注3)} 【スピロテトラマト/代謝物M1/代謝物M5 /代謝物M7/代謝物M1グルコンド】	設定 の根 拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数				
ばれいしょ (茎葉)	15	15.3% OD	0.086～0.092 kg ai/ha 散布 (計0.173～0.180 kg ai/ha)	2	7	圃場A:0.355	圃場A:0.412	圃場A:<0.01/0.345/0.038/<0.01/0.01 (#)	◎
					6	圃場B:0.151	圃場B:0.186	圃場B:<0.01/0.141/0.0145/<0.01/<0.01 (#)	◎
					7	圃場C:0.258	圃場C:0.315	圃場C:<0.01/0.248/0.037/<0.01/0.01 (#)	◎
					3, 7, 10, 14, 20	圃場D:0.195	圃場D:0.249	圃場D:<0.01/0.185/0.034/<0.01/<0.01 (#)	◎
					7	圃場E:0.168	圃場E:0.205	圃場E:<0.01/0.158/0.017/<0.01/<0.01 (#)	◎
					7	圃場F:0.037	圃場F:0.067	圃場F:<0.01/0.027/<0.01/<0.01/<0.01 (#)	◎
					7	圃場G:0.366	圃場G:0.450	圃場G:<0.01/0.356/0.065/<0.01/<0.01 (#)	◎
					7	圃場H:0.045	圃場H:0.075	圃場H:<0.01/0.035/<0.01/<0.01/<0.01 (#)	◎
					7	圃場I:0.067	圃場I:0.097	圃場I:<0.01/0.057/<0.01/<0.01/<0.01 (#)	◎
					7	圃場J:0.020	圃場J:0.050	圃場J:<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 (#)	◎
					7	圃場K:0.049	圃場K:0.079	圃場K:<0.01/0.039/<0.01/<0.01/<0.01 (#)	
					3, 6, 8, 13, 20	圃場L:0.106 (2回, 20日)	圃場L:0.136 (2回, 20日)	圃場L:<0.01/*0.096/<0.01/<0.01/<0.01 (*2回, 20日) (#)	◎
					7	圃場M:0.136	圃場M:0.167	圃場M:<0.01/0.126/0.011/<0.01/<0.01 (#)	◎
					7	圃場N:0.085	圃場N:0.115	圃場N:<0.01/0.075/<0.01/<0.01/<0.01 (#)	◎
					7	圃場O:0.046	圃場O:0.076	圃場O:<0.01/0.036/<0.01/<0.01/<0.01 (#)	◎
	4	22.4% SC	0.086～0.092 kg ai/ha 散布 (計0.173～0.180 kg ai/ha)	2	7	圃場E:0.105	圃場E:0.138	圃場E:<0.01/0.095/0.0125/<0.01/<0.01	
					7	圃場F:0.036	圃場F:0.066	圃場F:<0.01/0.026/<0.01/<0.01/<0.01	
					7	圃場K:0.051	圃場K:0.081	圃場K:<0.01/0.041/<0.01/<0.01/<0.01	◎
					7	圃場L:0.032	圃場L:0.062	圃場L:<0.01/0.022/<0.01/<0.01/<0.01	
キャベツ (葉球) (外葉あり)	6	100 g/L OD	0.085～0.090 kg ai/ha 散布 (計0.171～0.178 kg ai/ha)	2	1, 3, 7	圃場A:0.022 (2回, 3日)	圃場A:0.066 (2回, 3日)	圃場A:<0.01/*0.012/*0.023/<0.01/*0.0105 (*2回, 3日、*2回, 7日) (#)	◎
					1, 3, 7	圃場B:0.480	圃場B:0.644	圃場B:<0.01/0.164/*0.207/<0.01/*0.014 (*2回, 7日) (#)	
					1, 3, 7, 10	圃場C:0.081	圃場C:0.210	圃場C:<0.01/0.071/*0.120/<0.01/*0.021 (*2回, 3日、*2回, 7日) (#)	
					1, 3, 7	圃場D:0.242 (2回, 3日)	圃場D:0.421 (2回, 3日)	圃場D:0.153/0.089/*0.233/<0.01/*0.015 (*2回, 3日) (#)	
					1, 3, 7	圃場E:0.130 (2回, 3日)	圃場E:0.165 (2回, 3日)	圃場E:<0.01/0.097/*0.033/*0.0255/<0.01/<0.01 (*2回, 3日、*2回, 7日) (#)	
					1, 3, 7	圃場F:0.839 (2回, 7日)	圃場F:0.911 (2回, 7日)	圃場F:0.725/0.114/*0.072/<0.01/*0.032 (*2回, 3日) (#)	
	1	22.4% SC	0.085～0.090 kg ai/ha 散布 (計0.171～0.178 kg ai/ha)	2	1, 3, 7	圃場A:0.020	圃場A:0.054	圃場A:<0.01/<0.01/*0.0135/<0.01/0.0105 (*2回, 3日)	
	4	100 g/L OD	0.088 kg ai/ha 散布 (計0.173～0.177 kg ai/ha)	2	1, 3, 7	圃場A:0.309 (2回, 3日)	圃場A:0.706 (2回, 3日)	圃場A:<0.01/0.0335/*0.275/*0.491/<0.01/*0.067 (*2回, 3日、*2回, 7日) (#)	
					1, 3, 7, 10	圃場B:0.191 (2回, 7日)	圃場B:0.548 (2回, 7日)	圃場B:<0.01/0.040/*0.151/*0.336/<0.01/*0.0135 (*2回, 7日、*2回, 10日) (#)	
					1	圃場B:0.324	圃場B:0.360	圃場B:<0.01/0.314/0.016/<0.01/<0.01 (#)	
	1	22.4% SC	0.088 kg ai/ha 散布 (計0.173～0.177 kg ai/ha)	2	1, 3, 7	圃場C:0.087 (2回, 7日)	圃場C:0.172 (2回, 7日)	圃場C:<0.01/*0.077/*0.066/<0.01/<0.01 (*2回, 7日) (#)	
カリフラワー (花蕾)	3	100 g/L OD	0.086 ～ 0.090 kg ai/ha 散布 (計0.173～0.178 kg ai/ha)	2	1, 3, 7	圃場A:0.108	圃場A:0.335	圃場A:<0.01/0.098/0.207/<0.01/<0.01 (#)	
					1, 3, 7	圃場B:0.260	圃場B:0.524	圃場B:<0.01/*0.250/*0.244/<0.01/<0.01 (*2回, 7日) (#)	
					1, 3, 7	圃場C:0.091 (2回, 7日)	圃場C:0.429 (2回, 7日)	圃場C:<0.01/*0.081/0.318/<0.01/0.0105 (*2回, 7日) (#)	
	1	22.4% SC	0.086 ～ 0.090 kg ai/ha 散布 (計0.173～0.178 kg ai/ha)	2	1, 3, 7	圃場A:0.071 (2回, 3日)	圃場A:0.255 (2回, 3日)	圃場A:<0.01/*0.061/0.165/<0.01/<0.01 (*2回, 3日)	
レタス (茎葉) (外葉あり)	6	100 g/L OD	0.086～0.092 kg ai/ha 散布 (計0.173～180 kg ai/ha)	2	3, 7	圃場A:0.636	圃場A:0.754	圃場A:0.294/0.342/0.075/<0.01/0.0335 (*2回, 7日) (#)	
					3, 7	圃場B:0.141	圃場B:0.306	圃場B:0.01/0.131/0.026/<0.01/*0.1345 (*2回, 7日) (#)	
					0, 1, 3, 7, 10	圃場C:0.156	圃場C:0.227	圃場C:0.052/0.104/0.043/<0.01/*0.0215 (*2回, 7日) (#)	
					3, 7	圃場D:0.594	圃場D:0.708	圃場D:0.325/0.269/0.085/<0.01/*0.0235 (*2回, 7日) (#)	
					3, 7	圃場E:0.572	圃場E:0.815	圃場E:0.369/0.203/+0.204/<0.01/0.029 (#)	
					3, 7	圃場F:0.591	圃場F:0.822	圃場F:0.31/0.281/0.181/<0.01/0.04 (*2回, 3日) (#)	
	2	22.4% SC	0.086～0.092 kg ai/ha 散布 (計0.173～180 kg ai/ha)	2	3, 7	圃場B:0.111	圃場B:0.230	圃場B:0.018/0.093/0.0215/<0.01/<0.01 (*2回, 7日) (#)	
					3, 7	圃場D:0.796	圃場D:0.957	圃場D:0.414/0.382/0.128/<0.01/0.023 (*2回, 7日) (#)	
					3, 7	圃場A:0.512	圃場A:0.708	圃場A:0.218/0.295/0.064/<0.01/0.122 (#)	
					0, 1, 3, 7, 10	圃場B:0.549	圃場B:1.011	圃場B:0.035/0.514/0.051/<0.01/*0.4015" (*2回, 7日) (#)	
リーフレタス (茎葉)	6	100 g/L OD	0.087～0.093 kg ai/ha 散布 (計0.171～0.181 kg ai/ha)	2	3, 7	圃場C:0.110	圃場C:0.198	圃場C:<0.01/0.100/0.037/<0.01/0.041 (#)	
					3, 7	圃場D:0.848	圃場D:1.045	圃場D:0.380/0.468/0.083/<0.01/*0.158 (*2回, 7日) (#)	
					3, 7	圃場E:1.431	圃場E:1.604	圃場E:0.935/0.496/0.138/<0.01/*0.039 (*2回, 7日) (#)	
					3, 7	圃場F:0.655	圃場F:0.728	圃場F:0.149/0.506/0.037/<0.01/0.026 (*2回, 3日) (#)	
					3, 7	圃場C:0.129	圃場C:0.219	圃場C:0.0125/0.116/0.047/<0.01/*0.0425 (*2回, 7日)	
	1	22.4% SC	0.087～0.093 kg ai/ha 散布 (計0.171～0.181 kg ai/ha)	2	3, 7	圃場C:0.129	圃場C:0.219	圃場C:0.0125/0.116/0.047/<0.01/*0.0425 (*2回, 7日)	

スピロテトラマトの作物残留試験一覧表（米国）

農作物	試験 圃場数	試験条件				スピロテトラマト/代謝物M1 の残留濃度の合計 (mg/kg) ^{注1)}	スピロテトラマト/代謝物M1/ 代謝物M5/代謝物M7/代謝物M1 グルコシドの残留濃度の合計 (mg/kg) ^{注2)}	各化合物の残留濃度 (mg/kg) ^{注3)} 【スピロテトラマト/代謝物M1/代謝物M5 /代謝物M7/代謝物M1グルコシド】	設定 の根 拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数				
セロリ (茎葉)	6	100 g/L OD	0.085～0.089 kg ai/ha 散布 (計0.173～0.179 kg ai/ha)	2	3, 7	圃場A:0.270	圃場A:0.369	圃場A:0.171/0.099/0.067/<0.01/*0.029 (*2 回, 7日) (＃)	◎
					0, 1, 3, 7, 10	圃場B:0.332	圃場B:0.617	圃場B:0.162/0.170/0.198/<0.01/*0.143 (*2 回, 10日) (＃)	
					3, 7	圃場C:0.223 (2回, 7日)	圃場C:0.360 (2回, 7日)	圃場C:*0.123/*0.100/0.089/<0.01/*0.052 (*2 回, 7日) (＃)	
					3, 7	圃場D:1.899	圃場D:2.19	圃場D:1.355/0.544/0.235/<0.01/*0.08 (*2 回, 7日) (＃)	
					3, 7	圃場E:0.433	圃場E:0.629	圃場E:0.269/0.165/0.153/<0.01/*0.045 (*2 回, 7日) (＃)	
					3, 7	圃場F:2.328	圃場F:2.53	圃場F:1.807/0.521/0.085/<0.01/*0.14 (*2 回, 7日) (＃)	
ほうれんそう (茎葉)	6	100 g/L OD	0.085～0.089 kg ai/ha 散布 (計0.173～0.179 kg ai/ha)	2	3, 7	圃場B:0.290	圃場B:0.493	圃場B:0.158/0.132/*0.137/<0.01/*0.0565 (*2 回, 7日)	◎
					3, 7	圃場C:0.285	圃場C:0.415	圃場C:0.160/0.125/0.081/<0.01/*0.0385 (*2 回, 7日)	
					3, 6	圃場A:0.686	圃場A:0.953	圃場A:0.128/0.558/*0.183/<0.01/*0.0845 (*2 回, 6日) (＃)	
					0, 1, 3, 7, 10	圃場B:0.120	圃場B:0.220	圃場B:0.0245/0.095/0.0565/<0.01/0.0335 (＃)	
					3, 7	圃場C:1.330	圃場C:1.505	圃場C:0.569/0.761/0.155/<0.01/0.01 (＃)	
					3, 7	圃場D:2.720	圃場D:3.072	圃場D:1.062/1.658/0.325/<0.01/*0.018 (*2 回, 7日) (＃)	
バナナ (果実)	6	100 g/L OD	0.086～0.092 kg ai/ha 散布 (計0.172～0.183 kg ai/ha)	2	3, 7	圃場E:1.111	圃場E:1.196	圃場E:0.481/0.631/0.062/<0.01/0.0125 (＃)	◎
					3, 7	圃場F:0.814	圃場F:1.017	圃場F:0.228/0.586/0.168/<0.01/*0.029 (*2 回, 7日) (＃)	
					1	22.4% SC	0.086～0.092 kg ai/ha 散布 (計0.172～0.183 kg ai/ha)	圃場E:0.4765/0.899/0.096/<0.01/0.01	
					1	22.4% SC	0.280 kg ai/ha 散布 (計1.40 kg ai/ha)	圃場A:0.29/0.26/0.053/<0.01/<0.01	
					1	22.4% SC	0.280 kg ai/ha 散布 (計1.40 kg ai/ha)	圃場B:1.20/0.49/0.051/<0.01/<0.01	
					1	22.4% SC	0.280 kg ai/ha 散布 (計1.40 kg ai/ha)	圃場C:0.44/0.60/0.087/<0.01/0.015	
アボカド (果実)	5	15.3% OD	0.280 kg ai/ha 散布 (計1.40 kg ai/ha)	3	1, 3, 7, 14	圃場D:1.36	圃場D:1.466	圃場D:1.10/0.26/*0.086/<0.01/<0.01 (*3 回, 14日)	◎
					1, 3	圃場A:0.202 (3回, 3日)	圃場A:0.242 (3回, 3日)	圃場A:*0.120/*0.082/0.020/<0.01/<0.01 (*3 回, 3日) (＃)	
					1, 3	圃場B:0.108 (3回, 1日)	圃場B:0.146 (3回, 1日)	圃場B:0.036/0.072/0.018/<0.01/<0.01 (＃)	
					1, 3	圃場C:0.042	圃場C:0.072	圃場C:0.012/0.030/<0.01/<0.01/<0.01 (＃)	
					1, 3	圃場D:0.283 (3回, 1日)	圃場D:0.315 (3回, 1日)	圃場D:0.208/0.075/0.012/<0.01/<0.01	
					1, 3	圃場E:0.096 (3回, 1日)	圃場E:0.140 (3回, 1日)	圃場E:*0.072/*0.024/*0.024/<0.01/<0.01 (*3 回, 3日) (＃)	
グアバ (果実)	5	15.3% OD	0.280 kg ai/ha 散布 (計0.857～1.02 kg ai/ha)	3	1, 3	圃場A:0.194 (3回, 1日)	圃場A:0.228 (3回, 1日)	圃場A:0.116/0.078/*0.014/<0.01/<0.01 (*3 回, 3日) (＃)	◎
					1, 3	圃場D:0.296 (3回, 1日)	圃場D:0.336 (3回, 1日)	圃場D:0.206/0.090/*0.020/<0.01/<0.01 (*3 回, 3日) (＃)	
					1, 3	圃場A:0.430	圃場A:0.486	圃場A:0.191/0.239/0.036/<0.01/<0.01 (＃)	
					1, 3	圃場B:0.897	圃場B:0.943	圃場B:0.560/0.337/0.026/<0.01/<0.01 (＃)	
					1, 3, 7, 11	圃場C:0.665	圃場C:0.769	圃場C:0.412/0.253/0.084/<0.01/<0.01 (＃)	
					1, 3, 7, 12	圃場D:1.301	圃場D:1.378	圃場D:0.933/0.368/0.057/<0.01/<0.01 (＃)	
コーヒ一豆	5	22.4% SC	0.286～0.291 kg ai/ha 散布 (計0.889～0.834 kg ai/ha)	3	13	圃場A:0.038	圃場A:0.072	圃場A:<0.01/0.028/<0.01/<0.01/0.014 (＃)	◎
					14	圃場B:0.031	圃場B:0.062	圃場B:<0.01/0.021/<0.01/<0.01/0.011	
					1, 7, 14, 21	圃場C:0.028 (3回, 21日)	圃場C:0.059 (3回, 21日)	圃場C:*0.01/*0.018/<0.01/<0.01/*0.011 (*3 回, 21日)	

SC：フロアブル、OD：油分散型フロアブル

(＃)印で示した作物残留試験成績は、登録又は申請された適用の範囲内で行われていないことを示す。また、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。

基準値の設定根拠及び暴露評価にも使用されているものに◎で示した。

注1) スピロテトラマト及び代謝物M1の合計濃度（スピロテトラマトに換算した値）を示した。

注2) スピロテトラマト、代謝物M1、代謝物M5、代謝物M7及び代謝物M1グルコシドの残留濃度の合計濃度（スピロテトラマトに換算した値）を示した。

注3) 当該農薬の登録又は申請された適用の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留濃度の最大値を示した。

代謝物M1、代謝物M5、代謝物M7及び代謝物M1グルコシドの残留濃度は、スピロテトラマト濃度に換算した値で示した。

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留濃度が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留濃度が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について（ ）内に記載した。

スピロテトラマトの作物残留試験一覧表 (カナダ)

農作物	試験 圃場 数	試験条件				スピロテトラマト/代謝物M1 の残留濃度の合計 (mg/kg) 注1)	スピロテトラマト/代謝物M1/ 代謝物M5/代謝物M7/代謝物M1 グルコシドの残留濃度の合計 (mg/kg) 注2)	各化合物の残留濃度 (mg/kg) 注3) 【スピロテトラマト/代謝物M1/代謝物M5 /代謝物M7/代謝物M1グルコシド】	設定 の根 拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数				
たまねぎ (鱗茎)	12	22.4% SC	0.084～0.094 kg ai/ha 散布 (計0.174～0.186 kg ai/ha)	2	3	圃場A:0.075	圃場A:0.107	圃場A:<0.01/0.065/<0.012/<0.012/<0.008	◎
					4	圃場A:0.095	圃場A:0.127	圃場A:<0.01/0.085/<0.012/<0.012/<0.008	◎
					1, 3, 6, 9	圃場B:0.23	圃場B:0.26	圃場B:<0.01/0.22/0.014/<0.012/<0.008	◎
					3	圃場B:0.28	圃場B:0.31	圃場B:<0.01/0.27/0.015/<0.012/<0.008	◎
					2	圃場C:0.058	圃場C:0.090	圃場C:<0.01/0.048/<0.012/<0.012/<0.008	
					3	圃場D:<0.022	圃場D:<0.054	圃場D:<0.01/<0.012/<0.012/<0.012/<0.008	◎
					3	圃場E:<0.022	圃場E:<0.054	圃場E:<0.01/<0.012/<0.012/<0.012/<0.008	◎
					1, 4, 7, 10	圃場F:0.057 (2回, 7日)	圃場F:0.089 (2回, 7日)	圃場F:*<0.01/*0.047/<0.012/<0.012/<0.008 (#)	◎
					2	圃場G:0.046	圃場G:0.078	圃場G:<0.01/0.036/<0.012/<0.012/<0.008	
					4	圃場H:<0.022	圃場H:<0.054	圃場H:<0.01/<0.012/<0.012/<0.012/<0.008	◎
					3	圃場I:0.051	圃場I:0.083	圃場I:<0.01/0.041/<0.012/<0.012/<0.008	◎
					4	圃場J:0.027	圃場J:0.059	圃場J:<0.01/0.017/<0.012/<0.012/<0.008	◎
ブッシュベ リー (ブルーベ リー) (果実)	11	22.4% SC	0.170～0.187 kg ai/ha 散布 (計0.522～0.557 kg ai/ha)	3	8	圃場A:0.68	圃場A:1.20	圃場A:0.31/0.37/0.38/0.11/0.034	◎
					7	圃場B:0.37	圃場B:0.66	圃場B:0.13/0.24/0.21/0.06/0.016	
					7	圃場C:0.31	圃場C:0.45	圃場C:0.25/0.059/0.11/0.019/<0.01	
					1, 3, 7, 10	圃場D:0.146	圃場D:0.40	圃場D:0.036/0.11/0.19/*0.048/*0.014 (*2 回, 10日)	
					7	圃場E:0.167	圃場E:0.44	圃場E:0.078/0.089/0.21/0.048/0.012	
					7	圃場F:0.30	圃場F:0.47	圃場F:0.23/0.066/0.15/<0.01/<0.01	
					7	圃場G:0.53	圃場G:0.69	圃場G:0.46/0.066/0.14/<0.01/<0.01	
					7	圃場H:0.53	圃場H:1.56	圃場H:0.12/0.41/0.82/0.17/0.038	
					7	圃場I:0.69	圃場I:1.06	圃場I:0.41/0.28/0.25/0.096/0.028	
					6	圃場J:0.21	圃場J:0.49	圃場J:0.10/0.11/0.23/0.036/0.017	
					6	圃場K:0.39	圃場K:0.60	圃場K:0.29/0.097/0.18/0.025/0.011	

SC：フロアブル

(H)印で示した作物残留試験成績は、登録又は申請された適用の範囲内で行われていないことを示す。また、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。

基準値の設定根拠及び暴露評価にも使用されているものに◎で示した。

注1) スピロテトラマト及び代謝物M1の合計濃度 (スピロテトラマトに換算した値) を示した。

注2) スピロテトラマト、代謝物M1、代謝物M5、代謝物M7及び代謝物M1グルコシドの残留濃度の合計濃度 (スピロテトラマトに換算した値) を示した。

注3) 当該農薬の登録又は申請された適用の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験 (いわゆる最大使用条件下の作物残留試験) を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留濃度の最大値を示した。

代謝物M1、代謝物M5、代謝物M7及び代謝物M1グルコシドの残留濃度は、スピロテトラマト濃度に換算した値で示した。

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留濃度が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留濃度が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について () 内に記載した。

スピロテトラマトの作物残留試験一覧表（豪州）

農作物	試験圃場数	試験条件				スピロテトラマト/代謝物M1 の残留濃度の合計 (mg/kg) 注1)	スピロテトラマト/代謝物M1/ 代謝物M5/代謝物M7/代謝物M1 グルコシドの残留濃度の合計 (mg/kg) 注2)	各化合物の残留濃度 (mg/kg) 注3) 【スピロテトラマト/代謝物M1/代謝物M5 /代謝物M7/代謝物M1グルコシド】	設定 の根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数				
キャベツ (葉球)	6	22.4% SC	96 g ai/ha 散布	3	0, 3, 7, 14	圃場A:1.71 (3回, 7日)	圃場A:1.91 (3回, 7日)	圃場A:*<0.02/*1.686/0.378/<0.025/0.024 (※3回, 7日)	
						圃場B:0.06 (3回, 7日)	圃場B:0.39 (3回, 7日)	圃場B:*<0.02/*0.037/*0.271/<0.025/*0.032 (※3回, 7日)	
					0, 3, 7	圃場C:0.12 (3回, 7日)	圃場C:0.25 (3回, 7日)	圃場C:*<0.02/*0.099/0.094/<0.025/<0.016 (※3回, 7日)	
						圃場D:<0.04	圃場D:0.11	圃場D:<0.02/<0.025/<0.024/<0.025/<0.016	
					0, 3, 7, 14	圃場E:0.38 (3回, 14日)	圃場E:0.66 (3回, 14日)	圃場E:*<0.02/*0.360/*0.236/<0.025/*0.016 (※3回, 14日, ※3回, 7日)	
						圃場F:0.37	圃場F:0.62	圃場F:0.10/0.273/0.153/<0.025/0.073	
ブロッコリー (花蕾)	4	22.4% SC	96 g ai/ha 散布	2	7	圃場A:0.11	圃場A:0.81	圃場A:<0.02/0.087/0.625/<0.025/0.049	◎
					6	圃場B:0.58	圃場B:1.16	圃場B:<0.02/0.558/0.507/<0.025/0.049	
					7	圃場C:0.04	圃場C:0.28	圃場C:<0.02/0.025/0.177/<0.025/0.032	
						圃場D:0.42	圃場D:0.76	圃場D:<0.02/0.397/0.307/<0.025/0.016	
					0, 1, 3, 7	圃場A:0.13 (3回, 7日)	圃場A:1.43 (3回, 7日)	圃場A:<0.02/*0.112/*1.239/<0.025/0.073 (※3回, 7日)	
						0, 2, 3, 7	圃場B:3.41 (3回, 7日)	圃場B:3.82 (3回, 7日)	
	4			3	0, 3, 7, 14	圃場C:<0.04 (3回, 14日)	圃場C:0.21 (3回, 14日)	圃場C:<0.02/<0.025/0.106/<0.025/*0.097 (※3回, 14日)	
					0, 3, 8, 10	圃場D:1.26 (3回, 8日)	圃場D:1.50 (3回, 8日)	圃場D:*0.04/*1.215/0.153/<0.025/*0.105 (※3回, 8日)	

SC：フロアブル

(#)印で示した作物残留試験成績は、登録又は申請された適用の範囲内で行われていないことを示す。また、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。

基準値の設定根拠及び暴露評価にも使用されているものに◎で示した。

注1) スピロテトラマト及び代謝物M1の合計濃度（スピロテトラマトに換算した値）を示した。

注2) スピロテトラマト、代謝物M1、代謝物M5、代謝物M7及び代謝物M1グルコシドの残留濃度の合計濃度（スピロテトラマトに換算した値）を示した。

注3) 当該農薬の登録又は申請された適用の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留濃度の最大値を示した。

代謝物M1、代謝物M5、代謝物M7及び代謝物M1グルコシドの残留濃度は、スピロテトラマト濃度に換算した値で示した。

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留濃度が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留濃度が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について（ ）内に記載した。

スピロテトラマトの作物残留試験一覧表 (EU)

農作物	試験 圃場数	試験条件				スピロテトラマト/代謝物 M1の残留濃度の合計 (mg/kg) ^{注1)}	スピロテトラマト/代謝物 M1/代謝物M5/代謝物M7/代 謝物M1グルコシドの残留濃 度の合計 (mg/kg) ^{注2)}	各化合物の残留濃度 (mg/kg) ^{注3)} 【スピロテトラマト/代謝物M1/代謝物M5 /代謝物M7/代謝物M1グルコシド】	設定 の根 拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数				
にんじん (根部)	16	9.3% SC	0.075 kg ai/ha 散布 (計0.30 kg ai/ha)	4	0, 7, 14, <u>21</u> , 28	圃場A:<0.02	圃場A:<0.05	圃場A:<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01	◎
					0, <u>21</u>	圃場B:<0.02	圃場B:<0.05	圃場B:<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01	
					0, 7, 14, <u>21</u> , 28	圃場C:<0.02	圃場C:<0.05	圃場C:<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01	
					0, <u>21</u>	圃場D:<0.02	圃場D:<0.05	圃場D:<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01	
					8, 13, <u>21</u> , 27	圃場E:<0.02	圃場E:<0.05	圃場E:<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01	
					0, <u>21</u>	圃場F:<0.02	圃場F:<0.05	圃場F:<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01	
					7, 14, <u>21</u> , 28	圃場G:<0.02	圃場G:<0.05	圃場G:<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01	
					0, <u>21</u>	圃場H:<0.02	圃場H:<0.05	圃場H:<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01	
					0, 7, 14, <u>21</u> , 28	圃場I:<0.02	圃場I:<0.05	圃場I:<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01	
					0, <u>21</u>	圃場J:0.05	圃場J:0.08	圃場J:<0.01/0.038/<0.01/<0.01/<0.01	
					0, 7, 14, <u>21</u> , 28	圃場K:<0.02	圃場K:<0.05	圃場K:<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01	
					0, <u>21</u>	圃場L:0.03	圃場L:0.06	圃場L:<0.01/0.015/<0.01/<0.01/<0.01	
					0, 7, 14, <u>21</u> , 27	圃場M:<0.02	圃場M:<0.05	圃場M:<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01	
					0, <u>21</u>	圃場N:<0.02	圃場N:<0.05	圃場N:<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01	
					0, 7, 14, <u>21</u> , 28	圃場O:<0.02	圃場O:<0.05	圃場O:<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01	
					0, <u>21</u>	圃場P:0.03	圃場P:0.06	圃場P:<0.01/0.015/<0.01/<0.01/<0.01	

SC：フロアブル

基準値の設定根拠及び暴露評価にも使用されているものに◎で示した。

注1) スピロテトラマト及び代謝物M1の合計濃度（スピロテトラマトに換算した値）を示した。

注2) スピロテトラマト、代謝物M1、代謝物M5、代謝物M7及び代謝物M1グルコシドの残留濃度の合計濃度（スピロテトラマトに換算した値）を示した。

注3) 当該農業の登録又は申請された適用の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留濃度の最大値を示した。

代謝物M1、代謝物M5、代謝物M7及び代謝物M1グルコシドの残留濃度は、スピロテトラマト濃度に換算した値で示した。

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付している。

食品名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	国/地域 基準値 ppm	
とうもろこし	2	2		1.5		
大豆	4	5		4		
小豆類	2	3		2		
えんどう	2	3		2		
そら豆	2	3		2		
その他の豆類	2	3		2		
ばれいしょ	1	1	○	0.8		0.139,0.379(¥)
さといも類(やつがしらを含む。)	0.6	0.6	○		0.60 米国 ^注	【<0.020~0.366(n=15)(米国ばれいしょ)】
かんしょ	0.6	0.6			0.60 米国 ^注	【さといも類(やつがしらを含む。) 参照】
やまいも(長いもをいう。)	0.6	0.6			0.60 米国 ^注	【さといも類(やつがしらを含む。) 参照】
その他のいも類	0.6	0.6			0.60 米国 ^注	【さといも類(やつがしらを含む。) 参照】
てんさい	0.06	0.1	○	0.06		
だいこん類(ラディッシュを含む。)	0.6	0.05	申			0.11~0.22(n=6)
だいこん類(ラディッシュを含む。)	20	7	申	7		0.56~9.00(n=6)
かぶ類の根	0.06	0.05			0.07 EU	【<0.02~0.05(n=16)(EU(こんじん))】
かぶ類の葉	7	7		7		
西洋わさび	0.06	0.05			0.07 EU	【かぶ類の根参照】
クレソン	7	7		7		
はくさい	7	7	○	7		
キャベツ	7	7	○	2	7 豪州	【<0.04~3.41(n=4)(豪州ブロッコリー)】
芽キャベツ	2	1			2.5 米国 ^注	【0.022~0.839(n=6)(米国キャベツ(外葉あり))】
ケール	7	7		7		
こまつな	7	7		7		
きょうな	7	7		7		
チンゲンサイ	7	7		7		
カリフラワー	7	7		1	7 豪州	【キャベツ参照】
ブロッコリー	7	7	○	1	7 豪州	【キャベツ参照】
その他のあぶらな科野菜	7	7		7		
サルシフィー	0.06	0.05			0.1 EU	【かぶ類の根参照】
アーティチョーク	1	1		1		
チコリ	7	7		7		
エンダイブ	7	7		7		
しゅんぎく	7	7		7		
レタス(サラダ菜及びちしゃを含む。)	20	15	○	7		2.92,8.34(リーフレタス)、 0.90,2.63(サラダ菜)
その他のきく科野菜	7	7	○	7		
たまねぎ	0.5	0.8		0.4	0.8 カナダ ^注	【<0.022~0.276(n=10)(カナダ)】
ねぎ(リーキを含む。)	1	0.8	○・申			0.07,0.11,0.16(根深ねぎ)、 0.52,0.55,0.72(葉ねぎ)
にんにく	0.7	0.8	○		0.8 カナダ ^注	0.22,0.30(¥)
にら	0.5	0.8			0.8 カナダ ^注	【たまねぎ参照】
アスパラガス	1	1	○			0.10,0.31(¥)
その他のゆり科野菜	0.5	0.8			0.8 カナダ ^注	【たまねぎ参照】
にんじん	0.06	0.05		0.04	0.07 EU	【かぶ類の根参照】
パセリ	5	5			9.0 米国 ^注	【0.223~2.328(n=6)(米国セロリ)】
セロリ	4	5		4		
その他のせり科野菜	5	5			9.0 米国 ^注	【パセリ参照】

食品名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	国/地域 基準値 ppm	
トマト	2	3	○	1		0.399,0.950(¥)(ミニトマト)
ピーマン	5	10	○	1		1.91,2.69(¥)
なす	1	2	○	1		0.40,0.48(¥)
その他のなす科野菜	10	10	○	7		2.08,3.86(¥)(ししとう)
きゅうり(ガーキンを含む。)	1	2	○	0.2		0.27,0.38(¥)
かぼちゃ(スカッシュを含む。)	0.8	2	○	0.2		0.07,0.11,0.35
しろうり	0.2	0.2		0.2		
すいか		0.1	○			
すいか(果皮を含む。)	0.2		○	0.2		
メロン類果実		0.1	○			
メロン類果実(果皮を含む。)	0.2		○	0.2		
まくわうり		0.03				
まくわうり(果皮を含む。)	0.2			0.2		
その他のうり科野菜	7	7	○	7		
ほうれんそう	8	7	○・申	7		2.07~3.60(n=6)
オクラ	1	1		1		
しょうが	0.6	0.6	○		0.60 米国 ^{注)}	【米国ばれいしょ参照】
未成熟えんどう	2	3		1.5		
未成熟いんげん	2	3		1.5		
えだまめ	2	3		1.5		
その他の野菜	7	7	○	7		
みかん		0.4	○			
みかん(外果皮を含む。)	4		○	0.5		0.49~1.92(n=6)
なつみかんの果実全体	0.7	1	○	0.5		0.17,0.22,0.24
レモン	0.7	3	○	0.5		0.06(すだち)、0.29(かぼす)(¥)
オレンジ(ネーブルオレンジを含む。)	4	3	○	0.5		(みかん(外果皮を含む。))参照
グレープフルーツ	0.7	3	○	0.5		(なつみかんの果実全体参照)
ライム	0.7	3	○	0.5		(レモン参照)
その他のかんきつ類果実	4	3	○	0.5		(みかん(外果皮を含む。))参照
りんご	0.7	0.7	○	0.7		0.05~0.37(n=6)
日本なし	0.9	0.7	○	0.7		0.20,0.30,0.33
西洋なし	0.9	0.7	○	0.7		(日本なし参照)
マルメロ	0.7	0.7		0.7		
びわ		0.7	○			
びわ(果梗を除き、果皮及び種子を含む。)	2		○	0.7		0.79,0.83(¥)
もも		1	○			
もも(果皮及び種子を含む。)	1		○			0.27,0.30,0.38
ネクタリン	3	3	○	3		
あんず(アプレコットを含む。)	3	3	○	3		
すもも(ブルーネを含む。)	3	5	○	3		※1
うめ	3	3	○	3		
おうとう(チェリーを含む。)	5	5	○	3		1.02,1.62(¥)
いちご	10	10	○	0.3		0.92,3.19(¥)
ブルーベリー	2	3		1.5		
クランベリー	0.2	3		0.2		
ハックルベリー	2	3			3.0 カナダ ^{注)}	【0.15~0.69(n=11)(カナダブルーベリー)】
その他のベリー類果実	2	3		1.5		
ぶどう	8	5	○	2		1.09~3.33(n=4)
かき	2	3	○			【0.267~0.808(¥)(n=4)(米国グアバ)】※2

食品名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm	
				国際 基準 ppm	国/地域 基準値 ppm		
バナナ	4	4	○	0.4	4.0	米国 ^{注)}	【0.55～1.69(n=4)(米国)】
パパイヤ	0.4	0.4			0.60	米国 ^{注)}	【0.042～0.283(#)(n=5)(米国)】 0.04,0.09(¥)
アボカド	0.6	0.6					
パイナップル	0.3	0.3					
グアバ	2	3					
マンゴー	0.3	0.3					
パッションフルーツ	2	3					
							【かき参照】
その他の果実	15	15	○	15			
綿実	0.4	0.7		0.4			
ぎんなん	0.5	0.5		0.5			
くり	0.5	0.5		0.5			
ペカン	0.5	0.5		0.5			
アーモンド	0.5	0.5		0.5			
くるみ	0.5	0.5		0.5			
その他のナッツ類	0.5	0.5		0.5			
コーヒー豆	0.1	0.2			0.20	米国 ^{注)}	【0.028,0.031,0.038(米国)】
ホップ	15	15		15			
その他のスパイス	20	15	○				2.65～8.51(n=6)(みかん果皮)
その他のハーブ	15	15	○	7			0.17,7.40(¥)(しそ)
牛の筋肉	0.05	0.05		0.05			【推:0.079】 【牛の脂肪参照】 【牛の脂肪参照】
豚の筋肉	0.05	0.05		0.05			
その他の陸棲哺乳類に属する動物の筋肉	0.05	0.05		0.05			
牛の脂肪	0.08	0.08					
豚の脂肪	0.08	0.08					
その他の陸棲哺乳類に属する動物の脂肪	0.08	0.08					
牛の肝臓	1	1		1			
豚の肝臓	1	1		1			
その他の陸棲哺乳類に属する動物の肝臓	1	1		1			
牛の腎臓	1	1		1			
豚の腎臓	1	1		1			
その他の陸棲哺乳類に属する動物の腎臓	1	1		1			
牛の食用部分	1	1		1			
豚の食用部分	1	1		1			
その他の陸棲哺乳類に属する動物の食用部分	1	1		1			
乳	0.01	0.01		0.005			【推:0.007】
鶏の筋肉	0.01			0.01			
その他の家さんの筋肉	0.01			0.01			
鶏の肝臓	0.01			0.01			
その他の家さんの肝臓	0.01			0.01			
鶏の腎臓	0.01			0.01			
その他の家さんの腎臓	0.01			0.01			
鶏の食用部分	0.01			0.01			
その他の家さんの食用部分	0.01			0.01			
鶏の卵	0.01			0.01			
その他の家さんの卵	0.01			0.01			

食品名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	国/地域 基準値 ppm	
はちみつ	0.05					※3
とうがらし(乾燥させたもの)				15		※4
すもも(乾燥させたもの)				5		※4
干しぶどう				4		※4

太枠: 本基準(暫定基準以外の基準)を見直した基準値
斜線: 食品区分を別途新設すること等に伴い、削除した食品区分、もしくは加工食品につき基準値を設定しないもの
○: 既に、国内において登録等がされているもの
申: 農薬の登録申請等に伴い基準値設定依頼がなされたもの
(#): 適用の範囲内で試験が行われていない作物残留試験成績
(¥): 基準値設定の根拠とした作物残留試験成績(最大値)
推: 推定される残留濃度
注) 米国およびカナダは残留の規制対象がスピロテトラマト、代謝物M1、代謝物M5、代謝物M7及び代謝物M1グルコシドであり、この和から両国の基準値が設定されている。
※1) 国際基準はprunes (dry) 5であるためstone fruits (goup)の国際基準を用いた。
※2) かき及びパッションフルーツについては米国のグアバの残留試験成績をプロポーショナルティ(proportionality)の原則に基づき、処理濃度の比例性を考慮して換算した。なお、GAPに適合した使用量として、グアバは米国の 15.3% OD及び22.4% SCにおける179 g ai/ha を基に換算した(JMPR 2015)。
※3) 「食品中の農薬の残留基準設定の基本原則について」(令和6年6月25日食品衛生基準審議会農薬・動物用医薬品部会)の別添3「はちみつ中の農薬等の基準設定の方法について」に基づき設定。
※4) 加工食品である「とうがらし(乾燥させたもの)」、「すもも(乾燥させたもの)」及び「干しぶどう」について、国際基準が設定されているが、加工係数を用いて原材料中の濃度に換算した値が当該原材料の基準値案を超えないことから、基準値を設定しないこととする。基準値が設定されていない加工食品については、原材料の基準値に基づき加工係数を考慮して適否を判断することとしている。なお、本物質について、JMPRはとうがらし(乾燥させたもの)の加工係数を7.0、すもも(乾燥させたもの)の加工係数を4.6及び干しぶどうの加工係数を3.4と算出している。

スピロテトラマトの推定摂取量 (単位: $\mu\text{g}/\text{人}/\text{day}$)

食品名	基準値案 (ppm)	暴露評価に 用いた数値 (ppm)	国民全体 (1歳以上) EDI	幼小児 (1~6歳) EDI	妊婦 EDI	高齢者 (65歳以上) EDI
とうもろこし	2	0.31	1.5	1.7	1.9	1.3
大豆	4	0.45	17.6	9.2	14.1	20.7
小豆類	2	0.21	0.5	0.2	0.2	0.8
えんどう	2	0.21	0.0	0.0	0.0	0.0
そら豆	2	0.21	0.1	0.0	0.2	0.2
その他の豆類	2	0.21	0.0	0.0	0.0	0.0
ばれいしょ	1	0.285	10.9	9.7	11.9	10.0
さといも類 (やつがしらを含む。)	0.6	0.136	0.7	0.2	0.2	1.0
かんしょ	0.6	0.136	0.9	0.9	1.7	1.3
やまいも (長いもをいう。)	0.6	0.136	0.4	0.1	0.2	0.6
その他のいも類	0.6	0.136	0.0	0.0	0.0	0.0
てんさい	0.06	0.052	1.7	1.4	2.1	1.7
だいこん類 (ラディッシュを含む。) の根	0.6	0.463	15.3	5.3	9.5	21.2
だいこん類 (ラディッシュを含む。) の葉	20	3.01	5.1	1.8	9.3	8.4
かぶ類の根	0.06	0.05	0.1	0.0	0.0	0.3
かぶ類の葉	7	3.7	1.1	0.4	0.4	2.2
西洋わさび	0.06	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0
クレソン	7	3.7	0.4	0.4	0.4	0.4
はくさい	7	3.7	65.5	18.9	61.4	79.9
キャベツ	7	1.5	36.2	17.4	28.5	35.7
芽キャベツ	2	0.32	0.0	0.0	0.0	0.0
ケール	7	3.7	0.7	0.4	0.4	0.7
こまつな	7	3.7	18.5	6.7	23.7	23.7
きょうな	7	3.7	8.1	1.5	5.2	10.0
チンゲンサイ	7	3.7	6.7	2.6	6.7	7.0
カリフラワー	7	1.5	0.8	0.3	0.2	0.8
ブロッコリー	7	1.5	7.8	5.0	8.3	8.6
その他のあぶらな科野菜	7	3.7	12.6	2.2	3.0	17.8
サルシフィー	0.06	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0
アーティチョーク	1	0.41	0.0	0.0	0.0	0.0
チコリ	7	3.7	0.4	0.4	0.4	0.4
エンダイブ	7	3.7	0.4	0.4	0.4	0.4
しゅんぎく	7	3.7	5.6	1.1	9.6	9.3
レタス (サラダ菜及びちしゃを含む。)	20	7.44	71.4	32.7	84.8	68.4
その他のきく科野菜	7	3.7	5.6	0.4	2.2	9.6
たまねぎ	0.5	0.086	2.7	1.9	3.0	2.4
ねぎ (リーキを含む。)	1	0.52	4.9	1.9	3.5	5.6
にんにく	0.7	0.398	0.2	0.0	0.4	0.2
にら	0.5	0.086	0.2	0.1	0.2	0.2
アスパラガス	1	0.332	0.6	0.2	0.3	0.8
その他のゆり科野菜	0.5	0.086	0.1	0.0	0.0	0.1
にんじん	0.06	0.05	0.9	0.7	1.1	0.9
パセリ	5	0.62	0.1	0.1	0.1	0.1
セロリ	4	0.58	0.7	0.3	0.2	0.7
その他のせり科野菜	5	0.62	0.1	0.1	0.2	0.2
トマト	2	0.75	24.1	14.3	24.0	27.5
ピーマン	5	2.6	12.5	5.7	19.8	12.7
なす	1	0.48	5.8	1.0	4.8	8.2
その他のなす科野菜	10	3.17	3.5	0.3	3.8	3.8
きゅうり (ガーキンを含む。)	1	0.375	7.8	3.6	5.3	9.6
かぼちゃ (スカッシュを含む。)	0.8	0.28	2.6	1.0	2.2	3.6
しろうり	0.2	0.057	0.0	0.0	0.0	0.1
すいか (果皮を含む。)	0.2	0.057	0.4	0.3	0.8	0.6
メロン類果実 (果皮を含む。)	0.2	0.057	0.2	0.2	0.3	0.2
まくわうり (果皮を含む。)	0.2	0.057	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のうり科野菜	7	3.7	10.0	4.4	2.2	12.6

スピロテトラマトの推定摂取量 (単位: $\mu\text{g}/\text{人}/\text{day}$)

食品名	基準値案 (ppm)	暴露評価に 用いた数値 (ppm)	国民全体 (1歳以上) EDI	幼小児 (1～6歳) EDI	妊婦 EDI	高齢者 (65歳以上) EDI
ほうれんそう	8	2.95	37.8	17.4	41.9	51.3
オクラ	1	0.43	0.6	0.5	0.6	0.7
しょうが	0.6	0.136	0.2	0.0	0.1	0.2
未成熟えんどう	2	0.505	0.8	0.3	0.1	1.2
未成熟いんげん	2	0.505	1.2	0.6	0.1	1.6
えだまめ	2	0.505	0.9	0.5	0.3	1.4
その他の野菜	7	3.7	49.6	23.3	37.4	52.2
みかん (外果皮を含む。)	4	3.59	63.9	58.9	2.2	94.1
なつみかんの果実全体	0.7	0.55	0.7	0.4	2.6	1.2
レモン	0.7	0.44	0.2	0.0	0.1	0.3
オレンジ (ネーブルオレンジを含む。)	4	3.59	25.1	52.4	44.9	15.1
グレープフルーツ	0.7	0.55	2.3	1.3	4.9	1.9
ライム	0.7	0.44	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のかんきつ類果実	4	3.59	21.2	9.7	9.0	34.1
りんご	0.7	0.42	10.2	13.0	7.9	13.6
日本なし	0.9	0.41	2.6	1.4	3.7	3.2
西洋なし	0.9	0.41	0.2	0.1	0.0	0.2
マルメロ	0.7	0.17	0.0	0.0	0.0	0.0
びわ (果梗を除き、果皮及び種子を含む。)	2	1.62	0.8	0.5	3.1	0.6
もも (果皮及び種子を含む。)	1	0.39	1.3	1.4	2.1	1.7
ネクタリン	3	1.6	0.2	0.2	0.2	0.2
あんず (アブリコットを含む。)	3	1.6	0.3	0.2	0.2	0.6
すもも (ブルーンを含む。)	3	1.6	1.8	1.1	1.0	1.8
うめ	3	1.6	2.2	0.5	1.0	2.9
おうとう (チェリーを含む。)	5	1.66	0.7	1.2	0.2	0.5
いちご	10	2.17	11.7	16.9	11.3	12.8
ブルーベリー	2	0.63	0.7	0.4	0.3	0.9
クランベリー	0.2	0.066	0.0	0.0	0.0	0.0
ハuckleベリー	2	0.6	0.1	0.1	0.1	0.1
その他のベリー類果実	2	0.63	0.1	0.1	0.1	0.1
ぶどう	8	3.64	31.7	29.8	73.5	32.8
かき	2	0.53	5.2	0.9	2.1	9.6
バナナ	4	1.31	17.3	19.9	21.4	24.8
パパイヤ	0.4	0.17	0.0	0.1	0.0	0.0
アボカド	0.6	0.146	0.0	0.0	0.0	0.1
パイナップル	0.3	0.11	0.2	0.3	0.2	0.2
グアバ	2	0.55	0.1	0.1	0.1	0.1
マンゴー	0.3	0.16	0.0	0.0	0.0	0.0
パッションフルーツ	2	0.53	0.1	0.1	0.1	0.1
その他の果実	15	1.6	1.9	0.6	1.4	2.7
綿実	0.4	0.095	0.0	0.0	0.0	0.0
ぎんなん	0.5	0.084	0.0	0.0	0.0	0.0
くり	0.5	0.084	0.1	0.0	0.0	0.1
ペカン	0.5	0.084	0.0	0.0	0.0	0.0
アーモンド	0.5	0.084	0.0	0.0	0.0	0.0
くるみ	0.5	0.084	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のナッツ類	0.5	0.084	0.0	0.0	0.0	0.0
コーヒー豆	0.1	0.062	0.2	0.0	0.0	0.1
ホップ	15	5.2	0.5	0.5	0.5	0.5
その他のスパイス	20	9.62	1.0	1.0	1.0	1.9
その他のハーブ	15	5.90	5.3	1.8	0.6	8.3
陸棲哺乳類の肉類	0.08	筋肉 0.05 脂肪 0.03	2.7	2.0	3.0	1.9
陸棲哺乳類の乳類	0.01	0.004	1.1	1.3	1.5	0.9
家さんの肉類	0.01	0.0016	0.0	0.0	0.0	0.0
家さんの卵類	0.01	0.0023	0.1	0.1	0.1	0.1

スピロテトラマトの推定摂取量 (単位: $\mu\text{g}/\text{人}/\text{day}$)

食品名	基準値案 (ppm)	暴露評価に 用いた数値 (ppm)	国民全体 (1歳以上) EDI	幼小児 (1～6歳) EDI	妊婦 EDI	高齢者 (65歳以上) EDI
はちみつ	0.05	● 0.05	0.0	0.0	0.1	0.1
計			680.1	419.0	644.4	812.2
ADI比 (%)			10.3	21.2	9.2	12.1

EDI: 推定一日摂取量 (Estimated Daily Intake)

EDI試算法: 作物残留試験成績の中央値 (STMR) 等×各食品の平均摂取量

●: 個別の作物残留試験がないことから、暴露評価を行うにあたり基準値 (案) の数値を用いた。

暴露評価に用いた数値には、農産物については、暴露評価対象であるスピロテトラマト、代謝物M1、代謝物M5、代謝物M7及び代謝物M1グルコシドをスピロテトラマトに換算した濃度の合計濃度を使用した。

国際基準を参照したものについては、JMPRの評価に用いられた残留試験データを用いてEDI試算をした。

かき及びパッションフルーツについては米国のグアバの残留試験成績について、プロポーショナリティ (proportionality) の原則に基づき、処理濃度の比例性を考慮して換算した値を評価に用いた。

スピロテトラマトの推定摂取量（短期）：国民全体(1歳以上)

食品名 (基準値設定対象)	食品名 (ESTI推定対象)	基準値案 (ppm)	評価に用いた 数値 (ppm)	ESTI (μ g/kg 体重/day)	ESTI/ARFD (%)
とうもろこし	スイートコーン	2	○ 0.75	8.5	1
大豆	大豆	4	○ 0.45	0.4	0
小豆類	いんげん	2	○ 0.21	0.3	0
ばれいしょ	ばれいしょ	1	1	9.4	1
さといも類（やつがしらを含む。）	さといも	0.6	○ 0.46	2.5	0
かんしょ	かんしょ	0.6	○ 0.46	5.8	1
やまいも（長いもをいう。）	やまいも	0.6	○ 0.46	3.7	0
だいこん類（ラディッシュを含む。）の根	だいこんの根	0.6	○ 0.55	6.3	1
だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉	だいこんの葉	20	○ 12.24	101.1	10
かぶ類の根	かぶの根	0.06	○ 0.08	0.6	0
かぶ類の葉	かぶの葉	7	○ 5.5	14.6	1
はくさい	はくさい	7	○ 5.5	71.3	7
キャベツ	キャベツ	7	○ 3.82	36.5	4
ケール	ケール	7	○ 5.5	44.2	4
こまつな	こまつな	7	○ 5.5	23.3	2
きょうな	きょうな	7	○ 5.5	18.3	2
チンゲンサイ	チンゲンサイ	7	○ 5.5	40.8	4
カリフラワー	カリフラワー	7	○ 3.82	28.3	3
ブロッコリー	ブロッコリー	7	○ 3.82	23.0	2
その他のあぶらな科野菜	たかな	7	○ 5.5	43.2	4
	菜花	7	○ 5.5	15.2	2
しゅんぎく	しゅんぎく	7	○ 4.43	14.4	1
	レタス類	20	○ 22.4	126.4	10
	非結球レタス類	20	○	0.0	0
レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）	レタス	20	○	0.0	0
	たまねぎ	0.5	○ 0.31	2.5	0
	ねぎ（リーキを含む。）	1	○ 1.09	4.2	0
にんにく	にんにく	0.7	1	0.6	0
にら	にら	0.5	○ 0.31	0.4	0
アスパラガス	アスパラガス	1	2	4.2	0
その他のゆり科野菜	にんにくの芽	0.5	○ 0.31	0.5	0
	らっきょう	0.5	○ 0.31	0.3	0
にんじん	にんじん	0.06	○ 0.08	0.4	0
	にんじんジュース	0.06	○ 0.05	0.3	0
パセリ	パセリ（生）	5	○ 2.53	0.4	0
	パセリ（乾燥）	5	○ 2.53	2.3	0
セロリ	セロリ	4	○ 2.66	14.7	1
その他のせり科野菜	せり	5	○ 2.53	4.1	0
トマト	トマト	2	3	32.8	3
ピーマン	ピーマン	5	10	25.5	3
なす	なす	1	2	12.9	1
その他のなす科野菜	とうがらし（生）	10	10	16.1	2
	ししとう	10	10	10.2	1
きゅうり（ガーキンを含む。）	きゅうり	1	1	6.3	1
かぼちゃ（スカッシュを含む。）	かぼちゃ	0.8	2	19.6	2
	ズッキーニ	0.8	2	14.5	1
しろうり	しろうり	0.2	○ 0.18	1.5	0
すいか（果皮を含む。）	すいか	0.2	○ 0.18	5.9	1
メロン類果実（果皮を含む。）	メロン	0.2	○ 0.18	3.1	0
その他のうり科野菜	とうがん	7	○ 5.5	93.6	9
	にがうり	7	○ 5.5	44.4	4
ほうれんそう	ほうれんそう	8	○ 4.36	21.1	2
オクラ	オクラ	1	○ 1	1.5	0
しょうが	しょうが	0.6	○ 0.46	0.4	0
未成熟えんどう	未成熟えんどう（さや）	2	○ 0.84	1.4	0
	未成熟えんどう（豆）	2	○ 0.84	1.4	0
未成熟いんげん	未成熟いんげん	2	○ 0.84	1.6	0
えだまめ	えだまめ	2	○ 0.84	2.1	0

スピロテトラマトの推定摂取量（短期）：国民全体(1歳以上)

食品名 (基準値設定対象)	食品名 (ESTI推定対象)	基準値案 (ppm)	評価に用いた 数値 (ppm)	ESTI (μ g/kg 体重/day)	ESTI/ARFD (%)
その他の野菜	ずいき	7	○ 5.5	55.7	6
	もやし	7	○ 5.5	12.6	1
	れんこん	7	○ 5.5	34.2	3
	そら豆（生）	7	○ 5.5	16.2	2
みかん（外果皮を含む。）	みかん	4	○ 4.8	44.8	4
なつみかんの果実全体	なつみかん	0.7	2	24.9	2
レモン	レモン	0.7	2	4.2	0
オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）	オレンジ	4	○ 4.8	45.1	5
	オレンジ果汁	4	○ 3.59	35.7	4
グレープフルーツ	グレープフルーツ	0.7	2	34.4	3
その他のかんきつ類果実	きんかん	4	○ 4.8	11.5	1
	ぼんかん	4	○ 4.8	50.5	5
	ゆず	4	○ 4.8	7.6	1
	すだち	4	○ 4.8	7.5	1
りんご	りんご	0.7	○ 0.69	9.9	1
	りんご果汁	0.7	○ 0.42	4.4	0
日本なし	日本なし	0.9	1.5	22.7	2
西洋なし	西洋なし	0.9	1.5	21.0	2
びわ（果梗を除き、果皮及び種子を含む。）	びわ	2	5	35.9	4
もも（果皮及び種子を含む。）	もも	1	1.5	20.3	2
すもも（プルーンを含む。）	プルーン	3	○ 2.1	12.3	1
うめ	うめ	3	○ 2.1	2.9	0
おうとう（チェリーを含む。）	おうとう	5	5	12.5	1
いちご	いちご	10	10	38.1	4
ブルーベリー	ブルーベリー	2	○ 1.6	2.3	0
ぶどう	ぶどう	8	○ 4.56	61.4	6
かき	かき	2	○ 0.86	12.3	1
バナナ	バナナ	4	○ 1.76	19.7	2
アボカド	アボカド	0.6	○ 0.315	2.2	0
パイナップル	パイナップル	0.3	0.5	7.5	1
マンゴー	マンゴー	0.3	○ 0.25	3.4	0
その他の果実	いちじく	15	○ 6	46.0	5
ぎんなん	ぎんなん	0.5	○ 0.29	0.2	0
くり	くり	0.5	○ 0.29	0.6	0
アーモンド	アーモンド	0.5	○ 0.29	0.2	0
くるみ	くるみ	0.5	○ 0.29	0.1	0
ホップ	ホップ	15	○ 5.2	0.1	0
はちみつ	はちみつ	0.05	0.05	0.0	0

ESTI：短期推定摂取量（Estimated Short-Term Intake）

ESTI/ARFD(%)の値は、有効数字1桁（値が100を超える場合は有効数字2桁）とし四捨五入して算出した。

評価に用いた数値には、暴露評価対象であるスピロテトラマト、代謝物M1、代謝物M5、代謝物M7及び代謝物M1グルコシドをスピロテトラマトに換算した濃度の合計濃度を使用した。

○：作物残留試験における最高残留濃度（HR）又は中央値（STMR）を用いて短期摂取量を推計した。

○を付していない食品については、基準値案の値又は暴露評価対象物質の残留濃度から推定される基準値に相当する値を使用した。

国際基準を参照したものについては、JMPRの評価に用いられた残留試験データを用いてESTI試算をした。

かきについては米国のグアバの残留試験成績をプロポーショナリティ（proportionality）の原則に基づき、処理濃度の比例性を考慮して換算した値を評価に用いた。

スピロテトラマトの推定摂取量（短期）：幼小児(1～6歳)

食品名 (基準値設定対象)	食品名 (ESTI推定対象)	基準値案 (ppm)	評価に用いた 数値 (ppm)	ESTI ($\mu\text{g}/\text{kg}$ 体重/day)	ESTI/ARFD (%)
とうもろこし	スイートコーン	2	○ 0.75	18.0	2
大豆	大豆	4	○ 0.45	0.5	0
ばれいしょ	ばれいしょ	1	1	22.7	2
さといも類（やつがしらを含む。）	さといも	0.6	○ 0.46	5.8	1
かんしょ	かんしょ	0.6	○ 0.46	11.6	1
やまいも（長いもをいう。）	やまいも	0.6	○ 0.46	6.3	1
だいこん類（ラディッシュを含む。）の根	だいこんの根	0.6	○ 0.55	12.0	1
はくさい	はくさい	7	○ 5.5	86.2	9
キャベツ	キャベツ	7	○ 3.82	59.7	6
こまつな	こまつな	7	○ 5.5	48.9	5
ブロッコリー	ブロッコリー	7	○ 3.82	55.0	6
レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）	レタス類	20	○ 22.4	220.1	20
	非結球レタス類	20	○ 0	0.0	0
	レタス	20	○ 0	0.0	0
たまねぎ	たまねぎ	0.5	○ 0.31	5.4	1
ねぎ（リーキを含む。）	ねぎ	1	○ 1.09	7.1	1
にんにく	にんにく	0.7	1	0.7	0
にら	にら	0.5	○ 0.31	0.7	0
にんじん	にんじん	0.06	○ 0.08	0.8	0
パセリ	パセリ（生）	5	○ 2.53	0.4	0
トマト	トマト	2	3	81.5	8
ピーマン	ピーマン	5	10	65.5	7
なす	なす	1	2	31.3	3
きゅうり（ガーキンを含む。）	きゅうり	1	1	14.6	1
かぼちゃ（スカッシュを含む。）	かぼちゃ	0.8	2	32.1	3
すいか（果皮を含む。）	すいか	0.2	○ 0.18	15.6	2
メロン類果実（果皮を含む。）	メロン	0.2	○ 0.18	5.3	1
ほうれんそう	ほうれんそう	8	○ 4.36	49.0	5
オクラ	オクラ	1	○ 1	4.3	0
しょうが	しょうが	0.6	○ 0.46	0.7	0
未成熟えんどう	未成熟えんどう（さや）	2	○ 0.84	1.0	0
	未成熟えんどう（豆）	2	○ 0.84	1.5	0
未成熟いんげん	未成熟いんげん	2	○ 0.84	3.4	0
えだまめ	えだまめ	2	○ 0.84	2.4	0
その他の野菜	もやし	7	○ 5.5	23.1	2
	れんこん	7	○ 5.5	56.5	6
みかん（外果皮を含む。）	みかん	4	○ 4.8	131.4	10
オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）	オレンジ	4	○ 4.8	129.4	10
	オレンジ果汁	4	○ 3.59	64.0	6
りんご	りんご	0.7	○ 0.69	22.1	2
	りんご果汁	0.7	○ 0.42	14.2	1
日本なし	日本なし	0.9	1.5	43.1	4
もも（果皮及び種子を含む。）	もも	1	1.5	63.6	6
うめ	うめ	3	○ 2.1	7.2	1
いちご	いちご	10	10	108.0	10
ぶどう	ぶどう	8	○ 4.56	139.6	10
かき	かき	2	○ 0.86	18.0	2
バナナ	バナナ	4	○ 1.76	67.7	7
パイナップル	パイナップル	0.3	0.5	16.0	2
はちみつ	はちみつ	0.05	0.05	0.1	0

ESTI：短期推定摂取量（Estimated Short-Term Intake）

ESTI/ARFD(%)の値は、有効数字1桁（値が100を超える場合は有効数字2桁）とし四捨五入して算出した。

評価に用いた数値には、暴露評価対象であるスピロテトラマト、代謝物M1、代謝物M5、代謝物M7及び代謝物M1グルコシドをスピロテトラマトに換算した濃度の合計濃度を使用した。

○：作物残留試験における最高残留濃度（HR）又は中央値（STMR）を用いて短期摂取量を推計した。

○を付していない食品については、基準値案の値又は暴露評価対象物質の残留濃度から推定される基準値に相当する値を使用した。

国際基準を参照したものについては、JMPRの評価に用いられた残留試験データを用いてESTI試算をした。

かきについては米国のグアバの残留試験成績をプロポーションナリティ（proportionality）の原則に基づき、処理濃度の比例性を考慮して換算した値を評価に用いた。

(参考)

これまでの経緯

平成20年	7月11日	インポートトレランス申請（ばれいしょ、はくさい、トマト等）
平成20年	8月18日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成20年11月	12日	インポートトレランス申請（たまねぎ、わた、マンゴー及びかんきつ類）
平成21年	5月14日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成21年12月	1日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
平成21年10月	20日	残留農薬基準告示
平成22年11月	29日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（新規：きゅうり、なす、ピーマン等）
平成22年12月	1日	インポートトレランス申請（だいず、小豆類、えんどう等）
平成23年	1月20日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成23年	8月11日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成24年	1月27日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
平成24年12月	28日	残留農薬基準告示
平成24年12月	28日	初回農薬登録
平成27年	7月30日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：アスパラガス）
平成27年	8月5日	インポートトレランス申請（未成熟とうもろこし、キャベツ等）
平成27年	9月29日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成28年	2月23日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成28年	9月7日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
平成29年	4月11日	残留農薬基準告示
平成29年	2月3日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：てんさい、しそ等）
平成29年11月	22日	インポートトレランス申請（にんじん、西洋わさび等）
平成30年	1月25日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：かんきつ、ぶどう等）
平成30年	4月18日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請

平成30年	5月22日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成30年10月	5日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
令和元年	6月27日	残留農薬基準告示
令和5年	5月17日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：だいこん、ねぎ、ほうれんそう）
令和5年11月	21日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
令和6年	1月31日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
令和6年	9月19日	食品衛生基準審議会へ諮問
令和6年	9月25日	食品衛生基準審議会農薬・動物用医薬品部会

● 農薬・動物用医薬品部会

[委員]

◎ 穂山	浩	星薬科大学薬学部教授
大山	和俊	一般財団法人残留農薬研究所業務執行理事・化学部長
○ 折戸	謙介	学校法人麻布獣医学園理事（兼）麻布大学獣医学部教授
加藤	くみ子	北里大学薬学部教授
神田	真軌	東京都健康安全研究センター食品化学部副参事研究員
近藤	麻子	日本生活協同組合連合会組織推進本部長
佐藤	洋	岩手大学農学部教授
佐野	元彦	東京海洋大学学術研究院海洋生物資源学部門教授
須恵	雅之	東京農業大学応用生物科学部教授
瀧本	秀美	国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所理事
田口	貴章	国立医薬品食品衛生研究所食品部第一室長
堤	智昭	国立医薬品食品衛生研究所食品部長
中島	美紀	金沢大学ナノ生命科学研究所教授
野田	隆志	一般社団法人日本植物防疫協会技術顧問

（◎：部会長、○：部会長代理）

答申（案）

スピロテトラマトについては、以下のとおり食品中の農薬の残留基準を設定することが適当である。

スピロテトラマト

今回残留基準を設定する「スピロテトラマト」の規制対象は、スピロテトラマト及び代謝物M1【シス-3-(2,5-ジメチルフェニル)-4-ヒドロキシ-8-メトキシ-1-アザスピロ[4.5]デカ-3-エン-2-オン】とする。ただし、代謝物M1はスピロテトラマトの濃度に換算するものとする。

食品名	残留基準値 ppm
とうもろこし	2
大豆	4
小豆類 ^{注1)}	2
えんどう	2
そら豆	2
その他の豆類 ^{注2)}	2
ばれいしょ	1
さといも類（やつがしらを含む。）	0.6
かんしょ	0.6
やまいも（長いものをいう。）	0.6
その他のいも類 ^{注3)}	0.6
てんさい	0.06
だいこん類（ラディッシュを含む。）の根	0.6
だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉	20
かぶ類の根	0.06
かぶ類の葉	7
西洋わさび	0.06
クレソン	7
はくさい	7
キャベツ	7
芽キャベツ	2
ケール	7
こまつな	7
きょうな	7
チンゲンサイ	7
カリフラワー	7
ブロッコリー	7
その他のあぶらな科野菜 ^{注4)}	7

食品名	残留基準値 ppm
サルシフィー	0.06
アーティチョーク	1
チコリ	7
エンダイブ	7
しゅんぎく	7
レタス（サラダ菜及びちしやを含む。）	20
その他のきく科野菜 ^{注5)}	7
たまねぎ	0.5
ねぎ（リーキを含む。）	1
にんにく	0.7
にら	0.5
アスパラガス	1
その他のゆり科野菜 ^{注6)}	0.5
にんじん	0.06
パセリ	5
セロリ	4
その他のせり科野菜 ^{注7)}	5
トマト	2
ピーマン	5
なす	1
その他のなす科野菜 ^{注8)}	10
きゅうり（ガーキンを含む。）	1
かぼちゃ（スカッシュを含む。）	0.8
しろうり	0.2
すいか（果皮を含む。）	0.2
メロン類果実（果皮を含む。）	0.2
まくわうり（果皮を含む。）	0.2
その他のうり科野菜 ^{注9)}	7
ほうれんそう	8
オクラ	1
しょうが	0.6
未成熟えんどう	2
未成熟いんげん	2
えだまめ	2
その他の野菜 ^{注10)}	7

食品名	残留基準値 ppm
みかん（外果皮を含む。）	4
なつみかんの果実全体	0.7
レモン	0.7
オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）	4
グレープフルーツ	0.7
ライム	0.7
その他のかんきつ類果実 ^{注11)}	4
りんご	0.7
日本なし	0.9
西洋なし	0.9
マルメロ	0.7
びわ（果梗を除き、果皮及び種子を含む。）	2
もも（果皮及び種子を含む。）	1
ネクタリン	3
あんず（アプリコットを含む。）	3
すもも（プルーンを含む。）	3
うめ	3
おうとう（チェリーを含む。）	5
いちご	10
ブルーベリー	2
クランベリー	0.2
ハuckleベリー	2
その他のベリー類果実 ^{注12)}	2
ぶどう	8
かき	2
バナナ	4
パパイヤ	0.4
アボカド	0.6
パイナップル	0.3
グアバ	2
マンゴー	0.3
パッションフルーツ	2
その他の果実 ^{注13)}	15
綿実	0.4
ぎんなん	0.5
くり	0.5
ペカン	0.5
アーモンド	0.5
くるみ	0.5

食品名	残留基準値 ppm
その他のナッツ類 ^{注14)}	0.5
コーヒー豆	0.1
ホップ	15
その他のスパイス ^{注15)}	20
その他のハーブ ^{注16)}	15
牛の筋肉	0.05
豚の筋肉	0.05
その他の陸棲哺乳類に属する動物 ^{注17)} の筋肉	0.05
牛の脂肪	0.08
豚の脂肪	0.08
その他の陸棲哺乳類に属する動物の脂肪	0.08
牛の肝臓	1
豚の肝臓	1
その他の陸棲哺乳類に属する動物の肝臓	1
牛の腎臓	1
豚の腎臓	1
その他の陸棲哺乳類に属する動物の腎臓	1
牛の食用部分 ^{注18)}	1
豚の食用部分	1
その他の陸棲哺乳類に属する動物の食用部分	1
乳	0.01
鶏の筋肉	0.01
その他の家きん ^{注19)} の筋肉	0.01
鶏の肝臓	0.01
その他の家きんの肝臓	0.01
鶏の腎臓	0.01
その他の家きんの腎臓	0.01
鶏の食用部分	0.01
その他の家きんの食用部分	0.01
鶏の卵	0.01
その他の家きんの卵	0.01
はちみつ	0.05

注1) 「小豆類」には、いんげん、ささげ、サルタニ豆、サルタピア豆、バター豆、ペギア豆、ホワイト豆、ライマ豆及びレンズ豆を含む。

注2) 「その他の豆類」とは、豆類のうち、大豆、小豆類、えんどう、そら豆、らっかせい及びスパイス以外のものをいう。

注3) 「その他のいも類」とは、いも類のうち、ばれいしょ、さといも類（やつがしらを含む。）、かんしょ、やまいも（長いものをいう。）及びこんにゃくいも以外のものをいう。

注4) 「その他のあぶらな科野菜」とは、あぶらな科野菜のうち、だいこん類（ラディッシュを含む。）の根、だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉、かぶ類の根、かぶ類の葉、西洋わさび、クレソン、はくさい、キャベツ、芽キャベツ、ケール、こまつな、きょうな、チンゲンサイ、カリフラワー、ブロッコリー及びハーブ以外のものをいう。

注5) 「その他のきく科野菜」とは、きく科野菜のうち、ごぼう、サルシフィー、アーティチョーク、チコリ、エンダイブ、しゅんぎく、レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）及びハーブ以外のものをいう。

注6) 「その他のゆり科野菜」とは、ゆり科野菜のうち、たまねぎ、ねぎ（リーキを含む。）、にんにく、にら、アスパラガス、わけぎ及びハーブ以外のものをいう。

注7) 「その他のせり科野菜」とは、せり科野菜のうち、にんじん、パースニップ、パセリ、セロリ、みつば、スパイス及びハーブ以外のものをいう。

注8) 「その他のなす科野菜」とは、なす科野菜のうち、トマト、ピーマン及びなす以外のものをいう。

注9) 「その他のうり科野菜」とは、うり科野菜のうち、きゅうり（ガーキンを含む。）、かぼちゃ（スカッシュを含む。）、しろうり、すいか、メロン類果実及びまくわうり以外のものをいう。

注10) 「その他の野菜」とは、野菜のうち、いも類、てんさい、さとうきび、あぶらな科野菜、きく科野菜、ゆり科野菜、せり科野菜、なす科野菜、うり科野菜、ほうれんそう、たけのこ、オクラ、しょうが、未成熟えんどう、未成熟いんげん、えだまめ、きのこ類、スパイス及びハーブ以外のものをいう。

注11) 「その他のかんきつ類果実」とは、かんきつ類果実のうち、みかん、なつみかん、なつみかんの外果皮、なつみかんの果実全体、レモン、オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）、グレープフルーツ、ライム及びスパイス以外のものをいう。

注12) 「その他のベリー類果実」とは、ベリー類果実のうち、いちご、ラズベリー、ブラックベリー、ブルーベリー、クランベリー及びハックルベリー以外のものをいう。

注13) 「その他の果実」とは、果実のうち、かんきつ類果実、りんご、日本なし、西洋なし、マルメロ、びわ、もも、ネクタリン、あんず（アプリコットを含む。）、すもも（ブルーンを含む。）、うめ、おうとう（チェリーを含む。）、ベリー類果実、ぶどう、かき、バナナ、キウイ、パパイヤ、アボカド、パイナップル、グアバ、マンゴー、パッションフルーツ、なつめやし及びスパイス以外のものをいう。

注14) 「その他のナッツ類」とは、ナッツ類のうち、ぎんなん、くり、ペカン、アーモンド及びくるみ以外のものをいう。

注15) 「その他のスパイス」とは、スパイスのうち、西洋わさび、わさびの根茎、にんにく、とうがらし、パプリカ、しょうが、レモンの果皮、オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）の果皮、ゆずの果皮及びごまの種子以外のものをいう。

注16) 「その他のハーブ」とは、ハーブのうち、クレソン、にら、パセリの茎、パセリの葉、セロリの茎及びセロリの葉以外のものをいう。

注17) 「その他の陸棲哺乳類に属する動物」とは、陸棲哺乳類に属する動物のうち、牛及び豚以外のものをいう。

注18) 「食用部分」とは、食用に供される部分のうち、筋肉、脂肪、肝臓及び腎臓以外の部分をいう。

注19) 「その他の家きん」とは、家きんのうち、鶏以外のものをいう。

スルホキサフロル

今般の残留基準の検討については、農薬取締法（昭和23年法律第82号）に基づく適用拡大申請に伴う基準値設定依頼が農林水産省からなされたことから、農薬・動物用医薬品部会（以下、「本部会」という。）において審議を行い、以下の報告を取りまとめるものである。

なお、今般の基準値設定依頼に当たって、毒性や代謝に関する新たな知見の提出がなく、既存の食品健康影響評価の結果に影響はないと考えられることから、本部会での審議後に食品安全委員会に対して食品健康影響評価の要請を行うこととしている。

1. 概要

(1) 品目名：スルホキサフロル[Sulfoxaflor (ISO)]

(2) 分類：農薬

(3) 用途：殺虫剤

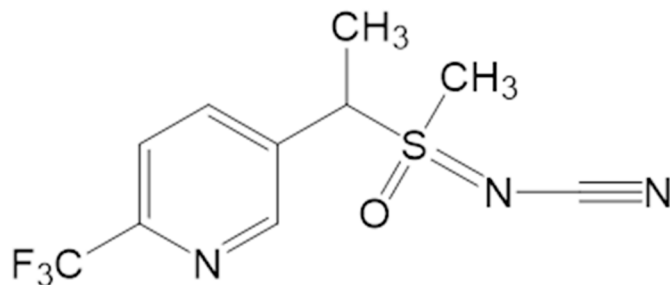
スルホキシミン系殺虫剤である。ニコチン性アセチルコリン受容体の阻害により殺虫効果を示すものと考えられている。

(4) 化学名及びCAS番号

N-(Methyl(oxo){1-[6-(trifluoromethyl)pyridin-3-yl]ethyl}- λ^6 -sulfaneylidene)cyanamide (IUPAC)

Cyanamide, *N*-[methyloxido[1-[6-(trifluoromethyl)-3-pyridinyl]ethyl]- λ^4 -sulfanylidene]- (CAS : No. 946578-00-3)

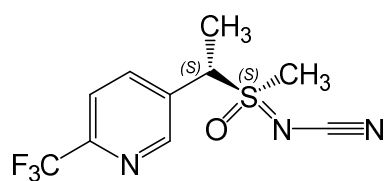
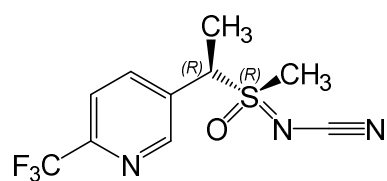
(5) 構造式及び物性



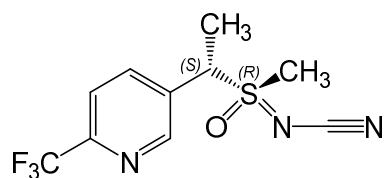
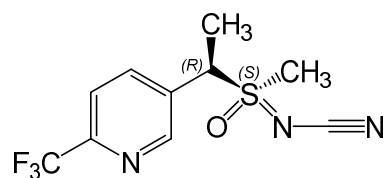
[光学異性体グループA：光学異性体グループBは約1：1]^{注)}

分子式	C ₁₀ H ₁₀ F ₃ N ₃ OS
分子量	277.27
水溶解度	6.70 × 10 ⁻¹ g/L (20℃、pH 7.4)
分配係数	log ₁₀ Pow = 0.802 (20℃、pH 7)

注) 光学異性体グループの構造式は以下のとおり。



光学異性体グループA



光学異性体グループB

※光学異性体グループはエナンチオマーの関係にある。

光学異性体グループAの化合物に対して、Bはジアステレオマーの関係にある。

2. 適用の範囲及び使用方法

本剤の適用の範囲及び使用方法は以下のとおり。

(1) 国内での使用方法

今般の基準値設定依頼に当たって、農薬取締法に基づく適用拡大申請がなされている項目を四角囲いしている。

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数	使用時期	散布液量 (目安)	使用 回数	スルホキ サフロル を含む農 薬の総使 用回数
稲	20.0% SC	散布	2000倍	収穫7日前 まで	60～150 L/10 a	3回以内	3回以内
			500倍		25 L/10 a		
		無人航空機に よる散布	16倍	収穫7日前 まで	0.8 L/10 a	3回以内	
	10.0% SC 配合剤1	散布	1000倍	収穫7日前 まで	60～150 L/10 a	3回以内	
			250倍		25 L/10 a		
		無人航空機に よる散布	8倍	収穫7日前 まで	0.8 L/10 a	3回以内	

SC:フロアブル

配合剤1 : 8.0%トリシクラゾール

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数	使用時期	散布液量 (目安)	使用 回数	スルホキ サフロル を含む農 薬の総使 用回数
稲	10.0% SC 配合剤2	散布	1000倍	穂揃期まで	60～150 L/10 a	2回以内	3回以内
			300倍		25 L/10 a		
		空中散布	30倍	穂揃期まで	3 L/10 a	2回以内	
			8倍		0.8 L/10 a		
		無人航空機による 散布	8倍	穂揃期まで	0.8 L/10 a	2回以内	
	0.50% DP	散布	3 kg/10 a	収穫7日前 まで	—	3回以内	
	0.50% DP 配合剤3	散布	3 kg/10 a	穂揃期まで	—	2回以内	
小麦	25.0% WG	散布	5000～10000倍	収穫7日前 まで	60～150 L/10 a	2回以内	2回以内
未成熟とうも ろこし	25.0% WG	散布	5000～10000倍	収穫前日 まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
	9.5% SC	散布	2000倍	収穫前日 まで	100～300 L/10 a	3回以内	
いんげんまめ	25.0% WG	散布	5000～10000倍	収穫14日前 まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内

—：規定されていない項目

DP：粉剤、WG：水和剤

配合剤2：1.37%カスガマイシン・8.0%トリシクラゾール

配合剤3：0.34%カスガマイシン・0.50%トリシクラゾール

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数	使用時期	散布液量 (目安)	使用 回数	スルホキサ フロルを 含む農薬 の総使用 回数
だいず	25.0% WG	散布	5000～10000倍	収穫14日前 まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
	20.0% SC	散布	2000倍	収穫14日前 まで	100～300 L/10 a	3回以内	
		無人航空機に よる散布	16倍	収穫14日前 まで	0.8 L/10 a	3回以内	
ばれいしょ	25.0% WG	散布	5000～10000倍	収穫7日前 まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
			1250倍		25 L/10 a		
		無人航空機に よる散布	160倍	収穫7日前 まで	1.6 L/10 a	3回以内	
	9.5% SC	散布	2000倍	収穫7日前 まで	100～300 L/10 a	3回以内	
		無人航空機に よる散布	32倍	収穫7日前 まで	3.2 L/10 a	3回以内	
やまのいも	25.0% WG	散布	5000～10000倍	収穫3日前 まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
	9.5% SC	散布	2000倍	収穫3日前 まで	100～300 L/10 a	3回以内	
		無人航空機に よる散布	32倍	収穫3日前 まで	3.2 L/10 a	3回以内	
てんさい	25.0% WG	散布	5000～10000倍	収穫7日前 まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
		無人航空機に よる散布	160倍	収穫7日前 まで	1.6 L/10 a	3回以内	
だいこん	9.5% SC	散布	2000倍	収穫前日 まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
はくさい	9.5% SC	散布	2000倍	収穫3日前 まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数	使用時期	散布液量 (目安)	使用 回数	スルホキサフロルを含む農薬の総使用回数
キャベツ	9.5% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
ブロッコリー	9.5% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
非結球あぶらな科葉菜類	9.5% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
ごぼう	9.5% SC	散布	2000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
レタス	9.5% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
非結球レタス	9.5% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
食用ぎく	9.5% SC	散布	2000倍	収穫3日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
ねぎ	9.5% SC	散布	1000～2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
トマト	9.5% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
			1000～2000倍				
ミニトマト	9.5% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
			1000～2000倍				
ピーマン	9.5% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
			1000～2000倍				

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数	使用時期	散布液量 (目安)	使用 回数	スルホキ サフロル を含む農 薬の総使 用回数
なす	9.5% SC	散布	2000倍	収穫前日 まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
			1000～2000倍				
きゅうり	9.5% SC	散布	2000倍	収穫前日 まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
			1000～2000倍				
すいか	9.5% SC	散布	2000倍	収穫前日 まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
			1000～2000倍				
メロン	9.5% SC	散布	2000倍	収穫前日 まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
			1000～2000倍				
ほうれんそう	9.5% SC	散布	2000倍	収穫3日前 まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
えだまめ	20.0% SC	散布	2000倍	収穫前日 まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
		無人航空機に よる散布	16倍	収穫前日 まで	0.8 L/10 a	2回以内	
オリーブ (葉)	9.5% SC	散布	2000倍	収穫30日前 まで	200～700 L/10 a	2回以内	2回以内
かんきつ	9.5% SC	散布	2000倍	収穫前日 まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内
			1000～2000倍				

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数	使用時期	散布液量 (目安)	使用 回数	スルホキサフロルを含む農薬の総使用回数
りんご	9.5% SC	散布	2000～4000倍	収穫前日まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内
			1000～2000倍				
なし	9.5% SC	散布	2000～4000倍	収穫前日まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内
			1000～2000倍				
もも	9.5% SC	散布	2000倍	収穫7日前まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内
			1000～2000倍				
ネクタリン	9.5% SC	散布	2000倍	収穫3日前まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内
			1000～2000倍				
おうとう	9.5% SC	散布	1000～2000倍	収穫3日前まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内
小粒核果類	9.5% SC	散布	2000倍	収穫3日前まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内
			1000～2000倍				
いちご	9.5% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
			1000～2000倍				
ぶどう	9.5% SC	散布	1000～2000倍	収穫3日前まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内
かき	9.5% SC	散布	1000～2000倍	収穫前日まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数	使用時期	散布液量 (目安)	使用 回数	スルホキサフロルを含む農薬の総使用回数
キウイフルーツ	9.5% SC	散布	1000～2000倍	収穫3日前まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内
マンゴー	9.5% SC	散布	2000倍	収穫3日前まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内
いちじく	9.5% SC	散布	1000～2000倍	収穫7日前まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内
オリーブ	9.5% SC	散布	2000倍	収穫7日前まで	200～700 L/10 a	2回以内	2回以内
しそ	9.5% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
みょうが (花穂)	9.5% SC	散布 ただし花穂の発生期にはマルチフィルム被覆により散布液が直接花穂に飛散しない状態で使用する。	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内

(2) 海外での使用方法

① 米国

作物名	剤型	使用方法	1回当たり使用量	使用時期	栽培期間中の総使用量	使用 回数
豆類 (未成熟及び乾燥種子) いんげん、未成熟いんべん (さや付き) 等	50.0% WG	散布	0.080 kg ai/ha	収穫7日前まで	0.298 kg ai/ha	4回 以内
			0.071～0.078 kg ai/ha			
			0.053～0.080 kg ai/ha			
			0.026～0.035 kg ai/ha			
	24.0% SC	散布	0.078 kg ai/ha	収穫7日前まで	0.298 kg ai/ha	4回 以内
			0.048～0.078 kg ai/ha			
			0.026～0.035 kg ai/ha			

ai : active ingredient (有効成分)

(米国での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	1回当たり使用量	使用時期	栽培期間中の総使用量	使用回数
あぶらな科葉菜類 カリフラワー、ブロッコリー等	50.0% WG	散布	0.096 kg ai/ha	開花3日前から開花期間中を除く、収穫3日前まで	0.298 kg ai/ha	4回以内
			0.071～0.096 kg ai/ha			
			0.026～0.035 kg ai/ha			
	24.0% SC	散布	0.101 kg ai/ha	開花3日前から開花期間中を除く、収穫3日前まで	0.298 kg ai/h	4回以内
			0.074～0.101 kg ai/ha			
			0.026～0.035 kg ai/ha			
根菜類 にんじん等	50.0% WG	散布	0.071～0.096 kg ai/ha	開花3日前から開花期間中を除く、収穫7日前まで	0.298 kg ai/h	4回以内
			0.053～0.096 kg ai/ha			
			0.026～0.053 kg ai/ha			
	24.0% SC	散布	0.074～0.101 kg ai/ha	開花3日前から開花期間中を除く、収穫7日前まで	0.298 kg ai/h	4回以内
			0.048～0.101 kg ai/ha			
			0.026～0.048 kg ai/ha			
葉菜類（あぶらな科を除く）及びクレソン、ほうれんそう等	50.0% WG	散布	0.096 kg ai/ha	開花3日前から開花期間中を除く、収穫3日前まで	0.298 kg ai/h	4回以内
			0.071～0.096 kg ai/ha			
			0.026～0.035 kg ai/ha			

(米国での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	1回当たり使用量	使用時期	栽培期間中の総使用量	使用回数
葉菜類（あぶらな科を除く）及びクレソン、ほうれんそう等	24.0% SC	散布	0.101 kg ai/ha	開花3日前から開花期間中を除く、収穫3日前まで	0.298 kg ai/h	4回以内
			0.074～0.101 kg ai/ha			
			0.026～0.035 kg ai/ha			
核果類 おうとう等	50.0% WG	散布	0.096 kg ai/ha	開花3日前から開花期間中を除く、収穫7日前まで	0.298 kg ai/h	4回以内
			0.026～0.053 kg ai/ha			
	24.0% SC	散布	0.101 kg ai/ha	開花3日前から開花期間中を除く、収穫7日前まで	0.298 kg ai/h	4回以内
			0.026～0.048 kg ai/ha			
なたね	50.0% WG	散布	0.018～0.026 kg ai/ha	開花3日前から開花期間中を除く、収穫14日前まで	0.052 kg ai/ha	2回以内
	24.0% SC	散布	0.018～0.026 kg ai/ha	開花3日前から開花期間中を除く、収穫14日前まで	0.052 kg ai/ha	2回以内
アーティチョーク	50.0% WG	散布	0.08～0.096 kg ai/ha	収穫3日前まで	0.298 kg ai/h	4回以内
			0.053～0.08 kg ai/ha			
			0.026～0.035 kg ai/ha			
	24.0% SC	散布	0.074～0.101 kg ai/ha	収穫3日前まで	0.298 kg ai/h	4回以内
			0.048～0.101 kg ai/ha			
			0.026～0.035 kg ai/ha			

(米国での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	1回当たり使用量	使用時期	栽培期間中の総使用量	使用回数
ケインベリー類 ブラックベリー、ラズベリー等 ブッシュベリー類 ブルーベリー、クランベリー、ハックルベリー等	50.0% WG	散布	0.0960 kg ai/ha	収穫1日前まで	0.298 kg ai/h	4回以内
			0.053～0.096 kg ai/ha			
			0.026～0.053 kg ai/ha			
	24.0% SC	散布	0.101 kg ai/ha	収穫1日前まで	0.298 kg ai/h	4回以内
			0.048～0.101 kg ai/ha			
			0.026～0.048 kg ai/ha			
パイナップル	50.0% WG	散布	0.053～0.096 kg ai/ha	収穫7日前まで	0.202 kg ai/ha	2回以内
	24.0% SC	散布	0.048～0.101 kg ai/ha	収穫7日前まで	0.202 kg ai/ha	2回以内
カカオ豆	50.0% WG	散布	0.0430 kg ai/ha	収穫3日前まで	0.157 kg ai/ha	4回以内
	24.0% SC	散布	0.040 kg ai/ha	収穫3日前まで	0.157 kg ai/ha	4回以内

② 台湾

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数	使用時期	1回当たり使用量	使用回数
バナナ	24.0% SC	散布	3000倍	収穫14日前まで	0.024～0.072 kg ai/ha	2回以内
パパイヤ	24.0% SC	散布	3000倍	収穫14日前まで	0.048～0.168 kg ai/ha	2回以内
アボカド	24.0% SC	散布	3000倍	収穫14日前まで	0.072～0.168 kg ai/ha	2回以内
マンゴー	24.0% SC	散布	3600倍	収穫14日前まで	0.0792～0.1056 kg ai/ha	2回以内
			3000倍		0.072～0.168 kg ai/ha	

3. 代謝試験

(1) 植物代謝試験

植物代謝試験が、水稻、レタス、トマト及びえんどうで実施されており、可食部で親化合物の残留が認められ、10%TRR^{注)}以上認められた代謝物は、代謝物D（玄米、レタス、トマト及びえんどう）、代謝物E（玄米及びえんどう）及び代謝物F（トマト）であった。

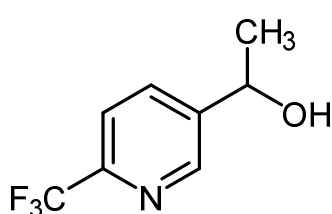
注) %TRR：総放射性残留物（TRR：Total Radioactive Residues）濃度に対する比率（%）

(2) 家畜代謝試験

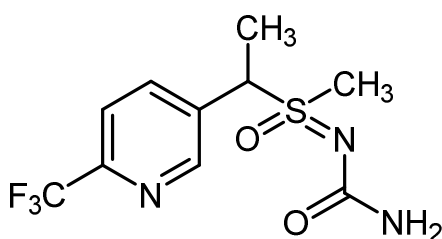
家畜代謝試験が、泌乳山羊及び産卵鶏で実施されており、筋肉、脂肪、肝臓、腎臓、乳及び卵で、親化合物の残留が認められている。可食部で10%TRR以上認められた代謝物は、代謝物K（泌乳山羊の肝臓及び産卵鶏の肝臓）であった。

【代謝物略称一覧】

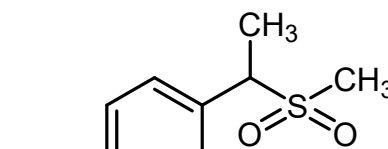
略称	JMPR評価書の略称	化学名
B	X11721061	1-[6-(トリフルオロメチル)ピリジン-3-イル]エタノール
D	X11719474	1-[メチル(オキシド){1-[6-(トリフルオロメチル)ピリジン-3-イル]エチル}- λ^6 -スルファニリデン]ウレア 別名：N-(メチル)オキシド{1-[6-(トリフルオロメチル)ピリジン-3-イル]エチル}- λ^4 -スルファニリデン)ウレア
E	X11863595	1-[6-(トリフルオロメチル)ピリジン-3-イル]エチルヘキソピラノシド
F	X11889781	1-[6-(トリフルオロメチル)ピリジン-3-イル]エチル 6-O-(カルボキシアセチル)ヘキソピラノシド
G	X11519540	5-[1-(メチルスルホニル)エチル]-2-(トリフルオロメチル)ピリジン
K	X11596066	5-エチル-2-(トリフルオロメチル)ピリジン 別名：1-[6-(トリフルオロメチル)ピリジン-3-イル]エタン



代謝物B



代謝物D



代謝物G

注) 残留試験の分析対象となっている代謝物について構造式を明記した。

4. 作物残留試験

(1) 分析の概要

【国内】

① 分析対象物質

- ・スルホキサフロル
- ・代謝物B及びその抱合体
- ・代謝物D
- ・代謝物G

② 分析法の概要

i) スルホキサフロル、代謝物B（抱合体を含む。）、代謝物D及び代謝物G 又はスルホキサフロル、代謝物B（抱合体を含む。）及び代謝物D

試料からアセトニトリル・水（4：1）混液で抽出し、0.01 mol/L水酸化ナトリウム溶液を用いて加水分解し、次いで0.25%ギ酸を加えた後、10 mg/mL^{注）} グルコシダーゼ溶液を用いて加水分解する。オクタデシルシリル化シリカゲル（C₁₈）カラム、C₁₈カラム及びエチレンジアミン-N-プロピルシリル化シリカゲル（PSA）カラム、C₁₈カラム及びグラファイトカーボン/PSA積層カラム又は多孔性ケイソウ土カラム及びジオールシリカゲルカラムを用いて精製した後、液体クロマトグラフ・タンデム型質量分析計（LC-MS/MS）又は液体クロマトグラフ・質量分析計（LC-MS）で定量する。なお、代謝物B、代謝物D及び代謝物Gの分析値は、それぞれ換算係数1.45、0.94及び1.10を用いてスルホキサフロル濃度に換算した値として示した。

注）一部の試験で、使用したグルコシダーゼ溶液について、本来用いるべき適切な濃度（10 mg/mL）の1000分の1の濃度（10 mg/L）の溶液が用いられており、抱合体の加水分解が不十分であったため、当該試験の代謝物B及びその抱合体の分析結果については参考値として示した。

定量限界：スルホキサフロル	0.005～0.02 mg/kg
代謝物B（抱合体を含む。）	0.008～0.08 mg/kg (スルホキサフロル換算濃度)
代謝物D	0.005～0.05 mg/kg (スルホキサフロル換算濃度)
代謝物G	0.02 mg/kg (スルホキサフロル換算濃度)

【海外】

① 分析対象物質

- ・スルホキサフロル
- ・代謝物B及びその抱合体
- ・代謝物D

② 分析法の概要

i) スルホキサフロール

試料に緩衝液を加えてアセトニトリルで抽出する。PSA及び無水硫酸マグネシウムを加えて振とうし、遠心分離して上澄液をLC-MS/MSで定量する。

定量限界：0.01 mg/kg

ii) スルホキサフロール、代謝物B及びその抱合体及び代謝物D

試料からアセトニトリル・水（4：1）混液で抽出し、必要に応じて重水素標識標準物質を加えた後、0.01 mol/L水酸化ナトリウム溶液を用いて加水分解し、次いで0.25%ギ酸を加えて酸性とした後、10 mg/mLグルコシダーゼ溶液を用いて加水分解する。C₁₈カラム又はグラファイトカーボンカラムを用いて精製した後、LC-MS/MSで定量する。なお、代謝物B及び代謝物Dの分析値は、それぞれ換算係数1.45及び0.94を用いてスルホキサフロール濃度に換算した値として示した。

定量限界：スルホキサフロール 0.01 mg/kg

代謝物B 0.009～0.01 mg/kg（スルホキサフロール換算濃度）

代謝物D 0.01～0.015 mg/kg（スルホキサフロール換算濃度）

（2）作物残留試験結果

国内作物残留試験成績については、根深ねぎ及び葉ねぎ、マンゴー、いちじく及びみょうが（花穂）の試験成績を追加した。試験成績の概要を別紙1-1に示す。

海外作物残留試験の概要については別紙1-2及び1-3を参照。

5. 畜産物における推定残留濃度

本剤については、飼料として給与した作物を通じ家畜の筋肉等への移行が想定されることから、飼料中の残留濃度及び動物飼養試験の結果を用い、以下のとおり畜産物中の推定残留濃度を算出した。

（1）分析の概要

① 分析対象物質

- ・スルホキサフロール
- ・代謝物B
- ・代謝物D

② 分析法の概要

試料からアセトニトリル・水（4：1）混液で抽出し、C₁₈カラムを用いて精製した後、LC-MS/MSで定量する。

定量限界：スルホキサフロール 0.01 mg/kg

代謝物B	0.01 mg/kg
代謝物D	0.01 mg/kg

(2) 家畜残留試験（動物飼養試験）

① 乳牛を用いた残留試験

乳牛（ホルスタイン種、体重 542～776 kg、3～4頭/投与群）に対して、飼料中濃度としてスルホキサフロルを0.45、2.4、6.8及び35.2 ppmに相当する量及びその0.1倍の濃度の代謝物Dと0.4倍の濃度の代謝物Bに相当する量を含むゼラチンカプセルを29～30日間にわたり摂食させた。給餌は1日2回とし、最終日は半日間の1回とした。最終投与半日後の筋肉、脂肪、肝臓及び腎臓に含まれるスルホキサフロル、代謝物B及び代謝物Dの濃度をLC-MS/MSで測定した。乳については、1日2回、投与前日、投与2日後、以降、6、8、10、14、16、20、22、24、26及び28又は29日後に採取した乳に含まれるスルホキサフロル、代謝物B及び代謝物Dの濃度をLC-MS/MSで測定した。結果は表1を参照。

表1. 乳牛の試料中の残留濃度 (mg/kg)

		0.45 ppm投与群	2.4 ppm投与群	6.8 ppm投与群	35.2 ppm投与群
筋肉	スルホキサフロル	0.026 (最大)	0.155 (最大)	0.311 (最大)	1.691 (最大)
		0.021 (平均)	0.115 (平均)	0.274 (平均)	1.465 (平均)
	代謝物D	<0.01 (最大)	<0.01 (最大)	<0.01 (最大)	0.050 (最大)
		<0.01 (平均)	<0.01 (平均)	<0.01 (平均)	0.041 (平均)
	代謝物B	<0.01 (最大)	<0.01 (最大)	<0.01 (最大)	0.011 (最大)
		<0.01 (平均)	<0.01 (平均)	<0.01 (平均)	0.010 (平均)
脂肪	スルホキサフロル	0.014 (最大)	0.057 (最大)	0.139 (最大)	0.915 (最大)
		0.012 (平均)	0.043 (平均)	0.107 (平均)	0.637 (平均)
	代謝物D	<0.01 (最大)	<0.01 (最大)	<0.01 (最大)	0.026 (最大)
		<0.01 (平均)	<0.01 (平均)	<0.01 (平均)	0.014 (平均)
	代謝物B	<0.01 (最大)	<0.01 (最大)	<0.01 (最大)	0.025 (最大)
		<0.01 (平均)	<0.01 (平均)	<0.01 (平均)	0.016 (平均)
肝臓	スルホキサフロル	0.061 (最大)	0.375 (最大)	0.758 (最大)	4.030 (最大)
		0.054 (平均)	0.299 (平均)	0.713 (平均)	3.689 (平均)
	代謝物D	<0.01 (最大)	<0.01 (最大)	0.015 (最大)	0.087 (最大)
		<0.01 (平均)	<0.01 (平均)	0.014 (平均)	0.069 (平均)
	代謝物B	<0.01 (最大)	<0.01 (最大)	<0.01 (最大)	0.020 (最大)
		<0.01 (平均)	<0.01 (平均)	<0.01 (平均)	0.014 (平均)

表1. 乳牛の試料中の残留濃度 (mg/kg) (つづき)

		0.45 ppm投与群	2.4 ppm投与群	6.8 ppm投与群	35.2 ppm投与群
腎臓	スルホキサフロ	0.040 (最大)	0.210 (最大)	0.566 (最大)	2.442 (最大)
		0.033 (平均)	0.178 (平均)	0.480 (平均)	2.234 (平均)
	代謝物D	<0.01 (最大)	0.010 (最大)	0.022 (最大)	0.101 (最大)
		<0.01 (平均)	0.010 (平均)	0.019 (平均)	0.089 (平均)
	代謝物B	<0.01 (最大)	<0.01 (最大)	<0.01 (最大)	0.273 (最大)
		<0.01 (平均)	<0.01 (平均)	<0.01 (平均)	0.081 (平均)
乳 ^{注)}	スルホキサフロ	0.024 (平均)	0.088 (平均)	0.242 (平均)	1.274 (平均)
	代謝物D	<0.01 (平均)	<0.01 (平均)	0.011 (平均)	0.038 (平均)
	代謝物B	<0.01 (平均)	<0.01 (平均)	<0.01 (平均)	<0.01 (平均)

定量限界：(筋肉、脂肪、肝臓、腎臓及び乳のスルホキサフロ、代謝物B及び代謝物D) 0.01 mg/kg

注) 投与期間中に採取した乳中の濃度を1頭ずつ別々に算出し、その平均値を求めた。

② 産卵鶏を用いた残留試験

産卵鶏（ローマン種、12羽/投与群）に対して、飼料中濃度としてスルホキサフロを0.76、2.1及び10.7 ppmに相当する量及びその約0.06倍の濃度の代謝物Dと約0.13倍の濃度の代謝物Bに相当する量を含むゼラチンカプセルを29～30日間にわたり摂食させ、卵、筋肉、肝臓及び脂肪に含まれるスルホキサフロ、代謝物B及び代謝物Dの濃度をLC-MS/MSで測定した。卵については、投与前日、投与1日後、以降、3、5、7、10、14、16、18、20、22、24及び27～29日後に採卵した卵に含まれるスルホキサフロ、代謝物B及び代謝物Dの濃度をLC-MS/MSで測定した。結果は表2を参照。

表2. 産卵鶏の試料中の残留濃度 (mg/kg)

		0.76 ppm投与群	2.1 ppm投与群	10.7 ppm投与群
筋肉	スルホキサフロル	0.042 (最大)	0.109 (最大)	0.659 (最大)
		0.034 (平均)	0.090 (平均)	0.516 (平均)
	代謝物D	<0.01 (最大)	<0.01 (最大)	0.023 (最大)
		<0.01 (平均)	<0.01 (平均)	0.018 (平均)
	代謝物B	<0.01 (最大)	<0.01 (最大)	<0.01 (最大)
		<0.01 (平均)	<0.01 (平均)	<0.01 (平均)
脂肪	スルホキサフロル	0.013 (最大)	0.048 (最大)	0.184 (最大)
		0.012 (平均)	0.036 (平均)	0.167 (平均)
	代謝物D	<0.01 (最大)	<0.01 (最大)	<0.01 (最大)
		<0.01 (平均)	<0.01 (平均)	<0.01 (平均)
	代謝物B	<0.01 (最大)	<0.01 (最大)	0.011 (最大)
		<0.01 (平均)	<0.01 (平均)	0.007 (平均)
肝臓	スルホキサフロル	0.150 (最大)	0.232 (最大)	1.193 (最大)
		0.104 (平均)	0.185 (平均)	1.141 (平均)
	代謝物D	<0.01 (最大)	<0.01 (最大)	0.026 (最大)
		<0.01 (平均)	<0.01 (平均)	0.024 (平均)
	代謝物B	0.010 (最大)	0.020 (最大)	0.088 (最大)
		<0.01 (平均)	0.015 (平均)	0.073 (平均)
卵	スルホキサフロル	0.059 (最大)	0.099 (最大)	0.594 (最大)
		0.031 (平均)	0.080 (平均)	0.424 (平均)
	代謝物D	<0.01 (最大)	<0.01 (最大)	0.022 (最大)
		<0.01 (平均)	<0.01 (平均)	0.016 (平均)
	代謝物B	<0.01 (最大)	<0.01 (最大)	<0.01 (最大)
		<0.01 (平均)	<0.01 (平均)	<0.01 (平均)

定量限界：(筋肉、脂肪、肝臓及び卵のスルホキサフロル、代謝物B及び代謝物D) 0.01 mg/kg

(3) 飼料中の残留農薬濃度

飼料及び飼料添加物の成分規格等に関する省令(昭和51年農林省令第35号)に定める飼料一般の成分規格や飼料となる作物の残留試験成績等を基に、飼料の最大給与割合等を考慮して最大飼料由来負荷^{注1)}が算出されている。最大飼料由来負荷は乳牛において4.94 ppm、肉牛において2.41 ppm、産卵鶏において2.19 ppm、肉用鶏において1.51 ppmと示されている。また、平均的飼料由来負荷^{注2)}は、乳牛において2.22 ppm、肉牛において1.78 ppm、産卵鶏において2.19 ppm、肉用鶏において1.51 ppmと示されている。

なお、JMPRは乳牛及び肉牛の最大飼料由来負荷を6.9 ppm及び8.8 ppm、平均的飼料由来負荷をそれぞれ4.0及び2.6 ppmと、また産卵鶏及び肉用鶏の最大飼料由来負荷を1.15 ppm及び1.2 ppm、平均的飼料由来負荷を1.15 ppm及び1.2 ppmと評価している。

注1) 最大飼料由来負荷 (Maximum dietary burden)：飼料の原料に農薬が最大まで残留している

と仮定した場合に、飼料の摂取によって畜産動物が暴露されうる最大濃度。飼料中濃度として表示される。

注2) 平均的飼料由来負荷 (Mean dietary burden) : 飼料の原料に農薬が平均的に残留していると仮定した場合に (作物残留試験から得られた残留濃度の中央値を試算に用いる)、飼料の摂取によって畜産動物が暴露されうる平均濃度。飼料中濃度として表示される。

(4) 推定残留濃度

牛について、最大及び平均的飼料由来負荷と家畜残留試験結果から、畜産物中の推定残留濃度を算出した。結果は表3-1を参照。

表 3-1. 畜産物中の推定残留濃度：牛 (mg/kg、国内)

	筋肉	脂肪	肝臓	腎臓	乳
牛	0.245 (0.106)	0.104 (0.040)	0.596 (0.276)	0.416 (0.165)	0.177 (0.082)

上段：最大残留濃度

下段括弧内：平均的な残留濃度

鶏について、最大及び平均的飼料由来負荷と家畜残留試験結果から、畜産物中の推定残留濃度を算出した。結果は表3-2を参照。

表 3-2. 畜産物中の推定残留濃度：鶏 (mg/kg、国内)

	筋肉	脂肪	肝臓	卵
鶏	0.115 (0.093)	0.049 (0.037)	0.242 (0.195)	0.104 (0.084)

上段：最大残留濃度

下段括弧内：平均的な残留濃度

6. ADI及びARfDの評価

先の審議の際の食品安全基本法（平成15年法律第48号）第24条第1項第1号の規定に基づき、食品安全委員会あて意見を求めたスルホキサフロルに係る食品健康影響評価において、以下のとおり評価されている。

(1) ADI

無毒性量：4.25 mg/kg 体重/day

(動物種) 雄ラット

(投与方法) 混餌

(試験の種類) 慢性毒性/発がん性併合試験

(期間) 2年間

安全係数：100

ADI：0.042 mg/kg 体重/day

発がん性試験において、雄ラットで肝細胞腺腫及び精巣間細胞腺腫、雌雄マウスで肝

細胞腺腫及び肝細胞癌の発生頻度増加が認められた。機序検討試験の結果、肝腫瘍はフェノバルビタール誘導型の核内受容体介在性の機序により誘発されたものであることが示唆された。精巣間細胞腺腫の発生機序については確定できる十分な証拠は得られなかったが、ドーパミンアゴニスト様作用による可能性が示唆された。したがって、腫瘍の発生機序はいずれも遺伝毒性によるものとは考え難く、評価に当たり閾値を設定することは可能であると判断された。

(2) ARfD

無毒性量：25 mg/kg 体重

(動物種) ラット

(投与方法) 強制経口

(試験の種類) 急性神経毒性試験

安全係数：100

ARfD：0.25 mg/kg 体重

7. 諸外国における状況

JMPRにおける毒性評価が行われ、2011年にADI及びARfDが設定されている。国際基準は小麦、葉菜類等に設定されている。

米国、カナダ、EU、豪州及びニュージーランドについて調査した結果、米国において麦類、仁果類等に、カナダにおいて葉菜類、ぶどう等に、EUにおいて小麦、大豆等に、豪州において穀類、大豆等に、ニュージーランドにおいて小麦、ばれいしょ等に基準値が設定されている。

8. 残留規制

(1) 残留の規制対象

スルホキサフロルのみとする。

植物代謝試験及び家畜代謝試験で、親化合物の残留が認められた。10%TRR以上認められた代謝物として代謝物D、代謝物Bの抱合体である代謝物E及び代謝物F並びに代謝物Kが認められたが、作物残留試験あるいは家畜残留試験において、残留濃度が定量限界未満又はスルホキサフロルよりも低いことから、規制対象物質をスルホキサフロルとする。

(2) 基準値案

別紙2のとおりである。

9. 暴露評価

(1) 暴露評価対象

スルホキサフロルのみとする。

植物代謝試験及び家畜代謝試験で10%TRR以上認められた代謝物として代謝物D、代謝物Bの抱合体である代謝物E及び代謝物F並びに代謝物Kが認められた。作物残留試験にお

いて、多くの作物では残留濃度が定量限界未満であるかまた又は一部の作物において残留が認められたがスルホキサフロルよりも低い。家畜代謝試験においては、最大飼料由来負荷相当では定量限界未満また又は認められても残留は低く、食品健康影響評価においてこれらの代謝物の毒性はスルホキサフロルよりも弱いとされていることから、暴露評価対象物質をスルホキサフロルとする。

なお、食品安全委員会は、食品健康影響評価において、農産物及び畜産物中の暴露評価対象物質をスルホキサフロル（親化合物のみ）としている。

（２）暴露評価結果

① 長期暴露評価

１日当たり摂取する農薬の量のADIに対する比は、以下のとおりである。詳細な暴露評価は別紙3参照。

	EDI／ADI (%) ^{注)}
国民全体（１歳以上）	18.6
幼小児（１～６歳）	38.4
妊婦	17.4
高齢者（65歳以上）	20.9

注）各食品の平均摂取量は、平成17～19年度の食品摂取頻度・摂取量調査の特別集計業務報告書による。

EDI試算法：作物残留試験成績の中央値（STMR）×各食品の平均摂取量

② 短期（１日経口）暴露評価

各食品の短期推定摂取量（ESTI）を算出したところ、国民全体（１歳以上）及び幼小児（１～６歳）のそれぞれにおける摂取量は急性参照用量（ARfD）を超えていない^{注)}。詳細な暴露評価は別紙4-1及び4-2参照。

注）基準値案、作物残留試験における最高残留濃度（HR）又は中央値（STMR）を用い、平成17～19年度の食品摂取頻度・摂取量調査及び平成22年度の厚生労働科学研究の結果に基づき ESTIを算出した。

スルホキサフロルの作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度 (mg/kg) 【スルホキサフロル/代謝物D/代謝物B/代謝物G】	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
水稻 (玄米)	4	20.0% SC	2000倍散布 150 L/10 a	3	3, 7, 14	圃場A: *0.44/*0.02/0.06\$/- (*3回, 14日) 圃場B: 0.45/<0.01/0.03\$/- 圃場C: 0.48/0.02/0.03\$/- 圃場D: *0.30/<0.01/0.04\$/- (*3回, 14日)	
			2000倍散布 146 L/10 a		7, 14, 21, 28, 35, 42	圃場A: *0.12/<0.01/0.03\$/- (*3回, 21日) 圃場B: 0.11/<0.01/0.03\$/- 圃場C: *0.12/<0.01/*0.15/- (*3回, 14日、*3回, 28日) 圃場D: *0.14/<0.01/*0.10/- (*3回, 14日、*3回, 21日) 圃場E: 0.09/<0.01/0.07/- 圃場F: 0.11/<0.01/0.07/-	
			500倍散布 25~25.7, 25 L/10 a		7, 14, 21, 28, 35	圃場A: *0.12/<0.01/0.03\$/- (*3回, 21日) 圃場B: 0.11/<0.01/0.03\$/- 圃場C: *0.12/<0.01/*0.15/- (*3回, 14日、*3回, 28日) 圃場D: *0.14/<0.01/*0.10/- (*3回, 14日、*3回, 21日) 圃場E: 0.09/<0.01/0.07/- 圃場F: 0.11/<0.01/0.07/-	
			500倍散布 25 L/10 a		7, 14, 21, 28	圃場A: 0.12/<0.01/0.13/- 圃場B: *0.10/<0.01/*0.09/- (*3回, 14日) 圃場C: *0.16/<0.01/*0.22/- (*3回, 28日)	
	6	20.0% SC	16倍散布 0.8 L/10 a	3	7, 14, 21, 28	圃場A: 0.02/<0.01/<0.02\$/- 圃場B: 0.05/<0.01/<0.02\$/- 圃場C: 0.06/<0.01/0.02\$/- 圃場D: 0.03/<0.01/<0.02\$/- 圃場E: 0.19/<0.01/0.03\$/- 圃場F: 0.11/<0.01/<0.02\$/-	◎
			5000倍散布 150, 130 L/10 a		7, 14, 21, 28	圃場A: 0.02/<0.01/<0.02\$/- 圃場B: 0.05/<0.01/<0.02\$/- 圃場C: 0.06/<0.01/0.02\$/- 圃場D: 0.03/<0.01/<0.02\$/- 圃場E: 0.19/<0.01/0.03\$/- 圃場F: 0.11/<0.01/<0.02\$/-	
			5000倍散布 140, 145, 133, 131 L/10 a		7	圃場A: 0.02/<0.01/*0.03/- (*3回, 21日) 圃場B: 0.02/*0.01/*0.07/- (*3回, 56日、*3回, 35日)	
			5000倍散布 161~182, 161~180 L/10 a		14, 21, 28, 35, 42, 49, 56	圃場A: *0.46/*0.06/*0.04/- (*3回, 28日) 圃場B: *0.36/*0.06/*0.03/- (*3回, 42日、*3回, 56日、*3回, 21日) 圃場C: *0.54/*0.04/*0.04/- (*3回, 28日、*3回, 49日) 圃場D: *0.38/*0.03/*0.04/- (*3回, 42日) 圃場E: *0.22/0.06/*0.07/- (*3回, 35日、*3回, 42日) 圃場F: *0.56/*0.04/*0.04/- (*3回, 35日、*3回, 42日)	◎
	3	20.0% SC	2000倍散布 150 L/10 a	3	14, 21, 28, 42, 56	圃場A: <0.01/<0.01/<0.02\$/- 圃場B: <0.01/<0.01/<0.02\$/- 圃場C: <0.01/<0.01/<0.02\$/-	
			2000倍散布 200, 180~188, 200, 167, 155~160 L/10 a		14, 21, 28, 35, 42, 49, 56	圃場A: <0.005/<0.005/<0.008/- 圃場B: <0.005/<0.005/<0.008/- 圃場C: <0.005/0.006/<0.008/- 圃場D: <0.005/<0.005/<0.008/- 圃場E: <0.005/<0.005/<0.008/- 圃場F: <0.005/<0.005/<0.008/-	
			2000倍散布 190, 193 L/10 a		7, 14, 21	圃場A: <0.005/<0.005/<0.008/- 圃場B: <0.005/<0.005/<0.008/- 圃場C: <0.005/0.006/<0.008/- 圃場D: <0.005/<0.005/<0.008/- 圃場E: <0.005/<0.005/<0.008/- 圃場F: <0.005/<0.005/<0.008/-	
			2000倍散布 200, 190, 178, 175 L/10 a		7	圃場A: <0.005/<0.005/<0.008/- 圃場B: <0.005/0.009/<0.008\$/- 圃場C: <0.005/0.007/<0.008\$/- 圃場D: <0.005/0.007/<0.008\$/- 圃場E: <0.005/0.006/<0.008\$/- 圃場F: <0.005/<0.005/<0.008\$/- 圃場G: <0.005/<0.005/<0.008\$/-	
ばれいしょ (塊茎)	7	25.0% WG	5000倍散布 187, 181 L/10 a	3	7, 14, 21, 28	圃場A: <0.005/<0.005/<0.008\$/- 圃場B: <0.005/0.009/<0.008\$/- 圃場C: <0.005/0.007/<0.008\$/- 圃場D: <0.005/0.007/<0.008\$/- 圃場E: <0.005/0.006/<0.008\$/- 圃場F: <0.005/<0.005/<0.008\$/- 圃場G: <0.005/<0.005/<0.008\$/-	
			5000倍散布 200, 170~193, 184, 170 L/10 a		7	圃場A: <0.005/*0.010/*0.009\$/- (*3回, 21日) (#) 圃場B: <0.005/*0.009/<0.008\$/- (*3回, 28日) (#)	
			400倍散布 25 L/10 a		7, 14, 21, 28	圃場A: <0.005/<0.005/<0.008/- 圃場B: <0.005/<0.005/<0.008/- 圃場C: <0.005/0.007/<0.008\$/- 圃場D: <0.005/0.007/<0.008\$/- 圃場E: <0.005/0.006/<0.008\$/- 圃場F: <0.005/<0.005/<0.008\$/- 圃場G: <0.005/<0.005/<0.008\$/-	
			1250倍散布 25, 26 L/10 a		7, 14, 21, 28	圃場A: <0.01/<0.01/<0.02\$/- 圃場B: <0.01/<0.01/<0.02\$/- 圃場C: <0.01/<0.01/<0.02\$/-	
	3	9.5% SC	2000倍散布 189 L/10 a	3	3, 7, 14, 21	圃場A: <0.01/<0.01/<0.02\$/- 圃場B: <0.01/<0.01/<0.02\$/- 圃場C: <0.01/<0.01/<0.02\$/-	
			2000倍散布 189 L/10 a		3	圃場A: <0.01/<0.01/<0.02\$/- 圃場B: <0.01/<0.01/<0.02\$/- 圃場C: <0.01/<0.01/<0.02\$/-	
			2000倍散布 189 L/10 a		3	圃場A: <0.01/<0.01/<0.02\$/- 圃場B: <0.01/<0.01/<0.02\$/- 圃場C: <0.01/<0.01/<0.02\$/-	
			2000倍散布 189 L/10 a		3	圃場A: <0.01/<0.01/<0.02\$/- 圃場B: <0.01/<0.01/<0.02\$/- 圃場C: <0.01/<0.01/<0.02\$/-	
	3	25.0% WG	5000倍散布 200, 208, 200 L/10 a	3	7, 14, 21, 28	圃場A: <0.01/<0.01/<0.02\$/- 圃場B: <0.01/<0.01/<0.02\$/- 圃場C: <0.01/<0.01/<0.02\$/-	
			5000倍散布 200, 208, 200 L/10 a		7	圃場A: <0.01/<0.01/<0.02\$/- 圃場B: <0.01/<0.01/<0.02\$/- 圃場C: <0.01/<0.01/<0.02\$/-	
			5000倍散布 200, 208, 200 L/10 a		7	圃場A: <0.01/<0.01/<0.02\$/- 圃場B: <0.01/<0.01/<0.02\$/- 圃場C: <0.01/<0.01/<0.02\$/-	
			5000倍散布 200, 208, 200 L/10 a		7	圃場A: <0.01/<0.01/<0.02\$/- 圃場B: <0.01/<0.01/<0.02\$/- 圃場C: <0.01/<0.01/<0.02\$/-	

スルホキサフロルの作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験 圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度 (mg/kg) 【スルホキサフロル/代謝物D/代謝物B/代謝物G】	設定 の根 拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
はくさい (茎葉)	6	9.5% SC	2000倍散布 192～250, 281, 190, 300, 250, 260 L/10 a	<u>3</u>	<u>3</u> , 7, 14, 21	圃場A:0.04/*0.01/<0.02\$/- (*3回, 21日) 圃場B:0.56/*0.10/0.02\$/- (*3回, 14日) 圃場C:0.15/0.03/0.03\$/- 圃場D:0.06/<0.01/<0.02\$/- 圃場E:0.02/0.02/<0.02\$/- 圃場F:0.06/<0.01/<0.02\$/-	
					<u>3</u>		
だいこん (根部)	2	9.5% SC	2000倍散布 250, 200 L/10 a	<u>3</u>	<u>1</u> , 3, 7	圃場A:0.01/<0.01/<0.02\$/- 圃場B:0.05/*0.03/<0.02\$/- (*3回, 3日)	◎
だいこん (葉部)	2	9.5% SC	2000倍散布 250, 200 L/10 a	<u>3</u>	<u>1</u> , 3, 7	圃場A:4.86/0.37/*0.06\$/- (*3回, 7日) 圃場B:0.84/*0.11/*0.03\$/- (*3回, 7日)	◎
キャベツ (葉球)	2	9.5% SC	2000倍散布 300, 200 L/10 a	<u>3</u>	<u>1</u> , 3, 7	圃場A:*0.02/<0.01/<0.02\$/- (*3回, 7日) 圃場B:0.21/0.01/<0.02\$/-	
ブロッコリー (花蕾)	3	9.5% SC	2000倍散布 250, 220, 278 L/10 a	<u>3</u>	<u>1</u> , 3, 7	圃場A:0.94/0.02/*0.03\$/- (*3回, 3日)	
					<u>1</u> , 3, 6	圃場B:0.26/0.01/0.03/-	
					<u>1</u>	圃場C:0.71/0.01/0.02/-	
こまつな (茎葉)	3	9.5% SC	2000倍散布 190, 188, 179 L/10 a	<u>3</u>	<u>1</u> , 3, 7	圃場A:1.50/0.04/0.09/- 圃場B:0.78/0.06/0.13/- 圃場C:1.05/*0.14/*0.12/- (*3回, 3日)	
みずな (茎葉)	2	9.5% SC	2000倍散布 188, 200 L/10 a	<u>3</u>	<u>1</u> , 3, 7	圃場A:1.48/0.11/0.12/- 圃場B:1.54/*0.34/0.15/- (*3回, 7日)	
チンゲンサイ (茎葉)	3	9.5% SC	2000倍散布 160～169, 190, 200 L/10 a	<u>3</u>	<u>1</u> , 3, 7	圃場A:1.06/*0.08/0.06/- (*3回, 3日) 圃場B:2.17/*0.20/*0.12/- (*3回, 3日、**3回, 7日) 圃場C:2.55/*0.62/*0.12/- (*3回, 3日)	◎
ごぼう (根部)	3	9.5% SC	2000倍散布 189, 200, 189 L/10 a	<u>3</u>	<u>1</u> , 14, 21, 28	圃場A:0.01/0.01/<0.01/- 圃場B:<0.01/0.01/<0.01/- 圃場C:0.01/0.01/<0.01/-	
					<u>1</u>		
レタス (茎葉)	2	9.5% SC	2000倍散布 295, 222～296 L/10 a	<u>3</u>	<u>1</u> , 3, 7	圃場A:0.28/*0.07/<0.02\$/- (*3回, 7日) 圃場B:0.42/0.01/<0.02\$/-	
サラダ菜 (茎葉)	2	9.5% SC	2000倍散布 187.5, 180 L/10 a	<u>3</u>	<u>1</u> , 3, 7, 14	圃場A:3.88/0.28/*0.03\$/- (*3回, 3日) 圃場B:2.28/*0.13/<0.02\$/- (*3回, 3日)	◎
リーフレタス (茎葉)	2	9.5% SC	2000倍散布 200 L/10 a	<u>3</u>	<u>1</u> , 3, 7, 14	圃場A:3.98/*0.32/*0.02\$/- (*3回, 3日) 圃場B:3.51/*0.28/*0.02\$/- (*3回, 3日)	◎
食用ぎく (花器全体)	2	9.5% SC	2000倍散布 200 L/10 a	<u>2</u>	<u>3</u> , 7, 14	圃場A:2.90/0.03/0.17/- 圃場B:2.54/0.03/0.06/-	
根深ねぎ (茎葉)	3	9.5% SC	1000倍散布 186, 192, 186 L/10 a	<u>3</u>	<u>1</u> , 3, 7	圃場A:0.33/*0.02/*0.06/- (*3回, 7日、**3回, 3日) 圃場B:0.39/<0.01/*0.12/- (*3回, 3日) 圃場C:0.34/<0.01/<0.02/-	◎
葉ねぎ (茎葉)	3	9.5% SC	1000倍散布 188, 185, 175 L/10 a	<u>3</u>	<u>1</u> , 3, 7	圃場A:0.04/*0.15/0.04/- (*3回, 7日) 圃場B:0.43/0.08/<0.02/- 圃場C:0.28/*0.09/0.03/- (*3回, 7日)	◎
ミニトマト (果実)	2	9.5% SC	1000倍散布 300, 250 L/10 a	<u>2</u>	<u>1</u> , 3, 7	圃場A:0.94/*0.02/<0.02\$/- (*2回, 3日) 圃場B:0.33/<0.01/<0.02\$/-	◎
ピーマン (果実)	3	9.5% SC	1000倍散布 259, 189, 296 L/10 a	<u>2</u>	<u>1</u> , 3, 7, 14	圃場A:*0.70/0.02/<0.02\$/- (*2回, 3日) 圃場B:0.40/<0.01/<0.02\$/- 圃場C:0.35/0.01/<0.02\$/-	
なす (果実)	6	9.5% SC	1000倍散布 195～248, 300, 285, 247, 150, 258 L/10 a	<u>2</u>	<u>1</u> , 3, 7, 14	圃場A:0.17/<0.01/<0.02\$/- 圃場B:0.13/<0.01/<0.02\$/-	
					<u>1</u>	圃場C:0.22/<0.01/<0.02\$/- 圃場D:0.16/<0.01/<0.02\$/- 圃場E:0.14/<0.01/<0.02\$/- 圃場F:0.44/<0.01/<0.02\$/-	
きゅうり (果実)	2	9.5% SC	1000倍散布 300 L/10 a	<u>2</u>	<u>1</u> , 3, 7	圃場A:0.25/<0.01/<0.02\$/- 圃場B:0.28/*0.01/<0.02\$/- (*2回, 3日)	◎

スルホキサフロルの作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度 (mg/kg) 注1) 【スルホキサフロル/代謝物D/代謝物B/代謝物C】	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
すいか (果肉)	6	9.5% SC	1000倍散布 161～247, 158～282 L/10 a	3	1, 3, 7, 14, 21, 28, 35	圃場A: *0.04/<0.01/**0.20/- (*3回, 21日、**3回, 14日)	
						圃場B: *0.05/*0.01/**0.17/- (*3回, 14日、**3回, 7日)	
						圃場C: *0.04/<0.01/**0.17/- (*3回, 35日、**3回, 14日)	
						圃場D: *0.02/<0.01/*0.15/- (*3回, 14日)	
						圃場E: *0.03/<0.01/**0.17/- (*3回, 28日、**3回, 21日)	
						圃場F: *0.02/*0.01/**0.17/- (*3回, 21日、**3回, 28日、***3回, 7日)	
すいか (果実)	6	9.5% SC	1000倍散布 161～247, 158～282 L/10 a	3	1, 3, 7, 14, 21, 28, 35	圃場A: 0.07/<0.01/*0.20/- (*3回, 14日)	
						圃場B: *0.11/**0.01/**0.15/- (*3回, 3日、**3回, 14日、***3回, 7日)	
						圃場C: *0.10/<0.01/**0.16/- (*3回, 3日、**3回, 14日)	
						圃場D: 0.10/*0.01/**0.13/- (*3回, 35日、**3回, 14日)	
						圃場E: 0.07/<0.01/*0.13/- (*3回, 14日)	
						圃場F: *0.04/<0.01/**0.15/- (*3回, 3日、**3回, 7日)	
メロン (果肉)	5	9.5% SC	1000倍散布 249～252, 247, 190～199, 165～271 L/10 a	3	1, 3, 7, 14, 21	圃場A: *0.05/<0.01/*0.02/- (*3回, 14日)	
					圃場B: *0.02/<0.01/<0.02/- (*3回, 14日)		
					1, 3, 7, 14, 21, 28, 35	圃場C: *0.03/**0.01/<0.02/- (*3回, 14日、**3回, 28日)	
					1, 3, 7, 14, 21, 28, 35, 42, 50	圃場D: *0.06/*0.04/*0.03/- (*3回, 28日)	
						圃場E: *0.04/<0.01/**0.09/- (*3回, 14日、**3回, 28日)	
メロン (果実)	5	9.5% SC	1000倍散布 249～252, 247, 190～199, 165～271 L/10 a	3	1, 3, 7, 14, 21	圃場A: 0.16/<0.01/*0.03/- (*3回, 14日)	◎
					圃場B: 0.20/<0.01/*0.02/- (*3回, 21日)		
					1, 3, 7, 14, 21, 28, 35	圃場C: 0.12/*0.02/**0.02/- (*3回, 35日、**3回, 14日)	
					1, 3, 7, 14, 21, 28, 35, 42, 50	圃場D: 0.17/*0.04/*0.04/- (*3回, 28日)	
						圃場E: 0.24/<0.01/*0.12/- (*3回, 28日)	
ほうれんそう (茎葉)	6	9.5% SC	2000倍散布 181, 184, 158～167, 180, 179 L/10 a	2	1, 3, 7, 14	圃場A: 4.50/*0.37/0.15/- (*2回, 7日)	◎
					3, 14	圃場B: 6.67/*0.15/**0.15/- (*2回, 14日、**2回, 7日)	
						圃場C: 3.86/0.08/0.17/-	
						圃場D: 5.34/*0.33/0.17/- (*2回, 14日)	
						圃場E: 7.72/0.11/0.26/-	
						圃場F: 6.08/0.10/0.13/-	
えだまめ (さや)	3	20.0% SC	2000倍散布 189, 190, 180～181 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A: 0.06/<0.01/<0.02/-	◎
					1, 3, 7, 14, 21	圃場B: *1.04/*0.02/**0.04/- (*2回, 3日、**2回, 7日)	
						圃場C: *0.38/**0.01/*0.06/- (*2回, 14日、**2回, 7日)	
オリーブ (葉)	2	9.5% SC	2000倍散布 500 L/10 a	2	30, 61, 89	圃場A: 0.82/1.99/<0.08/-	
					28, 56, 90	圃場B: *1.56/*0.44/*<0.08/- (*2回, 28日)	
みかん (果肉)	2	9.5% SC	1000倍散布 640, 547 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A: *0.05/<0.01/<0.02\$/- (*3回, 7日)	
						圃場B: *0.05/0.01/<0.02\$/- (*3回, 3日)	
みかん (果皮)	2	9.5% SC	1000倍散布 640, 547 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A: 3.10/*0.08/<0.03\$/0.05 (*3回, 3日)	◎
						圃場B: 3.38/*0.60/<0.03\$/0.13 (*3回, 7日)	
みかん (果実)	2	9.5% SC	1000倍散布 640, 547 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A: 0.93/0.03/<0.01\$/-注2)	◎
						圃場B: 0.49/*0.08/<0.01\$/-注2) (*3回, 3日)	
なつみかん (果実)	2	9.5% SC	1000倍散布 500, 637 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A: 0.62/0.23/<0.02\$/-	◎
						圃場B: 0.89/*0.31/<0.02\$/- (*3回, 3日)	
かぼす (果実)	1	9.5% SC	1000倍散布 617 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A: 0.38/*0.03/<0.02\$/<0.02 (*3回, 7日)	◎
すだち (果実)	1	9.5% SC	1000倍散布 500 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A: 0.56/*0.02/<0.02\$/<0.02 (*3回, 7日)	
りんご (果実)	2	9.5% SC	1000倍散布 450 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A: *0.12/<0.01/<0.02\$/<0.02 (*3回, 3日)	◎
						圃場B: 0.28/0.01/<0.02\$/0.02	
なし (果実)	2	9.5% SC	1000倍散布 400, 432 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A: 0.48/*0.03/<0.02\$/- (*3回, 3日)	◎
						圃場B: 0.49/0.02/<0.02\$/-	
もも (果肉)	4	9.5% SC	1000倍散布 350, 333 L/10 a	3	1, 14, 21, 28	圃場A: *0.34/<0.01/<0.02\$/- (*3回, 21日)	
			1000倍散布 317, 320 L/10 a			圃場B: *0.16/*0.03/<0.02\$/- (*3回, 21日)	
					1, 14, 21, 28, 42, 56	圃場C: 0.20/<0.01/<0.02\$/-	
						圃場D: 0.08/*0.03/<0.02\$/- (*3回, 56日)	
もも (果皮)	2	9.5% SC	1000倍散布 350, 333 L/10 a	3	1, 14, 21, 28	圃場A: 3.07/0.15/0.06/-	
						圃場B: 1.02/*0.07/0.03/- (*3回, 21日)	

スルホキサフロルの作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験 圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度 (mg/kg) 【スルホキサフロル/代謝物D/代謝物B/代謝物G】 ^{注1)}	設定 の根 拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
もも (果実、種子を除く)	2	9.5% SC	1000倍散布 317, 320 L/10 a	3	7, 14, 21, 28, 42, 56	圃場C:0.42/<0.01/<0.02/- 圃場D:0.25/*0.04/<0.02/- (*3回, 56日)	
もも (果実)	4	9.5% SC	1000倍散布 350, 333 L/10 a	3	7, 14, 21, 28	圃場A:0.72/0.04/0.02\$/- ^{注2)} 圃場 B: *0.22/*0.03/0.02\$/- ^{注2)} (*3回, 21日)	◎
			1000倍散布 317, 320 L/10 a		7, 14, 21, 28, 42, 56	圃場C:0.40/<0.01/<0.02\$/- ^{注2)} 圃場D:0.23/*0.04/<0.02\$/- ^{注2)} (*3回, 56日)	
すもも (果実)	2	9.5% SC	1000倍散布 333, 500 L/10 a	3	3, 7, 14, 21	圃場A:0.08/<0.01/<0.02\$/- 圃場B:0.06/<0.01/<0.02\$/-	
うめ (果実)	3	9.5% SC	1000倍散布 333, 320~327, 300 L/10 a	3	3, 7, 14, 21	圃場A:0.18/*0.01/<0.02\$/- (*3回, 14日) 圃場B:1.24/0.03/<0.02\$/-	◎
					3	圃場C:0.48/0.01/<0.02\$/-	
おうとう (果実)	2	9.5% SC	1000倍散布 444, 450~460 L/10 a	3	3, 7, 14, 21	圃場A:1.58/*0.04/<0.02\$/- (*3回, 14日) 圃場B:1.10/*0.02/<0.02\$/- (*3回, 7日)	◎
いちご (果実)	3	9.5% SC	1000倍散布 174, 179, 180 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A:1.08/0.04/0.03\$/- 圃場B:0.92/0.05/0.02\$/-	◎
					1	圃場C:1.96/0.07/<0.02\$/-	
ぶどう (果実)	3	9.5% SC	1000倍散布 333 L/10 a	3	1, 3, 7, 14, 21	圃場A:*1.19/*0.04/<0.02\$/- (*3回, 7日) 圃場B:1.41/0.02/*0.02\$/- (*3回, 7日)	◎
					3, 7, 14, 21	圃場C:*0.99/*0.02/*0.09/- (*3回, 7日、*3回, 14日)	
かき (果実)	6	9.5% SC	1000倍散布 450, 452, 450, 453, 454, 400 L/10 a	3	1, 3, 7, 14, 21	圃場A:0.14/<0.01/<0.02\$/- 圃場B:0.31/<0.01/<0.02\$/- 圃場C:0.19/<0.01/<0.02\$/- 圃場D:0.14/<0.01/<0.02\$/- 圃場E:*0.22/<0.01/<0.02\$/- (*3回, 3日) 圃場F:0.29/0.04/<0.02/-	◎
キウイフルーツ (果肉)	3	9.5% SC	1000倍散布 350, 360, 375 L/10 a	3	3, 7, 14, 21, 28, 35	圃場A:*0.02/<0.01/<0.02/- (*3回, 35日) 圃場B:0.01/<0.01/<0.02/- 圃場C:0.02/<0.01/<0.02/-	
キウイフルーツ (果実)	3	9.5% SC	1000倍散布 350, 360, 375 L/10 a	3	3	圃場A:0.75/*0.03/<0.02/- (*3回, 14日) 圃場B:1.22/0.02/*0.02/- (*3回, 35日) 圃場C:1.41/*0.03/<0.02/- (*3回, 21日)	◎
マンゴー (果実)	2	9.5% SC	2000倍散布 400 L/10 a	3	3, 7, 14	圃場A:*0.18/-/- (*3回, 7日) 圃場B:*0.03/<0.01/<0.02/- (*3回, 7日)	
いちじく	2	9.5% SC	1000倍散布 700 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A:0.73/-/-/- 圃場B:0.68/-/-/-	◎
オリーブ (果実)	2	9.5% SC	2000倍散布 500 L/10 a	2	7, 14, 21	圃場A:*0.36/<0.05/<0.08/- (*3回, 14日) 圃場B:0.32/0.03/<0.08/-	
みょうが (花穂)	2	9.5% SC	2000倍散布 350 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A:<0.01/-/-/- 圃場B:<0.01/-/-/-	
しそ (葉)	2	9.5% SC	2000倍散布 200 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A:8.44/0.22/*0.65/- (*2回, 3日) 圃場B:8.78/0.17/*0.35/- (*2回, 3日)	◎

SC：フロアブル、WG：顆粒水和剤
-：分析せず
\$：抱合体の加水分解に使用したグルコンダーゼ溶液が、適切な濃度（10 mg/mL）の1000分の1の濃度（10 mg/L）であったため、参考値として記載している。
(#)印で示した作物残留試験成績は、登録又は申請された適用の範囲内で行われていないことを示す。また、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。
今回、新たに提出された作物残留試験成績を網掛けで示した。
基準値の設定根拠及び暴露評価にも使用されているものに◎で示した。
注1) 当該農薬の登録又は申請された適用の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留濃度の最大値を示した。
代謝物D、代謝物B及び代謝物Gの残留濃度は、スルホキサフロル濃度に換算した値で示した。\$を付していない代謝物Bの値は抱合体を含む残留濃度を示す。
表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留濃度が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留濃度が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について（ ）内に記載した。
注2) 果肉及び果皮の重量比から果実全体の残留濃度を算出した。

スルホキサフロルの作物残留試験一覧表（米国）

農作物	試験 圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度 (mg/kg) 注) 【スルホキサフロル/代謝物D/代謝物B】	設定 の根 拠等
		剤型	使用量・使用時期・使用方法	回数	経過日数		
いんげん (乾燥子実)	6	24.0% SC	0.0922～0.1016 kg ai/ha散布 (計0.3927, 0.3730 kg ai/ha)	4	0, 3, 7, 14, 21, 28	圃場A: *0.100/*0.069/*0.072 (*4回, 21日、*4回, 14日) (#)	◎
			0.0950～0.1020 kg ai/ha散布 (計0.3816, 0.4028 kg ai/ha)		3, 7, 14, 21, 28	圃場B: *0.088/*0.016/*0.020 (*4回, 21日) (#)	
			0.0915～0.1032 kg ai/ha散布 (計0.3808, 0.4106 kg ai/ha)		7, 14	圃場C: 0.074/0.019/0.017 (#)	
			0.0953～0.1033 kg ai/ha散布 (計0.3885, 0.4024 kg ai/ha)		7, 14	圃場D: 0.049/<0.003/0.078 (#)	
			0.0992～0.1017 kg ai/ha散布 (計0.4026 kg ai/ha)		1, 3, 7, 9, 13	圃場E: 0.104/0.007/0.159 (*4回, 13日) (#)	
			0.1000～0.1037 kg ai/ha散布 (計0.4096 kg ai/ha)		1, 3, 7	圃場F: 0.022/0.008/0.041 (#)	
にんじん (根)	12	24.0% SC	01009～0.1031 kg ai/ha散布 (計0.4091 kg ai/ha)	4	7	圃場A: 0.013/<0.009/<0.015 (#)	◎
			01009～0.1020 kg ai/ha散布 (計0.4046 kg ai/ha)		3, 7, 14, 21	圃場B: <0.01/<0.009/<0.015 (#)	
			01009～0.1042 kg ai/ha散布 (計0.4102 kg ai/ha)		7	圃場C: 0.010/<0.009/<0.015 (#)	
			00986～0.1031 kg ai/ha散布 (計0.4046 kg ai/ha)		7	圃場D: <0.01/<0.009/<0.015 (#)	
			0.0978～0.1067 kg ai/ha散布 (計0.4089 kg ai/ha)		4, 7, 15, 28	圃場E: <0.01/0.032/<0.015 (#)	
			0.0967～0.1067 kg ai/ha散布 (計0.4063 kg ai/ha)		7	圃場F: 0.017/0.009/<0.015 (#)	
			0.1027～0.1080 kg ai/ha散布 (計0.4227 kg ai/ha)		7	圃場G: 0.009/<0.009/<0.015 (#)	
			0.1031～0.1063 kg ai/ha散布 (計0.4179 kg ai/ha)		7	圃場H: 0.010/0.030/<0.015 (#)	
			0.0973～0.1067 kg ai/ha散布 (計0.4087 kg ai/ha)		7	圃場I: 0.014/0.046/<0.015 (#)	
			0.1006～0.1019 kg ai/ha散布 (計0.4057 kg ai/ha)		7	圃場J: <0.01/0.018/<0.015 (#)	
			0.0993～0.1020 kg ai/ha散布 (計0.4039 kg ai/ha)		7	圃場K: 0.030/0.049/<0.015 (#)	
			0.0994～0.1017 kg ai/ha散布 (計0.4012 kg ai/ha)		3, 7, 14, 21	圃場L: 0.016/0.040/<0.015 (#)	
カリフラワー (花蕾)	10	24.0% SC	0.096 kg ai/ha散布 (計0.384 kg ai/ha)	4	3	圃場A: <0.01/0.023/<0.015 (#)	◎
					0, 4, 7, 14	圃場B: 0.055/0.019/0.022 (*4回, 4日) (#)	
			0.097～0.105 kg ai/ha散布 (計0.401 kg ai/ha)		1, 3, 7, 10	圃場C: 0.021/*0.011/<0.015 (*4回, 10日) (#)	
			0.099～0.101 kg ai/ha散布 (計0.402 kg ai/ha)		3	圃場D: 0.011/<0.009/<0.015 (#)	
			0.102～0.106 kg ai/ha散布 (計0.414 kg ai/ha)		3	圃場E: 0.014/0.020/<0.015 (#)	
			0.100～0.101 kg ai/ha散布 (計0.401 kg ai/ha)		3	圃場F: 0.022/0.009/<0.015 (#)	
			0.0869～0.0945 kg ai/ha散布 (計0.360 kg ai/ha)		1, 3, 7, 10	圃場G: 0.029/*0.014/<0.015 (*4回, 7日) (#)	
			0.0878～0.0971 kg ai/ha散布 (計0.3669 kg ai/ha)		1, 3, 7, 10	圃場H: 0.014/*0.033/<0.015 (*4回, 7日) (#)	
			0.1011～0.1100 kg ai/ha散布 (計0.4194 kg ai/ha)		3	圃場I: <0.01/<0.009/<0.015 (*4回, 7日) (#)	
			0.0969～0.1011 kg ai/ha散布 (計0.3977 kg ai/ha)		1, 3, 7, 10	圃場J: <0.01/<0.009/<0.015 (#)	

スルホキサフロルの作物残留試験一覧表 (米国)

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度 (mg/kg) 注) 【スルホキサフロル/代謝物D/代謝物B】	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用時期・使用方法	回数	経過日数		
ブロッコリー (花蕾)	15	24.0% SC	0.095～0.101 kg ai/ha散布 (計0.391 kg ai/ha)	4	1, 3, 7, 14	圃場A:0.065/0.008/0.073 (＃)	◎
			0.096～0.100 kg ai/ha散布 (計0.390 kg ai/ha)		3	圃場B:0.070/0.028/<0.015 (＃)	
			0.1011～0.1111 kg ai/ha散布 (計0.4221 kg ai/ha)		3	圃場C:0.073/0.009/<0.015 (＃)	
			0.1032～0.1095 kg ai/ha散布 (計0.4246 kg ai/ha)		1, 3, 7, 10	圃場D:*0.318/0.042/*0.044 (*4回, 10日) (＃)	
			0.0973～0.1000 kg ai/ha散布 (計0.3973 kg ai/ha)		3	圃場E:0.164/0.028/0.018 (＃)	
			0.1006～0.1008 kg ai/ha散布 (計0.4029 kg ai/ha)		1, 3, 7, 10	圃場F:1.580/*0.013/*0.092 (*4回, 10日、*4回, 7日) (＃)	
			0.0979～0.1107 kg ai/ha散布 (計0.4203 kg ai/ha)		1, 3, 7, 10	圃場G:0.074/*0.011/0.021 (*4回, 7日) (＃)	
			0.1051～0.1086 kg ai/ha散布 (計0.4263 kg ai/ha)		1, 3, 7, 9	圃場H:0.057/*0.011/0.007 (*4回, 9日) (＃)	
			0.0911～0.1095 kg ai/ha散布 (計0.4098 kg ai/ha)		3	圃場I:0.036/0.028/<0.015 (＃)	
			0.1009～0.1020 kg ai/ha散布 (計0.4057 kg ai/ha)		3	圃場J:<0.010/0.014/<0.015 (＃)	
			0.0998～0.1015 kg ai/ha散布 (計0.4015 kg ai/ha)		1, 3, 7, 14	圃場K:0.393/*0.107/*0.058 (*4回, 14日) (＃)	
			0.0984～0.0996 kg ai/ha散布 (計0.3960 kg ai/ha)		3	圃場L:0.060/<0.009/0.014 (＃)	
			0.1009 kg ai/ha散布 (計0.4035 kg ai/ha)		3	圃場M:0.117/0.024/0.037 (＃)	
			0.1019～0.1042 kg ai/ha散布 (計0.4112 kg ai/ha)		3	圃場N:0.050/<0.009/0.015 (＃)	
			0.0975～0.1020 kg ai/ha散布 (計0.4001 kg ai/ha)		3	圃場O:0.029/0.012/<0.015 (＃)	
ほうれんそう (葉)	8	24.0% SC	0.1010～0.1020 kg ai/ha散布 (計0.4050 kg ai/ha)	4	3	圃場A:2.85/0.124/0.167 (＃)	◎
			0.1010 kg ai/ha散布 (計0.4040 kg ai/ha)		0, 3, 7, 14	圃場B:1.038/*0.153/0.074 (*4回, 7日) (＃)	
			0.1009～0.1031 kg ai/ha散布 (計0.4080 kg ai/ha)		3	圃場C:0.041/0.099/0.030 (＃)	
			0.1009～0.1031 kg ai/ha散布 (計0.4091 kg ai/ha)		3	圃場D:0.405/0.235/0.120 (＃)	
			0.1009 kg ai/ha散布 (計0.4035 kg ai/ha)		3	圃場E:1.434/0.057/0.170 (＃)	
			0.0986～0.1031 kg ai/ha散布 (計0.4046 kg ai/ha)		3	圃場F:1.871/0.067/0.195 (＃)	
			0.096 kg ai/ha散布 (計0.384 kg ai/ha)		0, 3, 7, 14	圃場G:0.365/0.169/0.051 (＃)	
未成熟いんげん (さや付き)	6	24.0% SC	0.0941～0.1163 kg ai/ha散布 (計0.4185 kg ai/ha)	4	1, 3, 7, 9, 14	圃場A:0.306/0.060/*0.059 (*4回, 14日) (＃)	◎
			0.100～0.1037 kg ai/ha散布 (計0.4074 kg ai/ha)		1, 3, 7, 10, 14	圃場B:0.029/*0.020/0.091 (*4回, 10日) (＃)	
			0.0979～0.1022 kg ai/ha散布 (計0.4024 kg ai/ha)		1, 3, 7, 10, 14	圃場C:1.938/*0.171/0.327 (*4回, 10日) (＃)	
			0.0967～0.1007 kg ai/ha散布 (計0.3954 kg ai/ha)		7	圃場D:0.116/0.009/0.035 (＃)	
			0.0977～0.1050 kg ai/ha散布 (計0.4091 kg ai/ha)		1, 3, 7, 10, 15	圃場E:0.072/<0.009/*0.088 (*4回, 15日) (＃)	
			0.0975～0.1050 kg ai/ha散布 (計0.4083 kg ai/ha)		7	圃場F:0.076/0.018/0.017 (＃)	

スルホキサフロルの作物残留試験一覧表（米国）

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度 (mg/kg) 注) 【スルホキサフロル/代謝物D/代謝物B】	設定の根拠等			
		剤型	使用量・使用時期・使用方法	回数	経過日数					
おうとう (果実)	14	24.0% SC	0.2051 kg ai/ha散布 (計0.4102 kg ai/ha)	2	6	圃場A:1.241/0.015/0.038 (＃)	◎			
			0.2018 kg ai/ha散布 (計0.4035 kg ai/ha)		7	圃場B:1.221/0.013/0.070 (＃)				
					7	圃場C:1.047/0.015/0.061 (＃)				
					3, 7, 14, 21	圃場D:0.760/<0.009/0.025 (＃)				
					7	圃場E:0.586/<0.009/0.028 (＃)				
			0.2030, 0.2046 kg ai/ha散布 (計0.4075 kg ai/ha)		6	圃場F:0.554/<0.009/0.015 (＃)		3, 7, 11, 14, 25	圃場G:0.320/<0.009/0.007 (＃)	
			0.192 kg ai/ha散布 (計0.384 kg ai/ha)		7	圃場H:0.345/<0.009/0.015 (＃)				
					0.1892, 0.1938 kg ai/ha散布 (計0.3830 kg ai/ha)	3, 7, 14, 21			圃場I:1.264/*0.025/0.059 (*2回, 21日) (＃)	
			0.1930, 0.1954 kg ai/ha散布 (計0.3884 kg ai/ha)		7	圃場J:0.810/0.008/0.022 (＃)			3, 7, 14, 21	圃場K:0.701/0.009/<0.015 (＃)
			0.1880, 0.1909 kg ai/ha散布 (計0.3789 kg ai/ha)		7	圃場L:0.485/<0.009/0.033 (＃)				
			0.1990, 0.2021 kg ai/ha散布 (計0.4011 kg ai/ha)		7	圃場M:0.830/*0.016/**0.025 (*2回, 21日、**2回, 14日) (＃)				
			0.2015, 0.2018 kg ai/ha散布 (計0.4033 kg ai/ha)		3, 7, 14, 21	圃場N:0.703/<0.009/0.056 (＃)				
			0.1941, 0.2029 kg ai/ha散布 (計0.3970 kg ai/ha)		7					
			ブッシュベリー (ブルーベリー) (果実)		11	24.0% SC		0.1018～0.1030 kg ai/ha散布 (計0.3076 kg ai/ha)	3	1
0.0986～0.1011 kg ai/ha散布 (計0.2989 kg ai/ha)	1	圃場B:0.418/<0.009/0.077								
0.1007～0.1022 kg ai/ha散布 (計0.3037 kg ai/ha)	1	圃場C:0.425/0.017/0.081								
0.1032～0.1057 kg ai/ha散布 (計0.3133 kg ai/ha)	1	圃場D:1.265/0.016/0.140								
0.1006～0.1010 kg ai/ha散布 (計0.3024 kg ai/ha)	1	圃場E:0.613/<0.009/0.051								
0.0997～0.1016 kg ai/ha散布 (計0.3027 kg ai/ha)	1	圃場F:0.392/0.015/0.065								
0.1013～0.1049 kg ai/ha散布 (計0.3097 kg ai/ha)	1	圃場G:0.170/<0.009/0.019								
0.1014～0.1030 kg ai/ha散布 (計0.3071 kg ai/ha)	0, 1, 8, 14, 21	圃場H:0.298/<0.009/0.074								
0.1004～0.1013 kg ai/ha散布 (計0.3029 kg ai/ha)	1	圃場I:0.387/<0.009/0.088								
0.1001～0.1012 kg ai/ha散布 (計0.3022 kg ai/ha)	1	圃場J:0.268/<0.009/0.063								
0.1001～0.1006 kg ai/ha散布 (計0.3010 kg ai/ha)	0, 1, 7, 14	圃場K:0.310/*0.059/0.040 (*3回, 14日)								
パイナップル (果実)	8	24.0% SC		0.1000 kg ai/ha散布 (計0.2000 kg ai/ha)			2	1, 8		圃場A:*0.022/<0.009/<0.015 (*2回, 8日)
			0, 1, 7, 14, 21, 25		圃場B:0.042/<0.009/<0.015					
			0, 1, 7, 14, 21, 28		圃場C:*0.051/<0.009/<0.015 (*2回, 28日)					
			0, 1, 7, 13, 19, 25		圃場D:*0.012/<0.009/<0.015 (*2回, 13日)					
			0, 1, 7, 13, 19, 25		圃場E:*0.011/<0.009/<0.015 (*2回, 25日)					
			1, 6		圃場F:0.018/<0.009/<0.015					
			1, 6		圃場G:0.020/<0.009/<0.015					
			1, 6		圃場H:0.027/<0.009/<0.015					

スルホキサフロルの作物残留試験一覧表（米国）

農作物	試験 圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度 (mg/kg) 注) 【スルホキサフロル/代謝物D/代謝物B】	設定 の根 拠等
		剤型	使用量・使用時期・使用方法	回数	経過日数		
なたね (種子)	19	24.0% SC	0.0504 kg ai/ha散布 (計0.1009 kg ai/ha)	2	14	圃場A:0.051/0.029/0.028 (＃)	◎
			0.0482, 0.0493 kg ai/ha散布 (計0.0975 kg ai/ha)		7, 14, 21, 28	圃場B:*0.085/<0.009/*0.025 (*2回, 28日) (＃)	
			0.0504, 0.0516 kg ai/ha散布 (計0.1020 kg ai/ha)		14	圃場C:0.035/<0.009/0.070 (＃)	
			0.0503, 0.0504 kg ai/ha散布 (計0.1008 kg ai/ha)		14	圃場D:0.009/0.078/<0.015 (＃)	
			0.0498, 0.0508 kg ai/ha散布 (計0.1005 kg ai/ha)		14	圃場E:0.017/<0.009/<0.015 (＃)	
			0.0504, 0.0507 kg ai/ha散布 (計0.1011 kg ai/ha)		13	圃場F:0.047/<0.009/<0.015 (＃)	
			0.0512, 0.0516 kg ai/ha散布 (計0.1028 kg ai/ha)		14	圃場G:0.072/<0.009/<0.015 (＃)	
			0.0497, 0.0501 kg ai/ha散布 (計0.0998 kg ai/ha)		14	圃場H:0.042/<0.009/<0.015 (＃)	
			0.048 kg ai/ha散布 (計0.096 kg ai/ha)		14	圃場I:0.060/0.047/0.058 (＃)	
					14	圃場J:<0.01/<0.009/<0.015 (＃)	
					13	圃場K:0.020/0.014/<0.015 (＃)	
					14	圃場L:0.085/0.019/0.013 (＃)	
			0.0514, 0.0525 kg ai/ha散布 (計0.1039 kg ai/ha)		7, 14, 20, 27	圃場M:0.038/<0.009/<0.015 (＃)	
			0.0533, 0.0539 kg ai/ha散布 (計0.1072 kg ai/ha)		14	圃場N:0.027/<0.009/<0.015 (＃)	
			0.0484, 0.0509 kg ai/ha散布 (計0.0993 kg ai/ha)		14	圃場O:0.054/<0.009/<0.015 (＃)	
			0.0491, 0.0509 kg ai/ha散布 (計0.1000 kg ai/ha)		7, 13, 21, 28	圃場P:*0.117/*0.007/0.031 (*2回, 21日) (＃)	
			0.0428, 0.0453 kg ai/ha散布 (計0.0881 kg ai/ha)		0, 7, 15, 21, 28	圃場Q:0.043/0.019/0.015 (*2回, 15日) (＃)	
			0.0486, 0.0497 kg ai/ha散布 (計0.0983 kg ai/ha)		14, 21, 28	圃場R:0.215/*0.013/*0.019 (*2回, 21日) (＃)	
			0.0544, 0.0564 kg ai/ha散布 (計0.1108 kg ai/ha)		13	圃場S:0.076/<0.009/0.036 (＃)	
カカオ豆(種子)	6	24.0% SC	0.0409～0.0431 kg ai/ha散布 (計0.1675 kg ai/ha)	4	3, 7, 15	圃場A:<0.01/<0.003/<0.003	◎
			0.0410～0.0422 kg ai/ha散布 (計0.1662, 0.1672 kg ai/ha)		0, 4, 8, 14, 22 3, 7, 15	圃場B:0.016/<0.000/<0.000	
			0.0408～0.0474 kg ai/ha散布 (計0.1703 kg ai/ha)		3	圃場C:0.011/<0.003/<0.003	
			0.0403～0.0431 kg ai/ha散布 (計0.1674 kg ai/ha)		0, 3, 7, 14, 21	圃場D:0.014/<0.003/<0.003	
			0.0398～0.0423 kg ai/ha散布 (計0.1641, 0.1661 kg ai/ha)		3, 6, 14 0, 3, 7, 14, 21	圃場E:0.024/0.002/<0.000	
			0.0402～0.0428 kg ai/ha散布 (計0.1657 kg ai/ha)		0, 2, 7, 14, 20	圃場F:0.023/<0.006/<0.003 (*4回, 2日)	

SC：フロアブル

(＃)印で示した作物残留試験成績は、登録又は申請された適用の範囲内で行われていないことを示す。また、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。

基準値の設定根拠及び暴露評価にも使用されているものに◎で示した。

注) 当該農薬の登録又は申請された適用の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留濃度の最大値を示した。

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留濃度が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留濃度が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について（ ）内に記載した。

スルホキサフロルの作物残留試験一覧表（台湾）

農作物	試験 圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度 (mg/kg) 注) 【スルホキサフロル/代謝物D/代謝物B】	設定 の根 拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
マンゴー (果実)	3	240 g/L SC	3600倍散布 <i>0.038～0.045 kg ai/ha</i> (計 <i>0.078～0.081 kg ai/ha</i>)	2	0, 3, 7, 9, 14, 21, 28	圃場A: 0.030/-/- (#)	◎
			3600倍散布 <i>0.035～0.037 kg ai/ha</i> (計 <i>0.072～0.073 kg ai/ha</i>)			圃場B: 0.037/-/- (#)	
			3600倍散布 <i>0.032～0.040 kg ai/ha</i> (計 <i>0.071～0.078 kg ai/ha</i>)		0, 3, 6, 9, 14, 21, 28	圃場C: 0.047/-/- (#)	

SC：フロアブル
-：分析せず
(#)印で示した作物残留試験成績は、登録又は申請された適用の範囲内で行われていないことを示す。また、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。
基準値の設定根拠及び暴露評価にも使用されているものに◎で示した。
注) 当該農薬の登録又は申請された適用の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留濃度の最大値を示した。

食品名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	国/地域 基準値 ppm	
米(玄米をいう。)	2	2	○	1.5		
小麦	0.4	0.4	○	0.2		0.02～0.19(n=6)
大麦	0.6	0.6		0.6		
とうもろこし	0.01	0.01	○	0.01		
その他の穀類	0.2	0.2		0.2		
大豆	1	2	○	0.3		0.22～0.56(n=6)
小豆類	0.3	0.3	○	0.3		
そら豆	0.2	0.2			0.20 米国	【(0.022～0.104(#) (n=6)(米国いんげん)】
ばれいしょ	0.05	0.05	○	0.03	0.05 米国	【(0.009～0.030(#) (n=12)(米国にんじん)】
さといも類(やつがしらを含む。)	0.03	0.03		0.03		
かんしょ	0.05	0.05		0.03	0.05 米国	【ばれいしょ参照】
やまいも(長いもをいう。)	0.05	0.05	○	0.03	0.05 米国	【ばれいしょ参照】
こんにゃくいも	0.03	0.03		0.03		
その他のいも類	0.03	0.03		0.03		
てんさい	0.05	0.05	○	0.03	0.05 米国	【ばれいしょ参照】
だいこん類(ラディッシュを含む。)	0.2	0.2	○	0.03		0.01,0.05(¥)
だいこん類(ラディッシュを含む。)	10	10	○	6		0.84,4.86(¥)
かぶ類の根	0.05	0.05		0.03	0.05 米国	【ばれいしょ参照】
かぶ類の葉	6	6		6		
西洋わさび	0.03	0.03		0.03		
クレソン	6	6		6		
はくさい	6	6	○	6		
キャベツ	2	2	○	0.4	2 米国	【<0.01～1.58(#) (n=15)(米国ブロッコリー)】
芽キャベツ	2	2			2 米国	【キャベツ参照】
ケール	6	6	○	6		
こまつな	6	6	○	6		
きょうな	6	6	○	6		
チンゲンサイ	6	6	○	6		
カリフラワー	0.08	0.08		0.04	0.08 米国	1.06,2.17,2.55 【<0.01～0.055(#)(n=10)(米国 カリフラワー)】
ブロッコリー	3	3	○	3		
その他のあぶらな科野菜	6	6	○	6		
ごぼう	0.03	0.03	○	0.03		
サルシフィー	0.03	0.03		0.03		
アーティチョーク	0.9	0.7		0.9		
チコリ	6	6		6		
エンダイブ	6	6		6		
しゅんぎく	6	6		6		
レタス(サラダ菜及びちしゃを含む。)	10	10	○	6		2.28,3.88(サラダ菜)、 3.51,3.98(リーフレタス)
その他のきく科野菜	6	6	○	6		
たまねぎ	0.01	0.01		0.01		
ねぎ(リーキを含む。)	0.9		申	0.7		0.04～0.43(n=6)
にんにく	0.01	0.01		0.01		
アスパラガス	0.01			0.01		
その他のゆり科野菜	6	6		6		
にんじん	0.05	0.05		0.05		
パースニップ	0.03	0.03		0.03		
パセリ	6	6			6 米国	【0.041～2.85(#)(n=8)(米国ほう れんそう)】
セロリ	2	2		1.5		
みつば	6	6		6		
その他のせり科野菜	0.03	0.03		0.03		

食品名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	国/地域 基準値 ppm	
トマト	2	2	○	1.5		0.33,0.94(¥)
ピーマン	2	2	○	1.5		
なす	2	2	○	1.5		
その他のなす科野菜	2	6		1.5		
きゅうり(ガーキンを含む。)	0.7	0.7	○	0.5		0.25,0.28(¥)
かぼちゃ(スカッシュを含む。)	0.5	0.5		0.5		
しろうり	0.5	0.5		0.5		
すいか(果皮を含む。)	0.5	0.5	○	0.5		
メロン類果実(果皮を含む。)	0.6	0.6	○	0.5		
まくわうり(果皮を含む。)	0.5	0.5		0.5		
その他のうり科野菜	0.5	6		0.5		
ほうれんそう	20	20	○	6		3.86～7.72(n=6)
オクラ	2	2		1.5		
未成熟えんどう	4	4				
未成熟いんげん	4	4				
えだまめ	3	3	○		4.0 米国	【0.029～1.938(＃)(n=6)(米国 Green bean (whole pod))】※1 【未成熟えんどう参照】 0.06,0.38,1.04
しいたけ		2				
その他のきのこ類		2				
その他の野菜	6	6	○	6		
みかん(外果皮を含む。)	2	2	○	0.8		0.49,0.93(¥) 0.62,0.89(¥) 0.38(かぼす),0.56(すだち)(¥) (みかん(外果皮を含む。))参照 (なつみかんの果実全体参照) (レモン参照) (なつみかんの果実全体参照)
なつみかんの果実全体	2	2	○	0.15		
レモン	2	2	○	0.4		
オレンジ(ネーブルオレンジを含む。)	2	2	○	0.8		
グレープフルーツ	2	2	○	0.15		
ライム	2	2	○	0.4		
その他のかんきつ類果実	2	2	○	0.8		
りんご	0.7	0.7	○	0.3		0.12,0.28(¥) 0.48,0.49(¥) (日本なし参照)
日本なし	1	1	○	0.3		
西洋なし	1	1	○	0.3		
マルメロ	0.3	0.3		0.3		
びわ(果梗を除き、果皮及び種子を含む。)	0.3	0.3		0.3		
もも(果皮及び種子を含む。)	1	2	○	0.4		0.22～0.72(n=4) 【0.320～1.264(＃) (n=14)(米国おうとう)】 【ネクタリン参照】 【ネクタリン参照】 0.18,0.48,1.24 1.10,1.58(¥)
ネクタリン	3	3	○	0.4	3 米国	
あんず(アプリコットを含む。)	3	3		0.4	3 米国	
すもも(ブルーンを含む。)	3	3		0.5	3 米国	
うめ	3	3	○	0.4		
おうとう(チェリーを含む。)	5	5	○	1.5	3 米国	
いちご	4	4	○	0.5		0.92,1.08,1.96 【0.155～1.265(n=11)(米国ブッシュベリー)】
ラズベリー	2	2		1.5		
ブラックベリー	2	2		1.5		
ブルーベリー	2	2		2		
クランベリー	2	2			2 米国	
ハックルベリー	2	2		2		
その他のベリー類果実	2	2		2		
ぶどう	4	4	○	2		0.99,1.19,1.41 0.14～0.31(n=6)
かき	0.7	0.7	○	0.3		

食品名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm	
				国際 基準 ppm	国/地域 基準値 ppm		
バナナ	0.5	0.5			0.5	台湾	【0.126,0.170,0.212(＃)(n=3)(台湾マンゴー)】※2 0.75,1.22,1.41 【バナナ参照】 【バナナ参照】 【0.011～0.051(n=8)(米国パイナップル)】 【バナナ参照】
キウイ（果皮を含む。）	4	4	○				
パパイヤ	0.5	0.5			0.5	台湾	
アボカド	0.5	0.5		0.15	0.5	台湾	
パイナップル	0.1	0.1			0.1	米国	
マンゴー	0.5	0.5	○	0.3	0.5	台湾	
その他の果実	2	2	○	1.5			0.68,0.73(¥)(いちじく)
ひまわりの種子	0.4			0.4			【<0.01～0.215(＃)(n=19)(米国なたね)】
べにばなの種子	0.4			0.4			
綿実	0.4	0.4		0.4			
なたね	0.4	0.4		0.15	0.40	米国	
ぎんなん	0.03	0.03		0.03			
くり	0.03	0.03		0.03			
ペカン	0.03	0.03		0.03			
アーモンド	0.03	0.03		0.03			
くるみ	0.03	0.03		0.03			
その他のナッツ類	0.03	0.03		0.03			
コーヒード	0.3			0.3			【<0.01～0.024(n=6)(米国カカオ豆)】
カカオ豆	0.05	0.05			0.05	米国	
その他のスパイス	10	10	○	2			3.10,3.38(¥)(みかん果皮)
その他のハーブ	15	15	○	6			8.44,8.78(¥)(しそ(葉))
牛の筋肉	0.4	0.4		0.4			
豚の筋肉	0.4	0.4		0.4			
その他の陸棲哺乳類に属する動物の筋肉	0.4	0.4		0.4			
牛の脂肪	0.2	0.2		0.2			
豚の脂肪	0.2	0.2		0.2			
その他の陸棲哺乳類に属する動物の脂肪	0.2	0.2		0.2			
牛の肝臓	1	1		1			
豚の肝臓	1	1		1			
その他の陸棲哺乳類に属する動物の肝臓	1	1		1			
牛の腎臓	1	1		1			
豚の腎臓	1	1		1			
その他の陸棲哺乳類に属する動物の腎臓	1	1		1			
牛の食用部分	1	1		1			
豚の食用部分	1	1		1			
その他の陸棲哺乳類に属する動物の食用部分	1	1		1			
乳	0.3	0.3		0.3			

食品名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	国/地域 基準値 ppm	
鶏の筋肉	0.7	0.7		0.7		
その他の家さんの筋肉	0.7	0.7		0.7		
鶏の脂肪	0.05	0.05		0.03		推:0.049 (鶏の脂肪参照)
その他の家さんの脂肪	0.05	0.05		0.03		
鶏の肝臓	0.3	0.3		0.3		
その他の家さんの肝臓	0.3	0.3		0.3		
鶏の腎臓	0.3	0.3		0.3		
その他の家さんの腎臓	0.3	0.3		0.3		
鶏の食用部分	0.3	0.3		0.3		
その他の家さんの食用部分	0.3	0.3		0.3		
鶏の卵	0.1	0.1		0.1		
その他の家さんの卵	0.1	0.1		0.1		
はちみつ	0.05					※3
精米				1		※4
とうがらし(乾燥させたもの)				15		※4
干しぶどう				6		※4

太枠:本基準(暫定基準以外の基準)を見直した基準値

斜線:食品区分を別途新設すること等に伴い、削除した食品区分、もしくは加工食品につき基準値を設定しないもの

○:既に、国内において登録等がされているもの

申:農薬の登録申請等に伴い基準値設定依頼がなされたもの

(#):適用の範囲内で試験が行われていない作物残留試験成績

(¥):基準値設定の根拠とした作物残留試験成績(最大値)

推:推定される残留濃度

※1) 未成熟えんどうは、米国基準は設定されていないが、米国Green bean (whole pod)の作物残留試験成績より基準値を設定している。

※2) バナナ、パパイヤ、アボガド及びマンゴーについては台湾のマンゴーの残留試験成績をプロポーショナリティ(proportionality)の原則に基づき、処理量の比例性を考慮して換算した。なお、GAPに適合した使用量として、マンゴーは台湾の 24.0% SCにおける0.168 kg ai/ha散布を基に換算した。

※3)「食品中の農薬の残留基準設定の基本原則について」(令和6年6月25日食品衛生基準審議会農薬・動物用医薬品部会)の別添3「はちみつ中の農薬等の基準設定の方法について」に基づき設定。

※4) 加工食品である「精米」「とうがらし(乾燥させたもの)」「干しぶどう」について、国際基準が設定されているが、加工係数を用いて原材料中の濃度に換算した値が当該原材料の基準値案を超えないことから、基準値を設定しないこととする。基準値が設定されていない加工食品については、原材料の基準値に基づき加工係数を考慮して適否を判断することとしている。なお、本物質について、JMPRIは精米、とうがらし(乾燥させたもの)及び干しぶどうの加工係数をそれぞれ0.7、10及び3.5と算出している。

スルホキサフロルの推定摂取量 (単位: $\mu\text{g}/\text{人}/\text{day}$)

食品名	基準値案 (ppm)	暴露評価に 用いた数値 (ppm)	国民全体 (1歳以上) EDI	幼小児 (1～6歳) EDI	妊婦 EDI	高齢者 (65歳以上) EDI
米 (玄米をいう。)	2	0.39	64.0	33.4	41.1	70.3
小麦	0.4	0.06	3.6	2.7	4.1	3.0
大麦	0.6	0.063	0.3	0.3	0.6	0.3
とうもろこし	0.01	0.007	0.0	0.0	0.0	0.0
その他の穀類	0.2	0.03	0.0	0.0	0.0	0.0
大豆	1	0.42	16.4	8.6	13.1	19.4
小豆類	0.3	0.075	0.2	0.1	0.1	0.3
そら豆	0.2	0.081	0.1	0.0	0.1	0.1
ばれいしょ	0.05	0.01	0.4	0.3	0.4	0.4
さといも類 (やつがしらを含む。)	0.03	0.01	0.1	0.0	0.0	0.1
かんしょ	0.05	0.01	0.1	0.1	0.1	0.1
やまいも (長いもをいう。)	0.05	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
こんにゃくいも	0.03	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のいも類	0.03	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
てんさい	0.05	0.01	0.3	0.3	0.4	0.3
だいこん類 (ラディッシュを含む。)	0.2	0.03	1.0	0.3	0.6	1.4
だいこん類 (ラディッシュを含む。)	10	2.86	4.9	1.7	8.9	8.0
かぶ類の根	0.05	0.01	0.0	0.0	0.0	0.1
かぶ類の葉	6	1.2	0.4	0.1	0.1	0.7
西洋わさび	0.03	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
クレソン	6	1.2	0.1	0.1	0.1	0.1
はくさい	6	1.2	21.2	6.1	19.9	25.9
キャベツ	2	0.07	1.7	0.8	1.3	1.7
芽キャベツ	2	0.07	0.0	0.0	0.0	0.0
ケール	6	1.2	0.2	0.1	0.1	0.2
こまつな	6	1.2	6.0	2.2	7.7	7.7
きょうな	6	1.2	2.6	0.5	1.7	3.2
チンゲンサイ	6	2.17	3.9	1.5	3.9	4.1
カリフラワー	0.08	0.014	0.0	0.0	0.0	0.0
ブロッコリー	3	0.074	0.4	0.2	0.4	0.4
その他のあぶらな科野菜	6	1.2	4.1	0.7	1.0	5.8
ごぼう	0.03	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
サルシフィー	0.03	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
アーティチョーク	0.9	0.245	0.0	0.0	0.0	0.0
チコリ	6	1.2	0.1	0.1	0.1	0.1
エンダイブ	6	1.2	0.1	0.1	0.1	0.1
しゅんぎく	6	1.2	1.8	0.4	3.1	3.0
レタス (サラダ菜及びちしゃを含む。)	10	3.7	35.5	16.3	42.2	34.0
その他のきく科野菜	6	1.2	1.8	0.1	0.7	3.1
たまねぎ	0.01	0.01	0.3	0.2	0.4	0.3
ねぎ (リーキを含む。)	0.9	0.34	3.2	1.3	2.3	3.6
にんにく	0.01	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
アスパラガス	0.01	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のゆり科野菜	6	1.2	0.7	0.1	0.2	1.4
にんじん	0.05	0.01	0.2	0.1	0.2	0.2
パースニップ	0.03	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
パセリ	6	0.817	0.1	0.1	0.1	0.2
セロリ	2	0.19	0.2	0.1	0.1	0.2
みつば	6	1.2	0.5	0.1	0.1	0.6
その他のせり科野菜	0.03	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
トマト	2	0.64	20.5	12.2	20.5	23.4
ピーマン	2	0.11	0.5	0.2	0.8	0.5
なす	2	0.11	1.3	0.2	1.1	1.9
その他のなす科野菜	2	0.11	0.1	0.0	0.1	0.1

スルホキサフルルの推定摂取量 (単位: $\mu\text{g}/\text{人}/\text{day}$)

食品名	基準値案 (ppm)	暴露評価に 用いた数値 (ppm)	国民全体 (1歳以上) EDI	幼小児 (1～6歳) EDI	妊婦 EDI	高齢者 (65歳以上) EDI
きゅうり (ガーキンを含む。)	0.7	0.265	5.5	2.5	3.8	6.8
かぼちゃ (スカッシュを含む。)	0.5	0.029	0.3	0.1	0.2	0.4
しろうり	0.5	0.029	0.0	0.0	0.0	0.0
すいか (果皮を含む。)	0.5	0.029	0.2	0.2	0.4	0.3
メロン類果実 (果皮を含む。)	0.6	0.17	0.6	0.5	0.7	0.7
まくわうり (果皮を含む。)	0.5	0.029	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のうり科野菜	0.5	0.029	0.1	0.0	0.0	0.1
ほうれんそう	20	5.71	73.1	33.7	81.1	99.4
オクラ	2	0.11	0.2	0.1	0.2	0.2
未成熟えんどう	4	0.096	0.2	0.0	0.0	0.2
未成熟いんげん	4	0.096	0.2	0.1	0.0	0.3
えだまめ	3	0.38	0.6	0.4	0.2	1.0
その他の野菜	6	1.2	16.1	7.6	12.1	16.9
みかん (外果皮を含む。)	2	0.71	12.6	11.6	0.4	18.6
なつみかんの果実全体	2	0.76	1.0	0.5	3.6	1.6
レモン	2	0.47	0.2	0.0	0.1	0.3
オレンジ (ネーブルオレンジを含む。)	2	0.71	5.0	10.4	8.9	3.0
グレープフルーツ	2	0.76	3.2	1.7	6.8	2.7
ライム	2	0.47	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のかんきつ類果実	2	0.76	4.5	2.1	1.9	7.2
りんご	0.7	0.2	4.8	6.2	3.8	6.5
日本なし	1	0.485	3.1	1.6	4.4	3.8
西洋なし	1	0.485	0.3	0.1	0.0	0.2
マルメロ	0.3	0.067	0.0	0.0	0.0	0.0
びわ (果梗を除き、果皮及び種子を含む。)	0.3	0.067	0.0	0.0	0.1	0.0
もも (果皮及び種子を含む。)	1	0.32	1.1	1.2	1.7	1.4
ネクタリン	3	0.732	0.1	0.1	0.1	0.1
あんず (アブリコットを含む。)	3	0.732	0.1	0.1	0.1	0.3
すもも (ブルーンを含む。)	3	0.732	0.8	0.5	0.4	0.8
うめ	3	0.48	0.7	0.1	0.3	0.9
おうとう (チェリーを含む。)	5	1.34	0.5	0.9	0.1	0.4
いちご	4	1.08	5.8	8.4	5.6	6.4
ラズベリー	2	0.443	0.0	0.0	0.0	0.0
ブラックベリー	2	0.443	0.0	0.0	0.0	0.0
ブルーベリー	2	0.387	0.4	0.3	0.2	0.5
クランベリー	2	0.387	0.0	0.0	0.0	0.0
ハックルベリー	2	0.387	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のベリー類果実	2	0.443	0.0	0.0	0.1	0.0
ぶどう	4	1.19	10.4	9.8	24.0	10.7
かき	0.7	0.21	2.1	0.4	0.8	3.8
バナナ	0.5	0.17	2.2	2.6	2.8	3.2
キウイ (果皮を含む。)	4	1.22	2.7	1.7	2.8	3.5
パパイヤ	0.5	0.17	0.0	0.1	0.0	0.0
アボカド	0.5	0.17	0.1	0.0	0.0	0.1
パイナップル	0.1	0.021	0.0	0.0	0.0	0.0
マンゴー	0.5	0.17	0.1	0.1	0.0	0.1
その他の果実	2	0.71	0.9	0.3	0.6	1.2
ひまわりの種子	0.4	0.047	0.0	0.0	0.0	0.0
べにばなの種子	0.4	0.047	0.0	0.0	0.0	0.0
綿実	0.4	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0
なたね	0.4	0.047	0.3	0.2	0.3	0.2
ぎんなん	0.03	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
くり	0.03	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
ペカン	0.03	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
アーモンド	0.03	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
くるみ	0.03	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のナッツ類	0.03	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0

スルホキサフロルの推定摂取量 (単位: $\mu\text{g}/\text{人}/\text{day}$)

食品名	基準値案 (ppm)	暴露評価に 用いた数値 (ppm)	国民全体 (1歳以上) EDI	幼小児 (1～6歳) EDI	妊婦 EDI	高齢者 (65歳以上) EDI
コーヒー豆	0.3	0.035	0.1	0.0	0.0	0.1
カカオ豆	0.05	0.015	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のスパイス	10	3.24	0.3	0.3	0.3	0.6
その他のハーブ	15	8.61	7.7	2.6	0.9	12.1
陸棲哺乳類の肉類	0.4	筋肉 0.16 脂肪 0.06	8.1	6.0	9.0	5.7
陸棲哺乳類の食用部分(肉類除く)	1	0.44	0.6	0.4	2.1	0.4
陸棲哺乳類の乳類	0.3	0.14	37.0	46.5	51.0	30.2
家きんの肉類	0.7	0.64	13.7	9.8	14.5	10.3
家きんの卵類	0.1	0.07	2.9	2.3	3.4	2.7
はちみつ	0.05	● 0.05	0.0	0.0	0.1	0.1
計			430.1	266.4	428.6	493.0
ADI比 (%)			18.6	38.4	17.4	20.9

EDI: 推定一日摂取量 (Estimated Daily Intake)

EDI試算法: 作物残留試験成績の中央値 (STMR) 等×各食品の平均摂取量

●: 個別の作物残留試験がないことから、暴露評価を行うにあたり基準値(案)の数値を用いた。

国際基準を参照したものについては、JMPRの評価に用いられた残留試験データを用いてEDI試算をした。

バナナ、パパイヤ、アボガド及びマンゴーについては台湾のマンゴーの残留試験成績について、プロポーショナリティ (proportionality) の原則に基づき、処理濃度の比例性を考慮して換算した値を評価に用いた。

「陸棲哺乳類の肉類」については、EDI試算では、畜産物中の平均的な残留農薬濃度を用い、摂取量の筋肉及び脂肪の比率をそれぞれ80%、20%として試算した。

スルホキサフロルの推定摂取量（短期）：国民全体(1歳以上)

食品名 (基準値設定対象)	食品名 (ESTI推定対象)	基準値案 (ppm)	評価に用いた 数値 (ppm)	ESTI (μ g/kg 体重/day)	ESTI/ARFD (%)
米（玄米）	米	2	○ 0.39	2.5	1
小麦	小麦	0.4	○ 0.06	0.1	0
大麦	大麦	0.6	○ 0.063	0.1	0
	麦茶	0.6	○ 0.063	0.1	0
とうもろこし	スイートコーン	0.01	0.01	0.1	0
大豆	大豆	1	○ 0.42	0.4	0
小豆類	いんげん	0.3	○ 0.075	0.1	0
ばれいしょ	ばれいしょ	0.05	○ 0.032	0.3	0
さといも類（やつがしらを含む。）	さといも	0.03	○ 0.023	0.1	0
かんしょ	かんしょ	0.05	○ 0.032	0.4	0
やまいも（長いもをいう。）	やまいも	0.05	○ 0.032	0.3	0
だいこん類（ラディッシュを含む。）の根	だいこんの根	0.2	0.2	2.3	1
だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉	だいこんの葉	10	10.0	82.6	30
かぶ類の根	かぶの根	0.05	○ 0.032	0.2	0
かぶ類の葉	かぶの葉	6	○ 2.9	7.7	3
はくさい	はくさい	6	○ 2.9	37.6	20
キャベツ	キャベツ	2	○ 1.60	15.3	6
ケール	ケール	6	○ 2.9	23.3	9
こまつな	こまつな	6	○ 2.9	12.3	5
きょうな	きょうな	6	○ 2.9	9.7	4
チンゲンサイ	チンゲンサイ	6	6	44.5	20
カリフラワー	カリフラワー	0.08	○ 0.07	0.5	0
ブロッコリー	ブロッコリー	3	○ 1.6	9.6	4
その他のあぶらな科野菜	たかな	6	○ 2.9	22.8	9
	菜花	6	○ 2.9	8.0	3
ごぼう	ごぼう	0.03	○ 0.023	0.1	0
しゅんぎく	しゅんぎく	6	○ 2.9	9.5	4
レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）	レタス類	10	○ 3.98	22.5	9
たまねぎ	たまねぎ	0.01	0.01	0.1	0
ねぎ（リーキを含む。）	ねぎ	0.9	○ 0.43	1.6	1
にんにく	にんにく	0.01	0.01	0.0	0
アスパラガス	アスパラガス	0.01	0.011	0.0	0
その他のゆり科野菜	にんにくの芽	6	○ 2.9	5.1	2
	らっきょう	6	○ 2.9	3.1	1
にんじん	にんじん	0.05	○ 0.03	0.1	0
	にんじんジュース	0.05	○ 0.01	0.1	0
パセリ	パセリ（生）	6	○ 3.23	0.5	0
	パセリ（乾燥）	6	○ 3.23	2.9	1
セロリ	セロリ	2	○ 0.77	4.2	2
みつば	みつば	6	○ 2.9	2.3	1
その他のせり科野菜	せり	0.03	○ 0.023	0.0	0
トマト	トマト	2	2	21.9	9
ピーマン	ピーマン	2	○ 0.6	1.5	1
なす	なす	2	○ 0.6	3.9	2
その他のなす科野菜	とうがらし（生）	2	○ 0.6	1.0	0
	ししとう	2	○ 0.6	0.6	0
きゅうり（ガーキンを含む。）	きゅうり	0.7	0.7	4.4	2
かぼちゃ（スカッシュを含む。）	かぼちゃ	0.5	○ 0.27	2.7	1
	ズッキーニ	0.5	○ 0.27	2.0	1
しろうり	しろうり	0.5	○ 0.27	2.2	1
すいか（果皮を含む。）	すいか	0.5	○ 0.27	8.9	4
メロン類果実（果皮を含む。）	メロン	0.6	○ 0.24	4.1	2
その他のうり科野菜	とうがん	0.5	○ 0.27	4.6	2
	にがうり	0.5	○ 0.27	2.2	1
ほうれんそう	ほうれんそう	20	○ 7.72	37.4	10
オクラ	オクラ	2	○ 0.6	0.9	0
未成熟えんどう	未成熟えんどう（さや）	4	○ 1.938	3.2	1
	未成熟えんどう（豆）	4	○ 1.938	3.3	1

スルホキサフロルの推定摂取量（短期）：国民全体(1歳以上)

食品名 (基準値設定対象)	食品名 (ESTI推定対象)	基準値案 (ppm)	評価に用いた 数値 (ppm)	ESTI (μ g/kg 体重/day)	ESTI/ARFD (%)
未成熟いんげん	未成熟いんげん	4	○ 1.938	3.8	2
えだまめ	えだまめ	3	3	7.6	3
その他の野菜	ずいき	6	○ 2.9	29.3	10
	もやし	6	○ 2.9	6.7	3
	れんこん	6	○ 2.9	18.0	7
	そら豆（生）	6	○ 2.9	8.5	3
みかん（外果皮を含む。）	みかん	2	2	18.7	7
なつみかんの果実全体	なつみかん	2	2	24.9	10
レモン	レモン	2	2	4.2	2
オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）	オレンジ	2	2	18.8	8
	オレンジ果汁	2	○ 0.71	7.1	3
グレープフルーツ	グレープフルーツ	2	2	34.4	10
その他のかんきつ類果実	きんかん	2	2	4.8	2
	ぼんかん	2	2	21.0	8
	ゆず	2	2	3.2	1
	すだち	2	2	3.1	1
りんご	りんご	0.7	0.7	10.0	4
	りんご果汁	0.7	○ 0.2	2.1	1
日本なし	日本なし	1	1	15.1	6
西洋なし	西洋なし	1	1	14.0	6
びわ（果梗を除き、果皮及び種子を含む。）	びわ	0.3	○ 0.23	1.7	1
もも（果皮及び種子を含む。）	もも	1	○ 0.72	9.8	4
すもも（ブルーンを含む。）	ブルーン	3	○ 1.264	7.4	3
うめ	うめ	3	3	4.1	2
おうとう（チェリーを含む。）	おうとう	5	5	12.5	5
いちご	いちご	4	4	15.3	6
ブルーベリー	ブルーベリー	2	○ 1.39	2.0	1
ぶどう	ぶどう	4	4	53.9	20
かき	かき	0.7	○ 0.31	4.4	2
バナナ	バナナ	0.5	0.5	5.6	2
キウイ（果皮を含む。）	キウイ	4	4	22.7	9
アボカド	アボカド	0.5	0.5	3.6	1
パイナップル	パイナップル	0.1	○ 0.059	0.9	0
マンゴー	マンゴー	0.5	0.5	6.7	3
その他の果実	いちじく	2	2	15.3	6
ぎんなん	ぎんなん	0.03	○ 0.01	0.0	0
くり	くり	0.03	○ 0.01	0.0	0
アーモンド	アーモンド	0.03	○ 0.01	0.0	0
くるみ	くるみ	0.03	○ 0.01	0.0	0
カカオ豆	カカオ豆	0.05	○ 0.015	0.0	0
はちみつ	はちみつ	0.05	0.05	0.0	0

ESTI：短期推定摂取量（Estimated Short-Term Intake）

ESTI/ARFD(%)の値は、有効数字1桁（値が100を超える場合は有効数字2桁）とし四捨五入して算出した。

○：作物残留試験における最高残留濃度（HR）又は中央値（STMR）を用いて短期摂取量を推計した。

○を付していない食品については、基準値案の値又は暴露評価対象物質の残留濃度から推定される基準値に相当する値を使用した。

国際基準を参照したものについては、JMPRの評価に用いられた残留試験データを用いてESTI試算をした。

バナナ、アボガド及びマンゴーについては台湾のマンゴーの残留試験成績についてプロポーショナルリティ（proportionality）の原則に基づき、処理濃度の比例性を考慮して換算した値を評価に用いた。

スルホキサフルルの推定摂取量（短期）：幼小児(1～6歳)

食品名 (基準値設定対象)	食品名 (ESTI推定対象)	基準値案 (ppm)	評価に用いた 数値 (ppm)	ESTI (μ g/kg 体重/day)	ESTI/ARFD (%)
米（玄米）	米	2	○ 0.39	4.2	2
小麦	小麦	0.4	○ 0.06	0.2	0
大麦	大麦	0.6	○ 0.063	0.0	0
	麦茶	0.6	○ 0.063	0.1	0
とうもろこし	スイートコーン	0.01	0.01	0.2	0
大豆	大豆	1	○ 0.42	0.5	0
ばれいしょ	ばれいしょ	0.05	○ 0.032	0.7	0
さといも類（やつがしらを含む。）	さといも	0.03	○ 0.023	0.3	0
かんしょ	かんしょ	0.05	○ 0.032	0.8	0
やまいも（長いもをいう。）	やまいも	0.05	○ 0.032	0.4	0
だいこん類（ラディッシュを含む。）の根	だいこんの根	0.2	0.2	4.4	2
はくさい	はくさい	6	○ 2.9	45.5	20
キャベツ	キャベツ	2	○ 1.6	25.0	10
こまつな	こまつな	6	○ 2.9	25.8	10
ブロッコリー	ブロッコリー	3	○ 1.6	23.1	9
ごぼう	ごぼう	0.03	○ 0.023	0.1	0
レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）	レタス類	10	○ 3.98	39.1	20
たまねぎ	たまねぎ	0.01	0.01	0.2	0
ねぎ（リーキを含む。）	ねぎ	0.9	○ 0.43	2.8	1
にんにく	にんにく	0.01	0.01	0.0	0
にんじん	にんじん	0.05	○ 0.03	0.3	0
パセリ	パセリ（生）	6	○ 3.23	0.6	0
トマト	トマト	2	2	54.3	20
ピーマン	ピーマン	2	○ 0.6	3.9	2
なす	なす	2	○ 0.6	9.4	4
きゅうり（ガーキンを含む。）	きゅうり	0.7	0.7	10.2	4
かぼちゃ（スカッシュを含む。）	かぼちゃ	0.5	○ 0.27	4.3	2
すいか（果皮を含む。）	すいか	0.5	○ 0.27	23.4	9
メロン類果実（果皮を含む。）	メロン	0.6	○ 0.24	7.0	3
ほうれんそう	ほうれんそう	20	○ 7.72	86.7	30
オクラ	オクラ	2	○ 0.6	2.6	1
未成熟えんどう	未成熟えんどう（さや）	4	○ 1.938	2.4	1
	未成熟えんどう（豆）	4	○ 1.938	3.5	1
未成熟いんげん	未成熟いんげん	4	○ 1.938	7.8	3
えだまめ	えだまめ	3	3	8.4	3
その他の野菜	もやし	6	○ 2.9	12.2	5
	れんこん	6	○ 2.9	29.8	10
みかん（外果皮を含む。）	みかん	2	2	54.8	20
オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）	オレンジ	2	2	53.9	20
	オレンジ果汁	2	○ 0.71	12.7	5
りんご	りんご	0.7	0.7	22.5	9
	りんご果汁	0.7	○ 0.2	6.7	3
日本なし	日本なし	1	1	28.8	10
もも（果皮及び種子を含む。）	もも	1	○ 0.72	30.5	10
うめ	うめ	3	3	10.2	4
いちご	いちご	4	4	43.2	20
ぶどう	ぶどう	4	4	122.5	50
かき	かき	0.7	○ 0.31	6.5	3
バナナ	バナナ	0.5	0.5	19.2	8
パイナップル	パイナップル	0.1	○ 0.059	1.9	1

スルホキサフロルの推定摂取量（短期）：幼小児(1～6歳)

食品名 (基準値設定対象)	食品名 (ESTI推定対象)	基準値案 (ppm)	評価に用いた 数値 (ppm)	ESTI (μ g/kg 体重/day)	ESTI/ARFD (%)
カカオ豆	カカオ豆	0.05	○ 0.015	0.0	0
はちみつ	はちみつ	0.05	0.05	0.1	0

ESTI：短期推定摂取量 (Estimated Short-Term Intake)

ESTI/ARFD(%)の値は、有効数字1桁（値が100を超える場合は有効数字2桁）とし四捨五入して算出した。

○：作物残留試験における最高残留濃度（HR）又は中央値（STMR）を用いて短期摂取量を推計した。

○を付していない食品については、基準値案の値又は暴露評価対象物質の残留濃度から推定される基準値に相当する値を使用した。

国際基準を参照したものについては、JMPRの評価に用いられた残留試験データを用いてESTI試算をした。

バナナについては台湾のマンゴーの残留試験成績についてプロポーショナリティ（proportionality）の原則に基づき、処理濃度の比例性を考慮して換算した値を評価に用いた。

(参考)

これまでの経緯

平成25年	6月	6日	インポートトレランス申請（小麦、大麦等）
平成25年	6月	17日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（新規：だいこん、キャベツ等）
平成25年	8月	19日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成26年	10月	29日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成27年	9月	10日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
平成29年	2月	1日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
平成29年	12月	25日	残留農薬基準告示
平成30年	11月	29日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：未成熟とうろもろこし、もも等）並びに畜産物への基準値設定依頼
令和元年	8月	20日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：小麦、だいた等）
令和2年	2月	13日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：ほうれんそう）
令和3年	4月	30日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：キウイフルーツ）
令和3年	5月	17日	インポートトレランス申請（アーティチョーク、マンゴー等）
令和3年	6月	30日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
令和3年	8月	31日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
令和3年	12月	7日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
令和4年	8月	10日	残留農薬基準告示
令和5年	10月	20日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：ねぎ）
令和6年	9月	19日	食品衛生基準審議会へ諮問
令和6年	9月	25日	食品衛生基準審議会農薬・動物用医薬品部会

● 農薬・動物用医薬品部会

[委員]

◎ 穂山	浩	星薬科大学薬学部教授
大山	和俊	一般財団法人残留農薬研究所業務執行理事・化学部長
○ 折戸	謙介	学校法人麻布獣医学園理事（兼）麻布大学獣医学部教授
加藤	くみ子	北里大学薬学部教授
神田	真軌	東京都健康安全研究センター食品化学部副参事研究員
近藤	麻子	日本生活協同組合連合会組織推進本部長
佐藤	洋	岩手大学農学部教授
佐野	元彦	東京海洋大学学術研究院海洋生物資源学部門教授
須恵	雅之	東京農業大学応用生物科学部教授
瀧本	秀美	国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所理事
田口	貴章	国立医薬品食品衛生研究所食品部第一室長
堤	智昭	国立医薬品食品衛生研究所食品部長
中島	美紀	金沢大学ナノ生命科学研究所教授
野田	隆志	一般社団法人日本植物防疫協会技術顧問

(◎：部会長、○：部会長代理)

答申（案）

スルホキサフロールについては、以下のとおり食品中の農薬の残留基準を設定することが適当である。

スルホキサフロール

今回残留基準を設定する「スルホキサフロール」の規制対象は、スルホキサフロールのみとする。

食品名	残留基準値 ppm
米（玄米をいう。）	2
小麦	0.4
大麦	0.6
とうもろこし	0.01
その他の穀類 ^{注1)}	0.2
大豆	1
小豆類 ^{注2)}	0.3
そら豆	0.2
ばれいしょ	0.05
さといも類（やつがしらを含む。）	0.03
かんしょ	0.05
やまいも（長いものをいう。）	0.05
こんにゃくいも	0.03
その他のいも類 ^{注3)}	0.03
てんさい	0.05
だいこん類（ラディッシュを含む。）の根	0.2
だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉	10
かぶ類の根	0.05
かぶ類の葉	6
西洋わさび	0.03
クレソン	6
はくさい	6
キャベツ	2
芽キャベツ	2
ケール	6
こまつな	6
きょうな	6
チンゲンサイ	6
カリフラワー	0.08
ブロッコリー	3
その他のあぶらな科野菜 ^{注4)}	6

食品名	残留基準値 ppm
ごぼう	0.03
サルシフィー	0.03
アーティチョーク	0.9
チコリ	6
エンダイブ	6
しゅんぎく	6
レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）	10
その他のきく科野菜 ^{注5)}	6
たまねぎ	0.01
ねぎ（リーキを含む。）	0.9
にんにく	0.01
アスパラガス	0.01
その他のゆり科野菜 ^{注6)}	6
にんじん	0.05
パースニップ	0.03
パセリ	6
セロリ	2
みつば	6
その他のせり科野菜 ^{注7)}	0.03
トマト	2
ピーマン	2
なす	2
その他のなす科野菜 ^{注8)}	2
きゅうり（ガーキンを含む。）	0.7
かぼちゃ（スカッシュを含む。）	0.5
しろうり	0.5
すいか（果皮を含む。）	0.5
メロン類果実（果皮を含む。）	0.6
まくわうり（果皮を含む。）	0.5
その他のうり科野菜 ^{注9)}	0.5

食品名	残留基準値 ppm
ほうれんそう	20
オクラ	2
未成熟えんどう	4
未成熟いんげん	4
えだまめ	3
その他の野菜 ^{注10)}	6
みかん（外果皮を含む。）	2
なつみかんの果実全体	2
レモン	2
オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）	2
グレープフルーツ	2
ライム	2
その他のかんきつ類果実 ^{注11)}	2
りんご	0.7
日本なし	1
西洋なし	1
マルメロ	0.3
びわ（果梗を除き、果皮及び種子を含む。）	0.3
もも（果皮及び種子を含む。）	1
ネクタリン	3
あんず（アプリコットを含む。）	3
すもも（プルーンを含む。）	3
うめ	3
おうとう（チェリーを含む。）	5
いちご	4
ラズベリー	2
ブラックベリー	2
ブルーベリー	2
クランベリー	2
ハuckleベリー	2
その他のベリー類果実 ^{注12)}	2
ぶどう	4
かき	0.7

食品名	残留基準値 ppm
バナナ	0.5
キウイー（果皮を含む。）	4
パパイア	0.5
アボカド	0.5
パイナップル	0.1
マンゴー	0.5
その他の果実 ^{注13)}	2
ひまわりの種子	0.4
べにばなの種子	0.4
綿実	0.4
なたね	0.4
ぎんなん	0.03
くり	0.03
ペカン	0.03
アーモンド	0.03
くるみ	0.03
その他のナッツ類 ^{注14)}	0.03
コーヒー豆	0.3
カカオ豆	0.05
その他のスパイス ^{注15)}	10
その他のハーブ ^{注16)}	15
牛の筋肉	0.4
豚の筋肉	0.4
その他の陸棲哺乳類に属する動物 ^{注17)} の筋肉	0.4
牛の脂肪	0.2
豚の脂肪	0.2
その他の陸棲哺乳類に属する動物の脂肪	0.2
牛の肝臓	1
豚の肝臓	1
その他の陸棲哺乳類に属する動物の肝臓	1
牛の腎臓	1
豚の腎臓	1
その他の陸棲哺乳類に属する動物の腎臓	1
牛の食用部分 ^{注18)}	1
豚の食用部分	1
その他の陸棲哺乳類に属する動物の食用部分	1

食品名	残留基準値 ppm
乳	0.3
鶏の筋肉	0.7
その他の家きん ^{注19)} の筋肉	0.7
鶏の脂肪	0.05
その他の家きんの脂肪	0.05
鶏の肝臓	0.3
その他の家きんの肝臓	0.3
鶏の腎臓	0.3
その他の家きんの腎臓	0.3
鶏の食用部分	0.3
その他の家きんの食用部分	0.3
鶏の卵	0.1
その他の家きんの卵	0.1
はちみつ	0.05

注1) 「その他の穀類」とは、穀類のうち、米（玄米をいう。）、小麦、大麦、ライ麦、とうもろこし及びそば以外のものをいう。

注2) 「小豆類」には、いんげん、ささげ、サルタニ豆、サルタピア豆、バター豆、ペギア豆、ホワイト豆、ライマ豆及びレンズ豆を含む。

注3) 「その他のいも類」とは、いも類のうち、ばれいしょ、さといも類（やつがしらを含む。）、かんしょ、やまいも（長いもをいう。）及びこんにゃくいも以外のものをいう。

注4) 「その他のあぶらな科野菜」とは、あぶらな科野菜のうち、だいこん類（ラディッシュを含む。）の根、だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉、かぶ類の根、かぶ類の葉、西洋わさび、クレソン、はくさい、キャベツ、芽キャベツ、ケール、こまつな、きょうな、チンゲンサイ、カリフラワー、ブロッコリー及びハーブ以外のものをいう。

注5) 「その他のきく科野菜」とは、きく科野菜のうち、ごぼう、サルシフィー、アーティチョーク、チコリ、エンダイブ、しゅんぎく、レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）及びハーブ以外のものをいう。

注6) 「その他のゆり科野菜」とは、ゆり科野菜のうち、たまねぎ、ねぎ（リーキを含む。）、にんにく、にら、アスパラガス、わけぎ及びハーブ以外のものをいう。

注7) 「その他のせり科野菜」とは、せり科野菜のうち、にんじん、パースニップ、パセリ、セロリ、みつば、スパイス及びハーブ以外のものをいう。

注8) 「その他のなす科野菜」とは、なす科野菜のうち、トマト、ピーマン及びなす以外のものをいう。

注9) 「その他のうり科野菜」とは、うり科野菜のうち、きゅうり（ガーキンを含む。）、かぼちゃ（スカッシュを含む。）、しろうり、すいか、メロン類果実及びまくわうり以外のものをいう。

注10) 「その他の野菜」とは、野菜のうち、いも類、てんさい、さとうきび、あぶらな科野菜、きく科野菜、ゆり科野菜、せり科野菜、なす科野菜、うり科野菜、ほうれんそう、たけのこ、オクラ、しょうが、未成熟えんどう、未成熟いんげん、えだまめ、きのこ類、スパイス及びハーブ以外のものをいう。

注11) 「その他のかんきつ類果実」とは、かんきつ類果実のうち、みかん、なつみかん、なつみかんの外果皮、なつみかんの果実全体、レモン、オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）、グレープフルーツ、ライム及びスパイス以外のものをいう。

注12) 「その他のベリー類果実」とは、ベリー類果実のうち、いちご、ラズベリー、ブラックベリー、ブルーベリー、クランベリー及びハックルベリー以外のものをいう。

注13) 「その他の果実」とは、果実のうち、かんきつ類果実、りんご、日本なし、西洋なし、マルメロ、びわ、もも、ネクタリン、あんず（アプリコットを含む。）、すもも（ブルーンを含む。）、うめ、おうとう（チェリーを含む。）、ベリー類果実、ぶどう、かき、バナナ、キウイ、パパイヤ、アボカド、パイナップル、グアバ、マンゴー、パッションフルーツ、なつめやし及びスパイス以外のものをいう。

注14) 「その他のナッツ類」とは、ナッツ類のうち、ぎんなん、くり、ペカン、アーモンド及びくるみ以外のものをいう。

注15) 「その他のスパイス」とは、スパイスのうち、西洋わさび、わさびの根茎、にんにく、とうがらし、パプリカ、しょうが、レモンの果皮、オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）の果皮、ゆずの果皮及びごまの種子以外のものをいう。

注16) 「その他のハーブ」とは、ハーブのうち、クレソン、にら、パセリの茎、パセリの葉、セロリの茎及びセロリの葉以外のものをいう。

注17) 「その他の陸棲哺乳類に属する動物」とは、陸棲哺乳類に属する動物のうち、牛及び豚以外のものをいう。

注18) 「食用部分」とは、食用に供される部分のうち、筋肉、脂肪、肝臓及び腎臓以外の部分をいう。

注19) 「その他の家きん」とは、家きんのうち、鶏以外のものをいう。

ダゾメット、メタム及びメチルイソチオシアネート

今般の残留基準の検討については、農薬取締法（昭和23年法律第82号）に基づく適用拡大申請に伴う基準値設定依頼が農林水産省からなされたことに伴い、食品安全委員会において厚生労働大臣からの依頼に伴う食品健康影響評価がなされたことを踏まえ、農薬・動物用医薬品部会において審議を行い、以下の報告を取りまとめるものである。

1. 概要

ダゾメット、メタム、メチルイソチオシアネートがそれぞれ農薬として使用されている。ダゾメット及びメタムは、水の存在下でメチルイソチオシアネートに容易に分解され、植物体内では概ねメチルイソチオシアネートとして存在すると考えられている。

このため、ダゾメット、メタム及びメチルイソチオシアネートの食品中における残留基準について、まとめて検討することとする。

(1) 品目名：ダゾメット [Dazomet (ISO)]

メタム [Metam (ISO)]

メタムアンモニウム塩 [Metam-ammonium (ISO)]

メタムナトリウム塩 [Metam-sodium (ISO)]

メタムカリウム塩 [Metam-potassium (ISO)]

メチルイソチオシアネート [Methyl isothiocyanate (ISO)]

(2) 分類：農薬

(3) 用途：土壌くん蒸剤

メチルイソチオシアネートは土壌くん蒸剤であり、土壌中で気化・拡散して殺菌、殺虫及び殺雑草種子効果を示すと考えられている。

ダゾメットはチアジジン骨格をもつ土壌くん蒸剤であり、メタム（メタムアンモニウム塩、メタムナトリウム塩及びメタムカリウム塩）はジチオカルバメート系の土壌くん蒸剤である。両剤とも土壌中で速やかに分解し、主にメチルイソチオシアネートとなり、このガスが土壌中に拡散して殺菌、殺虫及び殺雑草種子効果を示すと考えられている。

(4) 化学名及びCAS番号

ダゾメット

Tetrahydro-3,5-dimethyl-1,3,5-thiadiazine-2-thione (IUPAC)

2*H*-1,3,5-Thiadiazine-2-thione, tetrahydro-3,5-dimethyl- (CAS : No. 533-74-4)

メタムアンモニウム塩

Ammonium methylldithiocarbamate (IUPAC)

Carbamodithioic acid, *N*-methyl-, ammonium salt (1:1) (CAS : No. 39680-90-5)

メタムナトリウム塩

Sodium methylldithiocarbamate (IUPAC)

Carbamodithioic acid, methyl-, monosodium salt (9 CI) (CAS : No. 137-42-8)

メタムカリウム塩

Potassium methyldithiocarbamate (IUPAC)

Carbamodithioic acid, methyl-, monopotassium salt (9 CI) (CAS : No. 137-41-7)

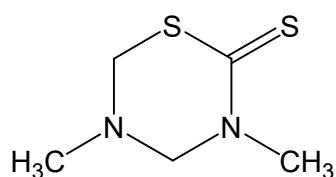
メチルイソチオシアネート

Methyl isothiocyanate (IUPAC)

Methane, isothiocyanato- (CAS : No. 556-61-6)

(5) 構造式及び物性

ダゾメット



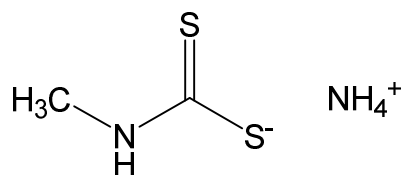
分子式 $C_5H_{10}N_2S_2$

分子量 162.28

水溶解度 3.5 g/L (20°C)

分配係数 $\log_{10}P_{ow}=0.6$

メタムアンモニウム塩



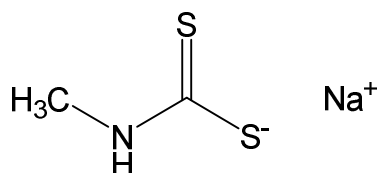
分子式 $C_2H_8N_2S_2$

分子量 124.23

水溶解度 1,368 g/L (20°C)

分配係数 $\log_{10}P_{ow}=-2.25\sim-2.27$ (20°C)

メタムナトリウム塩



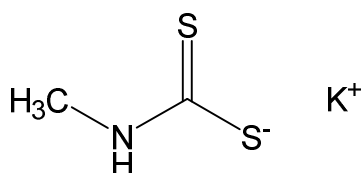
分子式 $C_2H_4NS_2Na$

分子量 129.18

水溶解度 >1000 g/L (25°C)

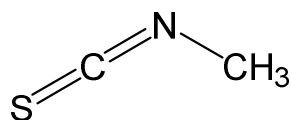
分配係数 $\log_{10}P_{ow}=0.04$ (25°C)

メタムカリウム塩



分子式 $\text{C}_2\text{H}_4\text{NS}_2\text{K}$
 分子量 145.29
 水溶解度 88.2 g/L (20℃)
 分配係数 $\log_{10}\text{Pow} = -2.9$ (25℃)

メチルイソチオシアネート



分子式 $\text{C}_2\text{H}_3\text{NS}$
 分子量 73.12
 水溶解度 8.2 g/L (20℃)
 分配係数 $\log_{10}\text{Pow} = 1.1$ (25℃)

2. 適用の範囲及び使用方法

本剤の適用の範囲及び使用方法は以下のとおり。

(1) 国内での使用方法

今般の基準値設定依頼に当たって、農薬取締法に基づく適用拡大申請がなされている項目を四角囲いしている。

【ダズメット】

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	ダズメットを含む農薬の総使用回数
らっかせい	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	30 kg/10 a	は種又は定植 21日前まで	1回	1回

GR: 粉粒剤

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	ダゾメットを含む農薬の総使用回数
ばれいしょ	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	20～30 kg/10 a	植付21日前まで	1回	1回
さといも	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	20～30 kg/10 a	植付21日前まで	1回	1回
かんしょ	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	20～30 kg/10 a 30 kg/10 a	植付21日前まで	1回	1回
やまのいも	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	20～30 kg/10 a	植付21日前まで	1回	1回
こんにゃく	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	20～30 kg/10 a 20～60 kg/10 a	植付21日前まで	1回	1回
てんさい	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	200～400 g/m ³	秋期(翌春は種)	1回	1回
だいこん	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	10～20 kg/10 a 20～30 kg/10 a	は種21日前まで	1回	1回
はつかだいこん	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	20 kg/10 a	は種35日前まで	1回	1回
かぶ	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	20～30 kg/10 a	は種又は定植21日前まで	1回	1回
はくさい	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	20～30 kg/10 a	は種又は定植21日前まで	1回	1回
キャベツ	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	20～30 kg/10 a	は種又は定植21日前まで	1回	1回

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	ダゾメットを含む農薬の総使用回数
こまつな	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	20～30 kg/10 a	は種10日前まで	1回	1回
みずな	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	30 kg/10 a	は種12日前まで	1回	1回
チンゲンサイ	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	30 kg/10 a	は種又は定植21日前まで	1回	1回
ブロッコリー	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	30 kg/10 a 20～30 kg/10 a	は種又は定植21日前まで	1回	1回
カリフラワー	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	30 kg/10 a 20～30 kg/10 a	は種又は定植21日前まで	1回	1回
なばな類	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	20 kg/10 a	は種又は定植21日前まで	1回	1回
非結球あぶらな科葉菜類(非結球メキャベツ、こまつな、非結球はくさい、なばな類、チンゲンサイ、みずなを除く)	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	30 kg/10 a 20～30 kg/10 a	は種14日前まで	1回	1回
非結球メキャベツ	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	20～30 kg/10 a	定植21日前まで	1回	1回
非結球はくさい	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	20～30 kg/10 a	は種又は定植14日前まで	1回	1回
ごぼう	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	20～30 kg/10 a	は種28日前まで	1回	1回
しゅんぎく	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	20 kg/10 a	は種21日前まで	1回	1回

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	ダゾメットを含む農薬の総使用回数
レタス	96. 5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	20～30 kg/10 a	は種又は定植14日前まで	1回	1回
			30 kg/10 a			
非結球レタス	96. 5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	20～30 kg/10 a	は種又は定植14日前まで	1回	1回
			30 kg/10 a			
食用ぎく	96. 5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	20～30 kg/10 a	は種又は定植21日前まで	1回	1回
			30 kg/10 a			
葉ごぼう	96. 5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	20～30 kg/10 a	は種28日前まで	1回	1回
もりあざみ	96. 5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	30 kg/10 a	は種21日前まで	1回	1回
ふき	96. 5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	30 kg/10 a	は種又は定植21日前まで	1回	1回
たまねぎ	96. 5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	30～60 kg/10 a	は種又は定植21日前まで	1回	1回
			30 kg/10 a			
			20～40 kg/10 a			
			20～30 kg/10 a			
		本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	20～30 kg/10 a	秋期(翌春は種)	1回	
		本剤の所定量を均一に散布して浅く混和する。	20 kg/10 a	は種14日前まで	1回	
			10～20 kg/10 a			

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	ダズメットを含む農薬の総使用回数
ねぎ	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	30～60 kg/10 a	は種又は定植14日前まで	1回	1回
			30 kg/10 a			
			20～30 kg/10 a			
にんにく	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	30 kg/10 a	植付28日前まで	1回	1回
にら	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	30 kg/10 a	は種又は定植21日前まで	1回	1回
			30～60 kg/10 a			
わけぎ	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	20～30 kg/10 a	は種又は定植21日前まで	1回	1回
葉たまねぎ (苗床)	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して浅く混和する。	10～20 kg/10 a	は種14日前まで	1回	1回
らっきょう	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	30 kg/10 a	植付21日前まで	1回	1回
にんじん	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	20～30 kg/10 a	は種又は定植21日前まで	1回	1回
パセリ	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	30 kg/10 a	は種又は定植21日前まで	1回	1回
セルリー	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	30 kg/10 a	は種又は定植21日前まで	1回	1回

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	ダゾメットを含む農薬の総使用回数
みつば	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	20 kg/10 a	は種21日前まで	1回	1回
あしたば	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	30 kg/10 a	は種10日前まで	1回	1回
トマト	96.5% GR	土壌に本剤の所定量を加え十分混和する。	200～300 g/m ³	は種又は定植21日前まで	1回	1回
		本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	20～30 kg/10 a	は種又は定植21日前まで	1回	
			30 kg/10 a			
			30～60 kg/10 a			
ミニトマト	96.5% GR	土壌に本剤の所定量を加え十分混和する。	200～300 g/m ³	は種又は定植21日前まで	1回	1回
		本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	20～30 kg/10 a	は種又は定植21日前まで	1回	
			30 kg/10 a			
			30～60 kg/10 a			
ピーマン	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	30 kg/10 a	は種又は定植21日前まで	1回	1回
なす	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	30 kg/10 a	は種又は定植21日前まで	1回	1回
			20～30 kg/10 a			
とうがらし類	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	30 kg/10 a	定植21日前まで	1回	1回

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	ダズメットを含む農薬の総使用回数
きゅうり	96.5% GR	土壌に本剤の所定量を加え十分混和する。	200～400 g/m ³	は種又は定植21日前まで	1回	1回
		本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	20～30 kg/10 a	は種又は定植21日前まで	1回	
かぼちゃ	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	20～30 kg/10 a	は種又は定植21日前まで	1回	1回
すいか	96.5% GR	土壌に本剤の所定量を加え十分混和する。	200～400 g/m ³	は種又は定植21日前まで	1回	1回
		本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	20～30 kg/10 a	は種又は定植21日前まで	1回	
メロン	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	20～30 kg/10 a 30 kg/10 a	は種又は定植21日前まで	1回	1回
		土壌に本剤の所定量を加え十分混和する。	200～400 g/m ³	は種又は定植21日前まで	1回	
にがうり	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	20～30 kg/10 a	は種又は定植21日前まで	1回	1回
ほうれんそう	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	20～30 kg/10 a 10 kg/10 a	は種10日前まで	1回	1回
しょうが	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	30～60 kg/10 a	定植21日前まで	1回	1回
			20～30 kg/10 a			
葉しょうが	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	30 kg/10 a	定植21日前まで	1回	1回
			20～30 kg/10 a			

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	ダズメットを含む農薬の総使用回数
豆類(未成熟、ただし、えだまめ、実えんどう、さやえんどう、さやいんげん、未成熟そらまめを除く)	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	30 kg/10 a	は種21日前まで	1回	1回
さやえんどう	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	20～30 kg/10 a	は種又は定植21日前まで	1回	1回
実えんどう	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	20～30 kg/10 a	は種又は定植21日前まで	1回	1回
さやいんげん	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	20～30 kg/10 a	は種21日前まで	1回	1回
えだまめ	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	20～30 kg/10 a 30 kg/10 a	は種又は定植21日前まで	1回	1回
未成熟そらまめ	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	30 kg/10 a	は種21日前又は定植45日前まで	1回	1回
さといも(葉柄)	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	20～30 kg/10 a	植付21日前まで	1回	1回
やまのいも(むかご)	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	20～30 kg/10 a	植付21日前まで	1回	1回
つるむらさき	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	20～30 kg/10 a	定植21日前まで	1回	1回
モロヘイヤ	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	30 kg/10 a	定植30日前まで	1回	1回

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	ダゾメットを含む農薬の総使用回数
りんご	96.5% GR	被害株跡地に本剤の所定量を均一に散布して土壌と十分混和する。	50～100 g/m ²	夏期～秋期	1回	1回
なし	96.5% GR	被害株跡地に本剤の所定量を均一に散布して土壌と十分混和する。	100 g/m ²	夏期～秋期	1回	1回
いちご	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	20～30 kg/10 a 30 kg/10 a	仮植又は定植21日前まで	1回	1回
ぶどう	96.5% GR	被害株跡地に本剤の所定量を均一に散布して土壌と十分混和する。	50～100 g/ m ²	夏期～秋期	1回	1回
みょうが(花穂)	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	30 kg/10 a	定植42日前まで	1回	1回
みょうが(茎葉)	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	30 kg/10 a	定植42日前まで	1回	1回
しそ	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	30 kg/10 a	は種又は定植14日前まで	1回	1回
チャービル	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	20 kg/10 a	は種42日前まで	1回	1回

【メタムアンモニウム】

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	メタムアンモニウムを含む農薬の総使用回数
こんにゃく	50.0% SL	(散布全面処理)原液を水で3倍に希釈して、土壌全面に均一に散布し直ちに土壌混和して、ビニール等で7～10日間被覆した後ガス抜きを行い、ガス抜き7～10日後に植付をする。	原液として30 L/10 a	植付30日前まで	1回	1回
だいこん	50.0% SL	(散布全面処理<無被覆>)無被覆の場合、原液を水で3倍に希釈して、土壌全面に均一に散布し直ちに土壌混和をして、7～10日後にガス抜きを行い、ガス抜き7～10日後には種をする。	原液として30 L/10 a	は種14日前まで	1回	1回
		(散布全面処理)原液を水で3倍に希釈して、土壌全面に均一に散布し直ちに土壌混和して、ビニール等で7～10日間被覆した後ガス抜きを行い、ガス抜き7～10日後には種をする。	原液として30 L/10 a	は種14日前まで	1回	
はくさい	50.0% SL	(散布全面処理)原液を水で3倍に希釈して、土壌全面に均一に散布し直ちに土壌混和して、ビニール等で7～10日間被覆した後ガス抜きを行い、ガス抜き7～10日後に植付をする。	原液として30 L/10 a	植付14日前まで	1回	1回
キャベツ	50.0% SL	(散布全面処理<無被覆>)無被覆の場合、原液を水で3倍に希釈して、土壌全面に均一に散布し直ちに土壌混和をして、7～10日後にガス抜きを行い、ガス抜き7～10日後に植付をする。	原液として30 L/10 a	植付14日前まで	1回	1回
		(散布全面処理)原液を水で3倍に希釈して、土壌全面に均一に散布し直ちに土壌混和して、ビニール等で7～10日間被覆した後ガス抜きを行い、ガス抜き7～10日後に植付をする。	原液として30 L/10 a	植付14日前まで	1回	

SL：液剤

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	メタムアンモニウムを含む農薬の総使用回数
たまねぎ(秋播露地栽培苗床)	50.0% SL	(散布全面処理)原液を水で3倍に希釈して、土壌全面に均一に散布し直ちに土壌混和して、ビニール等で1～2週間被覆した後ガス抜きを行い、ガス抜き7～10日後には種をする。	原液として30 L/10 a	は種30日前まで	1回	1回
		(散布表面処理)原液を水で30倍に希釈して、ジョウロ等で土壌表面に均一に散布して、ビニール等で1～2週間被覆した後ガス抜きを行い、ガス抜き7～10日後には種する。	原液として30 L/10 a	は種30日前まで	1回	
ねぎ(春播露地栽培苗床)	50.0% SL	(散布全面処理)原液を水で3倍に希釈して、土壌全面に均一に散布し直ちに土壌混和して、ビニール等で1～2週間被覆した後ガス抜きを行い、ガス抜き7～10日後には種をする。	原液として30 L/10 a	は種14日前まで	1回	1回
		(散布表面処理)原液を水で30倍に希釈して、ジョウロ等で土壌表面に均一に散布して、ビニール等で1～2週間被覆した後ガス抜きを行い、ガス抜き7～10日後には種する。	原液として30 L/10 a	は種14日前まで	1回	
わけぎ(春播露地栽培苗床)	50.0% SL	(散布全面処理)原液を水で3倍に希釈して、土壌全面に均一に散布し直ちに土壌混和して、ビニール等で1～2週間被覆した後ガス抜きを行い、ガス抜き7～10日後には種をする。	原液として30 L/10 a	は種14日前まで	1回	1回
		(散布表面処理)原液を水で30倍に希釈して、ジョウロ等で土壌表面に均一に散布して、ビニール等で1～2週間被覆した後ガス抜きを行い、ガス抜き7～10日後には種する。	原液として30 L/10 a	は種14日前まで	1回	

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	メタムアンモニウムを含む農薬の総使用回数
トマト	50.0% SL	(散布全面処理)原液を水で3倍に希釈して、土壌全面に均一に散布し直ちに土壌混和して、ビニール等で7～10日間被覆した後ガス抜きを行い、ガス抜き7～10日後に植付をする。	原液として30 L/10 a	植付14日前まで	1回	1回
		(灌水チューブ法)予め灌水チューブを設置し、ビニール等で被覆する。原液30 Lを水と共に10 a当たり水量が3000 L(100倍希釈)になるように灌水注入して、7～10日間被覆した後ガス抜きを行い、ガス抜き7～10日後に植付又はは種をする。	原液として30 L/10 a	植付14日前まで	1回	
きゅうり	50.0% SL	(散布全面処理)原液を水で3倍に希釈して、土壌全面に均一に散布し直ちに土壌混和して、ビニール等で7～10日間被覆した後ガス抜きを行い、ガス抜き7～10日後に植付をする。	原液として30 L/10 a	植付14日前まで	1回	1回
		(灌水チューブ法)予め灌水チューブを設置し、ビニール等で被覆する。原液30 Lを水と共に10 a当たり水量が3000 L(100倍希釈)になるように灌水注入して、7～10日間被覆した後ガス抜きを行い、ガス抜き7～10日後に植付又はは種をする。	原液として30 L/10 a	植付14日前まで	1回	
すいか	50.0% SL	(散布全面処理)原液を水で3倍に希釈して、土壌全面に均一に散布し直ちに土壌混和して、ビニール等で7～10日間被覆した後ガス抜きを行い、ガス抜き7～10日後に植付をする。	原液として30 L/10 a	植付14日前まで	1回	1回
		(灌水チューブ法)予め灌水チューブを設置し、ビニール等で被覆する。原液30 Lを水と共に10 a当たり水量が3000 L(100倍希釈)になるように灌水注入して、7～10日間被覆した後ガス抜きを行い、ガス抜き7～10日後に植付又はは種をする。	原液として30 L/10 a	植付14日前まで	1回	

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	メタムアンモニウムを含む農薬の総使用回数
ほうれんそう	50.0% SL	(灌水チューブ法) 予め灌水チューブを設置し、ビニール等で被覆する。原液30 Lを水と共に10 a当たり水量が3000 L(100倍希釈)になるように灌水注入して、7～10日間被覆した後ガス抜きを行い、ガス抜き7～10日後に植付又はは種をする。	原液として30 L/10 a	は種14日前まで	1回	1回
いちご	50.0% SL	(灌水チューブ法) 予め灌水チューブを設置し、ビニール等で被覆する。原液30 Lを水と共に10 a当たり水量が3000 L(100倍希釈)になるように灌水注入して、7～10日間被覆した後ガス抜きを行い、ガス抜き7～10日後に植付又はは種をする。	原液として30 L/10 a	植付14日前まで	1回	1回
あさつき(春播露地栽培苗床)	50.0% SL	(散布全面処理) 原液を水で3倍に希釈して、土壌全面に均一に散布し直ちに土壌混和して、ビニール等で1～2週間被覆した後ガス抜きを行い、ガス抜き7～10日後には種をする。	原液として30 L/10 a	は種14日前まで	1回	1回
		(散布表面処理) 原液を水で30倍に希釈して、ジョウロ等で土壌表面に均一に散布して、ビニール等で1～2週間被覆した後ガス抜きを行い、ガス抜き7～10日後には種する。	原液として30 L/10 a	は種14日前まで	1回	

【メタムナトリウム】

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	メタムナトリウムを含む農薬の総使用回数
ばれいしょ	33.0% AL	所定量の薬液を土壌中約15 cmの深さに注入し直ちに被覆又は覆土・鎮圧する。	原液として60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	1回
さといも	33.0% AL	所定量の薬液を土壌中約15 cmの深さに注入し直ちに被覆又は覆土・鎮圧する。	原液として40 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	1回
		所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	原液として60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	
かんしょ	33.0% AL	所定量の薬液を土壌中約15 cmの深さに注入し直ちに被覆又は覆土・鎮圧する。	原液として40～60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	1回
		所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	原液として60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	
		所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
			原液として60 L/10 a			
		予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
			原液として60 L/10 a			
		所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し鎮圧又は被覆する。	原液として60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	

AL：液剤（直接適用）

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	メタムナトリウムを含む農薬の総使用回数
かんしょ	33.0% AL	ほ場内に集積した残渣物に所定量の薬液を散布し被覆する。	原液として40 mL/m ²	集積後からは種又は定植の15日前まで	1回	1回
		前作の作物残渣を含む土壌表面に所定量の薬液を散布し、直ちに混和し鎮圧又は被覆する。	原液として60 L/10 a	前作の栽培終了後から植付の15日前まで	1回	
やまのいも	33.0% AL	所定量の薬液を土壌中約15 cmの深さに注入し直ちに被覆又は覆土・鎮圧する。	原液として40～60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	1回
		所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	原液として60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	
こんにゃく	33.0% AL	所定量の薬液を土壌中約15 cmの深さに注入し直ちに被覆又は覆土・鎮圧する。	原液として40～60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	1回
			原液として40 L/10 a			
			原液として60 L/10 a			
		所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	原液として60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	
原液として40～60 L/10 a						

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	メタムナトリウムを含む農薬の総使用回数
だいこん	33.0% AL	所定量の薬液を土壌中約15 cmの深さに注入し直ちに被覆又は覆土・鎮圧する。	原液として40～60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	1回
		所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	原液として40～60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	
		所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
			原液として60 L/10 a			
		予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
			原液として60 L/10 a			
		所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し鎮圧又は被覆する。	原液として60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
ほ場内に集積した残渣物に所定量の薬液を散布し被覆する。	原液として40 mL/㎡	集積後からは種又は定植の15日前まで	1回			
かぶ	33.0% AL	所定量の薬液を土壌中約15 cmの深さに注入し直ちに被覆又は覆土・鎮圧する。	原液として40 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	1回

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	メタムナトリウムを含む農薬の総使用回数
はくさい	33. 0% AL	所定量の薬液を土壌中約15 cmの深さに注入し直ちに被覆又は覆土・鎮圧する。	原液として40～60 L/10 a	は種又は定植の10日前まで	1回	1回
		所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	原液として40～60 L/10 a	は種又は定植の10日前まで	1回	
		所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
			原液として60 L/10 a			
		予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
			原液として60 L/10 a			
		所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し鎮圧又は被覆する。	原液として60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
ほ場内に集積した残渣物に所定量の薬液を散布し被覆する。	原液として40 mL/m ²	集積後からは種又は定植の15日前まで	1回			
キャベツ	33. 0% AL	所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	原液として60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	1回
			原液として40～60 L/10 a			

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	メタムナトリウムを含む農薬の総使用回数
キャベツ	33.0% AL	所定量の薬液を土壌中約15 cmの深さに注入し直ちに被覆又は覆土・鎮圧する。	原液として40～60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	1回
		所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
			原液として60 L/10 a			
		予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
			原液として60 L/10 a			
		所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し鎮圧又は被覆する。	原液として60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
ほ場内に集積した残渣物に所定量の薬液を散布し被覆する。	原液として40 mL/m ²	集積後からは種又は定植の15日前まで	1回			

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	メタムナトリウムを含む農薬の総使用回数
みずな	33.0% AL	所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	原液として60 L/10 a	は種又は定植の10日前まで	1回	1回
		所定量の薬液を土壌中約15 cmの深さに注入し直ちに被覆又は覆土・鎮圧する。	原液として60 L/10 a	は種又は定植の10日前まで	1回	
		所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
			原液として60 L/10 a			
		予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
			原液として60 L/10 a			
		所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し鎮圧又は被覆する。	原液として60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
ほ場内に集積した残渣物に所定量の薬液を散布し被覆する。	原液として40 mL/m ²	集積後からは種又は定植の15日前まで	1回			

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	メタムナトリウムを含む農薬の総使用回数
チンゲンサイ	33.0% AL	所定量の薬液を土壌中約15 cmの深さに注入し直ちに被覆又は覆土・鎮圧する。	原液として40 L/10 a	は種又は定植の10日前まで	1回	1回
		所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	原液として60 L/10 a	は種又は定植の10日前まで	1回	
		所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
			原液として60 L/10 a			
		予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
			原液として60 L/10 a			
		所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し鎮圧又は被覆する。	原液として60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
ほ場内に集積した残渣物に所定量の薬液を散布し被覆する。	原液として40 mL/m ²	集積後からは種又は定植の15日前まで	1回			

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	メタムナトリウムを含む農薬の総使用回数
ブロッコリー	33.0% AL	所定量の薬液を土壌中約15 cmの深さに注入し直ちに被覆又は覆土・鎮圧する。	原液として40～60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	1回
		所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	原液として40～60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	
			原液として60 L/10 a			
		所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
			原液として60 L/10 a			
		予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
			原液として60 L/10 a			
		所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し鎮圧又は被覆する。	原液として60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
ほ場内に集積した残渣物に所定量の薬液を散布し被覆する。	原液として40 mL/m ²	集積後からは種又は定植の15日前まで	1回			

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	メタムナトリウムを含む農薬の総使用回数
ごぼう	33.0% AL	所定量の薬液を土壌中約15 cmの深さに注入し直ちに被覆又は覆土・鎮圧する。	原液として40 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	1回
レタス	33.0% AL	所定量の薬液を土壌中約15 cmの深さに注入し直ちに被覆又は覆土・鎮圧する。	原液として40～60 L/10 a	は種又は定植の10日前まで	1回	1回
			原液として60 L/10 a			
		所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	原液として60 L/10 a	は種又は定植の10日前まで	1回	
		所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
			原液として60 L/10 a			
		予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
			原液として60 L/10 a			
		所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し鎮圧又は被覆する。	原液として60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
ほ場内に集積した残渣物に所定量の薬液を散布し被覆する。	原液として40 mL/m ²	集積後からは種又は定植の15日前まで	1回			

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	メタムナトリウムを含む農薬の総使用回数
非結球レタス	33.0% AL	所定量の薬液を土壌中約15cmの深さに注入し直ちに被覆又は覆土・鎮圧する。	原液として40～60 L/10 a	は種又は定植の10日前まで	1回	1回
			原液として60 L/10 a			
		所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	原液として60 L/10 a	は種又は定植の10日前まで	1回	
		所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
			原液として60 L/10 a			
		予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
			原液として60 L/10 a			
		所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し鎮圧又は被覆する。	原液として60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
ほ場内に集積した残渣物に所定量の薬液を散布し被覆する。	原液として40 mL/m ²	集積後からは種又は定植の15日前まで	1回			

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	メタムナトリウムを含む農薬の総使用回数
たまねぎ	33.0% AL	所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	原液として60 L/10 a	は種又は定植の10日前まで	1回	1回
		予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として60 L/10 a	は種又は定植の10日前まで	1回	
		所定量の薬液を積み上げた土壌表面に散布し直ちに被覆する。	原液として80 mL/m ²	は種又は定植の10日前まで	1回	
		所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
			原液として60 L/10 a			
		予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
			原液として60 L/10 a			
		所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し鎮圧又は被覆する。	原液として60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
ほ場内に集積した残渣物に所定量の薬液を散布し被覆する。	原液として40 mL/m ²	集積後からは種又は定植の15日前まで	1回			

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	メタムナトリウムを含む農薬の総使用回数
ねぎ	33.0% AL	所定量の薬液を土壌中約15 cmの深さに注入し直ちに被覆又は覆土・鎮圧する。	原液として40 L/10 a	は種又は定植の10日前まで	1回	1回
			原液として60 L/10 a			
		所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	原液として60 L/10 a	は種又は定植の10日前まで	1回	
		予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として60 L/10 a	は種又は定植の10日前まで	1回	
		所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
			原液として60 L/10 a			
		予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
			原液として60 L/10 a			
		所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し鎮圧又は被覆する。	原液として60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
		ほ場内に集積した残渣物に所定量の薬液を散布し被覆する。	原液として40 mL/m ²	集積後からは種又は定植の15日前まで	1回	

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	メタムナトリウムを含む農薬の総使用回数
にんにく	33.0% AL	所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	原液として60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	1回
		所定量の薬液を土壌中約15 cmの深さに注入し直ちに被覆又は覆土・鎮圧する。	原液として60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	
		所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
			原液として60 L/10 a			
		予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
			原液として60 L/10 a			
		所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し鎮圧又は被覆する。	原液として60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
		ほ場内に集積した残渣物に所定量の薬液を散布し被覆する。	原液として40 mL/m ²	集積後からは種又は定植の15日前まで	1回	

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	メタムナトリウムを含む農薬の総使用回数
にら	33.0% AL	予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として60 L/10 a	は種又は定植の10日前まで	1回	1回
		所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	原液として60 L/10 a	は種又は定植の10日前まで	1回	
		所定量の薬液を土壌中約15 cmの深さに注入し直ちに被覆又は覆土・鎮圧する。	原液として60 L/10 a	は種又は定植の10日前まで	1回	
		予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として60 L/10 a	前作の栽培終了後からは種又は定植の10日前まで	1回	
		所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	原液として60 L/10 a	前作の栽培終了後からは種又は定植の10日前まで	1回	
		所定量の薬液を土壌中約15 cmの深さに注入し直ちに被覆又は覆土・鎮圧する。	原液として60 L/10 a	前作の栽培終了後からは種又は定植の10日前まで	1回	
わけぎ	33.0% AL	所定量の薬液を土壌中約15 cmの深さに注入し直ちに被覆又は覆土・鎮圧する。	原液として40 L/10 a	は種又は定植の10日前まで	1回	1回
			原液として60 L/10 a			
		所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	原液として60 L/10 a	は種又は定植の10日前まで	1回	
		予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として60 L/10 a	は種又は定植の10日前まで	1回	

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	メタムナトリウムを含む農薬の総使用回数
わけぎ	33.0% AL	所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	1回
			原液として60 L/10 a			
		予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
			原液として60 L/10 a			
		所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し鎮圧又は被覆する。	原液として60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
ほ場内に集積した残渣物に所定量の薬液を散布し被覆する。	原液として40 mL/m ²	集積後からは種又は定植の15日前まで	1回			

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	メタムナトリウムを含む農薬の総使用回数
にら（花茎）	33.0% AL	予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として60 L/10 a	は種又は定植の10日前まで	1回	1回
		所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	原液として60 L/10 a	は種又は定植の10日前まで	1回	
		所定量の薬液を土壌中約15 cmの深さに注入し直ちに被覆又は覆土・鎮圧する。	原液として60 L/10 a	は種又は定植の10日前まで	1回	
		予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として60 L/10 a	前作の栽培終了後からは種又は定植の10日前まで	1回	
		所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	原液として60 L/10 a	前作の栽培終了後からは種又は定植の10日前まで	1回	
		所定量の薬液を土壌中約15 cmの深さに注入し直ちに被覆又は覆土・鎮圧する。	原液として60 L/10 a	前作の栽培終了後からは種又は定植の10日前まで	1回	

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	メタムナトリウムを含む農薬の総使用回数
にんじん	33.0% AL	所定量の薬液を土壌中約15 cmの深さに注入し直ちに被覆又は覆土・鎮圧する。	原液として40～60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	1回
		所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	原液として40～60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	
		所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
			原液として60 L/10 a			
		予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
			原液として60 L/10 a			
		所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し鎮圧又は被覆する。	原液として60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
ほ場内に集積した残渣物に所定量の薬液を散布し被覆する。	原液として40 mL/m ²	集積後からは種又は定植の15日前まで	1回			

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	メタムナトリウムを含む農薬の総使用回数
トマト	33.0% AL	予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	1回
		所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	原液として40～60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	
		所定量の薬液を土壌中約15 cmの深さに注入し直ちに被覆又は覆土・鎮圧する。	原液として40～60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	
		所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
			原液として60 L/10 a			
		予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
			原液として60 L/10 a			
		所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し鎮圧又は被覆する。	原液として60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
		ほ場内に集積した残渣物に所定量の薬液を散布し被覆する。	原液として40 mL/m ²	集積後からは種又は定植の15日前まで	1回	

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	メタムナトリウムを含む農薬の総使用回数
ミニトマト	33.0% AL	予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	1回
		所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	原液として40～60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	
		所定量の薬液を土壌中約15 cmの深さに注入し直ちに被覆又は覆土・鎮圧する。	原液として40～60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	
		所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
			原液として60 L/10 a			
		予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
			原液として60 L/10 a			
		所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し鎮圧又は被覆する。	原液として60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
		ほ場内に集積した残渣物に所定量の薬液を散布し被覆する。	原液として40 mL/m ²	集積後からは種又は定植の15日前まで	1回	

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	メタムナトリウムを含む農薬の総使用回数
ピーマン	33.0% AL	所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	原液として60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	1回
		予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	
		所定量の薬液を土壌中約15 cmの深さに注入し直ちに被覆又は覆土・鎮圧する。	原液として60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	
			原液として40～60 L/10 a			
		所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
			原液として60 L/10 a			
		予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
			原液として60 L/10 a			
		所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し鎮圧又は被覆する。	原液として60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
		ほ場内に集積した残渣物に所定量の薬液を散布し被覆する。	原液として40 mL/m ²	集積後からは種又は定植の15日前まで	1回	

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	メタムナトリウムを含む農薬の総使用回数
なす	33.0% AL	所定量の薬液を土壌中約15 cmの深さに注入し直ちに被覆又は覆土・鎮圧する。	原液として40～60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	1回
			原液として40 L/10 a			
		所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	原液として60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	
		予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	
		所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
			原液として60 L/10 a			
		予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
			原液として60 L/10 a			
		所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し鎮圧又は被覆する。	原液として60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
		ほ場内に集積した残渣物に所定量の薬液を散布し被覆する。	原液として40 mL/m ²	集積後からは種又は定植の15日前まで	1回	

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	メタムナトリウムを含む農薬の総使用回数
とうがらし類	33.0% AL	所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	原液として60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	1回
		予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	
		所定量の薬液を土壌中約15 cmの深さに注入し直ちに被覆又は覆土・鎮圧する。	原液として60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	
			原液として40～60 L/10 a			
		所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
			原液として60 L/10 a			
		予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
			原液として60 L/10 a			
		所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し鎮圧又は被覆する。	原液として60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
ほ場内に集積した残渣物に所定量の薬液を散布し被覆する。	原液として40 mL/m ²	集積後からは種又は定植の15日前まで	1回			

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	メタムナトリウムを含む農薬の総使用回数
きゅうり	33.0% AL	所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	原液として60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	1回
			原液として40～60 L/10 a			
		予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	
		所定量の薬液を土壌中約15 cmの深さに注入し直ちに被覆又は覆土・鎮圧する。	原液として40～60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	
		所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
			原液として60 L/10 a			
		予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
			原液として60 L/10 a			
		所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し鎮圧又は被覆する。	原液として60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
		ほ場内に集積した残渣物に所定量の薬液を散布し被覆する。	原液として40 mL/m ²	集積後からは種又は定植の15日前まで	1回	

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	メタムナトリウムを含む農薬の総使用回数
かぼちゃ	33.0% AL	所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	原液として60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	1回
		所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
			原液として60 L/10 a			
		予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
			原液として60 L/10 a			
		所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し鎮圧又は被覆する。	原液として60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
ほ場内に集積した残渣物に所定量の薬液を散布し被覆する。	原液として40 mL/m ²	集積後からは種又は定植の15日前まで	1回			

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	メタムナトリウムを含む農薬の総使用回数
すいか	33.0% AL	所定量の薬液を土壌中約15 cmの深さに注入し直ちに被覆又は覆土・鎮圧する。	原液として40 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	1回
		予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	
		所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	原液として60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	
		所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
			原液として60 L/10 a			
		予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
			原液として60 L/10 a			
		所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し鎮圧又は被覆する。	原液として60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
ほ場内に集積した残渣物に所定量の薬液を散布し被覆する。	原液として40 mL/m ²	集積後からは種又は定植の15日前まで	1回			

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	メタムナトリウムを含む農薬の総使用回数
メロン	33.0% AL	所定量の薬液を土壌中約15cmの深さに注入し直ちに被覆又は覆土・鎮圧する。	原液として40 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	1回
		予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として80 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	
		所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
			原液として60 L/10 a			
		予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
			原液として60 L/10 a			
		所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し鎮圧又は被覆する。	原液として60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
ほ場内に集積した残渣物に所定量の薬液を散布し被覆する。	原液として40 mL/m ²	集積後からは種又は定植の15日前まで	1回			

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	メタムナトリウムを含む農薬の総使用回数
ズッキーニ	33.0% AL	所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	1回
			原液として60 L/10 a			
		予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
			原液として60 L/10 a			
		所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し鎮圧又は被覆する。	原液として60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
ほ場内に集積した残渣物に所定量の薬液を散布し被覆する。	原液として40 mL/m ²	集積後からは種又は定植の15日前まで	1回			

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	メタムナトリウムを含む農薬の総使用回数
ほうれんそう	33.0% AL	所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	原液として60 L/10 a	は種又は定植の10日前まで	1回	1回
		予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として60 L/10 a	は種又は定植の10日前まで	1回	
		所定量の薬液を土壌中約15 cmの深さに注入し直ちに被覆又は覆土・鎮圧する。	原液として60 L/10 a	は種又は定植の10日前まで	1回	
		所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
			原液として60 L/10 a			
		予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
			原液として60 L/10 a			
		所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し鎮圧又は被覆する。	原液として60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
ほ場内に集積した残渣物に所定量の薬液を散布し被覆する。	原液として40 mL/m ²	集積後からは種又は定植の15日前まで	1回			

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	メタムナトリウムを含む農薬の総使用回数
ほうれんそう	33.0% AL	所定量の薬液を土壌表面に散布する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後からは種の7日前まで	1回	1回
		所定量の薬液を土壌表面に散布し混和する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後からは種の7日前まで		
しょうが	33.0% AL	予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	1回
		所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	原液として60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	
		所定量の薬液を土壌中約15 cmの深さに注入し直ちに被覆又は覆土・鎮圧する。	原液として60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	
さやえんどう	33.0% AL	予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	1回
		所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	原液として60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	
			原液として60 L/10 a			
		所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	メタムナトリウムを含む農薬の総使用回数
さやえんどう	33.0% AL	予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	1回
			原液として60 L/10 a			
		所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し鎮圧又は被覆する。	原液として60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
		ほ場内に集積した残渣物に所定量の薬液を散布し被覆する。	原液として40 mL/m ²	集積後からは種又は定植の15日前まで	1回	
実えんどう	33.0% AL	予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	1回
		所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	原液として60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	
			原液として60 L/10 a			
		所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	メタムナトリウムを含む農薬の総使用回数
実えんどう	33.0% AL	予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	1回
			原液として60 L/10 a			
		所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し鎮圧又は被覆する。	原液として60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
		ほ場内に集積した残渣物に所定量の薬液を散布し被覆する。	原液として40 mL/m ²	集積後からは種又は定植の15日前まで	1回	
いちご	33.0% AL	所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	原液として60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	1回
		予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	
		所定量の薬液を土壌中約15 cmの深さに注入し直ちに被覆又は覆土・鎮圧する。	原液として60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	メタムナトリウムを含む農薬の総使用回数
いちご	33.0% AL	所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	1回
			原液として60 L/10 a			
		予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
			原液として60 L/10 a			
		所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し鎮圧又は被覆する。	原液として60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
ほ場内に集積した残渣物に所定量の薬液を散布し被覆する。	原液として40 mL/m ²	集積後からは種又は定植の15日前まで	1回			
あさつき	33.0% AL	所定量の薬液を土壌中約15 cmの深さに注入し直ちに被覆又は覆土・鎮圧する。	原液として40 L/10 a	は種又は定植の10日前まで	1回	1回
			原液として60 L/10 a			

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	メタムナトリウムを含む農薬の総使用回数
あさつき	33. 0% AL	所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	原液として60 L/10 a	は種又は定植の10日前まで	1回	1回
		予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として60 L/10 a	は種又は定植の10日前まで	1回	
		所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
			原液として60 L/10 a			
		予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
			原液として60 L/10 a			
		所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し鎮圧又は被覆する。	原液として60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
		ほ場内に集積した残渣物に所定量の薬液を散布し被覆する。	原液として40 mL/m ²	集積後からは種又は定植の15日前まで	1回	

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	メタムナトリウムを含む農薬の総使用回数
みょうが (花穂)	33.0% AL	所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	原液として60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	1回
		予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	
みょうが (茎葉)	33.0% AL	所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	原液として60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	1回
		予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	

【メチルイソチオシアネート】

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	メチルイソチオシアネートを含む農薬の総使用回数
やまのいも	20.0% OL	・圃場を耕起・整地した後、30 cm 間隔のフドリに深さ約12～15 cmの穴をあけ、所定量を注入し、直ちに覆土しポリエチレン、ビニール等で被覆する。 ・薬剤処理7～10日後にガス抜き作業を行う。	30～40 L/10 a(1穴当たり3～4 mL)	は種又は植付けの21日前まで	1回	1回
	20.0% OL 配合剤	圃場を耕起・整地した後、所定量を深さ約12～15 cmに注入し、直ちに覆土・鎮圧する。薬剤処理7～14日後にガス抜き作業を行う。	20～30 L/10 a	は種又は植付の21日前まで	1回	
			30～40 L/10 a			
	こんにゃく	20.0% OL	・圃場を耕起・整地した後、30 cm 間隔のフドリに深さ約12～15 cmの穴をあけ、所定量を注入し、直ちに覆土・鎮圧する。 ・薬剤処理7～10日後(ただし、たばこは30日後)にガス抜き作業を行う。	30～40 L/10 a(1穴当たり3～4 mL)	は種又は植付けの21日前まで	
20.0% OL 配合剤		圃場を耕起・整地した後、所定量を深さ約12～15 cmに注入し、直ちに覆土・鎮圧する。薬剤処理7～14日後にガス抜き作業を行う。	20～30 L/10 a	は種又は植付の21日前まで	1回	
			30～40 L/10 a			

OL：油剤

配合剤：40.0%1,3-ジクロロプロペン

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	メチルイソチオシアネートを含む農薬の総使用回数
だいこん	20.0% OL	・圃場を耕起・整地した後、30 cm 間隔のフタリに深さ約12～15 cmの穴をあけ、所定量を注入し、直ちに覆土・鎮圧する。 ・薬剤処理7～10日後(ただし、たばこは30日後)にガス抜き作業を行う。	30～40 L/10 a(1 穴当り3 ～4 mL)	は種又は 植付けの 21日前 まで	1回	1回
			20～40 L/10 a(1 穴当たり 2～4 mL)			
	20.0% OL 配合剤	圃場を耕起・整地した後、所定量を深さ約12～15 cmに注入し、直ちに覆土・鎮圧する。薬剤処理7～14日後にガス抜き作業を行う。	20～30 L/10 a	は種又は 植付の21 日前まで は	1回	
			30 L/10 a			
			30～40 L/10 a			
		圃場を耕起・整地した後、所定量を深さ約12～15 cmに注入し、直ちに覆土・鎮圧する。薬剤処理7日後にガス抜き作業を行う。	20～30 L/10 a	は種又は 植付の14 日前まで (砂質土)	1回	
			30 L/10 a			
			30～40 L/10 a			

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	メチルイソチオシアネートを含む農薬の総使用回数
かぶ	20.0% OL 配合剤	圃場を耕起・整地した後、所定量を深さ約12～15 cmに注入し、直ちに覆土・鎮圧する。薬剤処理7～14日後にガス抜き作業を行う。	20～30 L/10 a	は種の 21日前 まで	1回	1回
			30 L/10 a			
			30～40 L/10 a			
はくさい	20.0% OL 配合剤	圃場を耕起・整地した後、所定量を深さ約12～15 cmに注入し、直ちに覆土・鎮圧する。薬剤処理7～14日後にガス抜き作業を行う。	20～30 L/10 a	は種又 は植付 の21日 前まで	1回	1回
			30～40 L/10 a			
			30 L/10 a			
キャベツ	20.0% OL 配合剤	圃場を耕起・整地した後、所定量を深さ約12～15 cmに注入し、直ちに覆土・鎮圧する。薬剤処理7～14日後にガス抜き作業を行う。	20～30 L/10 a	は種又 は植付 の21日 前まで	1回	1回
			40 L/10 a			
			30～40 L/10 a			

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	メチルイソチオシアネートを含む農薬の総使用回数
ごぼう	20.0% OL 配合剤	圃場を耕起・整地した後、所定量を深さ約12～15 cmに注入し、直ちに覆土・鎮圧する。薬剤処理7～14日後にガス抜き作業を行う。	20～30 L/10 a	は種の 21日前 まで	1回	1回
			30～40 L/10 a			
レタス	20.0% OL	・圃場を耕起・整地した後、30 cm間隔のフタリに深さ約12～15 cmの穴をあけ、所定量を注入し、直ちに覆土しポリエチレン、ビニール等で被覆する。 ・薬剤処理7～10日後にガス抜き作業を行う。	30～40 L/10 a(1 穴当たり 3～4 mL)	は種又は植付けの21 日前 まで	1回	1回
	20.0% OL 配合剤	圃場を耕起・整地した後、所定量を深さ約12～15 cmに注入し、直ちに覆土・鎮圧する。薬剤処理7～14日後にガス抜き作業を行う。	20～30 L/10 a	は種又は植付けの21日 前 まで	1回	
			30 L/10 a			
			30～40 L/10 a			
非結球 レタス	20.0% OL	・圃場を耕起・整地した後、30 cm間隔のフタリに深さ約12～15 cmの穴をあけ、所定量を注入し、直ちに覆土しポリエチレン、ビニール等で被覆する。 ・薬剤処理7～10日後にガス抜き作業を行う。	30～40 L/10 a(1 穴当たり 3～4 mL)	は種又は植付けの21 日前 まで	1回	1回
	20.0% OL 配合剤	圃場を耕起・整地した後、所定量を深さ約12～15 cmに注入し、直ちに覆土・鎮圧する。薬剤処理7～14日後にガス抜き作業を行う。	20～30 L/10 a	は種又は植付けの21日 前 まで	1回	
			30 L/10 a			
			30～40 L/10 a			

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	メチルイソチオシアネートを含む農薬の総使用回数
ふき	20.0% OL	・圃場を耕起・整地した後、30 cm 間隔のホトリに深さ約12～15 cm の穴をあけ、所定量を注入し、直ちに覆土しポリエチレン、ビニール等で被覆する。 ・薬剤処理7～10日後にガス抜き作業を行う。	30～40 L/10 a(1 穴当たり 3～4 mL)	植付けの30日前まで	1回	1回
	20.0% OL 配合剤	圃場を耕起・整地した後、所定量を深さ約12～15 cmに注入し、直ちに覆土・鎮圧する。薬剤処理7～14日後にガス抜き作業を行う。	20～30 L/10 a 30 L/10 a	植付の30日前まで	1回	
たまねぎ	20.0% OL	・圃場を耕起・整地した後、30 cm 間隔のホトリに深さ約12～15 cm の穴をあけ、所定量を注入し、直ちに覆土しポリエチレン、ビニール等で被覆する。 ・薬剤処理7～10日後にガス抜き作業を行う。	30～40 L/10 a(1 穴当たり 3～4 mL)	は種又は植付けの21日前まで	1回	1回
	20.0% OL 配合剤	圃場を耕起・整地した後、所定量を深さ約12～15 cmに注入し、直ちに覆土・鎮圧する。薬剤処理7～14日後にガス抜き作業を行う。	20～30 L/10 a 30 L/10 a	は種又は植付けの14日前まで	1回	
			30～40 L/10 a			
ねぎ	20.0% OL	・圃場を耕起・整地した後、30 cm 間隔のホトリに深さ約12～15 cm の穴をあけ、所定量を注入し、直ちに覆土しポリエチレン、ビニール等で被覆する。 ・薬剤処理7～10日後にガス抜き作業を行う。	30～40 L/10 a(1 穴当たり 3～4 mL)	植付けの30日前まで	1回	1回
	20.0% OL 配合剤	圃場を耕起・整地した後、所定量を深さ約12～15 cmに注入し、直ちに覆土・鎮圧する。薬剤処理7～14日後にガス抜き作業を行う。	20～30 L/10 a 40 L/10 a	は種又は植付けの14日前まで	1回	

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	メチルイソチオシアネートを含む農薬の総使用回数
ねぎ	20.0% OL 配合剤	圃場を耕起・整地した後、所定量を深さ約12～15 cmに注入し、直ちに覆土・鎮圧する。薬剤処理7～14日後にガス抜き作業を行う。	30～40 L/10 a	は種又は植付の14日前まで	1回	1回
にんにく	20.0% OL 配合剤	圃場を耕起・整地した後、所定量を深さ約12～15 cmに注入し、直ちに覆土・鎮圧する。薬剤処理7～14日後にガス抜き作業を行う。	20～30 L/10 a	は種又は植付の30日前まで	1回	1回
			30 L/10 a			
わけぎ	20.0% OL	・圃場を耕起・整地した後、30 cm 間隔のホトリに深さ約12～15 cm の穴をあけ、所定量を注入し、直ちに覆土しポリエチレン、ビニール等で被覆する。 ・薬剤処理7～10日後にガス抜き作業を行う。	30～40 L/10 a (1穴当たり3～4 mL)	植付けの30日前まで	1回	1回
	20.0% OL 配合剤	圃場を耕起・整地した後、所定量を深さ約12～15 cmに注入し、直ちに覆土・鎮圧する。薬剤処理7～14日後にガス抜き作業を行う。	20～30 L/10 a	は種又は植付の14日前まで	1回	
			40 L/10 a			
			30～40 L/10 a			

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	メチルイソチオシアネートを含む農薬の総使用回数
らっきょう	20.0% OL	・圃場を耕起・整地した後、30 cm間隔のフタリに深さ約12～15 cmの穴をあけ、所定量を注入し、直ちに覆土・鎮圧する。 ・薬剤処理7～10日後(ただし、たばこは30日後)にガス抜き作業を行う。	30～40 L/10 a(1穴当たり3～4 mL)	は種又は植付けの21日前まで	1回	1回
	20.0% OL 配合剤	圃場を耕起・整地した後、所定量を深さ約12～15 cmに注入し、直ちに覆土・鎮圧する。薬剤処理7～14日後にガス抜き作業を行う。	20～30 L/10 a	は種又は植付けの21日前まで	1回	
			30～40 L/10 a			
	にんじん	20.0% OL	・圃場を耕起・整地した後、30 cm間隔のフタリに深さ約12～15 cmの穴をあけ、所定量を注入し、直ちに覆土・鎮圧する。 ・薬剤処理7～10日後(ただし、たばこは30日後)にガス抜き作業を行う。	30～40 L/10 a(1穴当たり3～4 mL)	植付けの28日前まで	
20.0% OL 配合剤		圃場を耕起・整地した後、所定量を深さ約12～15 cmに注入し、直ちに覆土・鎮圧する。薬剤処理7～14日後にガス抜き作業を行う。	20～30 L/10 a	は種又は植付けの21日前まで	1回	
			30～40 L/10 a			

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	メチルイソチオシアネートを含む農薬の総使用回数
トマト	20.0% OL	・圃場を耕起・整地した後、30 cm間隔のフタリに深さ約12～15 cmの穴をあけ、所定量を注入し、直ちに覆土しポリエチレン、ビニール等で被覆する。 ・薬剤処理7～10日後にガス抜き作業を行う。	30～40 L/10 a (1穴当たり3～4 mL)	は種又は植付けの21日前まで	1回	1回
	20.0% OL 配合剤	圃場を耕起・整地した後、所定量を深さ約12～15 cmに注入し、直ちに覆土・鎮圧する。薬剤処理7～14日後にガス抜き作業を行う。	20～30 L/10 a	は種又は植付けの21日前まで	1回	
			30 L/10 a			
			40 L/10 a			
			30～40 L/10 a			
ミニトマト	20.0% OL	・圃場を耕起・整地した後、30 cm間隔のフタリに深さ約12～15 cmの穴をあけ、所定量を注入し、直ちに覆土しポリエチレン、ビニール等で被覆する。 ・薬剤処理7～10日後にガス抜き作業を行う。	30～40 L/10 a(1穴当たり3～4 mL)	は種又は植付けの21日前まで	1回	1回
	20.0% OL 配合剤	圃場を耕起・整地した後、所定量を深さ約12～15 cmに注入し、直ちに覆土・鎮圧する。薬剤処理7～14日後にガス抜き作業を行う。	20～30 L/10 a	は種又は植付けの21日前まで	1回	
			30 L/10 a			
			40 L/10 a			
			30～40 L/10 a			

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	メチルイソチオシアネートを含む農薬の総使用回数
なす	20.0% OL	・圃場を耕起・整地した後、30 cm 間隔のフタリに深さ約12～15 cmの穴をあけ、所定量を注入し、直ちに覆土しポリエチレン、ビニール等で被覆する。 ・薬剤処理7～10日後にガス抜き作業を行う。	30～40 L/10 a (1穴当たり3～4 mL)	は種又は植付けの21日前まで	1回	1回
	20.0% OL 配合剤	圃場を耕起・整地した後、所定量を深さ約12～15 cmに注入し、直ちに覆土・鎮圧する。薬剤処理7～14日後にガス抜き作業を行う。	20～30 L/10 a	は種又は植付けの21日前まで	1回	
			30 L/10 a			
きゅうり	20.0% OL	・圃場を耕起・整地した後、30 cm 間隔のフタリに深さ約12～15 cmの穴をあけ、所定量を注入し、直ちに覆土しポリエチレン、ビニール等で被覆する。 ・薬剤処理7～10日後にガス抜き作業を行う。	30～40 L/10 a(1穴当たり3～4 mL)	は種又は植付けの21日前まで	1回	1回
	20.0% OL 配合剤	圃場を耕起・整地した後、所定量を深さ約12～15 cmに注入し、直ちに覆土・鎮圧する。薬剤処理7～14日後にガス抜き作業を行う。	20～30 L/10 a	は種又は植付けの21日前まで	1回	
			30～40 L/10 a			
すいか	20.0% OL	・圃場を耕起・整地した後、30 cm 間隔のフタリに深さ約12～15 cmの穴をあけ、所定量を注入し、直ちに覆土しポリエチレン、ビニール等で被覆する。 ・薬剤処理7～10日後にガス抜き作業を行う。	30～40 L/10 a(1穴当たり3～4 mL)	は種又は植付けの21日前まで	1回	1回
	20.0% OL 配合剤	圃場を耕起・整地した後、所定量を深さ約12～15 cmに注入し、直ちに覆土・鎮圧する。薬剤処理7～14日後にガス抜き作業を行う。	20～30 L/10 a	は種又は植付けの21日前まで	1回	
			30～40 L/10 a			

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	メチルイソチオシアネートを含む農薬の総使用回数
メロン	20.0% OL	・圃場を耕起・整地した後、30 cm間隔のフタリに深さ約12～15 cmの穴をあけ、所定量を注入し、直ちに覆土しポリエチレン、ビニール等で被覆する。 ・薬剤処理7～10日後にガス抜き作業を行う。	30～40 L/10 a (1穴当たり3～4 mL)	植付けの30日前まで	1回	1回
	20.0% OL 配合剤	圃場を耕起・整地した後、所定量を深さ約12～15 cmに注入し、直ちに覆土・鎮圧する。薬剤処理7～14日後にガス抜き作業を行う。	20～30 L/10 a	は種又は植付けの30日前まで	1回	
			30～40 L/10 a			
ほうれんそう	20.0% OL	・圃場を耕起・整地した後、30 cm間隔のフタリに深さ約12～15 cmの穴をあけ、所定量を注入し、直ちに覆土しポリエチレン、ビニール等で被覆する。 ・薬剤処理7～10日後にガス抜き作業を行う。	40 L/10 a (1穴当たり4 mL)	は種の30日前まで	1回	1回
			30～40 L/10 a (1穴当たり3～4 mL)			
	20.0% OL 配合剤	圃場を耕起・整地した後、所定量を深さ約12～15 cmに注入し、直ちに覆土し、ポリエチレン、ビニール等で被覆する。薬剤処理7～14日後にガス抜き作業を行う。	20～30 L/10 a	は種の30日前まで	1回	
			30 L/10 a			
			30～40 L/10 a			
			40 L/10 a			

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	メチルイソチオシアネートを含む農薬の総使用回数
しょうが	20.0% OL 配合剤	圃場を耕起・整地した後、所定量を深さ約12～15 cmに注入し、直ちに覆土・鎮圧する。薬剤処理7～14日後にガス抜き作業を行う。	20～30 L/10 a	は種又は植付の21日前まで	1回	1回
			30～40 L/10 a			
いちご	20.0% OL	・圃場を耕起・整地した後、30 cm間隔のトバリに深さ約12～15 cmの穴をあけ、所定量を注入し、直ちに覆土しポリエチレン、ビニール等で被覆する。 ・薬剤処理7～10日後にガス抜き作業を行う。	30～40 L/10 a (1穴当たり3～4 mL)	は種又は植付けの21日前まで	1回	1回
			20.0% OL 配合剤			
	30 L/10 a					
	30～40 L/10 a					
あさつき	20.0% OL	・圃場を耕起・整地した後、30 cm間隔のトバリに深さ約12～15 cmの穴をあけ、所定量を注入し、直ちに覆土しポリエチレン、ビニール等で被覆する。 ・薬剤処理7～10日後にガス抜き作業を行う。	30～40 L/10 a (1穴当たり3～4 mL)	植付けの30日前まで	1回	1回
			20.0% OL 配合剤			
	40 L/10 a					
	30～40 L/10 a					
茶	20.0% OL 配合剤	圃場を耕起・整地した後、所定量を深さ約12～15 cmに注入し、直ちに覆土・鎮圧する。薬剤処理7～14日後にガス抜き作業を行う。	20～30 L/10 a	は種又は植付の21日前まで	1回	1回
			30～40 L/10 a			
			50 L/10 a			

3. 代謝試験

(1) 植物代謝試験

【ダズメット】

植物代謝試験が、トマト、はつかだいこん及びはくさいで実施されており、可食部で10%TRR^{注)}以上認められた代謝物はなかった。

なお、親化合物であるダズメットは認められておらず、痕跡程度のメチルイソチオシアネートが認められたが、これは土壤中分解生成物として取り込まれたものによると考えられた。

注) %TRR：総放射性残留物（TRR：Total Radioactive Residues）濃度に対する比率（%）

【メタムアンモニウム塩】

植物代謝試験が、キャベツ及びだいこんで実施されており、可食部で10%TRR以上認められた代謝物はなかった。

なお、本剤はほとんどが揮発すると考えられ、葉部及び根部とも放射能の残留が少なく、残留物の同定はされていない。

【メタムナトリウム塩】

植物代謝試験が、だいこん、トマト及びはくさいで実施されており、メタムナトリウム塩及びメチルイソチオシアネートは認められていない。可食部で10%TRR以上認められた代謝物はなかった。

なお、本剤の可食部への移行率は低く、代謝物の同定はされていない。

【メチルイソチオシアネート】

植物代謝試験が、トマト及びだいこんで実施されているが、無機化及びCO₂の生成が進行し親化合物であるメチルイソチオシアネートは認められず可食部で10%TRR以上認められた代謝物はなかった。

また、*In vitro*代謝試験として、トマト及びレタスの葉から作成したリーフディスクを用いて実施されており、10%TRR以上認められた代謝物は、代謝物M01（トマト及びレタス）、代謝物M02（トマト及びレタス）及びアスパラギン酸（レタス）であった。

【代謝物略称一覧】

略称	JMPR評価書の略称	化学名
MITC	—	メチルイソチオシアネート
M01 (MITC-S-グルタチオン抱合体)	—	不明
M02	—	2-アミノ-3-メチルチオカルバモイルスルファニル-プロピオン酸
アスパラギン酸	—	(2S)-2-アミノグルタリク二酸

—：JMPRで評価されていない。

4. 作物残留試験

(1) 分析の概要

① 分析対象物質

・ダズメット

- ・メタムアンモニウム塩
- ・メタムナトリウム塩
- ・メチルイソチオシアネート

② 分析法の概要

i) ダゾメット、メタムアンモニウム塩、メタムナトリウム塩及びメチルイソチオシアネート

試料に水及び酢酸エチル又は*n*-ヘキサンを加え、蒸留装置を用いて加熱還流し、メチルイソチオシアネート並びにダゾメット、メタムアンモニウム塩及びメタムナトリウム塩から生成したメチルイソチオシアネートを蒸留する。留出液から*n*-ヘキサン又は酢酸エチルを分取し、高感度窒素・リン検出器付きガスクロマトグラフ（GC-NPD）で定量する。

または、試料に水及び酢酸エチル又はリン酸緩衝液（pH 8.0）、塩化ナトリウム及び酢酸エチルを加え、蒸留装置を用いて加熱還流し、MITC並びにダゾメット、メタムアンモニウム塩及びメタムナトリウム塩から生成したメチルイソチオシアネートを蒸留する。水層及び酢酸エチル層を分取して塩析し、必要に応じてベンゼンスルホンプロピルシリル化シリカゲル（SCX）カラムを用いて精製した後、GC-NPD又はガスクロマトグラフ・質量分析計（GC-MS）で定量する。

定量限界：メチルイソチオシアネート 0.002～0.02 mg/kg

ii) メチルイソチオシアネート

試料に水及び*n*-ヘキサン又は酢酸エチルを加えて加熱還流し、留出液から*n*-ヘキサン又は酢酸エチルを分取し、炎光光度型検出器（硫黄用干渉フィルター）付きガスクロマトグラフ（GC-FPD(S)）又はGC-NPDで定量する。

定量限界：0.003～0.05 mg/kg

（２）作物残留試験結果

国内作物残留試験については、らっかせいの試験成績を追加した。試験成績の概要を別紙1-1、1-2、1-3及び1-4に示す。

5. ADI及びARfDの評価

食品安全基本法（平成15年法律第48号）第24条第1項第1号の規定に基づき、食品安全委員会あて意見を求めたダゾメット、メタム及びメチルイソチオシアネートに係る食品健康影響評価において、以下のとおり評価されている。

（１）ADI

① ダゾメット

無毒性量：0.4 mg/kg 体重/day
 （動物種） イヌ
 （投与方法） 混餌
 （試験の種類） 慢性毒性試験
 （期間） 1年間

安全係数：100

ADI：0.004 mg/kg 体重/day

(参考)

評価に供された遺伝毒性試験の*in vitro*試験の一部で陽性の結果が得られたが、小核試験を始め*in vivo*試験では陰性の結果が得られたので、ダゾメットは生体にとって問題となる遺伝毒性はないと結論されている。

② メタムアンモニウム塩

無毒性量：0.5 mg/kg 体重/day

(ADI設定根拠資料①) 慢性毒性試験

(動物種) イヌ

(投与方法) カプセル経口

(期間) 1年間

(ADI設定根拠資料②) 繁殖毒性試験

(動物種) ラット

(投与方法) 強制経口

(期間) 2世代

安全係数：100

ADI：0.005 mg/kg 体重/day

(参考)

評価に供された遺伝毒性試験の*in vitro*試験の一部で陽性の結果が得られたが、小核試験を始め*in vivo*試験では陰性の結果が得られたので、メタムアンモニウム塩は生体にとって問題となる遺伝毒性はないと結論されている。

③ メタムナトリウム塩及びメタムカリウム塩

無毒性量：0.75 mg/kg 体重/day

(動物種) イヌ

(投与方法) 強制経口

(試験の種類) 慢性毒性試験

(期間) 1年間

安全係数：100

ADI：0.0075 mg/kg 体重/day

食品安全委員会は、メタムカリウム塩はメタムナトリウム塩と毒性が同等と考えられたことから、ADIの設定に当たってはメタムナトリウム塩の各種試験結果を基に評価を行った。

(参考)

評価に供された遺伝毒性試験の*in vitro*試験の一部で陽性の結果が得られ、CHO細胞を用いた遺伝子突然変異試験において陽性であったが、細胞毒性が生じる濃度

でのみ変異が認められており、UDS 試験及び細菌を用いた試験では陰性であった。また、ヒトリンパ球を用いた*in vitro* 染色体異常試験で陽性であったが、チャイニーズハムスター骨髄細胞を用いた*in vivo* 染色体異常試験において陰性であった。これらのことから、メタムナトリウム塩に生体にとって問題となる遺伝毒性はないと結論されている。

④ メチルイソチオシアネート

無毒性量：0.4 mg/kg 体重/day

(ADI設定根拠資料①) 亜急性毒性試験

(動物種) イヌ

(投与方法) 強制経口

(期間) 90日間

(ADI設定根拠資料②) 慢性毒性試験

(動物種) イヌ

(投与方法) 強制経口

(期間) 1年間

安全係数：100

ADI：0.004 mg/kg 体重/day

(参考)

評価に供された遺伝毒性試験の*in vitro*試験の一部で陽性の結果が得られたが、小核試験を始め*in vivo*試験では陰性の結果が得られたので、メチルイソチオシアネートは生体にとって問題となる遺伝毒性はないと結論されている。

(2) ARfD

① ダゾメット

無毒性量：2.8 mg/kg体重/day

(動物種) イヌ

(投与方法) 混餌

(試験の種類) 亜急性毒性試験

安全係数：100

ARfD：0.028 mg/kg体重

② メタムアンモニウム塩

無毒性量：3 mg/kg 体重/day

(動物種) イヌ

(投与方法) 強制経口

(試験の種類) 慢性毒性試験

安全係数：100

ARfD：0.03 mg/kg 体重

③ メタムナトリウム塩及びメタムカリウム塩

無毒性量：2.16 mg/kg 体重/day

(ARfD設定根拠資料①) 発生毒性試験

(動物種) ラット

(投与方法) 強制経口

(ARfD設定根拠資料②) 発生毒性試験

(動物種) ウサギ

(投与方法) 強制経口

安全係数：100

ARfD：0.021 mg/kg 体重

食品安全委員会は、メタムカリウム塩はメタムナトリウム塩と毒性が同等と考えられたことから、ARfDの設定に当たってはメタムナトリウム塩の各種試験結果を基に評価を行った。

④ メチルイソチオシアネート

無毒性量：10 mg/kg 体重

(動物種) マウス及びウサギ

(投与方法) 強制経口

(試験の種類) 一般薬理試験

安全係数：100

ARfD：0.1 mg/kg 体重

(3) グループADI及びグループARfDの設定

食品安全委員会は、総合的な評価において、ダゾメット及びメタムは農薬として散布された後、土壤中でメチルイソチオシアネートに分解され活性成分となること、植物体内では概ねメチルイソチオシアネートとして残留すると考えられることから、メチルイソチオシアネートを総合的な評価対象物質としており、ダゾメット、メタム及びメチルイソチオシアネートのグループADI及びグループARfDは、メチルイソチオシアネートのADI及びARfDを用いて、それぞれ0.004 mg/kg 体重/day及び0.1 mg/kg 体重と設定した。

6. 諸外国における状況

JMPRにおける毒性評価はなされておらず、国際基準も設定されていない。

米国、カナダ、EU、豪州及びニュージーランドについて調査した結果、EUにおいて果菜類、葉菜類等に基準値が設定されている。

7. 残留規制

(1) 残留の規制対象

メチルイソチオシアネートのみとする。

ダゾメット及びメタムは、水の存在下でメチルイソチオシアネートに容易に分解され、植物体内では概ねメチルイソチオシアネートとして存在すると考えられていること、

及び作物残留試験においてメチルイソチオシアネートが検出されていることから分析の指標としてメチルイソチオシアネートのみで十分であると考えられるため、残留の規制対象をメチルイソチオシアネートとする。

(2) 基準値案

別紙2のとおりである。

8. 暴露評価

(1) 暴露評価対象

メチルイソチオシアネートのみとする。

ダゾメット及びメタムは農薬として散布された後、土壌中でメチルイソチオシアネートに分解され、植物体内において概ねメチルイソチオシアネートとして残留すると考えられ、通常の植物代謝試験においては代謝物が認められなかったことから、暴露評価対象をメチルイソチオシアネートとする。

なお、メチルイソチオシアネートの*in vitro*代謝試験で認められた代謝物は、グルタチオン抱合体、システイン抱合体及びアスパラギン酸であり、暴露評価対象には含めないこととする。

なお、食品安全委員会は、食品健康影響評価において、ダゾメット、メタム及びメチルイソチオシアネートにおける農産物中の暴露評価対象物質をメチルイソチオシアネートとしている。

(2) 暴露評価

① 長期暴露評価

1日当たり摂取する農薬の量のADIに対する比は、以下のとおりである。詳細な暴露評価は別紙3参照。

	EDI/ADI (%) ^{注)}
国民全体 (1歳以上)	2.7
幼小児 (1～6歳)	5.3
妊婦	2.6
高齢者 (65歳以上)	3.1

注) 各食品の平均摂取量は、平成17～19年度の食品摂取頻度・摂取量調査の特別集計業務報告書による。

EDI試算値：作物残留試験成績の中央値 (STMR) 等×各食品の平均摂取量

② 短期 (1日経口) 暴露評価

各食品の短期推定摂取量 (ESTI) を算出したところ、国民全体 (1歳以上) 及び幼小児 (1～6歳) における摂取量は急性参照用量 (ARfD) を超えていない^{注)}。詳細な暴露評価は別紙4-1及び4-2参照。

注) 基準値案、作物残留試験における最高残留濃度 (HR) 又は中央値 (STMR) を用い、平成17～19年度の食品摂取頻度・摂取量調査及び平成22年度の厚生労働科学研究の結果に基づきESTIを算

出した。

ダズメットの作物残留試験一覧表（国内）

農作物	試験圃場数	試験条件					残留濃度 (mg/kg) 注2) 注3) 注4)	設定の根拠等
		剤型 ^{注1)}	使用量・使用方法	回数	使用時期	経過日数		
らっかせい (子実)	2	96.5% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植21日前	138, 145, 152	圃場A:<0.01 (1回, 138日)	◎
					定植21日前	130, 137, 144	圃場B:<0.01 (1回, 130日)	
ばれいしょ (塊茎)	2	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	植付25日前	137	圃場A:0.017	◎
	植付18日前				102	圃場B:0.036 (＃)		
	植付36日前				137	圃場C:0.010	◎	
	植付16日前				108	圃場D:0.007 (＃)		
	植付23日前				129	圃場E:0.023	◎	
	植付20日前				134	圃場F:0.047	◎	
	4	98.0% GR	20 kg/10 a 土壌混和处理	1	植付36日前	137	圃場C:0.009	
					植付16日前	108	圃場D:0.003 (＃)	
					植付23日前	129	圃場E:0.015	
					植付20日前	134	圃場F:0.046	
さといも (塊茎)	2	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	植付18日前	224	圃場A:<0.002 (＃)	
				植付20日前	221	圃場B:<0.002		
かんしょ (塊茎)	2	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	植付20日前	140	圃場A:<0.002	
				植付21日前	128	圃場B:<0.002		
やまのいも (塊茎)	5	98.0% GR	20 kg/10 a 土壌混和处理	1	植付22日前	184	圃場A:0.010	
					植付19日前	162	圃場B:0.022 (＃)	
					植付28日前	243	圃場C:<0.005	
					植付20日前	227	圃場D:<0.005	
		98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	植付24日前	187	圃場E:0.014	
					植付22日前	184	圃場A:0.008	
					植付19日前	162	圃場B:0.023 (＃)	
					植付28日前	243	圃場C:<0.005	
	2	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	植付20日前	227	圃場D:0.005	
					植付24日前	187	圃場E:0.018	
こんにゃくいも (球茎)	2	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	植付27日前	183	圃場A:<0.005	
				植付20日前	171	圃場B:<0.005		
	3	98.0% GR	60 kg/10 a 土壌混和处理	1	植付21日前	140, 147, 154	圃場A:<0.01	
					植付21日前	161, 168, 175	圃場B:<0.01	
				植付21日前	140, 147, 154	圃場B:<0.01		
てんさい (根部)	2	98.0% GR	400 g/㎡ ² (苗床)+30 kg/10 a 土壌混和处理	1+1	は種210日前+植付226日前	369	圃場A:<0.005 (＃)	◎
					は種203日前+植付250日前	401	圃場B:<0.005 (＃)	
だいこん (根部)	2	98.0% GR	20 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種20日前	68	圃場A:<0.005	
					は種21日前	90	圃場B:<0.005	
	2	98.0% GR	20 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種20日前	68	圃場A:<0.005	
					は種21日前	90	圃場B:<0.005	
	2	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種20日前	78	圃場A:<0.002	
					は種17日前	73	圃場B:0.004 (＃)	
だいこん (葉部)	2	98.0% GR	20 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種20日前	68	圃場A:<0.005	
					は種21日前	90	圃場B:<0.005	
	2	98.0% GR	20 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種20日前	68	圃場A:0.005	
					は種21日前	90	圃場B:<0.005	
	2	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種20日前	78	圃場A:<0.002	
					は種17日前	73	圃場B:0.004 (＃)	
だいこん (つまみ菜)	2	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種20日前	27	圃場A:0.021	
				は種17日前	35	圃場B:0.599 (＃)		
だいこん (間引き菜)	2	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種20日前	34	圃場A:0.005	
				は種17日前	42	圃場B:0.277 (＃)		
はつかだいこん (根部)	2	98.0% GR	20 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種35日前	63, 68, 73	圃場A:<0.005 (1回, 63日)	
				84, 89, 94		圃場B:0.005 (1回, 84日)		
はつかだいこん (葉部)	2	98.0% GR	20 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種35日前	63, 68, 73	圃場A:<0.005 (1回, 63日)	
				84, 89, 94		圃場B:<0.005 (1回, 84日)		
かぶ (葉部)	2	98.0% GR	20 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種20日前	52	圃場A:<0.005	
					は種22日前	92	圃場B:<0.005	
	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種20日前	52	圃場A:<0.005		
				は種22日前	92	圃場B:<0.005		
かぶ (根部)	2	98.0% GR	20 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種20日前	52	圃場A:<0.005	
					は種22日前	92	圃場B:<0.005	
	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種20日前	52	圃場A:<0.005		
				は種22日前	92	圃場B:<0.005		
はくさい (茎葉)	4	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種30日前	100	圃場A:<0.006	◎
					は種31日前	164	圃場B:<0.006	
					定植20日前	83	圃場C:<0.005	
					定植20日前	74	圃場D:<0.005	
キャベツ (葉球)	2	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植20日前	92	圃場A:<0.005	
					定植22日前	115	圃場B:<0.005	
こまつな (茎葉)	3	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種10, 20日前	33, 43	圃場A:0.003 (1回, は種20日前, 43日)	◎
						31, 41	圃場B:0.003 (1回, 31日)	
					は種10日前	40, 47, 54	圃場C:0.01 (1回, 40日)	

ダズメットの作物残留試験一覧表（国内）

農作物	試験圃場数	試験条件					残留濃度 (mg/kg) 注2) 注3) 注4)	設定の根拠等
		剤型注1)	使用量・使用方法	回数	使用時期	経過日数		
みずな (茎葉)	2	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種12日前	38	圃場A:<0.005 圃場B:<0.005	
		98.0% GR	50 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種12日前	38	圃場A:0.006 (#) 圃場B:0.014 (#)	
みぶな (茎葉)	2	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種14日前	35, 38, 42	圃場A:<0.009 (1回, 35日)	
					は種11日前	32, 35, 39	圃場B:<0.009 (1回, 32日)	
チンゲンサイ (茎葉)	2	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植21日前	48	圃場A:0.002	
						47	圃場B:<0.002	
カリフラワー (花蕾)	2	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植24日前	79	圃場A:<0.002	◎
					定植21日前	125	圃場B:<0.002	
ブロッコリー (花蕾)	2	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植21日前	76	圃場A:<0.002	
						113	圃場B:<0.002	
しろな (茎葉)	1	98.0% GR	15 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種18日前	50	圃場A:<0.01	
	1	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種18日前	50	圃場A:<0.01	
ひろしまな (茎葉)	1	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植11日前	56, 66	圃場A:<0.004 (1回, 定植11日前, 56日) (#)	
	1				定植21日前	66, 76	圃場A:<0.004 (1回, 定植21日前, 66日)	
つぼみな (茎葉)	2	98.0% GR	20 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植21日前	83, 93	圃場B:<0.004 (1回, 定植21日前, 93日)	◎
						85	圃場A:0.032	
ごぼう (根部)	2	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種21日前	83	圃場B:<0.009	
						185	圃場A:<0.004 (#)	
しゅんぎく (茎葉)	2	98.0% GR	20 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種12日前	182	圃場B:<0.004 (#)	◎
						57	圃場A:<0.004 (#)	
レタス (茎葉)	4	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種21日前	74	圃場B:0.011 (#)	◎
					は種14日前	63	圃場A:<0.004	
葉ごぼう (茎葉及び根部)	2	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種14, 21, 24日前	59	圃場B:0.004	◎
						54, 61, 68	圃場C:<0.02 (1回, 54日)	
やまごぼう (根部)	2	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種21日前	58, 65, 72	圃場D:<0.02 (1回, 58日)	◎
					は種24日前	91, 98, 101	圃場A:<0.02 (1回, 定植24日前, 91日) (#)	
ふき (可食部)	2	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植22日前	161, 168, 175	圃場B:<0.008 (1回, 161日)	
					定植21日前	161, 168, 175	圃場B:<0.008 (1回, 161日)	
食用ぎく (花全体)	2	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植22日前	353	圃場A:<0.006 (\$)	
					定植21日前	110	圃場B:<0.006 (\$)	
	2	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植21日前	127	圃場A:<0.004	
					定植19日前	144	圃場B:<0.004 (#)	
	2	98.0% GR	400 g/m ³ (苗床) 土壌混和处理	1	は種17日前	270	圃場A:<0.005 (#)	
					は種15日前	273	圃場B:0.015 (#)	
	2	98.0% GR	20 g/m ² (苗床) 土壌混和处理	1	は種14日前	255	圃場A:<0.002	
					は種14日前	239	圃場B:<0.002	
	2	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植21日前	245	圃場A:0.009	
					定植22日前	200	圃場B:0.009	
	2	98.0% GR	60 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植21日前	131, 138, 145	圃場A:0.02 (1回, 131日)	◎
					定植21日前	224, 231, 238	圃場B:<0.02 (1回, 224日)	
	2	98.0% GR	400 g/m ³ (苗床)+30 kg/10 a 土壌混和处理	1+1	は種17日前+定植35日前	236	圃場A:0.034 (#)	
					は種15日前+定植34日前	184	圃場B:0.016 (#)	
葉たまねぎ (葉及び鱗茎)	2	98.0% GR	20 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種14日前	179	圃場A:<0.02	
					は種15日前	171	圃場B:<0.02	
	2	98.0% GR	30 g/m ² (苗床)+20 kg/10 a 土壌混和处理	1+1	は種14日前+定植20日前	115	圃場A:0.002 (#)	
					は種22日前+は種20日前	164	圃場B:0.004 (#)	
	2	98.0% GR	30 g/m ² (苗床)+30 kg/10 a 土壌混和处理	1+1	は種14日前+定植20日前	115	圃場A:0.002 (#)	
					は種22日前+は種20日前	164	圃場B:0.004 (#)	
	2	98.0% GR	30 g/m ² (苗床) 土壌混和处理	1	は種14日前	335	圃場A:<0.002	
					は種22日前	245	圃場B:0.002	
	2	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植20日前	115	圃場C:0.002	
					定植20日前	164	圃場D:0.004	
	4	98.0% GR	60 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植21日前	141, 148, 155	圃場A:<0.02 (1回, 141日)	
					定植14日前	84, 91, 98	圃場B:<0.02 (1回, 84日)	
	2	98.0% GR	30 g/m ² (苗床) 土壌混和处理	1	定植21日前	172, 179, 186	圃場C:<0.02 (1回, 172日)	◎
					定植14日前	55, 62, 69	圃場D:<0.02 (1回, 55日)	
	2	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植20日前	136	圃場A:<0.002	
					定植20日前	97	圃場B:0.009	
	2	98.0% GR	30 g/m ² (苗床) 土壌混和处理	1	は種18日前	245	圃場A:<0.002	
					は種16日前	252	圃場B:<0.002	
	2	98.0% GR	30 g/m ² (苗床)+20 kg/10 a 土壌混和处理	1+1	は種18日前+定植20日前	136	圃場A:<0.002 (#)	
					は種16日前+定植20日前	97	圃場B:0.010 (#)	
	2	98.0% GR	30 g/m ² (苗床)+30 kg/10 a 土壌混和处理	1+1	は種18日前+定植20日前	136	圃場A:<0.002 (#)	
					は種16日前+定植20日前	97	圃場B:0.014 (#)	
にんにく (鱗片)	2	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	植付27日前	289	圃場A:0.021	
					植付22日前	295	圃場B:<0.004	

ダズメットの作物残留試験一覧表（国内）

農作物	試験 圃場数	試験条件					残留濃度 (mg/kg) 注2) 注3) 注4)	設定 の根 拠等
		剤型 ^{注1)}	使用量・使用方法	回数	使用時期	経過日数		
にら (茎葉)	2	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植21日前	213	圃場A:<0.006(\$)	◎
						144	圃場B:0.006	
	3	96.5% GR	60 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植21日前	104, 111, 118 124, 131, 138 174, 181, 188	圃場A:<0.01 (1回, 104日) 圃場B:<0.01 (1回, 124日) 圃場C:<0.01 (1回, 174日)	
わけぎ (葉及び鱗茎)	2	98.0% GR	20 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植14, 21, 28日前	47, 48, 54	圃場A:0.014 (1回, 48日)	◎
						47, 54	圃場B:<0.009 (1回, 54日)	
	2	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植14, 21, 28日前	47, 48, 54 47, 54	圃場A:0.018 (1回, 48日) 圃場B:<0.009 (1回, 54日)	
らっきょう (鱗茎)	2	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	植付20日前	292	圃場A:0.016	◎
					植付31日前	314	圃場B:0.013	
にんじん (根部)	3	98.0% GR	20 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種20日前	154	圃場A:<0.005	
					は種21日前	126	圃場B:<0.005	
					は種26日前	124	圃場C:<0.005	
			30 kg/10 a 土壌混和处理		は種20日前	154	圃場A:<0.005	
					は種21日前	126	圃場B:<0.005	
					は種26日前	124	圃場C:<0.005	
	2	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種26日前	92	圃場D:<0.005	
					は種21日前	83	圃場E:<0.005	
バセリ (茎葉)	2	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植20日前	80, 94	圃場A:0.005 (1回, 80日)	◎
						80, 95	圃場B:0.006 (1回, 80日)	
セルリー (茎葉)	2	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植21日前	91	圃場A:0.002	◎
						114	圃場B:0.002	
みつば (茎葉)	2	98.0% GR	20 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種21日前	80	圃場A:<0.02	◎
						130	圃場B:<0.02	
あしたば (茎葉)	2	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種10, 21日前	248, 259	圃場A:<0.04 (1回, 248日)	◎
						223, 237	圃場B:<0.04 (1回, 223日)	
トマト (果実)	2	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植20日前	83	圃場A:<0.005	◎
					定植22日前	92	圃場B:<0.005	
	2	98.0% GR	60 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植22日前	71, 78, 85	圃場A:<0.014 (1回, 71日)(\$)	
					定植21日前	77, 84, 91	圃場B:<0.104 (1回, 77日)	
ミニトマト (果実)	2	98.0% GR	60 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植21日前	98, 105, 112	圃場A:<0.02 (1回, 98日)	
						80, 87, 94	圃場B:<0.02 (1回, 80日)	
ピーマン (果実)	2	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植21、27、42日前	72, 78, 93	圃場A:<0.02 (1回, 72日)	◎
						87, 94, 108	圃場B:<0.02 (1回, 87日)	
なす (果実)	2	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植20日前	66	圃場A:<0.005	
					定植21日前	51	圃場B:<0.005	
甘長とうがらし (果実)	2	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植23日前	106	圃場A:0.003	
					定植21日前	73	圃場B:<0.002(\$)	
ししとう (果実)	2	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植21日前	84	圃場A:<0.004	◎
						76	圃場B:<0.004	
きゅうり (果実)	2	98.0% GR	20 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植21日前	67	圃場A:<0.005	◎
					定植20日前	55	圃場B:0.026	
	10	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植21日前	67	圃場A:<0.005	
					定植20日前	55	圃場B:0.032	
					定植20日前	54	圃場C:0.002	
					定植20日前	58	圃場D:0.003	
					定植23日前	75	圃場E:0.025	
					定植20日前	47	圃場F:0.014	
					定植16日前	45	圃場G:0.036 (#)	
					定植29日前	64	圃場H:0.033	
					定植21日前	55	圃場I:0.005	
					定植11日前	49	圃場J:<0.002 (#)	
	10	98.0% GR	400 g/m ³ (苗床) 土壌混和处理	1	は種16日前	106	圃場A:<0.005 (#)	
					は種18日前	79	圃場B:<0.005 (#)	
					は種21日前	90	圃場C:<0.002	
					は種11日前	70	圃場D:0.003 (#)	
					は種2日前	83	圃場E:0.006 (#)	
					は種21日前	73	圃場F:0.003	
					は種11日前	66	圃場G:<0.002 (#)	
					は種7日前	68	圃場H:<0.002 (#)	
					は種14日前	71	圃場I:<0.016 (#)	
					は種1日前	74	圃場J:0.005 (#)	

ダブメットの作物残留試験一覧表（国内）

農作物	試験圃場数	試験条件					残留濃度 (mg/kg) 注2) 注3) 注4)	設定の根拠等
		剤型 ^{注1)}	使用量・使用方法	回数	使用時期	経過日数		
きゅうり (果実)	8	98.0% GR	400 g/m ³ (苗床)+20 kg/10 a 土壌混和处理	1+1	は種21日前+定植20日前	54	圃場A:<0.002 (#)	
					は種11日前+定植20日前	58	圃場B:0.003 (#)	
					は種2日前+定植23日前	75	圃場C:0.016 (#)	
					は種21日前+定植20日前	47	圃場D:0.030 (#)	
					は種11日前+定植21日前	55	圃場E:0.004 (#)	
					は種7日前+定植11日前	49	圃場F:<0.002 (#)	
					は種14日前+定植16日前	45	圃場G:0.026 (#)	
					は種1日前+定植29日前	64	圃場H:0.028 (#)	
	10	98.0% GR	400 g/m ³ (苗床)+30 kg/10 a 土壌混和处理	1+1	は種16日前+定植21日前	67	圃場A:<0.005 (#)	
					は種18日前+定植20日前	55	圃場B:0.046 (#)	
					は種21日前+定植20日前	54	圃場C:0.003 (#)	
					は種11日前+定植20日前	58	圃場D:0.005 (#)	
					は種2日前+定植23日前	75	圃場E:0.020 (#)	
					は種21日前+定植20日前	47	圃場F:0.029 (#)	
					は種11日前+定植21日前	55	圃場G:0.002 (#)	
					は種7日前+定植11日前	49	圃場H:<0.002 (#)	
かぼちゃ (果実)	2	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植23日前	139	圃場A:0.014	◎
					定植20日前	89	圃場B:0.015	
	2	98.0% GR	400 g/m ³ (苗床) 土壌混和处理	1	は種16日前	139	圃場A:<0.002 (#)	
					は種14日前	112	圃場B:0.002 (#)	
	2	98.0% GR	400 g/m ³ (苗床)+30 kg/10 a 土壌混和处理	1+1	は種16日前+定植23日前	139	圃場A:0.010 (#)	
					は種14日前+定植20日前	89	圃場B:0.006 (#)	
すいか (果肉)	2	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植20日前	90	圃場A:<0.005	
						81	圃場B:<0.005	
	2	98.0% GR	400 g/m ³ (苗床) 土壌混和处理	1	は種20日前	112	圃場A:<0.005	
					は種14日前	132	圃場B:<0.005 (#)	
	2	98.0% GR	400 g/m ³ (苗床)+30 kg/10 a 土壌混和处理	1+1	は種14日前+定植20日前	90	圃場A:<0.005 (#)	
					は種20日前+定植20日前	81	圃場B:<0.005 (#)	
メロン (果肉)	2	98.0% GR	40 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植13日前	82	圃場A:0.002 (#)	
					定植16日前	90	圃場B:0.002 (#)	
	2	98.0% GR	400 g/m ³ (苗床) 土壌混和处理	1	は種9日前	93	圃場C:<0.002 (#)	
					は種14日前	103	圃場D:<0.002 (#)	
	2	98.0% GR	400 g/m ³ (苗床)+40 kg/10 a 土壌混和处理	1+1	は種9日前+定植13日前	82	圃場A:0.002 (#)	
					は種14日前+定植16日前	90	圃場B:0.002 (#)	
にがうり (果実)	2	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植21日前	81	圃場A:<0.01	◎
					定植22日前	63	圃場B:0.02	
ほうれんそう (茎葉)	2	98.0% GR	20 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種20日前	60	圃場A:0.005	
					は種22日前	53	圃場B:0.005	
					は種20日前	60	圃場A:0.005	
	9	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種22日前	53	圃場B:0.008	◎
					は種10, 14日前	52, 56	圃場C:0.018 (1回, は種14日前, 56日)	
					は種10, 14日前	45, 49	圃場D:0.018 (1回, 45日)	
					は種10, 14日前	50, 55	圃場E:0.058 (1回, は種14日前, 50日)	
					は種10日前	55	圃場F:0.025	
						41	圃場G:<0.002	
						39	圃場H:0.028	
						47	圃場I:0.005	
						51	圃場J:0.012	
						48	圃場K:0.008	
しょうが (根茎)	2	98.0% GR	20 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植21日前	191	圃場A:<0.005	
					定植24日前	202	圃場B:<0.005	
	2	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植21日前	191	圃場A:<0.005	
					定植24日前	202	圃場B:<0.005	
薬しょうが (根茎及び茎)	2	98.0% GR	60 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植21日前	197, 204, 211 224, 231, 238	圃場A:<0.014 (1回, 197日) (\$) 圃場B:<0.014 (1回, 224日) (\$) 圃場C:<0.008 (1回, 115日) 圃場D:<0.008 (1回, 115日) 圃場E:<0.008 (1回, 97日)	◎
					定植21日前	97, 104, 111	圃場B:<0.008 (1回, 97日)	
えんどう (未成熟子実)	2	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種28日前	200	圃場A:<0.002	
					は種20日前	112	圃場B:0.003	
さやえんどう (さや)	2	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種28日前	161	圃場A:0.004	◎
					は種20日前	96, 103	圃場B:0.011 (1回, 103日)	
未成熟いんげん (さや)	2	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種21日前	69	圃場A:<0.004	◎
						82	圃場B:<0.004	
えだまめ (さや)	2	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植21日前	82	圃場A:<0.0065 (\$) 圃場B:<0.0065 (\$) 圃場C:<0.008 (1回, 92日) 圃場D:<0.008 (1回, 101日)	◎
						79	圃場B:<0.0065 (\$) 圃場C:<0.008 (1回, 92日) 圃場D:<0.008 (1回, 101日)	
モロヘイヤ (茎葉)	2	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植30日前	92, 99	圃場A:<0.008 (1回, 92日)	
					定植33日前	101, 108	圃場B:<0.008 (1回, 101日)	
つるむらさき (茎葉)	2	98.0% GR	20 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植22日前	57	圃場A:<0.004 圃場B:<0.004 圃場C:<0.004 圃場D:<0.004	
						57	圃場A:<0.004 圃場B:<0.004 圃場C:<0.004 圃場D:<0.004	

ダズメットの作物残留試験一覧表（国内）

農作物	試験 圃場数	試験条件					残留濃度 (mg/kg) 注2) 注3) 注4)	設定 の根 拠等
		剤型注1)	使用量・使用方法	回数	使用時期	経過日数		
さといも (葉柄)	2	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植21日前	125	圃場A:<0.009 圃場B:<0.009	
いちご (果実)	1	98.0% GR	20 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植21日前	68	圃場A:<0.005	
	2	98.0% GR	30 kg/10 a (本圃) 土壌混和处理	1	定植20日前	164	圃場A:<0.005	◎
						124	圃場B:0.005	
	2	98.0% GR	30 kg/10 a (仮苗床) 土壌混和处理	1	仮植17日前	215	圃場A:<0.005 (#)	
						184	圃場B:<0.005 (#)	
	2	98.0% GR	30 kg/10 a (仮苗床) +30 kg/10 a (本圃) 土壌混和处理	1+1	仮植17日前+定植20日前	164	圃場A:<0.005 (#)	
						124	圃場B:<0.005 (#)	
チャービル (茎葉)	2	98.0% GR	20 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種42日前	112	圃場A:<0.01	
					は種41日前	87	圃場B:<0.01	
みょうが (可食部)	2	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植49日前	143	圃場A:<0.002	
					定植40日前	172	圃場B:0.002 (#)	
しそ (茎葉)	4	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種13, 21, 30日前	104, 110, 124	圃場A:0.004 (1回, は種13日前, 104日)	◎
					は種14, 20, 30日前	112	圃場B:0.005 (1回, は種30日前, 112日)	
						42, 49	圃場C:<0.01 (1回, 42日)	
					定植14, 21日前	69, 76	圃場D:0.09 (1回, 69日)	

GR：粉粒剤

(＃)印で示した作物残留試験成績は、登録又は申請された適用の範囲内で行われていないことを示す。また、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。

今回、新たに提出された作物残留試験成績を網掛けで示した。

基準値の設定根拠及び暴露評価に使用されているものに◎で示した。

注1) 96.5% GRは分析法の違いによる見かけ上の数値の違いで、98.0% GRと同一の製剤である。

注2) メチルイソチオシアネート濃度を示した。

注3) 当該農薬の登録又は申請された適用の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留濃度の最大値を示した。

注4) 表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留濃度が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留濃度が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について（ ）内に記載した。

§) 同一圃場から採取された1つのサンプルを2つの分析機関に分けて測定されており、結果を平均値として示したため、実際の定量限界とは異なる。

メタムアンモニウムの作物残留試験一覧表（国内）

農作物	試験 圃場数	試験条件				残留濃度 (mg/kg) ^{注1) 注2)}	設定 の根 拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	使用時期	経過日数	
たまねぎ (りん茎)	2	50.0% SL	3倍希釈 90 L/10 a 土壌灌注処理	1	は種24日前処理	280	圃場A:<0.006
					は種28日前処理	259	圃場B:<0.006
こんにゃく (球茎)	2	50.0% SL	3倍希釈 90 L/10 a 土壌灌注処理	1	植付24日前処理	169	圃場A:<0.005
					植付26日前処理	171	圃場B:<0.005
きゅうり (果実)	2	50.0% SL	3倍希釈 90 L/10 a 土壌灌注処理	1	植付17日前処理	56	圃場A:<0.003
					植付14日前処理	58	圃場B:<0.003
すいか (果実)	2	50.0% SL	3倍希釈 90 L/10 a 土壌灌注処理	1	植付14日前処理	91	圃場A:0.003
					植付22日前処理	107	圃場B:<0.003
キャベツ (葉球)	2	50.0% SL	3倍希釈 90 L/10 a 土壌灌注処理	1	植付14日前処理	69	圃場A:<0.003
						77	圃場B:<0.003
はくさい (茎葉)	2	50.0% SL	3倍希釈 90 L/10 a 土壌灌注処理	1	植付14日前処理	75	圃場A:<0.003
						97	圃場B:<0.003
根深ねぎ (茎葉)	2	50.0% SL	3倍希釈 90 L/10 a 土壌灌注処理	1	は種20日前処理	269	圃場A:<0.003
					は種14日前処理	253	圃場B:<0.003
葉ねぎ (茎葉)	2	50.0% SL	3倍希釈 90 L/10 a 土壌灌注処理	1	は種20日前処理	269	圃場A:<0.003
					は種14日前処理	224	圃場B:<0.003
だいこん (根部)	2	50.0% SL	3倍希釈 90 L/10 a 土壌灌注処理	1	は種14日前処理	74, 78	圃場A:<0.003 (1回, 74日)
						62	圃場B:<0.003
だいこん (葉部)	2	50.0% SL	3倍希釈 90 L/10 a 土壌灌注処理	1	は種14日前処理	74, 78	圃場A:<0.003 (1回, 74日)
						62	圃場B:<0.003
だいこん(つみみ菜) (茎葉部)	2	50.0% SL	3倍希釈 90 L/10 a 土壌灌注処理	1	は種14日前処理	24	圃場A:<0.003
						23	圃場B:<0.003
だいこん(間引き菜) (茎葉部)	2	50.0% SL	3倍希釈 90 L/10 a 土壌灌注処理	1	は種14日前処理	35	圃場A:<0.003
						34	圃場B:<0.003
トマト (果実)	2	50.0% SL	3倍希釈 90 L/10 a 土壌混和処理	1	作付37日前処理	115	圃場A:<0.003
					作付17日前処理	96	圃場B:<0.003
ほうれんそう (茎葉)	4	50.0% SL	100倍希釈 3000 L/10 a 灌水 ^{チューブ} 処理	1	は種15日前処理	60	圃場A:0.008
					は種14日前処理	55	圃場B:0.007
						54, 61, 68	圃場C:0.014 (1回, 54日)
						48, 55, 62	圃場D:0.014 (1回, 48日)
いちご (果実)	2	50.0% SL	100倍希釈 4000 L/10 a 灌水 ^{チューブ} 処理	1	植付14日前処理	104	圃場A:<0.003 (#)
					植付13日前処理	118	圃場B:<0.003 (#)

SL：液剤

(#)印で示した作物残留試験成績は、登録又は申請された適用の範囲内で行われていないことを示す。また、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。

注1) メチルイソチオシアネートを示した。

注2) 当該農薬の登録又は申請された適用の範囲内で最も多量に使い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留濃度の最大値を示した。

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留濃度が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留濃度が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について（ ）内に記載した。

メタムナトリウムの作物残留試験一覧表（国内）

農作物	試験 圃場数	試験条件					残留濃度 (mg/kg) (注1) (注2)	設定 の根 拠等	
		剤型	使用量・使用方法	回数	使用時期	経過日数			
ばれいしょ (塊茎)	1	30.0% AL	原液 60 L/10 a 土壌注入	1	植付21日前	134	圃場A:0.025		
	1		原液 80 L/10 a 土壌注入	1	植付16日前	104	圃場A:0.005 (＃)		
さといも (塊茎)	2	30.0% AL	原液 40 L/10 a 土壌注入	1	植付20日前	196	圃場A:<0.005		
	2		土壌散布混和		植付17日前	230	圃場B:<0.005		
			原液 60 L/10 a 土壌注入		定植17日前	195	圃場A:<0.003	◎	
			193		圃場B:<0.003				
かんしょ (塊根)	2	30.0% AL	原液 60 L/10 a 土壌注入	1	定植22日前	144	圃場A:<0.005	◎	
					定植17日前	137	圃場B:<0.005		
	やまのいも (塊茎)	2	30.0% AL	3倍希釈 180 L/10 a 土壌散布混和	1	定植27日前	196	圃場A:<0.0075 (\$)	
					定植29日前	209	圃場B:<0.0075 (\$)		
	こんにゃく (球茎)	2	30.0% AL	原液 40 L/10 a 土壌注入	1	植付32日前	166, 177	圃場A:<0.005 (1回, 植付32日前, 166日)	
2		土壌散布混和		植付19日前		159, 169	圃場B:0.006 (1回, 植付19日前, 159日)		
		原液 60 L/10 a 土壌注入		定植21日前		207	圃場A:<0.01	◎	
		156		圃場B:<0.01					
だいこん (葉部)	4	30.0% AL	原液 40 L/10 a 土壌注入	1	は種21日前	74	圃場A:<0.003 (\$)		
	3倍希釈 180 L/10 a 土壌散布混和				98	圃場B:0.006			
			は種18日前		77	圃場C:<0.003 (\$)			
			は種17日前		69	圃場D:0.006			
だいこん (根部)	2	30.0% AL	原液 40 L/10 a 土壌注入	1	は種21日前	74	圃場A:<0.003		
	3倍希釈 180 L/10 a 土壌散布混和				98	圃場B:<0.003			
			は種18日前		77	圃場C:<0.003			
			は種17日前		69	圃場D:0.004			
だいこん (幼葉) (つまみ菜・間引き 菜)	2	30.0% AL	原液 40 L/10 a 土壌注入	1	は種21日前	28, 35	圃場A:0.032 (1回, は種21日前, 28日)	◎	
						31, 38	圃場B:0.030 (1回, は種21日前, 31日)		
	かぶ (根部)	2	30.0% AL	原液 40 L/10 a 土壌注入	1	は種17日前	122	圃場A:<0.005	◎
						は種18日前	66	圃場B:<0.005	
	かぶ (葉部)	2	30.0% AL	原液 40 L/10 a 土壌注入	1	は種17日前	122	圃場A:<0.005	◎
						は種18日前	66	圃場B:<0.005	
	はくさい (茎葉)	2	30.0% AL	2倍希釈 160 L/10 a 土壌散布混和	1	作付15日前	78	圃場A:<0.005 (＃)	
					作付18日前	130	圃場B:<0.005 (＃)		
	キャベツ (茎葉)	4	30.0% AL	原液 80 L/10 a 土壌注入	1	定植17日前	98	圃場A:<0.005 (＃)	
		定植18日前		130		圃場B:0.006 (＃)			
		70		圃場C:0.004 (＃)					
84		圃場D:<0.003 (＃)							
ブロッコリー (花蕾)	2	30.0% AL	原液 63.3 L/10 a 土壌注入	1	定植14日前	90	圃場A:<0.006	◎	
	原液 60 L/10 a 土壌注入		定植16日前		98	圃場B:<0.006			
ごぼう (根部)	2	30.0% AL	原液 40 L/10 a 土壌注入	1	は種21日前	161	圃場A:<0.005		
					は種21日前	182	圃場B:<0.005		
	レタス (茎葉)	2	30.0% AL	原液 60 L/10 a 土壌注入	1	定植17日前	63	圃場A:<0.003	
						60	圃場B:0.003		
	たまねぎ (鱗茎)	2	30.0% AL	8倍希釈 640 L/10 a 土壌表面散布	1	は種20日前	174	圃場A:<0.003	
	7倍希釈 560 L/10 a 土壌表面散布	は種16日前		296		圃場B:0.006			
ねぎ (茎葉)	5	30.0% AL	3倍希釈 180 L/10 a 土壌散布混和	1	定植21日前	66	圃場A:<0.003		
	土壌散布混和		移植17日前		61	圃場B:0.004			
	3倍希釈 60 L/10 a 土壌散布混和		定植23日前		195	圃場C:<0.002			
	3.7倍希釈 222 L/10 a 土壌散布混和		定植17日前		84	圃場A:0.003 (＃)			
にんにく (鱗茎)	2	30.0% AL	3倍希釈 180 L/10 a 土壌散布混和	1	定植17日前	293	圃場A:0.02	◎	
					定植27日前	278	圃場B:0.02		
	にら (茎葉)	2	30.0% AL	100倍希釈 6000 L/10 a 土壌表面散布 (灌水処理)	1	定植21日前	213	圃場A:<0.005	
					定植14日前	137	圃場B:0.005		
	にら (花茎)	2	30.0% AL	42倍希釈 2500 L/10 a 土壌表面散布 (灌水処理)	1	定植10日前	107, 114, 121	圃場A:0.01 (1回, 107日)	
		112, 119, 126, 147		圃場B:0.02 (1回, 119日)					
にんじん (根部)	2	30.0% AL	原液 40 L/10 a 土壌注入	1	は種21日前	126, 133	圃場A:<0.003 (1回, は種21日前, 126日) (\$)		
	2		土壌散布混和			145, 152	圃場B:<0.003 (1回, は種21日前, 145日) (\$)		
			3倍希釈 180 L/10 a 土壌散布混和		は種20日前	158	圃場A:<0.003		
			は種17日前		127	圃場B:<0.003			
トマト (果実)	4	30.0% AL	原液 40 L/10 a 土壌注入	1	定植27日前	76	圃場A:0.004 (1回, 定植10日前, 49日)		
	3倍希釈 180 L/10 a 土壌散布混和		定植21日前		79	圃場B:<0.003 (\$)			
			定植17日前		67	圃場C:<0.003 (\$)			
			定植26日前		108	圃場D:<0.003 (\$)			

メタムナトリウムの作物残留試験一覧表（国内）

農作物	試験圃場数	試験条件					残留濃度 (mg/kg) 注1) 注2)	設定の根拠等	
		剤型	使用量・使用方法	回数	使用時期	経過日数			
ピーマン (果実)	2	30.0% AL	原液 40 L/10 a 土壌注入	1	定植20日前	70	圃場A:0.006		
					定植18日前	59	圃場B:<0.005 (\$)		
	2		原液 80 L/10 a 土壌注入	1	定植24日前	75	圃場A:<0.01 (#)		
					定植21日前	83	圃場B:<0.01 (#)		
なす (果実)	2	30.0% AL	原液 40 L/10 a 土壌注入	1	定植17日前	59	圃場A:<0.005	◎	
						77	圃場B:<0.005		
	2		原液 80 L/10 a 土壌注入	1	定植21日前	84	圃場A:<0.01 (#)		
						76	圃場B:<0.01 (#)		
きゅうり (果実)	2	30.0% AL	原液 40 L/10 a 土壌注入	1	定植10日前	49,56	圃場A:0.004 (1回, 定植10日前, 49日) (#)		
					定植21日前	62,69	圃場B:<0.003 (1回, 定植21日前, 62日) (\$)		
	2		3倍希釈 180 L/10 a 土壌散布混和			定植18日前	46	圃場A:<0.003	
						定植24日前	86	圃場B:0.004	
かぼちゃ (果実)	3	30.0% AL	3倍希釈 180 L/10 a 土壌散布混和	1	定植20日前	109	圃場A:<0.003		
			5倍希釈 300 L/10 a 土壌散布混和		定植17日前	87	圃場B:0.003		
					定植27日前	99	圃場C:0.012		
すいか (果肉)	2	30.0% AL	原液 40 L/10 a 土壌注入	1	定植21日前	86	圃場A:<0.005		
						91	圃場B:<0.005		
	100倍希釈 6000 L/10 a 土壌表面散布		184			圃場A:<0.003			
	2		3倍希釈 180 L/10 a 土壌散布混和		定植17日前	104	圃場B:<0.003		
			2	0.4 L/m ² (床土) +原液 60 L/10 a (本圃) 土壌注入	2	定植39日前	77		圃場A:<0.003 (#)
				定植17日前		91	圃場B:0.022 (#)		
メロン (果肉)	2	30.0% AL	原液 40 L/10 a 土壌注入	1	定植21日前	106	圃場A:<0.005	◎	
					定植32日前	113	圃場B:<0.005		
	2		100倍希釈 8000 L/10 a 土壌表面散布		定植36日前	137	圃場A:<0.005		
			3倍希釈 240 L/10 a 土壌表面散布		定植17日前	96	圃場B:<0.005		
ほうれんそう (茎葉)	4	30.0% AL	原液 40 L/10 a 土壌注入	1	は種17日前	51,64	圃場A:0.036 (1回, は種17日前, 51日) (#)		
						51,58	圃場B:0.026 (1回, は種17日前, 58日) (#)		
			3倍希釈 60 L/10 a 土壌散布混和		は種19日前	55	圃場C:0.004 (#)		
			3倍希釈 60 L/10 a 土壌散布混和		は種20日前	50	圃場D:0.003 (#)		
チンゲンサイ (茎葉)	2	30.0% AL	原液 60 L/10 a 土壌注入	1	定植21日前	44	圃場A:0.015	◎	
					45	圃場B:<0.01			
みずな (茎葉)	2	30.0% AL	原液 60 L/10 a 土壌注入	1	は種21日前	55	圃場A:0.06	◎	
					49	圃場B:0.02			
しょうが (塊茎)	2	30.0% AL	原液 60 L/10 a 土壌注入	1	定植27日前	195	圃場A:<0.004 (\$)		
					定植41日前	229	圃場B:<0.004 (\$)		
未成熟えんどう (さや)	3	30.0% AL	3倍希釈 180 L/10 a 土壌散布混和	1	は種18日前	121	圃場A:0.009		
					は種19日前	140	圃場B:<0.003		
					定植20日前	82	圃場C:<0.002		
みょうが (花穂)	2	30.0% AL	3倍希釈 180 L/10 a 土壌散布混和	1	定植33日前	230	圃場A:<0.002		
					定植17日前	76	圃場B:<0.002		
いちご (果実)	2	30.0% AL	原液 40 L/10 a 土壌注入	1	定植21日前	158,165	圃場A:<0.005 (1回, 定植21日前, 158日) (#)		
						140,148	圃場B:<0.005 (1回, 定植21日前, 140日) (#)		
	2		3倍希釈 180 L/10 a 土壌散布混和			植付17日前	96	圃場A:<0.003	
						植付18日前	131	圃場B:<0.003	

AL：液剤（直接適用）

(＃)印で示した作物残留試験成績は、登録又は申請された適用の範囲内で行われていないことを示す。また、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。

基準値の設定根拠及び暴露評価に使用されているものに◎で示した。

注1) メチルイソチオシアネートを示した。

注2) 当該農薬の登録又は申請された適用の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留濃度の最大値を示した。

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留濃度が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留濃度が得られた場合は、その使用回数、使用時期及び経過日数について（ ）内に記載した。

\$) 同一圃場から採取された1つのサンプルを2つの分析機関に分けて測定されており、結果を平均値として示したため、実際の定量限界とは異なる。

メチルイソチオシアネートの作物残留試験一覧表（国内）

農作物	試験圃場数	試験条件				残留濃度 (mg/kg) 注)	設定の根拠等						
		剤型	使用量・使用方法	回数	使用時期			経過日数					
やまのいも (塊茎)	3	20.0% OL 配合剤	40 L/10 a 土壌注入	1	植付30日前処理	197	圃場A:0.052	◎					
					植付36日前処理	243	圃場B:<0.004						
					植付20日前処理	167, 174, 181	圃場C:<0.01 (1回, 181日)						
こんにゃく (球茎)	3	20.0% OL 配合剤	40 L/10 a 土壌注入	1	植付21日前処理	178	圃場A:0.006						
					植付16日前処理	162	圃場B:<0.004 (＃)						
					植付21日前処理	197	圃場C:<0.005						
だいこん (根部)	6	20.0% OL 配合剤	40 L/10 a 土壌注入	1	は種15日前処理	86	圃場A:<0.04						
					は種19日前処理	82	圃場B:<0.04						
					は種21日前処理	76	圃場C:<0.02						
		20.0% OL				81	圃場D:<0.02						
					は種14日前処理	69, 76, 83	圃場E:<0.01 (1回, 69日)						
						61, 69, 75	圃場F:<0.01 (1回, 61日)						
だいこん (葉部)	6	20.0% OL 配合剤	40 L/10 a 土壌注入	1	は種15日前処理	86	圃場A:<0.04						
					は種19日前処理	82	圃場B:<0.04						
					は種21日前処理	76	圃場C:<0.01						
		20.0% OL				81	圃場D:<0.01						
					は種14日前処理	69, 76, 83	圃場E:<0.01 (1回, 69日)						
						61, 69, 75	圃場F:<0.01 (1回, 61日)						
だいこん (つまみ菜・間引き菜)	2	20.0% OL	40 L/10 a 土壌注入	1	は種14日前処理	22, 28 26, 34	圃場A:<0.01 (1回, 22日) 圃場B:0.01 (1回, 26日)						
かぶ (根部)	2	20.0% OL 配合剤	40 L/10 a 土壌注入	1	は種28日前処理 は種30日前処理	76 78	圃場A:<0.005 圃場B:<0.005						
かぶ (葉部)	2	20.0% OL 配合剤	40 L/10 a 土壌注入	1	は種28日前処理 は種30日前処理	76 78	圃場A:<0.005 圃場B:<0.005						
はくさい (茎葉)	2	20.0% OL 配合剤	40 L/10 a 土壌注入	1	植付34日前処理 植付22日前処理	108 90	圃場A:<0.005 圃場B:<0.005						
キャベツ (葉球)	2	20.0% OL 配合剤	40 L/10 a 土壌注入	1	植付21日前処理 植付20日前処理	176 86	圃場A:<0.005 圃場B:<0.005	◎					
ごぼう (根部)	2	20.0% OL	40 L/10 a 土壌注入	1	は種21日前処理	191, 198, 205 161, 168, 175	圃場A:<0.01 (1回, 191日) 圃場B:<0.01 (1回, 161日)	◎					
レタス (茎葉)	2	20.0% OL	40 L/10 a 土壌注入	1	植付21日前処理	116, 123, 130 52, 59, 66	圃場A:<0.01 (1回, 116日) 圃場B:<0.01 (1回, 52日)						
たまねぎ (鱗茎)	2	20.0% OL 配合剤	46.2 L/10 a 土壌注入	1	植付14日前処理 植付21日前処理	194, 201, 208 201, 208, 215	圃場A:<0.01 (1回, 植付14日前, 194日)						
			40 L/10 a 土壌注入		植付14日前処理 植付21日前処理	185, 192, 199	圃場B:0.01 (1回, 植付14日前, 192日)						
ねぎ (根深ねぎ) (茎葉)	3	20.0% OL 配合剤	40 L/10 a 土壌注入	1	植付21日前処理 植付31日前処理 植付14日前処理	182 146 173, 180, 187	圃場A:<0.005 圃場B:<0.005 圃場C:<0.02 (1回, 植付13日前, 173日)						
					ねぎ (葉ねぎ) (茎葉)	2	20.0% OL 20.0% OL 配合剤	40 L/10 a 土壌注入	1	植付27日前処理 植付14日前処理	113, 120, 127 88, 95, 102	圃場A:<0.01 (1回, 植付27日前, 113日) 圃場B:<0.02 (1回, 植付14日前, 88日)	
							にんにく (鱗茎)			2	20.0% OL 配合剤	40 L/10 a 土壌注入	1
らっきょう (鱗茎)	2	20.0% OL 配合剤	40 L/10 a 土壌注入	1	植付24日前処理 植付21日前処理	305 292	圃場A:<0.005 圃場B:0.008						
にんじん (根部)	5	20.0% OL 配合剤	40 L/10 a 土壌注入	1	は種15日前処理 は種20日前処理 は種27日前処理 は種28日前処理	134, 197 185 143 147	圃場A:<0.05 (1回, は種15日前, 134日) (＃) 圃場B:<0.05 圃場C:<0.004 圃場D:<0.004	◎					
					44.4 L/10 a 土壌注入	は種17日前処理	166, 233		圃場E:<0.05 (1回, は種17日前, 166日) (＃)				
			トマト (果実)		2	20.0% OL 配合剤	40 L/10 a 土壌注入	1	植付18日前処理 植付17日前処理	71, 84 65, 73	圃場A:0.012 (1回, 植付18日前, 71日) (＃) 圃場B:<0.0045 (1回, 植付17日前, 65日) (＃) (\$)		
									ミニトマト (果実)	4	20.0% OL	40 L/10 a 土壌注入	1
なす (果実)	4	20.0% OL 配合剤	40 L/10 a 土壌注入	1	植付19日前処理 植付18日前処理 植付21日前処理 植付21日前処理	54, 75 71, 84 88, 94, 101 80, 86, 93	圃場D:0.012 (1回, 植付19日前, 54日) (＃) 圃場B:<0.0045 (1回, 植付18日前, 71日) (＃) (\$) 圃場C:<0.005 (1回, 101日) 圃場D:<0.005 (1回, 93日)						
			30 L/10 a 土壌注入										
			きゅうり (果実)		4	20.0% OL 配合剤	40 L/10 a 土壌注入	1	植付15日前処理	52, 77 65, 76, 88	圃場A:<0.003 (1回, 植付15日前, 52日) (＃) 圃場B:<0.003 (1回, 植付15日前, 65日) (＃)		
									植付21日前処理	54, 63, 75 67, 78, 88	圃場C:0.006 (1回, 63日) 圃場D:0.005 (1回, 67日)		
すいか (果肉)	2	20.0% OL 配合剤		40 L/10 a 土壌注入					1	植付21日前処理 植付22日前処理	94 114	圃場A:0.007 圃場B:<0.005	◎

メチルイソチオシアネートの作物残留試験一覧表（国内）

農作物	試験圃場数	試験条件					残留濃度 (mg/kg) ^{注)}	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	使用時期	経過日数		
メロン (果肉)	2	20.0% OL 配合剤	40 L/10 a 土壌注入	1	植付28日前処理	112	圃場A:<0.005	
					植付30日前処理	113	圃場B:<0.005	
ほうれんそう (茎葉)	5	20.0% OL 配合剤	40 L/10 a 土壌注入	1	は種28日前処理	89	圃場A:0.026	
					は種29日前処理	72	圃場B:0.006	
					は種28日前処理	66	圃場C:0.031	
						57	圃場D:0.015	
					は種30日前処理	78, 80, 84	圃場E:<001 (1回, 84日)	
しょうが (根茎)	2	20.0% OL	40 L/10 a 土壌注入	1	植付20日前処理	159, 166, 173	圃場A:<0.01 (1回, 植付20日前, 159日)	
					植付21日前処理	228, 235, 242	圃場B:<0.01 (1回, 228日)	
ふき (可食部)	2	20.0% OL	40 L/10 a 土壌注入	1	植付28日前処理	140	圃場A:<0.005) (#)	
						155	圃場B:<0.005) (#)	
いちご (果実)	2	20.0% OL 配合剤	40 L/10 a 土壌注入	1	植付22日前処理	206	圃場A:<0.0045 (\$))	
					植付17日前処理	237	圃場B:<0.0045 (#) (\$))	

OL：油剤

(#)印で示した作物残留試験成績は、登録又は申請された適用の範囲内で行われていないことを示す。また、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。

今回、新たに提出された作物残留試験成績を網掛けで示した。

基準値の設定根拠及び暴露評価に使用されているものに◎で示した。

注) 表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留濃度が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留濃度が得られた場合は、その使用回数、使用時期及び経過日数について（ ）内に記載した。

\$) 同一圃場から採取された1つのサンプルを2つの分析機関に分けて測定されており、結果を平均値として示したため、実際の定量限界とは異なる。

食品名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	国/地域 基準値 ppm	
らっかせい	0.05		申			D: <0.01, <0.01(¥)
ばれいしょ	0.09	0.2	○			D: 0.01～0.047(n=4)
さといも類(やつがしらを含む。)	0.02	0.02	○			Na: <0.003, <0.003(¥)
かんしょ	0.02	0.02	○			Na: <0.005, <0.005(¥)
やまいも(長いもをいう。)	0.1	0.3	○			MITC: <0.004, <0.01, 0.052
こんにやくいも	0.05	0.05	○			Na: <0.01, <0.01(¥)
てんさい	0.02	0.02	○			D: <0.005, <0.005(¥)(#)
だいこん類(ラディッシュを含む。)	0.05	0.04	○			MITC: <0.01, <0.01(¥)
だいこん類(ラディッシュを含む。)	0.2	2	○			Na: 0.030, 0.032(¥)(つまみ菜、間引き菜)
かぶ類の根	0.02	0.01	○			Na: <0.005, <0.005(¥)
かぶ類の葉	0.02	0.01	○			Na: <0.005, <0.005(¥)
はくさい	0.01	0.01	○			D: <0.005～<0.006(n=4)
キャベツ	0.02	0.02	○			MITC: <0.005, <0.005(¥)
ケール	0.03	0.02	○			(こまつな参照)
こまつな	0.03	0.02	○			D: 0.003, 0.003, 0.01
きょうな	0.3	0.3	○			Na: 0.02, 0.06(¥)(みずな)
チンゲンサイ	0.1	0.1	○			Na: <0.01, 0.015(¥)
カリフラワー	0.01	0.01	○			D: <0.002, <0.002(¥)
ブロッコリー	0.03	0.03	○			Na: <0.006, <0.006(¥)
その他のあぶらな科野菜	0.2	0.2	○			D: <0.009, 0.032(¥)(つぼみな)
ごぼう	0.05	0.05	○			MITC: <0.01, <0.01(¥)
しゅんぎく	0.05	0.05	○			D: <0.004, 0.011(¥)
レタス(サラダ菜及びちしゃを含む。)	0.1	0.05	○			D: <0.02, <0.02(¥)
その他のきく科野菜	0.1	0.1	○			D: <0.02, <0.02(¥)(菜ごぼう)
たまねぎ	0.1	0.1	○			D: <0.02, 0.02(¥)
ねぎ(リーキを含む。)	0.1	0.02	○			D: <0.02, 0.02(¥)
にんにく	0.1	0.2	○			Na: 0.02, 0.02(¥)
にら	0.01	0.02	○			D: <0.01, <0.01, <0.01
わけぎ	0.1	0.1	○			D: <0.009, 0.018(¥)
その他のゆり科野菜	0.1	0.1	○			D: 0.013, 0.016(¥)(らっきょう)
にんじん	0.05	0.05	○			MITC: <0.004, <0.004, <0.05
パセリ	0.03	0.03	○			D: 0.005, 0.006(¥)
セロリ	0.01	0.01	○			D: 0.002, 0.002(¥)
みつば	0.1	0.1	○			D: <0.02, <0.02(¥)
その他のせり科野菜	0.2	0.2	○			D: <0.04, <0.04(¥)(あしたば)
トマト	0.5	0.5	○			D: <0.014, 0.104(¥)
ピーマン	0.1	0.1	○			D: <0.02, <0.02(¥)
なす	0.02	0.05	○			Na: <0.005, <0.005(¥)
その他のなす科野菜	0.02	0.02	○			D: <0.004, <0.004(¥)(ししとう)
きゅうり(ガーキンを含む。)	0.07	0.08	○			D: 0.002～0.033(n=8)
かぼちゃ(スカッシュを含む。)	0.1	0.1	○			D: 0.014, 0.015(¥)
すいか	0.03	0.05	○			MITC: <0.005, 0.007(¥)
メロン類果実	0.02	0.02	○			Na: <0.005, <0.005(¥)
その他のうり科野菜	0.1	0.1	○			D: <0.01, 0.02(¥)(にがうり)
ほうれんそう	0.09	0.1	○			D: <0.002～0.058(n=9)
しょうが	0.1	0.1	○			D: <0.014, <0.014(¥)
未成熟えんどう	0.05	0.1	○			D: 0.004, 0.011(¥)(さやえんどう)
未成熟いんげん	0.02	0.02	○			D: <0.004, <0.004(¥)
えだまめ	0.03	0.05	○			D: <0.0065, <0.0065(¥)
その他の野菜	0.05	0.1	○			(未成熟えんどう参照)
いちご	0.02	0.02	○			D: <0.005, 0.005(¥)
その他のハーブ	0.2	0.3	○			D: 0.004～0.09(n=4)(しそ)
はちみつ	0.05					※

太枠:本基準(暫定基準以外の基準)を見直した基準値

○:既に、国内において登録等がされているもの

申:農薬の登録申請等に伴い基準値設定依頼がなされたもの

(#):適用の範囲内で試験が行われていない作物残留試験成績

(¥):基準値設定の根拠とした作物残留試験成績(最大値)

作物残留試験成績等については、Dはダゾメット、Naはメタムナトリウム及びMITCはメチルイソチオシアネートを表している。

※「食品中の農薬の残留基準設定の基本原則について」(令和6年6月25日食品衛生基準審議会農薬・動物用医薬品部会)の別添3「はちみつ中の農薬等の基準設定の方法について」に基づき設定。

ダズメット、メタム及びメチルイソチオシアネートの推定摂取量 (単位: $\mu\text{g}/\text{人}/\text{day}$)

食品名	基準値案 (ppm)	暴露評価に 用いた数値 (ppm)	国民全体 (1歳以上) EDI	幼児 (1～6歳) EDI	妊婦 EDI	高齢者 (65歳以上) EDI
らっかせい	0.05	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
ばれいしょ	0.09	0.02	0.8	0.7	0.8	0.7
さといも類 (やつがしらを含む。)	0.02	0.003	0.0	0.0	0.0	0.0
かんしょ	0.02	0.005	0.0	0.0	0.1	0.0
やまいも (長いもをいう。)	0.1	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
こんにゃくいも	0.05	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
てんさい	0.02	0.005	0.2	0.1	0.2	0.2
だいこん類 (ラディッシュを含む。)	0.05	0.01	0.3	0.1	0.2	0.5
だいこん類 (ラディッシュを含む。)	0.2	0.031	0.1	0.0	0.1	0.1
かぶ類の根	0.02	0.005	0.0	0.0	0.0	0.0
かぶ類の葉	0.02	0.005	0.0	0.0	0.0	0.0
はくさい	0.01	0.0055	0.1	0.0	0.1	0.1
キャベツ	0.02	0.005	0.1	0.1	0.1	0.1
ケール	0.03	0.003	0.0	0.0	0.0	0.0
こまつな	0.03	0.003	0.0	0.0	0.0	0.0
きょうな	0.3	0.04	0.1	0.0	0.1	0.1
チンゲンサイ	0.1	0.0125	0.0	0.0	0.0	0.0
カリフラワー	0.01	0.002	0.0	0.0	0.0	0.0
ブロッコリー	0.03	0.006	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のあぶらな科野菜	0.2	0.02	0.1	0.0	0.0	0.1
ごぼう	0.05	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
しゅんぎく	0.05	0.0075	0.0	0.0	0.0	0.0
レタス (サラダ菜及びちしやを含む。)	0.1	0.02	0.2	0.1	0.2	0.2
その他のさく科野菜	0.1	0.02	0.0	0.0	0.0	0.1
たまねぎ	0.1	0.02	0.6	0.5	0.7	0.6
ねぎ (リーキを含む。)	0.1	0.02	0.2	0.1	0.1	0.2
にんにく	0.1	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0
にら	0.01	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
わけぎ	0.1	0.0135	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のゆり科野菜	0.1	0.0145	0.0	0.0	0.0	0.0
にんじん	0.05	0.004	0.1	0.1	0.1	0.1
パセリ	0.03	0.0055	0.0	0.0	0.0	0.0
セロリ	0.01	0.002	0.0	0.0	0.0	0.0
みつば	0.1	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のせり科野菜	0.2	0.04	0.0	0.0	0.0	0.0
トマト	0.5	0.059	1.9	1.1	1.9	2.2
ピーマン	0.1	0.02	0.1	0.0	0.2	0.1
なす	0.02	0.005	0.1	0.0	0.1	0.1
その他のなす科野菜	0.02	0.004	0.0	0.0	0.0	0.0
きゅうり (ガーキンを含む。)	0.07	0.01	0.2	0.1	0.1	0.3
かぼちゃ (スカッシュを含む。)	0.1	0.0145	0.1	0.1	0.1	0.2
すいか	0.03	0.006	0.0	0.0	0.1	0.1
メロン類果実	0.02	0.005	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のうり科野菜	0.1	0.015	0.0	0.0	0.0	0.1
ほうれんそう	0.09	0.018	0.2	0.1	0.3	0.3
しょうが	0.1	0.014	0.0	0.0	0.0	0.0
未成熟えんどう	0.05	0.008	0.0	0.0	0.0	0.0
未成熟いんげん	0.02	0.004	0.0	0.0	0.0	0.0
えだまめ	0.03	0.0065	0.0	0.0	0.0	0.0
その他の野菜	0.05	0.0075	0.1	0.0	0.1	0.1
いちご	0.02	0.005	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のハーブ	0.2	0.0075	0.0	0.0	0.0	0.0
はちみつ	0.05	● 0.05	0.0	0.0	0.1	0.1
計			6.1	3.5	6.0	6.8
ADI比 (%)			2.7	5.3	2.6	3.1

EDI : 推定一日摂取量 (Estimated Daily Intake)

EDI試算法 : 作物残留試験成績の中央値 (STMR) 等×各食品の平均摂取量

● : 個別の作物残留試験がないことから、暴露評価を行うにあたり基準値 (案) の数値を用いた。

ダズメット、メタム及びメチルイソチオシアネートの推定摂取量（短期）：国民全体(1歳以上)

食品名 (基準値設定対象)	食品名 (ESTI推定対象)	基準値案 (ppm)	評価に用いた 数値 (ppm)	ESTI ($\mu\text{g}/\text{kg}$ 体重/day)	ESTI/ARFD (%)
らっかせい	らっかせい	0.05	0.05	0.1	0
ばれいしょ	ばれいしょ	0.09	○ 0.047	0.4	0
さといも類（やつがしらを含む。）	さといも	0.02	0.02	0.1	0
かんしょ	かんしょ	0.02	0.02	0.3	0
やまいも（長いものをいう。）	やまいも	0.1	0.1	0.8	1
だいこん類（ラディッシュを含む。）の根	だいこんの根	0.05	0.05	0.6	1
だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉	だいこんの葉	0.2	0.2	1.7	2
かぶ類の根	かぶの根	0.02	0.02	0.1	0
かぶ類の葉	かぶの葉	0.02	0.02	0.1	0
はくさい	はくさい	0.01	○ 0.006	0.1	0
キャベツ	キャベツ	0.02	0.02	0.2	0
ケール	ケール	0.03	0.03	0.2	0
こまつな	こまつな	0.03	0.03	0.1	0
きょうな	きょうな	0.3	0.3	1.0	1
チンゲンサイ	チンゲンサイ	0.1	0.1	0.7	1
カリフラワー	カリフラワー	0.01	0.01	0.1	0
ブロッコリー	ブロッコリー	0.03	0.03	0.2	0
その他のあぶらな科野菜	たかな	0.2	0.2	1.6	2
	菜花	0.2	0.2	0.6	1
ごぼう	ごぼう	0.05	0.05	0.2	0
しゅんぎく	しゅんぎく	0.05	0.05	0.2	0
レタス（サラダ菜及びちしやを含む。）	レタス類	0.1	0.1	0.6	1
たまねぎ	たまねぎ	0.1	0.1	0.8	1
ねぎ（リーキを含む。）	ねぎ	0.1	0.1	0.4	0
にんにく	にんにく	0.1	0.1	0.1	0
にら	にら	0.01	0.01	0.0	0
わけぎ	わけぎ	0.1	0.1	0.2	0
その他のゆり科野菜	にんにくの芽	0.1	0.1	0.2	0
	らっきょう	0.1	0.1	0.1	0
にんじん	にんじん	0.05	0.05	0.2	0
	にんじんジュース	0.05	○ 0.004	0.0	0
パセリ	パセリ（生）	0.03	0.03	0.0	0
	パセリ（乾燥）	0.03	0.03	0.0	0
セロリ	セロリ	0.01	0.01	0.1	0
みつば	みつば	0.1	0.1	0.1	0
その他のせり科野菜	せり	0.2	0.2	0.3	0
トマト	トマト	0.5	0.5	5.5	6
ピーマン	ピーマン	0.1	0.1	0.3	0
なす	なす	0.02	0.02	0.1	0
その他のなす科野菜	とうがらし（生）	0.02	0.02	0.0	0
	ししとう	0.02	0.02	0.0	0
きゅうり（ガーキンを含む。）	きゅうり	0.07	○ 0.033	0.2	0
かぼちゃ（スカッシュを含む。）	かぼちゃ	0.1	0.1	1.0	1
	ズッキーニ	0.1	0.1	0.7	1
すいか	すいか	0.03	0.03	1.0	1
メロン類果実	メロン	0.02	0.02	0.3	0
その他のうり科野菜	とうがん	0.1	0.1	1.7	2
	にがうり	0.1	0.1	0.8	1
ほうれんそう	ほうれんそう	0.09	○ 0.058	0.3	0
しょうが	しょうが	0.1	0.1	0.1	0
未成熟えんどう	未成熟えんどう（さや）	0.05	0.05	0.1	0
	未成熟えんどう（豆）	0.05	0.05	0.1	0
未成熟いんげん	未成熟いんげん	0.02	0.02	0.0	0
えだまめ	えだまめ	0.03	0.03	0.1	0
その他の野菜	ずいき	0.05	0.05	0.5	1
	もやし	0.05	0.05	0.1	0
	れんこん	0.05	0.05	0.3	0
	そら豆（生）	0.05	0.05	0.1	0
いちご	いちご	0.02	0.02	0.1	0

ダゾメット、メタム及びメチルイソチオシアネートの推定摂取量（短期）：国民全体(1歳以上)

食品名 (基準値設定対象)	食品名 (ESTI推定対象)	基準値案 (ppm)	評価に用いた 数値 (ppm)	ESTI (μ g/kg 体重/day)	ESTI/ARFD (%)
はちみつ	はちみつ	0.05	0.05	0.0	0

ESTI：短期推定摂取量 (Estimated Short-Term Intake)

ESTI/ARFD(%)の値は、有効数字1桁（値が100を超える場合は有効数字2桁）とし四捨五入して算出した。

○：作物残留試験における最高残留濃度（HR）又は中央値（STMR）を用いて短期摂取量を推計した。

○を付していない食品については、基準値案の値又は暴露評価対象物質の残留濃度から推定される基準値に相当する値を使用した。

ダズメット、メタム及びメチルイソチオシアネートの推定摂取量（短期）：幼小児(1～6歳)

食品名 (基準値設定対象)	食品名 (ESTI推定対象)	基準値案 (ppm)	評価に用いた 数値 (ppm)	ESTI (μ g/kg 体重/day)	ESTI/ARFD (%)
らっかせい	らっかせい	0.05	0.05	0.1	0
ばれいしょ	ばれいしょ	0.09	○ 0.047	1.1	1
さといも類（やつがしらを含む。）	さといも	0.02	0.02	0.3	0
かんしょ	かんしょ	0.02	0.02	0.5	1
やまいも（長いものをいう。）	やまいも	0.1	0.1	1.4	1
だいこん類（ラディッシュを含む。）の根	だいこんの根	0.05	0.05	1.1	1
はくさい	はくさい	0.01	○ 0.006	0.1	0
キャベツ	キャベツ	0.02	0.02	0.3	0
こまつな	こまつな	0.03	0.03	0.3	0
ブロッコリー	ブロッコリー	0.03	0.03	0.4	0
ごぼう	ごぼう	0.05	0.05	0.3	0
レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）	レタス類	0.1	0.1	1.0	1
たまねぎ	たまねぎ	0.1	0.1	1.8	2
ねぎ（リーキを含む。）	ねぎ	0.1	0.1	0.6	1
にんにく	にんにく	0.1	0.1	0.1	0
にら	にら	0.01	0.01	0.0	0
にんじん	にんじん	0.05	0.05	0.5	1
パセリ	パセリ（生）	0.03	0.03	0.0	0
トマト	トマト	0.5	0.5	13.6	10
ピーマン	ピーマン	0.1	0.1	0.7	1
なす	なす	0.02	0.02	0.3	0
きゅうり（ガーキンを含む。）	きゅうり	0.07	○ 0.033	0.5	1
かぼちゃ（スカッシュを含む。）	かぼちゃ	0.1	0.1	1.6	2
すいか	すいか	0.03	0.03	2.6	3
メロン類果実	メロン	0.02	0.02	0.6	1
ほうれんそう	ほうれんそう	0.09	○ 0.058	0.7	1
しょうが	しょうが	0.1	0.1	0.1	0
未成熟えんどう	未成熟えんどう（さや）	0.05	0.05	0.1	0
	未成熟えんどう（豆）	0.05	0.05	0.1	0
未成熟いんげん	未成熟いんげん	0.02	0.02	0.1	0
えだまめ	えだまめ	0.03	0.03	0.1	0
その他の野菜	もやし	0.05	0.05	0.2	0
	れんこん	0.05	0.05	0.5	1
いちご	いちご	0.02	0.02	0.2	0
はちみつ	はちみつ	0.05	0.05	0.1	0

ESTI：短期推定摂取量（Estimated Short-Term Intake）

ESTI/ARFD(%)の値は、有効数字1桁（値が100を超える場合は有効数字2桁）とし四捨五入して算出した。

○：作物残留試験における最高残留濃度（HR）又は中央値（STMR）を用いて短期摂取量を推計した。

○を付していない食品については、基準値案の値又は暴露評価対象物質の残留濃度から推定される基準値に相当する値を使用した。

(参考)

これまでの経緯

平成17年	11月29日	残留基準告示
平成25年	3月29日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：だいこん（つまみ菜及び間引き菜））
平成25年	6月11日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成27年	3月24日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成28年	11月21日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
平成29年	7月18日	残留農薬基準告示
平成30年	9月11日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：こまつな、にら、しそ）
令和元年	5月22日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
令和元年	8月27日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
令和元年	12月20日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
令和2年	7月14日	残留農薬基準告示
令和5年	5月2日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：らっかせい）
令和5年	11月21日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
令和6年	1月31日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
令和6年	9月19日	食品衛生基準審議会へ諮問
令和6年	9月25日	食品衛生基準審議会農薬・動物用医薬品部会

● 食品衛生基準審議会農薬・動物用医薬品部会

[委員]

◎ 穂山	浩	星薬科大学薬学部教授
大山	和俊	一般財団法人残留農薬研究所業務執行理事・化学部長
○ 折戸	謙介	学校法人麻布獣医学園理事（兼）麻布大学獣医学部教授
加藤	くみ子	北里大学薬学部教授
神田	真軌	東京都健康安全研究センター食品化学部副参事研究員
近藤	麻子	日本生活協同組合連合会組織推進本部長
佐藤	洋	岩手大学農学部教授
佐野	元彦	東京海洋大学学術研究院海洋生物資源学部門教授
須恵	雅之	東京農業大学応用生物科学部教授
瀧本	秀美	国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所理事
田口	貴章	国立医薬品食品衛生研究所食品部第一室長
堤	智昭	国立医薬品食品衛生研究所食品部長
中島	美紀	金沢大学ナノ生命科学研究所教授
野田	隆志	一般社団法人日本植物防疫協会技術顧問

(◎：部会長、○：部会長代理)

答申（案）

ダゾメット、メタム及びメチルイソチオシアネートについては、以下のとおり食品中の農薬の残留基準を設定することが適当である。

ダゾメット、メタム及びメチルイソチオシアネート

今回残留基準を設定する「ダゾメット、メタム及びメチルイソチオシアネート」の規制対象は、メチルイソチオシアネートのみとする。

食品名	残留基準値 ppm
らっかせい	0.05
ばれいしょ	0.09
さといも類（やつがしらを含む。）	0.02
かんしょ	0.02
やまいも（長いものをいう。）	0.1
こんにゃくいも	0.05
てんさい	0.02
だいこん類（ラディッシュを含む。）の根	0.05
だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉	0.2
かぶ類の根	0.02
かぶ類の葉	0.02
はくさい	0.01
キャベツ	0.02
ケール	0.03
こまつな	0.03
きょうな	0.3
チンゲンサイ	0.1
カリフラワー	0.01
ブロッコリー	0.03
その他のあぶらな科野菜 ^{注1)}	0.2
ごぼう	0.05
しゅんぎく	0.05
レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）	0.1
その他のきく科野菜 ^{注2)}	0.1
たまねぎ	0.1
ねぎ（リーキを含む。）	0.1
にんにく	0.1
にら	0.01
わけぎ	0.1
その他のゆり科野菜 ^{注3)}	0.1

食品名	残留基準値 ppm
にんじん	0.05
パセリ	0.03
セロリ	0.01
みつば	0.1
その他のせり科野菜 ^{注4)}	0.2
トマト	0.5
ピーマン	0.1
なす	0.02
その他のなす科野菜 ^{注5)}	0.02
きゅうり（ガーキンを含む。）	0.07
かぼちゃ（スカッシュを含む。）	0.1
すいか	0.03
メロン類果実	0.02
その他のうり科野菜 ^{注6)}	0.1
ほうれんそう	0.09
しょうが	0.1
未成熟えんどう	0.05
未成熟いんげん	0.02
えだまめ	0.03
その他の野菜 ^{注7)}	0.05
いちご	0.02
その他のハーブ ^{注8)}	0.2
はちみつ	0.05

注1) 「その他のあぶらな科野菜」とは、あぶらな科野菜のうち、だいこん類（ラディッシュを含む。）の根、だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉、かぶ類の根、かぶ類の葉、西洋わさび、クレソン、はくさい、キャベツ、芽キャベツ、ケール、こまつな、きょうな、チンゲンサイ、カリフラワー、ブロッコリー及びハーブ以外のものをいう。

注2) 「その他のきく科野菜」とは、きく科野菜のうち、ごぼう、サルシフィー、アーティチョーク、チコリ、エンダイブ、しゅんぎく、レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）及びハーブ以外のものをいう。

注3) 「その他のゆり科野菜」とは、ゆり科野菜のうち、たまねぎ、ねぎ（リーキを含む。）、にんにく、にら、アスパラガス、わけぎ及びハーブ以外のものをいう。

注4) 「その他のせり科野菜」とは、せり科野菜のうち、にんじん、パースニップ、パセリ、セロリ、みつば、スパイス及びハーブ以外のものをいう。

注5) 「その他のなす科野菜」とは、なす科野菜のうち、トマト、ピーマン及びなす以外のものをいう。

注6) 「その他のうり科野菜」とは、うり科野菜のうち、きゅうり（ガーキンを含む。）、かぼちゃ（スカッシュを含む。）、しろうり、すいか、メロン類果実及びまくわうり以外のものをいう。

注7) 「その他の野菜」とは、野菜のうち、いも類、てんさい、さとうきび、あぶらな科野菜、きく科野菜、ゆり科野菜、せり科野菜、なす科野菜、うり科野菜、ほうれんそう、たけのこ、オクラ、しょうが、未成熟えんどう、未成熟いんげん、えだまめ、きのこ類、スパイス及びハーブ以外のものをいう。

注8) 「その他のハーブ」とは、ハーブのうち、クレソン、にら、パセリの茎、パセリの葉、セロリの茎及びセロリの葉以外のものをいう。

フルチアニル

今般の残留基準の検討については、関連企業から「国外で使用される農薬等に係る残留基準の設定及び改正に関する指針について」に基づく残留基準の設定要請がなされたことに伴い、農薬・動物用医薬品部会（以下、「本部会」という。）において審議を行い、以下の報告を取りまとめるものである。

なお、今般の基準値設定依頼に当たって、毒性や代謝に関する新たな知見の提出がなく、既存の食品健康影響評価の結果に影響はないと考えられることから、本部会での審議後に食品安全委員会に対して食品健康影響評価の要請を行うこととしている。

1. 概要

（１）品目名：フルチアニル[Flutianil (ISO)]

（２）分 類：農薬

（３）用 途：殺菌剤

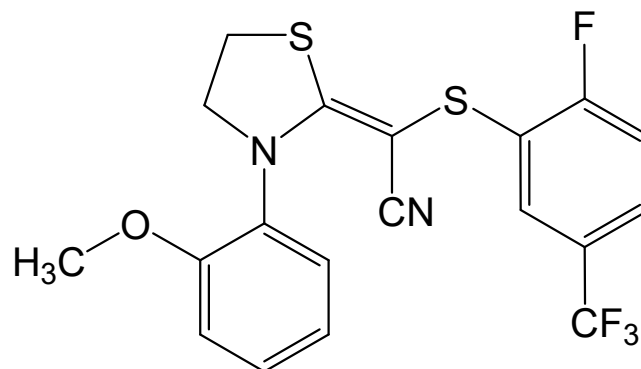
チアゾリジン環にシアノメチレン基を有する殺菌剤である。既存剤に対する耐性菌株又は低感受性菌株に対しても有効であり、形態学的観察により、菌の感染防御方法は既存剤と異なることから、新規の作用機序を有すると考えられている。

（４）化学名及びCAS番号

(2*Z*)-2-{{[2-Fluoro-5-(trifluoromethyl)phenyl]thio}-2-[3-(2-methoxyphenyl)thiazolidin-2-ylidene]acetonitrile (IUPAC)

Acetonitrile, 2-[[2-fluoro-5-(trifluoromethyl)phenyl]thio]-2-[3-(2-methoxyphenyl)-2-thiazolidinylidene]-, (2*Z*)- (CAS : No. 958647-10-4)

（５）構造式及び物性



分 子 式 $C_{19}H_{14}F_4N_2OS_2$
 分 子 量 426.45
 水溶解度 7.9×10^{-6} g/L (20℃)
 分配係数 $\log_{10}Pow = 2.9$

2. 適用の範囲及び使用方法

本剤の適用の範囲及び使用方法は以下のとおり。

(1) 国内での使用方法

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数	使用時期	散布（使用） 液量（目安）	使用回数	フルチアニルを含む農薬の総使用回数
パセリ	5.0% EC	散布	5000倍	収穫3日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
	1.8% SC 配合剤1	散布	2000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	
トマト	5.0% EC	散布	5000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
	2.0% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	
	1.8% SC 配合剤1	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	
ミニトマト	5.0% EC	散布	5000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
	2.0% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	
	1.8% SC 配合剤1	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	
ピーマン	5.0% EC	散布	5000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
	1.8% SC 配合剤1	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	
きゅうり	5.0% EC	散布	5000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
	2.0% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	
	1.8% SC 配合剤1	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	
	0.80% SC 配合剤2	散布	1000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	

EC：乳剤、SC：フロアブル

配合剤 1：20.0%メパニピリム、配合剤 2：40.0%TPN

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数	使用時期	散布（使用） 液量（目安）	使用回数	フルチアニルを含む農薬の総使用回数
なす	5.0% EC	散布	5000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
	2.0% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	
	1.8% SC 配合剤1	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	
		常温煙霧	66倍	収穫前日まで	10 L/10 a	2回以内	
	0.80% SC 配合剤2	散布	1000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	
かぼちゃ	5.0% EC	散布	5000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
	2.0% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	
	1.8% SC 配合剤1	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	
		無人航空機 による散布	32倍	収穫前日まで	1.6 L/10 a	2回以内	
ズッキーニ	5.0% EC	散布	5000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
すいか	5.0% EC	散布	5000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
	2.0% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	
	1.8% SC 配合剤1	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	
メロン	5.0% EC	散布	5000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
	2.0% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	
	1.8% SC 配合剤1	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	
にがうり	5.0% EC	散布	5000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
実えんどう	5.0% EC	散布	5000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
食用かえで （葉）	5.0% EC	散布	5000倍	収穫14日前 まで	200～700 L/10 a	2回以内	2回以内

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数	使用時期	散布（使用） 液量（目安）	使用回数	フルチアニルを含む農薬の総使用回数
いちご	5.0% EC	散布	5000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
	2.0% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	
	1.8% SC 配合剤1	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	

(2) 海外での使用方法

ホップに係る残留基準の設定について今回インポートトレランス申請がなされており、今回申請に係る作物を四角囲いしている。

① 米国

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	散布液量 (目安)	使用回数
ホップ	4.7% EC	茎葉散布	5.5～12.8 fl oz/acre (0.017～0.04 lb ai/acre)	収穫7日前 まで	0.16 lb ai/acre	4回以内

lb: ポンド (1 lb = 0.45359237 kg)

ai: active ingredient (有効成分)

fl oz: 液量オンス (米液量オンス 1 fl oz = 0.0000295735 m³)

acre: エーカー (1 acre = 約4,047 m²)

3. 代謝試験

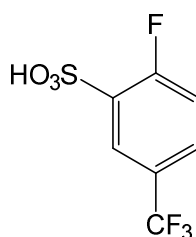
(1) 植物代謝試験

植物代謝試験が、レタス、きゅうり、りんご及びぶどうで実施されており、可食部の主要残留物はフルチアニルで、10%TRR^{注)} 以上認められた代謝物はなかった。

注) %TRR: 総放射性残留物 (TRR: Total Radioactive Residues) 濃度に対する比率 (%)

【代謝物略称一覧】

略称	JMPR評価書の 略称	化学名
L	OC 56635	2-フルオロ-5-(トリフルオロメチル)ベンゼンスルホン酸



代謝物L

注) 残留試験の分析対象となっている代謝物について構造式を明記した。

4. 作物残留試験

(1) 分析の概要

【国内】

① 分析対象物質

- ・フルチアニル
- ・代謝物L

② 分析法の概要

i) フルチアニル

試料からメタノール・水・塩酸 (500 : 500 : 1) 混液で抽出し、オクタデシルシリル化シリカゲル (C₁₈) カラムを用いて精製した後、液体クロマトグラフ・質量分析計 (LC-MS) 又は液体クロマトグラフ・タンデム型質量分析計 (LC-MS/MS) で定量する。

または、試料からアセトニトリルで抽出し、多孔性ケイソウ土カラム、C₁₈カラム若しくは多孔性ケイソウ土カラム及びグラファイトカーボンカラムを用いて精製した後、アルカリ熱イオン化検出器付きガスクロマトグラフ (GC-FTD) 又はLC-MS/MSで定量する。

または、試料からアセトニトリルで抽出し、*n*-ヘキサンに転溶する。アミノプロピルシリル化シリカゲル (NH₂) カラムを用いて精製した後、LC-MSで定量する。

または、試料からアセトニトリルで抽出し、C₁₈カラム及びグラファイトカーボン/エチレンジアミン-*N*-プロピルシリル化シリカゲル (PSA) 積層カラムを用いて精製した後、LC-MSで定量する。

あるいは、試料からアセトンで抽出し、多孔性ケイソウ土カラム、グラファイトカーボンカラム及びシリカゲルカラムを用いて精製した後、GC-FTDで定量する。

定量限界 : 0.0025~0.02 mg/kg

ii) 代謝物L

試料からメタノール・水・塩酸（500：500：1）混液又はアセトニトリルで抽出し、スチレンジビニルベンゼン共重合体カラム及び陽イオン交換カラム若しくは多孔性ケイソウ土カラム及びシリカゲルカラムを用いて精製した後、LC-MSで定量する。

定量限界：0.01 mg/kg

【海外】

① 分析対象物質

・フルチアニル

② 分析法の概要

試料からアセトニトリル・水（4：1）混液で抽出し、*n*-ヘキサンに転溶する。シリカゲル/グラファイトカーボン連結カラムを用いて精製した後、ガスクロマトグラフ・質量分析計（GC-MS）で定量する。

定量限界：0.01 mg/kg

（2）作物残留試験結果

国内作物残留試験については、メロン（果実）の試験成績を追加した。試験成績の概要を別紙1-1に示す。

海外作物残留試験については、ホップの試験成績を追加した。試験成績の概要を別紙1-2に示す。

5. ADI及びARfDの評価

食品安全基本法（平成15年法律第48号）第24条第1項第1号の規定に基づき、食品安全委員会あて意見を求めたフルチアニルに係る食品健康影響評価において、以下のとおり評価されている。

（1）ADI

無毒性量：249 mg/kg 体重/day（発がん性は認められなかった。）

（動物種） ラット

（投与方法） 混餌

（試験の種類） 慢性毒性/発がん性併合試験

（期間） 2年間

安全係数：100

ADI：2.4 mg/kg 体重/day

(2) ARfD 設定の必要なし

フルチアニルの単回経口投与等により生ずる可能性のある毒性影響は認められなかったことから、急性参照用量（ARfD）は設定する必要がないと判断した。

6. 諸外国における状況

JMPRにおける毒性評価が行われ、2021年にADIが設定され、ARfDは設定の必要なしと評価されている。国際基準はりんご、おうとう等に設定されている。

米国、カナダ、EU、豪州及びニュージーランドについて調査した結果、米国においてりんご、ぶどう等に、EUにおいてぶどう、かぼちゃ等に、カナダにおいてりんご、きゅうり等に基準値が設定されている。

7. 残留規制

(1) 残留の規制対象

フルチアニルのみとする。

一部の作物残留試験において、代謝物Lの分析が行われているが、残留濃度は親化合物よりも低く定量限界未満であった。植物代謝試験では可食部においてフルチアニルが主要残留物として認められ、代謝物Lは10%TRR未満であることから、残留の規制対象には代謝物Lを含めず、フルチアニルのみとする。

(2) 基準値案

別紙2のとおりである。

8. 暴露評価

(1) 暴露評価対象

フルチアニルのみとする。

一部の作物残留試験において、代謝物Lの分析が行われているが、残留濃度は親化合物よりも低く定量限界未満であった。植物代謝試験では可食部においてフルチアニルが主要残留物として認められ、代謝物Lは10%TRR未満であることから、暴露評価対象には代謝物Lを含めず、フルチアニルのみとする。

なお、食品安全委員会は、食品健康影響評価において、農産物中の暴露評価対象物質をフルチアニル（親化合物のみ）としている。

(2) 暴露評価結果

① 長期暴露評価

1日当たり摂取する農薬の量のADIに対する比は、以下のとおりである。詳細な暴露

評価は別紙3参照。

	EDI／ADI (%) ^{注)}
国民全体（1歳以上）	0.1
幼小児（1～6歳）	0.1
妊婦	0.0
高齢者（65歳以上）	0.1

注) 各食品の平均摂取量は、平成17～19年度の食品摂取頻度・摂取量調査の特別集計業務報告書による。

EDI試算法：作物残留試験成績の中央値（STMR）等×各食品の平均摂取量

フルチアニルの作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度 (mg/kg) 注) 【フルチアニル/代謝物L】	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
パセリ (可食部)	2	5.0% EC	5000倍散布 300 L/10 a	2	3, 7, 14	圃場A : 1.86/- 圃場B : 2.68/-	◎
ミニトマト (果実)	2	5.0% EC	5000倍散布 222, 250 L/10 a	2	1, 3, 7, 21	圃場A : 0.07/- 圃場B : 0.03/-	◎
	2	2.0% SC	2000倍散布 252, 281 L/10 a		1, 3, 7, 14	圃場A : 0.04/- 圃場B : 0.04/-	◎
ピーマン (果実)	3	5.0% EC	5000倍散布 174~222 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A : 0.06/- 圃場B : 0.04/- 圃場C : 0.08/-	◎
	3	2.0% SC	2000倍散布 171~280 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A : 0.12/- 圃場B : 0.14/- 圃場C : 0.10/- (2回, 3日)	◎
なす (果実)	2	5.0% EC	5000倍散布 300 L/10 a	2	1, 7, 14	圃場A : 0.046/<0.01 圃場B : 0.028/<0.01	◎
	2	2.0% SC	1000倍散布 282, 283 L/10 a 2000倍散布 282, 283 L/10 a	2	1, 3, 7, 14 1, 3, 7, 14	圃場A : 0.045/- (#) 圃場B : 0.095/- (#) 圃場A : 0.025/- 圃場B : 0.025/-	◎
きゅうり (果実)	2	5.0% EC	5000倍散布 300 L/10 a	2	1, 7, 14	圃場A : 0.036/<0.01 圃場B : 0.014/<0.01	◎
	2	2.0% SC	1000倍散布 201~248 L/10 a 2000倍散布 201~248 L/10 a	2	1, 3, 7, 14 1, 3, 7, 14	圃場A : 0.055/- (#) 圃場B : 0.04/- (#) 圃場A : 0.02/- 圃場B : 0.025/-	◎
かぼちゃ (果実)	2	5.0% EC	5000倍散布 300 L/10 a	2	1, 7, 14	圃場A : 0.0075/<0.01 圃場B : 0.008/<0.01	◎
	2	2.0% SC	1000倍散布 200, 281 L/10 a 2000倍散布 200, 281 L/10 a	2	1, 3, 7, 14 1, 3, 7, 14	圃場A : 0.015/- (#) 圃場B : 0.04/- (#) 圃場A : 0.01/- 圃場B : 0.025/- (2回, 3日)	◎
ズッキーニ (果実)	2	5.0% EC	5000倍散布 250 L/10 a	2	1, 3, 7, 14	圃場A : 0.006/- 圃場B : 0.013/-	
すいか (果肉)	2	5.0% EC	5000倍散布 300 L/10 a	2	1, 7, 14	圃場A : <0.0075(\$)/<0.01 圃場B : <0.0075(\$)/<0.01	◎
	2	2.0% SC	1000倍散布 283, 300 L/10 a 2000倍散布 283, 300 L/10 a	2	1, 3, 7 1, 3, 7	圃場A : <0.01/- (#) 圃場B : <0.01/- (#) 圃場A : <0.01/- 圃場B : <0.01/-	◎
メロン (果肉)	2	5.0% EC	5000倍散布 300 L/10 a	2	1, 7, 14	圃場A : <0.0075(\$)/<0.01 圃場B : <0.0075(\$)/<0.01	
	2	2.0% SC	1000倍散布 250, 274 L/10 a 2000倍散布 250, 274 L/10 a	2	1, 3, 7 1, 3, 7	圃場A : <0.01/- (#) 圃場B : <0.01/- (#) 圃場A : <0.01/- 圃場B : <0.01/-	
メロン (果実)	3	5.0% EC	5000倍散布 260~289 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A : <0.01/- 圃場B : 0.04/- 圃場C : 0.02/-	◎
にがうり (果実)	2	5.0% EC	5000倍散布 282, 251 L/10 a	2	1, 3, 7, 14	圃場A : 0.04/- 圃場B : 0.02/-	◎
さやえんどう (さや)	2	5.0% EC	5000倍散布 187~193 L/10 a	2	1, 3, 7, 14	圃場A : 0.15/- 圃場B : 0.05/-	◎
食用かえで (葉、葉柄、枝)	2	5.0% EC	5000倍散布 300 L/10 a	2	14, 21, 30	圃場A : 4.54/- 圃場B : 5.76/-	◎
いちご (果実)	2	5.0% EC	5000倍散布 200 L/10 a	2	1, 7, 21	圃場A : 0.086/<0.01 圃場B : 0.129/<0.01	◎
	2	2.0% SC	1000倍散布 195, 200 L/10 a	2	1, 3, 7, 14	圃場A : 0.22/- (#) 圃場B : 0.14/- (#)	
	2	2.0% SC	2000倍散布 195, 200 L/10 a	2	1, 3, 7, 14	圃場A : 0.07/- 圃場B : 0.065/-	◎

EC : 乳剤、 SC : フロアブル

- : 分析せず

(\$)同一圃場から採取された1つのサンプルを2つの分析機関に分けて測定されており、結果を平均値として示したため、実際の定量限界とは異なる。

(#)印で示した作物残留試験成績は、登録又は申請された適用の範囲内で行われていないことを示す。また、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。

今回、新たに提出された作物残留試験成績に網掛けで示した。

基準値の設定根拠及び暴露評価に使用されているものに◎で示した。

注) 当該農薬の登録又は申請された適用の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留濃度の最大値を示した。

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留濃度が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留濃度が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について（ ）内に記載した。

(別紙1-2)

フルチアニルの作物残留試験一覧表（米国）

農作物	試験圃 場数	試験条件				残留濃度 (mg/kg)	設定の 根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
ホップ	3	5.0% EC	0.039～0.043 lb ai/acre散布	4	6	圃場A : 0.67	◎
					6	圃場B : 0.65	
					8	圃場C : 0.35	

EC：乳剤

今回、新たに提出された作物残留試験成績に網掛けで示した。

基準値の設定根拠及び暴露評価に使用されているものに◎で示した。

食品名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	国/地域 基準値 ppm	
パセリ	5	5	○			1.86,2.68(¥)
トマト	0.1	0.2	○			0.03～0.07(n=4)(ミニトマト)
ピーマン	0.3	0.3	○			0.04～0.14((n=6)
なす	0.1	0.1	○			0.025～0.046(n=4)
きゅうり(ガーキンを含む。)	0.08	0.09	○			0.014～0.036(n=4)
かぼちゃ(スカッシュを含む。)	0.05	0.06	○			0.0075～0.025(n=4)
すいか	0.01	0.01	○			<0.0075～<0.01(n=4)
メロン類果実(果皮を含む。)	0.09	0.07	○			<0.01,0.02,0.04
その他のうり科野菜	0.2	0.2	○			0.02,0.04(¥)(にがうり)
未成熟えんどう	0.5	0.5	○			0.05,0.15(¥)(さやえんどう)
その他の野菜	10	10	○			4.54,5.76(¥)(食用かえで)
りんご	0.2	0.2		0.15		
おうとう(チェリーを含む。)	0.4	0.4		0.4		
いちご	0.3	0.3	○			0.065～0.129(n=4)
ぶどう	0.7	0.7		0.7		
ホップ	2		IT		2 米国	【0.35,0.65,0.67(米国)】
はちみつ	0.05	0.05				※

太枠:本基準(暫定基準以外の基準)を見直した基準値

○:既に、国内において登録等がされているもの

IT:海外で設定されている基準値を参照するようインポートトレランス申請されたもの

(¥):基準値設定の根拠とした作物残留試験成績(最大値)

※「食品中の農薬の残留基準設定の基本原則について」(令和元年7月30日農薬・動物用医薬品部会(令和5年3月31日一部改訂))の別添3「はちみつ中の農薬等の基準設定の方法について」に基づき設定。

フルチアニルの推定摂取量 (単位: $\mu\text{g}/\text{人}/\text{day}$)

食品名	基準値案 (ppm)	暴露評価に 用いた数値 (ppm)	国民全体 (1歳以上) EDI	幼小児 (1～6歳) EDI	妊婦 EDI	高齢者 (65歳以上) EDI
パセリ	5	2.27	0.2	0.2	0.2	0.5
トマト	0.1	0.04	1.3	0.8	1.3	1.5
ピーマン	0.3	0.09	0.4	0.2	0.7	0.4
なす	0.1	0.027	0.3	0.1	0.3	0.5
きゅうり (ガーキンを含む。)	0.08	0.023	0.5	0.2	0.3	0.6
かぼちゃ (スカッシュを含む。)	0.05	0.009	0.1	0.0	0.1	0.1
すいか	0.01	0.009	0.1	0.0	0.1	0.1
メロン類果実 (果皮を含む。)	0.09	0.02	0.1	0.1	0.1	0.1
その他のうり科野菜	0.2	0.03	0.1	0.0	0.0	0.1
未成熟えんどう	0.5	0.1	0.2	0.1	0.0	0.2
その他の野菜	10	5.15	69.0	32.4	52.0	72.6
りんご	0.2	0.047	1.1	1.5	0.9	1.5
おうとう (チェリーを含む。)	0.4	0.11	0.0	0.1	0.0	0.0
いちご	0.3	0.078	0.4	0.6	0.4	0.5
ぶどう	0.7	0.075	0.7	0.6	1.5	0.7
ホップ	2	0.65	0.1	0.1	0.1	0.1
はちみつ	0.05	● 0.05	0.0	0.0	0.1	0.1
計			74.6	37.0	58.1	79.5
ADI比 (%)			0.1	0.1	0.0	0.1

EDI: 推定一日摂取量 (Estimated Daily Intake)

EDI試算法: 作物残留試験成績の中央値 (STMR) 等×各食品の平均摂取量

●: 個別の作物残留試験がないことから、暴露評価を行うにあたり基準値 (案) の数値を用いた。

(参考)

これまでの経緯

平成22年	7月14日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（新規：きゅうり、なす等）
平成22年	8月11日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成24年	1月26日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成24年	3月19日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
平成25年	2月1日	残留農薬基準告示
平成28年	7月1日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：ミニトマト、かぼちゃ等）
平成28年11月	14日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成29年	4月18日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成29年	8月2日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
平成30年	3月30日	残留農薬基準告示
平成30年	7月13日	インポートトレランス申請（りんご、ぶどう等）
平成31年	1月23日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成31年	4月16日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
令和元年	7月30日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
令和2年	3月31日	残留農薬基準告示
令和元年	7月22日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：パセリ、ピーマン等）
令和2年12月	14日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
令和3年	3月16日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
令和3年	9月7日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
令和4年	3月17日	残留農薬基準告示

令和	3年	5月25日	薬事・食品衛生審議会へ諮問（基本原則の一部改訂に伴う残留基準設定）
令和	3年	6月16日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
令和	3年	6月22日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
令和	3年	7月7日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
令和	3年12月17日		残留農薬基準告示
令和	6年	1月24日	インポートトレランス申請（ホップ）
令和	6年	9月19日	食品衛生基準審議会へ諮問
令和	6年	9月25日	食品衛生基準審議会農薬・動物用医薬品部会

● 薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会

[委員]

◎ 穂山	浩	星薬科大学薬学部教授
大山	和俊	一般財団法人残留農薬研究所業務執行理事・化学部長
○ 折戸	謙介	学校法人麻布獣医学園理事（兼）麻布大学獣医学部教授
加藤	くみ子	北里大学薬学部教授
神田	真軌	東京都健康安全研究センター食品化学部副参事研究員
近藤	麻子	日本生活協同組合連合会組織推進本部長
佐藤	洋	岩手大学農学部教授
佐野	元彦	東京海洋大学学術研究院海洋生物資源学部門教授
須恵	雅之	東京農業大学応用生物科学部教授
瀧本	秀美	国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所理事
田口	貴章	国立医薬品食品衛生研究所食品部第一室長
堤	智昭	国立医薬品食品衛生研究所食品部長
中島	美紀	金沢大学ナノ生命科学研究所
野田	隆志	一般社団法人日本植物防疫協会信頼性保証室付技術顧問

(◎：部会長、○：部会長代理)

答申（案）

フルチアニルについては、以下のとおり食品中の農薬の残留基準を設定することが適當である。

フルチアニル

今回残留基準を設定する「フルチアニル」の規制対象は、フルチアニルのみとする。

食品名	残留基準値 ppm
パセリ	5
トマト	0.1
ピーマン	0.3
なす	0.1
きゅうり（ガーキンを含む。）	0.08
かぼちゃ（スカッシュを含む。）	0.05
すいか	0.01
メロン類果実（果皮を含む。）	0.09
その他のうり科野菜 ^{注1)}	0.2
未成熟えんどう	0.5
その他の野菜 ^{注2)}	10
りんご	0.2
おうとう（チェリーを含む。）	0.4
いちご	0.3
ぶどう	0.7
ホップ	2
はちみつ	0.05

注1) 「その他のうり科野菜」とは、うり科野菜のうち、きゅうり（ガーキンを含む。）、かぼちゃ（スカッシュを含む。）、しろうり、すいか、メロン類果実及びまくわうり以外のものをいう。

注2) 「その他の野菜」とは、野菜のうち、いも類、てんさい、さとうきび、あぶらな科野菜、きく科野菜、ゆり科野菜、せり科野菜、なす科野菜、うり科野菜、ほうれんそう、たけのこ、オクラ、しょうが、未成熟えんどう、未成熟いんげん、えだまめ、きのこ類、スパイス及びハーブ以外のものをいう。

ホスチアゼート

今般の残留基準の検討については、農薬取締法（昭和23年法律第82号）に基づく適用拡大申請に伴う基準値設定依頼が農林水産省からなされたことに伴い、食品安全委員会において厚生労働大臣からの依頼に伴う食品健康影響評価がなされたことを踏まえ、農薬・動物用医薬品部会において審議を行い、以下の報告を取りまとめるものである。

1. 概要

(1) 品目名：ホスチアゼート [Fosthiazate (ISO)]

(2) 分類：農薬

(3) 用途：殺虫剤

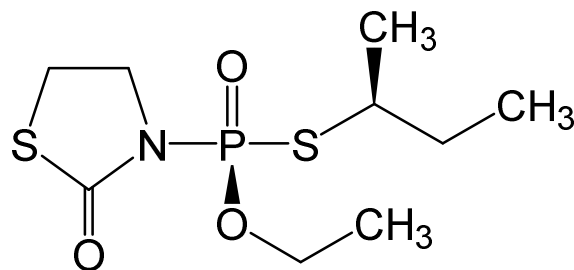
有機リン酸アミド系殺虫剤である。標的生物の神経系アセチルコリンエステラーゼ活性を阻害することにより、運動性の麻痺や行動異常が生じ、殺虫効果を示すと考えられている。

(4) 化学名及びCAS番号

S-[(*RS*)-*sec*-Butyl] *O*-ethyl (*RS*)-(2-oxothiazolidin-3-yl)phosphonothioate
(IUPAC)

Phosphonothioic acid, *P*-(2-oxo-3-thiazolidinyl)-, *O*-ethyl *S*-(1-methylpropyl) ester (CAS : No. 98886-44-3)

(5) 構造式及び物性



(*sec*-butyl基の2位の炭素及びリンに係る立体異性体が4種存在する。存在比は1:1:1:1)

分子式	$C_9H_{18}NO_3PS_2$
分子量	283.35
水溶解度	$1.042 \times 10 \text{ g/L (20}^\circ\text{C)}$
分配係数	$\log_{10}Pow = 1.68$

2. 適用の範囲及び使用方法

本剤の適用の範囲及び使用方法は以下のとおり。

(1) 国内での使用方法

今般の基準値設定依頼に当たって、農薬取締法に基づく適用拡大申請がなされている項目を四角囲いしている。

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数 又は 使用量	使用時期	散布 液量 (目安)*	使用 回数	ホスチアゼート を含む農薬の 総使用回数
あずき	1.5% GR	全面土壌 混和	20 kg/10 a	は種前	—	1回	1回
	1.0% GR	全面土壌 混和	30 kg/10 a	は種前	—	1回	
ばれいしょ	30.0% SL	全面散布 土壌混和	100倍	植付前	100 L/10 a	1回	1回
	1.5% GR	全面土壌 混和	20～25 kg/10 a	植付前	—	1回	
			20 kg/10 a				
	1.0% GR	全面土壌 混和	30～40 kg/10 a	植付前	—	1回	
さといも	1.5% GR	全面土壌 混和	25 kg/10 a	植付前	—	1回	1回
	1.0% GR	全面土壌 混和	40 kg/10 a	植付前	—	1回	
かんしょ	30.0% SL	全面散布 土壌混和	100倍	植付前	100 L/10 a	1回	2回以内 (苗床は1回 以内、本圃は 1回以内)
	1.5% GR	作条土壌 混和	15～20 kg/10 a	植付前	—	1回	
		全面土壌 混和	10～30 kg/10 a	苗床 植付前			
			10～30 kg/10 a	植付前			
			20～30 kg/10 a				
	1.0% GR	全面土壌 混和	20～40 kg/10 a	植付前	—	1回	
	1.5% GR 配合剤1	全面土壌 混和	20～30 kg/10 a	植付前	—	1回	2回以内 (苗床は1回 以内、本圃は 1回以内)
		作条土壌 混和	20 kg/10 a				

*：茎葉散布

—：規定されていない項目

GR：粒剤

SL：液剤

配合剤1：0.15%クロチアニジン

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数 又は 使用量	使用時期	散布 液量 (目安)*	使用 回数	ホスチアゼート を含む農薬の 総使用回数
やまのいも	1.5% GR	全面土壌 混和	20 kg/10 a	植付前	—	1回	1回
	1.0% GR	全面土壌 混和	30 kg/10 a	植付前	—	1回	
こんにゃく	1.5% GR	全面土壌 混和	25 kg/10 a	植付前	—	1回	1回
だいこん	1.5% GR	全面土壌 混和	15～25 kg/10 a	は種前	—	1回	1回
			15～20 kg/10 a				
	1.0% GR	全面土壌 混和	30～40 kg/10 a	は種前	—	1回	
			30 kg/10 a				
かぶ	30.0% SL	散布	3000倍	収穫21日 前まで	100～300 L/10 a	1回	1回
なばな類	30.0% SL	散布	3000倍	収穫21日 前まで	100～300 L/10 a	1回	1回
キャベツ	1.5% GR	全面土壌 混和	20 kg/10 a	定植前	—	1回	1回
こまつな	30.0% SL	散布	3000倍	収穫30日 前まで	100～300 L/10 a	1回	1回
みずな	30.0% SL	散布	3000倍	収穫45日 前まで	100～300 L/10 a	1回	1回
チンゲンサイ	30.0% SL	散布	3000倍	収穫30日 前まで	100～300 L/10 a	1回	1回
カリフラワー	1.5% GR	全面土壌 混和	20 kg/10 a	定植7日 前まで	—	1回	1回
ブロッコリー	1.5% GR	全面土壌 混和	20 kg/10 a	定植7日 前まで	—	1回	1回
ごぼう	1.5% GR	は種溝 土壌混和	20 kg/10 a	は種前	—	1回	1回
	1.0% GR	全面土壌 混和	40 kg/10 a	は種前	—	1回	
		は種溝 土壌混和	20 kg/10 a				
しゅんぎく	30.0% SL	散布	3000倍	収穫30日 前まで	100～300 L/10 a	1回	1回
非結球レタス	30.0% SL	散布	3000倍	収穫21日 前まで	100～300 L/10 a	1回	1回
レタス	1.5% GR	全面土壌 混和	20 kg/10 a	定植前	—	1回	1回
ねぎ	30.0% SL	散布	3000倍	収穫3日 前まで	100～300 L/10 a	1回	1回

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数 又は 使用量	使用時期	散布 液量 (目安)*	使用 回数	ホスチアゼート を含む農薬の 総使用回数
にんにく	30. 0% SL	土壌灌注	3000倍	収穫60日 前まで	2 L/m ²	1回	3回以内 (植付前の土壌 混和は1回以内、 球根浸漬は1回 以内、土壌灌注 は1回以内)
		30分～ 2時間 球根浸漬	500倍	植付前	—		
		2時間 球根浸漬	1000倍				
	1. 5% GR	全面土壌 混和	25 kg/10 a	植付前	—	1回	
	1. 0% GR	全面土壌 混和	40 kg/10 a	植付前	—	1回	
らっきょう	1. 5% GR	植溝土壌 混和	15 kg/10 a	植付前	—	1回	1回
	1. 0% GR	植溝土壌 混和	15 kg/10 a	植付前	—	1回	
にんじん	1. 5% GR	全面土壌 混和	20 kg/10 a	は種前	—	1回	1回
			15～20 kg/10 a				
	1. 0% GR	全面土壌 混和	20～30 kg/10 a	は種前	—	1回	
			30 kg/10 a				
パセリ	1. 5% GR	全面土壌 混和	20 kg/10 a	定植前	—	1回	1回
みつば	1. 5% GR	全面土壌 混和	20 kg/10 a	は種前	—	1回	1回
トマト	30. 0% SL	土壌灌注	4000倍	収穫前日 まで	2 L/m ²	1回	2回以内 (定植前の土壌 混和は1回以内、 土壌灌注は1回 以内)
	1. 5% GR	全面土壌 混和	15～20 kg/10 a	定植前	—	1回	
	1. 0% GR	全面土壌 混和	20～30 kg/10 a	定植前	—	1回	
ミニトマト	30. 0% SL	土壌灌注	4000倍	収穫前日 まで	2 L/m ²	1回	2回以内 (定植前の土壌 混和は1回以内、 土壌灌注は1回 以内)
	1. 5% GR	全面土壌 混和	15～20 kg/10 a	定植前	—	1回	

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数 又は 使用量	使用時期	散布 液量 (目安)*	使用 回数	ホスチアゼート を含む農薬の 総使用回数
ピーマン	30.0% SL	土壌 灌注	4000倍	生育期 ただし、 収穫前日 まで	2 L/m ²	1回	2回以内 (定植前の土壌 混和は1回以内、 土壌灌注は1回 以内)
	1.5% GR	全面土壌 混和	15～20 kg/10 a	定植前	—	1回	
	1.0% GR	全面土壌 混和	20～30 kg/10 a	定植前	—	1回	
なす	1.5% GR	全面土壌 混和	15～20 kg/10 a	定植前	—	1回	1回
			20 kg/10 a				
	1.0% GR	全面土壌 混和	20～30 kg/10 a	定植前	—	1回	
			30 kg/10 a				
きゅうり	1.5% GR	全面土壌 混和	15～20 kg/10 a	は種前 又は 定植前	—	1回	1回
	1.0% GR	全面土壌 混和	30 kg/10 a	は種前 又は 定植前	—	1回	
			20～30 kg/10 a				
ズッキーニ	1.5% GR	全面土壌 混和	20 kg/10 a	定植前	—	1回	1回
かぼちゃ	1.5% GR	全面土壌 混和	20 kg/10 a	定植前	—	1回	1回
とうがん	1.5% GR	全面土壌 混和	20 kg/10 a	定植前 ただし、 収穫45日 前まで	—	1回	1回
しろうり	1.5% GR	全面土壌 混和	20 kg/10 a	定植前 ただし、 収穫45日 前まで	—	1回	1回
すいか	30.0% SL	土壌灌注	4000倍	収穫14日 前まで	2 L/m ²	1回	2回以内 (定植前の土壌 混和は1回以内、 土壌灌注は1回 以内)
	1.5% GR	全面土壌 混和	15～20 kg/10 a	定植前	—	1回	
	1.0% GR	全面土壌 混和	30 kg/10 a	定植前	—	1回	

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数 又は 使用量	使用時期	散布 液量 (目安)*	使用 回数	ホスチアゼート を含む農薬の 総使用回数
メロン	30.0% SL	土壌灌注	4000倍	収穫28日 前まで	2 L/m ²	1回	2回以内 (定植前の土壌 混和は1回以内、 土壌灌注は1回 以内)
	1.5% GR	全面土壌 混和	15～20 kg/10 a	定植前	—	1回	
	1.0% GR	全面土壌 混和	20～30 kg/10 a	定植前	—	1回	
ズッキーニ (花)	1.5% GR	全面土壌 混和	20 kg/10 a	定植前 ただし、 収穫21日 前まで	—	1回	1回
にがうり	30.0% SL	土壌灌注	4000倍	生育期 ただし、 収穫14日 前まで	2 L/m ²	1回	1回
	1.5% GR	全面土壌 混和	15～20 kg/10 a	は種前 又は 定植前	—	1回	
オクラ	1.5% GR	全面土壌 混和	20 kg/10 a	は種前	—	1回	1回
	1.0% GR	全面土壌 混和	30 kg/10 a	は種前	—	1回	
しょうが	30.0% SL	土壌灌注	4000倍	収穫3日 前まで	2 L/m ²	1回	2回以内 (植付前の土壌 混和は1回以内、 土壌灌注は1回 以内)
	1.5% GR	全面土壌 混和	20 kg/10 a	植付前	—	1回	
葉しょうが	1.5% GR	全面土壌 混和	20 kg/10 a	植付前	—	1回	1回
さやえんどう	1.5% GR	全面土壌 混和	20 kg/10 a	定植前	—	1回	1回
さやいんげん	30.0% SL	散布	3000倍	収穫開始 14日前 まで	100～300 L/10 a	1回	1回
やまのいも (むかご)	1.5% GR	全面土壌 混和	20 kg/10 a	植付前	—	1回	1回

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数 又は 使用量	使用時期	散布 液量 (目安)*	使用 回数	ホスチアゼート を含む農薬の 総使用回数
いちご	1.5% GR	全面土壌 混和	25 kg/10 a	定植前	—	1回	1回
		全面土壌 混和	20～25 kg/10 a				
	1.0% GR	全面土壌 混和	30～40 kg/10 a	定植前	—	1回	
いちじく	1.5% GR	樹冠 下処理	20 kg/10 a	収穫60日 前まで	—	1回	1回
	1.0% GR	樹冠 下処理	30 kg/10 a	収穫60日 前まで	—	1回	
みょうが (花穂) (茎葉)	30.0% SL	30分間 種根茎 浸漬	500倍	定植前	—	1回	2回以内(種根茎 浸漬は1回以内、 定植前の土壌混 和は1回以内)
	1.5% GR	全面土壌 混和	20 kg/10 a	定植前	—	1回	

(2) 海外での使用方法

① EU

作物名	剤型	使用方法	使用時期	1回当たり使用量	使用回数
バナナ	10% GR	土壌処理	収穫3日前まで	20 g/plant	1回

3. 代謝試験

(1) 植物代謝試験

植物代謝試験が、トマト、ばれいしょ、レタス及びももで実施されており、可食部で親化合物の残留が認められ、10%TRR^{注)}以上認められた代謝物は、代謝物B(レタス)、代謝物J(トマト、ばれいしょ及びもも)、代謝物Pのグルコース抱合体(トマト、ばれいしょ及びもも)、代謝物Q(トマト、ばれいしょ及びもも)及び代謝物Z(ばれいしょ)であった。

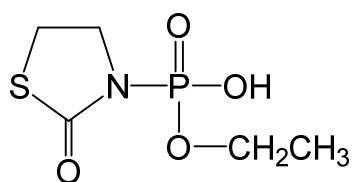
注) %TRR：総放射性残留物 (TRR：Total Radioactive Residues) 濃度に対する比率 (%)

【代謝物略称一覧】

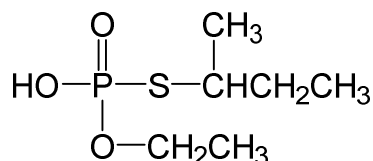
略称	JMPR評価書の略称	化学名
B	—	1, 3-チアゾリジン-2-オン
D	—	<i>O</i> -エチル2-オキソ-1, 3-チアゾリジン-3-イルホスホネート
E	—	(<i>RS</i>)- <i>S</i> - <i>sec</i> -ブチル <i>O</i> -エチルホスホロチオエート
F	—	(<i>RS</i>)- <i>S</i> - <i>sec</i> -ブチル2-オキソ-1, 3-チアゾリジン-3-イルホスホノチオエート
H	—	<i>O</i> -エチル2-オキソ-1, 3-チアゾリジン-3-イルホスホノチオエート
J	—	糖/炭水化物
P	—	3-メチルスルホニル-2-ブタノール
AA ^{注)}	—	<i>sec</i> -ブチルメチルスルホン
Q	—	2-ブタンスルホン酸
Z	—	3-ヒドロキシ-2-ブタンスルホン酸

—：JMPRで評価されていない。

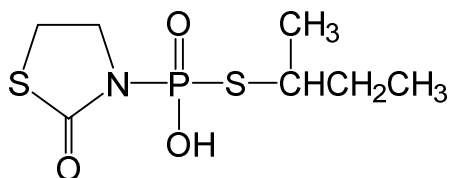
注) 代謝物AAについては、農薬抄録では代謝物MBS₀である。



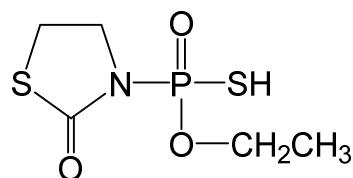
代謝物D



代謝物E



代謝物F



代謝物H

注) 残留試験の分析対象となっている代謝物について構造式を明記した。

4. 作物残留試験

(1) 分析の概要

【国内】

① 分析対象物質

- ・ホスチアゼート
- ・代謝物D
- ・代謝物E
- ・代謝物F
- ・代謝物H

② 分析法の概要

i) ホスチアゼート

試料からアセトンで抽出、または試料にメタノール及び酢酸を加えて抽出する。オクタデシルシリル化シリカゲル (C₁₈) カラム、又はジビニルベンゼン-*N*-ビニルピロリドン共重合体カラム、あるいはグラファイトカーボン・エチレンジアミン-*N*-プロピルシリル化シリカゲル (PSA) 連結カラムを用いて精製した後、液体クロマトグラフ・質量分析計 (LC-MS) 又は液体クロマトグラフ・タンデム型質量分析計 (LC-MS/MS) で定量する。

または、試料からメタノール及び氷酢酸で抽出する。溶媒を留去後、アセトニトリル・水 (1 : 1) 混液を加え、*n*-ヘキサンで洗浄後、ジクロロメタンで抽出する。凝固法で精製し、ジクロロメタンで抽出した後、炎光光度型検出器 (リン用干渉フィルター付き) ガスクロマトグラフ (GC-FPD(P)) で定量する。

または、試料からメタノールで抽出、または試料にメタノール及び酢酸を加えて抽出する。ジクロロメタンに転溶し、シリカゲルカラムを用いて精製した後、GC-FPD(P) で定量する。

あるいは、試料からアセトンで抽出する。多孔性ケイソウ土カラム及びシリカゲルカラム、多孔性ケイソウ土カラム、シリカゲルカラム及びフロリジルカラム、シリカゲルカラム、グラファイトカーボンカラム及びフロリジルカラム又は多孔性ケイソウ土・グラファイトカーボン連結カラム及びシリカゲルカラムを用いて精製した後、GC-FPD(P) で定量する。

定量限界 : 0.001~0.02 mg/kg

ii) 代謝物D、代謝物E、代謝物F及び代謝物H

試料にメタノール及び酢酸を加えて抽出する。グラファイトカーボンカラム又はグラファイトカーボンカラム及びC₁₈カラム又はグラファイトカーボン・PSA連結カラムを用いて精製した後、LC-MS/MSで定量する。

または、試料にメタノール及び酢酸を加えて抽出し、ジクロロメタンで洗浄した後乾固する。ジアゾメタンでメチル化し、ジクロロメタンに転溶した後、GC-FPD(P) で定量する。

または、試料にメタノール及び酢酸を加えて抽出し、スチレンジビニルベンゼン共重合体カラムを用いて精製する。ジアゾメタンでメチル化し、ジクロロメタンに転溶した後、アミノプロピルシリル化シリカゲル (NH₂) カラムを用いて精製し、GC-FPD(P) で定量する。

あるいは、試料にメタノール及び酢酸を加えて抽出し、グラファイトカーボンカラム及びスチレンジビニルベンゼン共重合体カラムを用いて精製する。ジアゾメタンでメチル化し、ジクロロメタンに転溶する。C₁₈カラムを用いて精製し、ジクロロメタンに転溶した後、PSAカラム又はNH₂カラムを用いて精製し、GC-FPD(P) で定量す

る。

なお、代謝物D、代謝物E、代謝物F及び代謝物Hの分析値は、それぞれ換算係数1.34、1.43、1.11及び1.25を用いてホスチアゼート濃度に換算した値として示した。

定量限界：代謝物D 0.003～0.01 mg/kg（ホスチアゼート換算濃度）

代謝物E 0.003～0.01 mg/kg（ホスチアゼート換算濃度）

代謝物F 0.002～0.01 mg/kg（ホスチアゼート換算濃度）

代謝物H 0.002～0.01 mg/kg（ホスチアゼート換算濃度）

【海外】

① 分析対象物質

・ホスチアゼート

② 分析法の概要

試料にメタノール及び酢酸を加えて抽出し、ジクロロメタンに転溶する。フロリジルカラムを用いて精製した後、ガスクロマトグラフ・質量分析計（GC-MS）で定量する。

または、試料からアセトン・水（7：3）混液で抽出する。多孔性ケイソウ土カラムを用いて精製した後、GC-MSで定量する。

あるいは、試料からシュウ酸・メタノール溶液で抽出する。ジクロロメタンに転溶し、シリカゲルカラムを用いて精製した後、GC-FPD(P)で定量する。

定量限界：0.01 mg/kg

（2）作物残留試験結果

国内作物残留試験については、キャベツ及び結球レタスの試験成績を追加した。試験成績の概要を別紙1-1に示す。

海外作物残留試験成績の概要については別紙1-2を参照。

5. ADI及びARfDの評価

食品安全基本法（平成15年法律第48号）第24条第1項第1号の規定に基づき、食品安全委員会あて意見を求めたホスチアゼートに係る食品健康影響評価において、以下のとおり評価されている。

（1）ADI

無毒性量：0.205 mg/kg 体重/day

（動物種） ラット

（投与方法） 混餌

（試験の種類） AChE^{注1} 活性阻害検討試験

(期間) 104週間
安全係数：100
ADI：0.002 mg/kg 体重/day

(2) ARfD

① 国民全体の集団

無毒性量：0.7 mg/kg 体重
(動物種) ラット
(投与方法) 強制経口
(試験の種類) ChE^{注2)}活性阻害に対する日齢別感受性検討試験
安全係数：100
ARfD：0.007 mg/kg 体重

② 妊婦又は妊娠している可能性のある女性

無毒性量：0.205 mg/kg 体重/day
(動物種) ラット
(投与方法) 混餌
(試験の種類) AChE活性阻害検討試験
(投与期間) 104週間
安全係数：100
ARfD：0.002 mg/kg 体重

注1) AChE：アセチルコリンエステラーゼ

注2) ChE：コリンエステラーゼ

6. 諸外国における状況

JMPRにおける毒性評価はなされておらず、国際基準も設定されていない。

米国、カナダ、EU、豪州及びニュージーランドについて調査した結果、米国においてトマト、EUにおいてバナナに基準値が設定されている。

7. 残留規制

(1) 残留の規制対象

ホスチアゼートのみとする。

植物代謝試験の可食部において、親化合物の残留が認められる。ばれいしょの根茎において、土壌処理では親化合物の残留がわずかであったが、実際の作物残留試験においては、ばれいしょ、やまのいも、だいこん及びにんじんで親化合物の残留が認められる。

一方、可食部で10%TRR以上認められた代謝物B、代謝物J、代謝物Pのグルコース抱合体、代謝物Q及び代謝物Zに関して、代謝物Bはホスチアゼートより残留濃度が低く、代

代謝物J、代謝物Pのグルコース抱合体、代謝物Q及び代謝物Zは、残留が極めて少ないとされる使用条件である散布後10週以上経過した後に認められる代謝物であり、指標としての重要性は低いものと考えられることから、ホスチアゼートの使用状況を確認するためには、残留の指標としては親化合物のみで十分と考え、残留の規制対象はホスチアゼートとする。

(2) 基準値案

別紙2のとおりである。

8. 暴露評価

(1) 暴露評価対象

ホスチアゼートのみとする。

植物代謝試験の結果、可食部で10%TRR以上認められた代謝物は、代謝物B、代謝物J、代謝物Pのグルコース抱合体、代謝物Q及び代謝物Zであった。食品安全委員会の食品健康影響評価においては、代謝物B及び代謝物Qの急性経口毒性はホスチアゼートに比べて同程度又は弱く、代謝物Qのラットを用いた28日間亜急性毒性試験ではいずれの投与群でも毒性影響は認められなかった。代謝物Jは、糖/炭水化物であり、代謝物Zは代謝物Qの水酸化体であり高極性の物質と考えられ、暴露評価対象とはしていない。また、代謝物Pのグルコース抱合体において、親化合物より毒性が強いとは示されておらず、暴露評価の対象外とされている。代謝物AA(代謝物MBSO)では、急性経口毒性試験の結果でLD₅₀(mg/kg 体重)>2000と示されており、代謝物AAの水酸化体である代謝物Pは、高極性の物質と考えられることから、いずれも動物の体内から速やかに排泄されるものと考えられる。これらの代謝物は有機リン化合物ではないことも鑑み、暴露評価対象はホスチアゼートのみとする。

なお、食品安全委員会は、食品健康影響評価において、農産物中の暴露評価対象物質をホスチアゼート（親化合物のみ）としている。

(2) 暴露評価結果

① 長期暴露評価

1日当たり摂取する農薬の量のADIに対する比は、以下のとおりである。詳細な暴露評価は別紙3参照。

	EDI／ADI (%) ^{注)}
国民全体（1歳以上）	4.8
幼小児（1～6歳）	8.0
妊婦	4.6
高齢者（65歳以上）	5.9

注) 各食品の平均摂取量は、平成17～19年度の食品摂取頻度・摂取量調査の特別集計業務報告書による。

EDI試算法：作物残留試験成績の中央値（STMR）×各食品の平均摂取量

② 短期（1日経口）暴露評価

各食品の短期推定摂取量（ESTI）を算出したところ、国民全体（1歳以上）、幼小児（1～6歳）及び妊婦又は妊娠している可能性のある女性（14～50歳）のそれぞれにおける摂取量は急性参照用量（ARfD）を超えていない^{注)}。詳細な暴露評価は別紙4-1、4-2及び4-3参照。

注) 基準値案、作物残留試験における最高残留濃度（HR）又は中央値（STMR）を用い、平成17～19年度の食品摂取頻度・摂取量調査及び平成22年度の厚生労働科学研究の結果に基づきESTIを算出した。

ホスチアゼートの作物残留試験一覧表（国内）

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度 (mg/kg) ^{注1)} 【ホスチアゼート/代謝物D/代謝物E/代謝物F/代謝物H】	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
あずき (乾燥子実)	7	1.0% GR	30 kg/10 a 全面土壌混和	1	122	圃場A:0.004/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003	◎
					124	圃場B:0.003/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003	
					119	圃場C:<0.001/<0.005/<0.005/<0.005/<0.005	
					123	圃場D:0.001/<0.005/<0.005/<0.005/<0.005	
					135	圃場E:<0.001/<0.005/<0.005/<0.005/<0.005	
					115	圃場F:<0.001/<0.005/<0.005/<0.005/<0.005	
					112	圃場G:<0.001/<0.005/<0.005/<0.005/<0.005	
ばれいしょ (塊茎)	3	1.0% GR	30 kg/10 a 全面土壌混和	1	93	圃場A:0.003/<0.003/<0.003/<0.003/0.003	◎
	85		圃場B:0.004/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003				
	90		圃場C:0.004/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003				
	2	1.5% GR	40 kg/10 a 全面土壌混和	97	圃場A:<0.005/-/<0.01/<0.01/-		
	109		圃場B:0.006/-/<0.01/<0.01/-				
	111		圃場A:0.028/0.009/<0.003/0.003/0.020				
	3	25 kg/10 a 全面土壌混和	1	105	圃場B:0.009/<0.003/<0.003/<0.003/0.005		
98	圃場C:<0.001/0.008/<0.003/<0.003/0.004						
さといも (塊茎)	2	1.0% GR	40 kg/10 a 全面土壌混和	1	135	圃場A:<0.001/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003	◎
					177	圃場B:<0.001/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003	
かんしょ (塊根)	2	1.0% GR	40 kg/10 a 全面土壌混和	1	149	圃場A:<0.001/0.004/<0.003/<0.003/<0.003	
	140		圃場B:<0.001/0.005/<0.003/<0.003/0.003				
	143		圃場A:<0.001/0.022/<0.003/<0.003/<0.003				
	2	30 kg/10 a 全面土壌混和	1	115	圃場B:<0.001/0.081/<0.003/<0.003/0.004		
	118			圃場A:<0.001/0.006/<0.003/<0.003/<0.003			
	137			圃場B:<0.001/0.043/<0.003/<0.003/<0.003			
	2	1.5% GR	30 kg/10 a 苗床植付前 全面土壌混和 + 30 kg/10 a 植付前 全面土壌混和	1+1	103, 110, 117	圃場A:<0.001/0.008/<0.004/<0.004/<0.004 (2回, 103日)	◎
			127, 134, 141		圃場B:<0.001/0.027/<0.004/<0.004/*0.004 (2回, 127日、*2回, 134日)		
		2	30 kg/10 a 苗床植付前 全面土壌混和 + 15 kg/10 a 植付前 全面土壌混和	107, 114, 121	圃場A:<0.001/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003 (2回, 107日)		
			87, 94, 101	圃場B:<0.001/0.016/<0.003/<0.003/<0.003 (2回, 87日)			
	2	30 kg/10 a 苗床植付前 全面土壌混和 + 20 kg/10 a 植付前 作条処理土壌混和	119, 126, 133	圃場A:<0.001/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003 (2回, 119日)			
			90, 97, 104	圃場B:<0.001/0.020/<0.003/<0.003/0.004 (2回, 90日)			
やまのいも (塊茎)	8	1.0% GR	30 kg/10 a 全面土壌混和	1	157	圃場A:0.011/<0.003/<0.003/0.006/<0.003	◎
					196	圃場B:<0.001/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003	
					161	圃場C:0.008/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003	
					154	圃場D:0.002/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003	
					176	圃場E:<0.001/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003	
					204	圃場F:<0.001/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003	
					175	圃場G:0.001/<0.003/0.003/<0.003/<0.003	
					196	圃場H:<0.001/<0.003/<0.003/0.003/<0.003	
こんにゃく (球茎)	3	1.5% GR	25 kg/10 a 全面土壌混和	1	119, 126, 133	圃場A:0.010/*0.083/0.003/0.022/**<0.003 (1回, 133日、*1回, 126日、**1回, 119日)	◎
					156, 163, 170	圃場B:<0.001/*0.003/<0.003/<0.003/<0.003 (1回, 156日、*1回, 163日)	
					142, 149, 156	圃場C:<0.001/0.004/<0.003/<0.003/<0.003 (1回, 142日)	
だいこん (根部)	7	1.0% GR	30 kg/10 a 全面土壌混和	1	46	圃場A:0.022/<0.007/<0.007/<0.007/<0.007 \$	◎
					64	圃場B:0.015/<0.007/<0.007/<0.007/<0.007 \$	
					70	圃場C:0.011/<0.003/<0.003/0.003/<0.003	
					56	圃場D:0.002/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003	
					60	圃場E:0.003/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003	
					70	圃場F:0.005/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003	
					59	圃場G:0.018/<0.005/<0.005/<0.005/<0.005	
	2		40 kg/10 a 全面土壌混和		57, 64	圃場A:0.003/-/-/-/- (1回, 57日)	
			80 kg/10 a 全面土壌混和		58, 65	圃場B:0.007/-/-/-/- (1回, 58日)	
			57, 64		圃場A:0.012/-/-/-/- (1回, 64日) (#)		
だいこん (葉部)	7	1.0% GR	30 kg/10 a 全面土壌混和	1	58, 65	圃場B:0.040/-/-/-/- (1回, 58日) (#)	◎
					46	圃場A:0.006/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003	
					64	圃場B:0.010/0.004/0.007/<0.003/0.005	
					70	圃場C:0.012/<0.003/0.004/0.003/0.008	
					56	圃場D:0.001/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003	
					60	圃場E:0.001/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003	
					70	圃場F:0.002/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003	
	59		圃場G:0.009/0.004/0.004/<0.003/<0.003				
2	40 kg/10 a 全面土壌混和	57, 64	圃場A:0.002/-/-/-/- (1回, 57日)				
	80 kg/10 a 全面土壌混和	58, 65	圃場B:0.008/-/-/-/- (1回, 58日)				
	57, 64	圃場A:0.008/-/-/-/- (1回, 64日) (#)					
	58, 65	圃場B:0.052/-/-/-/- (1回, 58日) (#)					
かぶ (根部)	3	30.0% SL	3000倍 171～190 L/10 a 散布	1	7, 14, 21, 28	圃場A:0.030/<0.003/0.004/0.003/*0.003 (*1回, 28日)	◎
					圃場B:0.008/<0.003/0.003/0.003/<0.003		
					圃場C:0.001/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003		

ホスチアゼートの作物残留試験一覧表（国内）

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度 (mg/kg) 注1) 【ホスチアゼート/代謝物D/代謝物E/代謝物F/代謝物H】	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
かぶ (葉部)	3	30.0% SL	3000倍 171～190 L/10 a 散布	1	7, 14, 21, 28	圃場A: *0.122/0.008/0.010/*0.029/0.065 (*1回, 28日) 圃場B: 0.032/0.005/0.007/0.016/0.024 圃場C: 0.131/0.013/0.016/0.092/0.048	◎
きゃべつ (葉球)	6	1.5% GR	20 kg/10 a 全面土壌混和	1	72 60 61 63 64 125	圃場A: <0.001/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003 圃場B: 0.010/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003 圃場C: 0.008/<0.003/<0.003/0.003/<0.003 圃場D: 0.016/<0.003/<0.003/0.003/<0.003 圃場E: 0.006/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003 圃場F: 0.003/<0.003/<0.003/0.003/<0.003	◎
こまつな (茎葉部)	3	30.0% SL	3000倍 180～188 L/10 a 散布	1	14, 21, 28, 35, 42	圃場A: <0.001/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003 (1回, 28日) 圃場B: 0.067/0.011/0.014/0.017/0.013 (1回, 28日) 圃場C: 0.006/<0.003/<0.003/0.003/0.003 (1回, 28日)	◎
みずな (茎葉部)	2	30.0% SL	3000倍 179, 200 L/10 a 散布	1	14, 21, 28, 35, 42	圃場A: 0.014/-/-/-/- (1回, 42日) 圃場B: 0.003/-/-/-/- (1回, 42日)	◎
チンゲンサイ (茎葉部)	3	30.0% SL	3000倍 178～188 L/10 a 散布	1	14, 21, 28, 35	圃場A: <0.001/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003 (1回, 28日) 圃場B: 0.030/0.003/<0.003/0.006/0.006 (1回, 28日) 圃場C: 0.043/0.003/<0.003/0.009/0.005 (1回, 28日)	◎
ブロッコリー (花蕾)	5	1.5% GR	20 kg/10 a 全面土壌混和	1	55, 63, 70, 77 69 83, 91, 104 59, 66, 73, 80 72, 79, 86, 91	圃場A: <0.001/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003 (1回, 63日) 圃場B: 0.002/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003 圃場C: 0.002/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003 (1回, 83日) 圃場D: <0.001/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003 (1回, 66日) 圃場E: <0.001/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003 (1回, 79日)	◎
なばな	2	30.0% SL	3000倍 161, 180 L/10 a 散布	1	14, 21, 28, 35	圃場A: 0.025/-/-/-/- 圃場B: 0.010/-/-/-/-	◎
ごぼう (根部)	6	1.0% GR	40 kg/10 a 全面土壌混和	1	167 129 151 217 169 192	圃場A: <0.001/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003 圃場B: 0.024/0.004/<0.003/<0.003/<0.003 圃場C: <0.001/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003 圃場D: <0.001/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003 圃場E: <0.001/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003 圃場F: <0.001/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003	◎
	2		30 kg/10 a は種溝土壌混和		152 193	圃場A: 0.013/0.005/<0.003/<0.003/<0.003 (#) 圃場B: <0.001/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003 (#)	
しゅんぎく (茎葉部)	4	30.0% SL	3000倍 119～179 L/10 a 散布	1	21, 28, 35, 42	圃場A: 0.242/0.021/0.010/0.020/0.008 (1回, 28日) 圃場B: 0.588/0.051/0.027/0.047/0.025 (1回, 28日) 圃場C: 0.206/0.008/0.006/0.013/0.003 (1回, 28日) 圃場D: 0.348/0.029/0.014/0.027/0.010 (1回, 28日)	◎
サラダ菜 (茎葉部)	2	30.0% SL	3000倍 150, 167 L/10 a 散布	1	7, 14, 21, 28	圃場A: 0.002/-/-/-/- 圃場B: 0.007/-/-/-/-	
リーフレタス (茎葉部)	2	30.0% SL	3000倍 150, 174 L/10 a 散布	1	7, 14, 21, 28	圃場A: 0.006/-/-/-/- 圃場B: 0.158/-/-/-/-	
レタス (茎葉)	6	1.5% GR	20 kg/10 a 全面土壌混和	1	55 51 66 57 46 87	圃場A: 0.009/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003 圃場B: 0.038/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003 圃場C: 0.158/0.005/<0.003/0.004/0.009 圃場D: 0.214/0.005/<0.003/0.004/0.008 圃場E: 0.024/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003 圃場F: 0.018/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003	◎
根深ねぎ (茎葉部)	3	30.0% SL	3000倍 178～200 L/10 a 散布	1	3, 7, 14, 21	圃場A: 0.280/0.019/0.004/*0.013/0.038 (*1回, 7日) 圃場B: 0.033/*0.008/<0.003/*0.004/*0.035 (*1回, 7日) 圃場C: 0.024/<0.003/<0.003/<0.003/0.013	◎
葉ねぎ (茎葉部)	3	30.0% SL	3000倍 167～182 L/10 a 散布	1	3, 7, 14, 21	圃場A: 0.561/0.027/0.007/*0.027/0.058 (*1回, 7日) 圃場B: *0.033/*0.005/<0.003/*0.003/*0.025 (*1回, 14日) 圃場C: 0.008/0.005/<0.003/0.003/0.025	
にんにく (鱗茎)	2	1.0% GR	40 kg/10 a 全面土壌混和	1	287 286	圃場A: <0.002/<0.006/<0.007/<0.006/<0.006 \$ 圃場B: <0.002/<0.006/<0.007/<0.006/<0.006 \$	
	2	1.0% GR + 30.0% SL	40 kg/10 a 全面土壌混和 (1回処理) + 3000倍 土壌灌注 2000 L/10 a	1+1	46, 62	圃場A: <0.002/<0.006/<0.007/0.006/<0.006 (2回, 62日) \$	
					45, 60	圃場B: <0.002/<0.008/<0.007/0.006/<0.006 \$	◎
	2	1.0% GR + 30.0% SL + 30.0% SL	40 kg/10 a 全面土壌混和 (1回処理) + 500倍 種芋浸漬 + 3000倍 土壌灌注 2000 L/10 a	1+1+1	45, 60	圃場A: 0.008/0.03/<0.006/0.042/<0.005 圃場B: <0.002/0.047/<0.006/0.016/<0.005 圃場A: <0.001/-/-/-/- 圃場B: <0.001/-/-/-/-	

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度 (mg/kg) ^(注1) 【ホスチアゼート/代謝物D/代謝物E/代謝物F/代謝物H】	設定の根拠等																								
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数																										
らっきょう (鱗茎)	2	1.0% GR	25 kg/10 a 全面土壌混和	1	276 264	圃場A:<0.002/<0.004/<0.004/<0.004/<0.004 § (#) 圃場B:<0.002/<0.004/<0.004/<0.004/<0.004 § (#)	◎																								
にんじん (根部)	6	1.0% GR	20 kg/10 a 全面土壌混和	1	117 105 121 85 132 124 117 105 121 85 132 124	圃場A:<0.004/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003 圃場B:<0.002/0.005/<0.003/<0.003/<0.003 圃場C:<0.001/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003 圃場D:<0.002/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003 圃場E:<0.002/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003 圃場F:<0.003/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003 圃場A:<0.003/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003 圃場B:<0.002/0.008/<0.003/<0.003/<0.003 圃場C:<0.002/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003 圃場D:<0.004/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003 圃場E:<0.003/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003 圃場F:<0.001/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003	◎																								
					30 kg/10 a 全面土壌混和	1		92 93 117 112	圃場A:<0.007/0.005/<0.003/<0.003/<0.003 圃場B:<0.040/0.048/<0.003/<0.003/<0.003 圃場C:<0.001/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003 圃場D:<0.053/0.021/<0.003/<0.003/<0.003																						
								20 kg/10 a 全面土壌混和	1	63, 70, 77 32, 39, 46 92, 99, 106 80, 87, 94	圃場A:1.08/-/-/-/- (1回, 63日) 圃場B:1.33/-/-/-/- (1回, 32日) 圃場A:<0.03/-/-/-/- (1回, 92日) 圃場B:<0.02/-/-/-/- (1回, 80日)																				
										7	1.0% GR	20 kg/10 a 全面土壌混和	1	60 75 46 51 41 49 48 60 75 46 51 41 49 48	圃場A:<0.001/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003 圃場B:<0.001/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003 圃場C:<0.001/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003 圃場D:<0.001/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003 圃場E:<0.001/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003 圃場F:<0.001/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003 圃場G:<0.001/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003 圃場A:<0.001/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003 圃場B:<0.001/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003 圃場C:<0.001/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003 圃場D:<0.002/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003 圃場E:<0.001/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003 圃場F:<0.001/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003 圃場G:<0.004/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003	◎															
														30 kg/10 a 全面土壌混和	1		7, 14, 30 7, 14, 31 7, 14, 21, 37 7, 14, 30 1, 3, 7	圃場A:<0.009/0.004/<0.003/<0.003/<0.004 (2回, 7日、*2回, 14日) 圃場B:<0.002/0.007/<0.003/<0.003/<0.005 (2回, 7日、*2回, 30日) 圃場C:<0.038/-/-/-/- (2回, 14日) 圃場D:<0.022/-/-/-/- (2回, 14日) 圃場E:<0.021/-/-/-/- (2回, 7日) 圃場F:<0.029/-/-/-/- (2回, 7日) 圃場G:<0.030/-/-/-/- (2回, 7日) 圃場H:<0.015/-/-/-/- (2回, 7日) 圃場I:<0.004/0.005/<0.003/<0.003/<0.006 (**2回, 7日、**2回, 3日) 圃場J:<0.013/<0.008/<0.003/<0.003/<0.006 (**2回, 7日、**2回, 3日)													
																	10	1.0% GR + 30.0% SL	30 kg/10 a 全面土壌混和 (1回処理) + 4000倍 土壌灌注 2000 L/10 a	1+1	1, 3, 7, 14	圃場A:<0.017/0.015/<0.004/<0.004/0.005 (**2回, 3日) § 圃場B:<0.007/<0.004/<0.004/<0.004/<0.004 (**2回, 3日) §									
																					2	1.5% GR + 30.0% SL	1+1	1, 3, 7, 14	圃場A:<0.017/0.015/<0.004/<0.004/0.005 (**2回, 3日) § 圃場B:<0.007/<0.004/<0.004/<0.004/<0.004 (**2回, 3日) §						
					2	1.0% GR																		1	54 50 54 50	圃場A:<0.004/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003 圃場B:<0.011/<0.003/<0.003/<0.003/0.004 圃場A:<0.007/<0.003/<0.003/<0.003/<0.004 圃場B:<0.023/0.003/<0.003/<0.003/0.008					
								4	1.5% GR + 30.0% SL																1+1	1, 3, 7, 14 1, 3, 7, 14, 21, 28	圃場A:<0.061/<0.008/<0.003/0.003/0.015 (**2回, 3日) 圃場B:<0.273/0.016/<0.008/<0.019/<0.041 (**2回, 7日、**2回, 14日) 圃場C:<0.162/<0.008/<0.006/<0.009/<0.022 (**2回, 7日) 圃場D:<0.386/<0.024/<0.009/<0.031/<0.062 (**2回, 14日、**2回, 7日、**2回, 21日)				
																										7	1.0% GR	1	42 49 48 53~55 35 26 53 42 49 48 53~55 35 26 53	圃場A:<0.002/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003 圃場B:<0.004/<0.003/<0.003/<0.003/0.003 圃場C:<0.001/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003 圃場D:<0.002/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003 圃場E:<0.004/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003 圃場F:<0.004/0.003/<0.003/<0.003/<0.003 圃場G:<0.001/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003 圃場A:<0.002/<0.003/<0.003/<0.003/<0.004 圃場B:<0.006/<0.003/<0.003/<0.003/0.004 圃場C:<0.002/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003 圃場D:<0.004/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003 圃場E:<0.005/0.003/<0.003/<0.003/<0.003 圃場F:<0.008/0.004/<0.003/0.003/<0.003 圃場G:<0.002/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003	◎

ホスチアゼートの作物残留試験一覧表（国内）

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度 (mg/kg) ^{注1)} 【ホスチアゼート/代謝物D/代謝物E/代謝物F/代謝物H】	設定の根拠等		
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数				
きゅうり (果実)	8	1.0% GR	20 kg/10 a 全面土壌混和	1	38	圃場A:0.004/<0.003/<0.003/0.005/<0.003	◎		
					33～35	圃場B:0.002/<0.003/<0.003/0.003/<0.003			
					39	圃場C:<0.001/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003			
					56	圃場D:0.001/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003			
					43	圃場E:0.002/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003			
					40	圃場F:0.003/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003			
					41	圃場G:0.002/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003			
					28	圃場H:0.008/<0.003/<0.003/0.003/<0.003			
		30 kg/10 a 全面土壌混和	38		圃場A:0.008/0.003/<0.003/0.005/<0.003				
			33～35		圃場B:0.003/<0.003/<0.003/0.003/<0.003				
			39		圃場C:0.002/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003				
			56		圃場D:0.003/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003				
			43		圃場E:0.003/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003				
			40		圃場F:0.005/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003				
			41		圃場G:0.004/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003				
			28		圃場H:0.008/<0.003/<0.003/0.004/<0.003				
	6	1.5% GR	20 kg/10 a 全面土壌混和	1	40, 47, 54, 61	圃場A:0.070/*0.023/0.009/0.042/0.008 (1回, 40日、*1回, 47日)			
					39, 46, 53, 60	圃場B:0.110/0.035/0.017/0.074/0.005 (1回, 39日)			
					40, 47, 54, 61	圃場C:0.039/0.015/0.006/0.024/0.003 (1回, 40日)			
					38, 45, 52, 59	圃場D:0.051/0.025/0.014/0.060/0.005 (1回, 38日)			
					29, 36, 43, 50	圃場E:0.050/0.005/0.003/0.014/<0.003 (1回, 29日)			
					26, 33, 40, 47	圃場F:0.032/0.016/0.006/0.030/0.005 (1回, 26日)			
かぼちゃ (果実)	7	1.5% GR	20 kg/10 a 植付前 全面土壌混和	1	62, 76	圃場A:0.032/0.016/<0.003/*0.004/<0.003 (1回, 62日、*1回, 76日)	◎		
					58, 72	圃場B:0.091/0.056/*0.010/0.009/*0.004 (1回, 58日、*1回, 72日)			
					83, 90, 97, 104	圃場C:0.014/-/-/-/- (1回, 83日)			
					69, 76, 83, 91	圃場D:0.002/-/-/-/- (1回, 69日)			
					69, 77, 83, 91	圃場E:0.018/-/-/-/- (1回, 69日)			
					80, 87, 94, 101	圃場F:0.004/-/-/-/- (1回, 80日)			
					82, 89, 96	圃場G:<0.001/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003 (1回, 82日)			
					ズッキーニ (果実)	4		1.5% GR	20 kg/10 a 全面土壌混和
41, 48, 55	圃場B:0.06/-/-/-/- (1回, 41日)								
32, 39, 46	圃場C:<0.01/-/-/-/- (1回, 32日)								
31, 38, 45	圃場D:0.05/-/-/-/- (1回, 31日)								
ズッキーニ (花)	2				16, 23, 30, 37	圃場A:0.014/-/-/-/- (1回, 23日)	◎		
14, 21, 30, 37	圃場B:0.045/-/-/-/-								
しろうり (果実)	6	1.5% GR	20 kg/10 a 全面土壌混和	1	46, 53, 60	圃場A:0.06/-/-/-/- (1回, 53日)	◎		
					33, 40, 47	圃場B:0.02/-/-/-/- (1回, 47日)			
					61, 68, 75	圃場C:0.07/-/-/-/- (1回, 61日)			
					74, 81, 88	圃場D:0.08/-/-/-/- (1回, 74日)			
					28, 35, 40, 45	圃場E:0.01/-/-/-/-			
					35, 40, 45	圃場F:0.04/-/-/-/-			
すいか (果肉)	9	1.0% GR	20 kg/10 a 全面土壌混和	1	72	圃場A:0.003/<0.003/0.004/0.012/<0.003(＃)	◎		
					61	圃場B:<0.001/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003(＃)			
					84	圃場C:0.002/<0.003/<0.003/0.007/0.004(＃)			
					77	圃場D:0.004/<0.003/<0.003/0.008/<0.003(＃)			
					92	圃場E:0.007/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003(＃)			
					68	圃場F:0.002/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003(＃)			
					76	圃場G:0.001/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003(＃)			
					58	圃場H:0.007/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003(＃)			
			30 kg/10 a 全面土壌混和		99	圃場I:<0.001/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003(＃)			
					72	圃場A:0.003/<0.003/0.004/0.028/<0.003			
					61	圃場B:<0.001/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003			
					84	圃場C:0.005/<0.003/<0.003/0.016/0.017			
					77	圃場D:0.013/0.004/<0.003/0.015/<0.003			
					92	圃場E:0.011/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003			
					68	圃場F:0.011/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003			
					76	圃場G:0.018/0.004/<0.003/0.004/<0.003			
					58	圃場H:0.015/<0.003/<0.003/<0.003/0.003			
	4		1.0% GR + 30.0% SL		30 kg/10 a 全面土壌混和 (1回処理) + 4000倍 土壌灌注 2000 L/10 a	1+1		83	圃場J:0.003/0.005/<0.003/0.005/<0.003
								82	圃場K:<0.001/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003
								99, 106	圃場L:<0.001/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003 (1回, 99日)
								71, 78	圃場M:<0.001/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003 (1回, 71日)
								14, 21, 28	圃場A:*0.003/<0.003/<0.003/*0.003/<0.003 (*2回, 21日)
									圃場B:*0.003/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003 (*2回, 28日)
								21, 28	圃場C:0.001/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003 (2回, 21日)
	圃場D:0.001/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003 (2回, 21日)								

ホスチアゼートの作物残留試験一覧表（国内）

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度 (mg/kg) ^{注1)} 【ホスチアゼート/代謝物D/代謝物E/代謝物F/代謝物H】	設定の根拠等				
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数						
メロン (果肉)	9	1.0% GR	20 kg/10 a 全面土壌混和	1	77	圃場A:0.012/<0.003/<0.003/0.022/<0.003					
					89	圃場B:<0.001/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003					
					87	圃場C:0.001/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003					
					99	圃場D:0.012/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003					
					65	圃場E:0.004/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003					
					71	圃場F:0.002/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003					
					81	圃場G:0.005/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003					
					71	圃場H:0.007/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003					
					87	圃場I:0.022/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003					
			30 kg/10 a 全面土壌混和		77	圃場A:0.006/<0.003/<0.003/0.011/<0.003					
					89	圃場B:<0.001/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003					
					87	圃場C:0.002/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003					
					99	圃場D:0.016/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003					
					65	圃場E:0.016/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003					
					71	圃場F:0.007/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003					
					81	圃場G:0.009/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003					
					71	圃場H:0.026/0.004/0.004/<0.003/<0.003					
					87	圃場I:0.080/0.008/<0.003/0.006/<0.003					
	4				82	圃場J:0.004/0.008/<0.003/<0.003/<0.003					
					98	圃場K:0.012/0.020/0.003/0.015/<0.003					
					79,86	圃場L:0.003/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003 (1回, 79日)					
					86,93	圃場M:0.002/0.008/<0.003/0.009/<0.003 (1回, 86日)					
	4	1.0% GR + 30.0% SL	30 kg/10 a 全面土壌混和 (1回処理) + 4000倍 土壌灌注 2000 L/10 a	1+1	21, 28, 35	圃場A:0.036/*0.021/0.005/*0.028/*0.003 (*2回, 35日)	◎				
					14, 21, 28	圃場B:0.050/0.012/0.006/0.028/0.004					
					21, 28	圃場C:0.023/0.004/<0.003/0.004/<0.003					
					21, 28	圃場D:0.002/0.004/<0.003/0.004/<0.003					
					2	1.5% GR + 30.0% SL		20 kg/10 a 全面土壌混和 (1回処理) + 4000倍 土壌灌注 2000 L/10 a	1+1	21, 28, 35	圃場A:0.020/0.016/<0.003/0.010/<0.003
											圃場B:0.112/0.039/0.010/0.044/0.006
とうがん (果実)	4	1.5% GR	20 kg/10 a 全面土壌混和	1	91,98,105	圃場A:<0.02/-/-/-/- (1回, 91日)	◎				
					63,70,77	圃場B:<0.02/-/-/-/- (1回, 63日)					
					45,52,59	圃場C:<0.02/-/-/-/-					
					44,51,58	圃場D:<0.02/-/-/-/- (1回, 44日)					
にがうり (果実)	2	30.0% SL	4000倍 土壌灌注 2000 L/10 a	1	14, 21, 28	圃場A:0.03/-/-/-/-					
					14, 21, 28	圃場B:0.02/-/-/-/- (1回, 21日)					
	2	1.5% GR + 30.0% SL	20 kg/10 a 全面土壌混和 + 3000倍 土壌灌注 3000 L/10 a	1+1	1, 7, 14, 21, 28	圃場A:0.15/-/-/-/- (#)					
					1, 7, 14, 21, 28	圃場B:0.70/-/-/-/- (#)					
	2	1.5% GR	20 kg/10 a 全面土壌混和	1	61	圃場A:0.014/-/-/-/-	◎				
					35	圃場B:0.047/-/-/-/-					
オクラ (果実)	2	1.0% GR	30 kg/10 a 全面土壌混和	1	74	圃場A:<0.001/0.039/0.005/<0.003/0.004	◎				
					69	圃場B:<0.001/0.078/0.005/<0.003/0.005					
しょうが (根茎)	2	1.5% GR	20 kg/10 a 植付前全面土壌混和	1	188	圃場A:<0.001/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003					
					194	圃場B:<0.001/<0.003/<0.003/<0.003/<0.003					
	3	1.5% GR + 30.0% SL	20 kg/10 a 植付前全面土壌混和 + 4000倍 土壌灌注 2000 L/10 a	1+1	3, 7, 14, 21	圃場A:*0.017/**0.041/<0.003/<0.003/**0.013(*2回, 7日、**2回, 14日)	◎				
						圃場B:*0.003/**0.006/<0.003/<0.003/**0.004 (*2回, 7日、**2回, 14日)					
薬しょうが (根茎及び茎)	2	1.5% GR	20 kg/10 a 植付前全面土壌混和	1	120,127,134	圃場A:0.006/-/-/-/- (1回, 127日)					
					76,83,90	圃場B:<0.005/-/-/-/- (1回, 76日)					
さやえんどう (さや)	2	1.5% GR	20 kg/10 a 定植前全面土壌混和	1	82,89,96	圃場A:0.029/-/-/-/- (1回, 82日)	◎				
					68,75,82	圃場B:0.004/-/-/-/- (1回, 68日)					
さやいんげん (さや)	3	30.0% SL	3000倍 散布 172~180 L/10 a	1	14, 21, 28, 35	圃場A:0.158/*0.024/<0.003/0.007/0.004 (*1回, 21日)	◎				
						圃場B:0.206/0.062/<0.003/0.013/0.006					
						圃場C:0.028/*0.016/<0.003/<0.003/<0.003 (*1回, 21日)					
むかご (果実)	2	1.5% GR	20 kg/10 a 全面土壌混和	1	167	圃場A:<0.01/-/-/-/-	◎				
					148	圃場B:<0.01/-/-/-/-					
いちご (果実)	2	1.0% GR	40 kg/10 a 全面土壌混和	1	103	圃場A:0.007/0.006/<0.003/0.003/0.004	◎				
					108	圃場B:0.003/0.004/<0.003/<0.003/<0.003					
	6	1.5% GR	25 kg/10 a 全面土壌混和	1	132, 139, 146, 153	圃場A:0.014/0.005/<0.003/<0.003/0.006 (1回, 132日)					
					121, 128, 135, 142	圃場B:0.012/0.005/<0.003/<0.003/0.003 (1回, 121日)					
					126, 133, 140, 147	圃場C:0.004/*<0.003/*<0.003/*<0.003/*<0.003 (1回, 140日、*1回, 126日)					
					57, 64, 71, 78, 106, 130	圃場D:0.066/*0.034/*0.006/*0.006/*0.018 (1回, 78日、*1回, 64日)					
					61, 68, 75, 82	圃場E:0.036/0.016/<0.003/0.007/0.015 (1回, 61日)					
					89, 96, 103, 110	圃場F:0.017/0.013/0.003/<0.003/0.006 (1回, 89日)					
	2	1.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和	1	83, 119	圃場A:0.004/0.004/<0.003/0.004/*0.006 (1回, 83日、*1回, 119日)	◎				
					61	圃場B:0.003/0.006/<0.003/<0.003/<0.003					

ホスチアゼートの作物残留試験一覧表（国内）

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度（mg/kg） ^{注1)} 【ホスチアゼート/代謝物D/代謝物E/代謝物F/代謝物H】	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
みょうが （花蕾）	2	1.5% GR	20 kg/10 a 定植前全面土壌混和	1	196	圃場A:<0.01/-/-/-/-	◎
					154, 168, 182	圃場B:0.022/-/-/-/-（1回, 154日）	
みょうが （花穂）	2	30.0% SL + 1.5% GR	500倍 種根茎浸漬 + 20 kg/10 a 定植前土壌混和	1+1	161, 175, 189	圃場A:<0.005/-/-/-/-（2回, 161日）	
					184, 198, 212	圃場B:<0.005/-/-/-/-（2回, 184日）	

SL：液剤
GR：粒剤
§：同一圃場から採取された1つのサンプルを2つの分析機関に分けて測定されており、結果を平均値として示したため、実際の定量限界とは異なる。
-：分析せず
(#)印で示した作物残留試験成績は、登録又は申請された適用の範囲内で行われていないことを示す。また、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。
今回、新たに提出された作物残留試験成績を網掛けで示した。

基準値の設定根拠及び暴露評価にも使用されているものに◎で示した。

注1) 当該農薬の登録又は申請された適用の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留濃度の最大値を示した。

代謝物D、代謝物E、代謝物F及び代謝物Hの残留濃度は、ホスチアゼート濃度に換算した値で示した。

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留濃度が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留濃度が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について（ ）内に記載した。

ホスチアゼートの作物残留試験一覧表 (EU)

農作物	試験圃場数	試験条件				残留濃度 (mg/kg) 注1)	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
バナナ (果実)	15	10% GR	20 g/plant 土壌処理	1	29, 63, 92, 119	圃場A:0.02 (1回, 29日)	◎
					33, 61, 90, 125	圃場B:0.01 (1回, 61日)	
					32, 60, 95, 124	圃場C:<0.01 (1回, 32日)	
					32, 60, 95, 117	圃場D:<0.01 (1回, 32日)	
					33, 61, 90, 124	圃場E:<0.01 (1回, 33日)	
					32, 61, 96, 126	圃場F:0.03 (1回, 32日)	
					30, 44, 62	圃場G:0.03 (1回, 44日)	
					31, 45, 63	圃場H:0.03 (1回, 45日)	
					31, 45, 59	圃場I:0.02 (1回, 59日)	
					31, 45, 59	圃場J:0.04 (1回, 59日)	
					7, 31, 62, 90	圃場K:0.01 (1回, 90日)	
					7, 14, 27, 61, 90	圃場L:0.02 (1回, 27日)	
					7, 14, 28, 45, 60, 90	圃場M:<0.01 ^{注2)} (1回, 7日)	
					7, 39, 50, 55, 60, 62, 67, 79	圃場N:<0.01 ^{注2)} (1回, 7日)	
					7, 39, 50, 55, 60, 62, 67, 79	圃場O:0.0119 ^{注2)} (1回, 67日)	
バナナ (果皮)	3	10% GR	20 g/plant 土壌処理	1	7, 14, 28, 45, 60, 90	圃場M:<0.01 (1回, 7日)	
					7, 39, 50, 55, 60, 62, 67, 79	圃場N:<0.01 (1回, 7日)	
					7, 39, 50, 55, 60, 62, 67, 79	圃場O:0.0126 (1回, 67日)	
バナナ (果肉)	3	10% GR	20 g/plant 土壌処理	1	7, 14, 28, 45, 60, 90	圃場M:<0.01 (1回, 7日)	
					7, 39, 50, 55, 60, 62, 67, 79	圃場N:<0.01 (1回, 7日)	
					7, 39, 50, 55, 60, 62, 67, 79	圃場O:0.0113 (1回, 67日)	

GR：粒剤

基準値の設定根拠及び暴露評価にも使用されているものに◎で示した。

注1) 当該農薬の登録又は申請された適用の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留濃度の最大値を示した。

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留濃度が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留濃度が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について（ ）内に記載した。

注2) 果肉及び果皮の重量比から果実全体の残留濃度を算出した。

食品名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	国/地域 基準値 ppm	
小豆類	0.01	0.01	○			<0.001~0.004(n=7)
ばれいしょ	0.05	0.05	○			<0.001~0.028(n=8)
さといも類(やつがしらを含む。)	0.01	0.01	○			<0.001,<0.001(¥)
かんしょ	0.01	0.01	○			<0.001,<0.001(¥)
やまいも(長いもをいう。)	0.02	0.02	○			<0.001~0.011(n=8)
こんにゃくいも	0.03	0.03	○			<0.001,<0.001,0.01
だいこん類(ラディッシュを含む。)	0.05	0.05	○			0.002~0.022(n=7)
だいこん類(ラディッシュを含む。)	0.03	0.03	○			0.001~0.012(n=7)
かぶ類の根	0.08	0.08	○			0.001,0.008,0.03
かぶ類の葉	0.4	0.4	○			0.032,0.122,0.131
キャベツ	0.03		申			<0.001~0.016(n=6)
こまつな	0.2	0.2	○			<0.001,0.006,0.067
きょうな	0.1	0.1	○			0.003,0.014(¥)
チンゲンサイ	0.1	0.2	○			<0.001,0.030,0.043
カリフラワー	0.01	0.01	○			(ブロッコリー参照)
ブロッコリー	0.01	0.01	○			<0.001~0.002(n=5)
その他のあぶらな科野菜	0.1	0.1	○			0.010,0.025(¥)(なばな)
ごぼう	0.05	0.05	○			<0.001~0.024(n=6)
しゅんぎく	1	1	○			0.206~0.588(n=4)
レタス(サラダ菜及びちしゃを含む。)	0.5	0.4	○・申			0.009~0.214(n=6)
ねぎ(リーキを含む。)	1	1	○			0.008~0.561(n=6)
にんにく	0.02	0.03	○			<0.001~0.008(n=4)
その他のゆり科野菜	0.01	0.01	○			<0.002,<0.002(¥)(らっきょう)
にんじん	0.09	0.09	○			<0.001~0.053(n=10)
パセリ	3	3	○			1.08,1.33(¥)
みつば	0.2	0.2	○			0.02,0.03(¥)
トマト	0.1	0.1	○			0.007,0.017(¥)(ミニトマト)
ピーマン	0.8	0.8	○			0.061~0.386(n=4)
なす	0.01	0.02	○			0.002~0.008(n=7)
きゅうり(ガーキンを含む。)	0.2	0.2	○			0.002~0.110(n=14)
かぼちゃ(スカッシュを含む。)	0.1	0.2	○			<0.01~0.06(n=4)(ズッキーニ)
しろり	0.2	0.2	○			0.01~0.08(n=6)
すいか	0.04	0.04	○			<0.001~0.018(n=13)
メロン類果実	0.2	0.2	○			0.002~0.112(n=6)
その他のうり科野菜(とうがンを除く。)	0.2	0.2	○			0.014,0.047(¥)(にがうり)
その他のうり科野菜(とうがんに限る。)	0.1	0.1	○			<0.02,<0.02(¥)(とうがん)
オクラ	0.01	0.01	○			<0.001,<0.001(¥)
しょうが	0.04	0.04	○			0.003,0.012,0.017
未成熟えんどう	0.2	0.2	○			0.004,0.029(¥)
未成熟いんげん	0.5	0.5	○			0.028,0.158,0.206
その他の野菜	0.05	0.05	○			<0.01,<0.01(¥)(むかご)
いちご	0.1	0.2	○			0.004~0.066(n=6)
バナナ	0.05	0.05			0.05 EU	【<0.01~0.04(n=15)(EU)】
その他の果実	0.02	0.02	○			0.003,0.004(¥)(いちじく)
その他のハーブ	0.1	0.1	○			<0.01,0.022(¥)(みょうが)

食品名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	国/地域 基準値 ppm	
はちみつ	0.05					※

太枠:本基準(暫定基準以外の基準)を見直した基準値
○:既に、国内において登録等がされているもの
申:農薬の登録申請等に伴い基準値設定依頼がなされたもの
(#):適用の範囲内で試験が行われていない作物残留試験成績
(¥):基準値設定の根拠とした作物残留試験成績(最大値)
※「食品中の農薬の残留基準設定の基本原則について」(令和6年6月25日 食品衛生基準審議会農薬・動物用医薬品部会)の別添3「はちみつ中の農薬等の基準設定の方法について」に基づき設定。

ホスチアゼートの推定摂取量 (単位: $\mu\text{g}/\text{人}/\text{day}$)

食品名	基準値案 (ppm)	暴露評価に 用いた数値 (ppm)	国民全体 (1歳以上) EDI	幼小児 (1～6歳) EDI	妊婦 EDI	高齢者 (65歳以上) EDI
小豆類	0.01	0.001	0.0	0.0	0.0	0.0
ばれいしょ	0.05	0.005	0.2	0.2	0.2	0.2
さといも類 (やつがしらを含む。)	0.01	0.001	0.0	0.0	0.0	0.0
かんしょ	0.01	0.001	0.0	0.0	0.0	0.0
やまいも (長いもをいう。)	0.02	0.001	0.0	0.0	0.0	0.0
こんにゃくも	0.03	0.001	0.0	0.0	0.0	0.0
だいこん類 (ラディッシュを含む。) の根	0.05	0.011	0.4	0.1	0.2	0.5
だいこん類 (ラディッシュを含む。) の葉	0.03	0.006	0.0	0.0	0.0	0.0
かぶ類の根	0.08	0.008	0.0	0.0	0.0	0.0
かぶ類の葉	0.4	0.122	0.0	0.0	0.0	0.1
キャベツ	0.03	0.007	0.2	0.1	0.1	0.2
こまつな	0.2	0.006	0.0	0.0	0.0	0.0
きょうな	0.1	0.009	0.0	0.0	0.0	0.0
チンゲンサイ	0.1	0.03	0.1	0.0	0.1	0.1
カリフラワー	0.01	0.001	0.0	0.0	0.0	0.0
ブロッコリー	0.01	0.001	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のあぶらな科野菜	0.1	0.018	0.1	0.0	0.0	0.1
ごぼう	0.05	0.001	0.0	0.0	0.0	0.0
しゅんぎく	1	0.295	0.4	0.1	0.8	0.7
レタス (サラダ菜及びちしゃを含む。)	0.5	0.031	0.3	0.1	0.4	0.3
ねぎ (リーキを含む。)	1	0.033	0.3	0.1	0.2	0.4
にんにく	0.02	0.002	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のゆり科野菜	0.01	0.002	0.0	0.0	0.0	0.0
にんじん	0.09	0.003	0.1	0.0	0.1	0.1
パセリ	3	1.205	0.1	0.1	0.1	0.2
みつば	0.2	0.025	0.0	0.0	0.0	0.0
トマト	0.1	0.012	0.4	0.2	0.4	0.4
ピーマン	0.8	0.218	1.0	0.5	1.7	1.1
なす	0.01	0.004	0.0	0.0	0.0	0.1
きゅうり (ガーキンを含む。)	0.2	0.008	0.2	0.1	0.1	0.2
かぼちゃ (スカッシュを含む。)	0.1	0.03	0.3	0.1	0.2	0.4
しろうり	0.2	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0
ずいか	0.04	0.003	0.0	0.0	0.0	0.0
メロン類果実	0.2	0.03	0.1	0.1	0.1	0.1
その他のうり科野菜 ^{注)}	0.2	0.031	0.1	0.0	0.0	0.1
オクラ	0.01	0.001	0.0	0.0	0.0	0.0
しょうが	0.04	0.012	0.0	0.0	0.0	0.0
未成熟えんどう	0.2	0.017	0.0	0.0	0.0	0.0
未成熟いんげん	0.5	0.158	0.4	0.2	0.0	0.5
その他の野菜	0.05	0.01	0.1	0.1	0.1	0.1
いちご	0.1	0.016	0.1	0.1	0.1	0.1
バナナ	0.05	0.012	0.2	0.2	0.2	0.2
その他の果実	0.02	0.004	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のハーブ	0.1	0.016	0.0	0.0	0.0	0.0
はちみつ	0.05	● 0.05	0.0	0.0	0.1	0.1
計			5.3	2.6	5.4	6.6
ADI比 (%)			4.8	8.0	4.6	5.9

EDI: 推定一日摂取量 (Estimated Daily Intake)

EDI試算法: 作物残留試験成績の中央値 (STMR) 等×各食品の平均摂取量

注) その他のうり科野菜については、「その他のうり科野菜 (とうがんを除く。)」及び「その他のうり科野菜 (とうがんに限る。)」のうち、基準値案が高い「その他のうり科野菜 (とうがんを除く。)」の作物残留試験成績の中央値 (STMR) を用いて、とうがんも含めた「その他のうり科野菜」として暴露評価を行った。

●: 個別の作物残留試験がないことから、暴露評価を行うにあたり基準値 (案) の数値を用いた。

ホスチアゼートの推定摂取量（短期）：国民全体(1歳以上)

食品名 (基準値設定対象)	食品名 (ESTI推定対象)	基準値案 (ppm)	評価に用いた 数値 (ppm)	ESTI (μ g/kg 体重/day)	ESTI/ARFD (%)
小豆類	いんげん	0.01	○ 0.001	0.0	0
ばれいしょ	ばれいしょ	0.05	○ 0.028	0.3	4
さといも類（やつがしらを含む。）	さといも	0.01	0.01	0.1	1
かんしょ	かんしょ	0.01	0.01	0.1	1
やまいも（長いもをいう。）	やまいも	0.02	○ 0.011	0.1	1
だいこん類（ラディッシュを含む。）の根	だいこんの根	0.05	○ 0.022	0.3	4
だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉	だいこんの葉	0.03	○ 0.012	0.1	1
かぶ類の根	かぶの根	0.08	0.08	0.6	9
かぶ類の葉	かぶの葉	0.4	0.4	1.1	20
キャベツ	キャベツ	0.03	○ 0.016	0.2	3
こまつな	こまつな	0.2	0.2	0.8	10
きょうな	きょうな	0.1	0.1	0.3	4
チンゲンサイ	チンゲンサイ	0.1	0.1	0.7	10
カリフラワー	カリフラワー	0.01	○ 0.002	0.0	0
ブロッコリー	ブロッコリー	0.01	○ 0.002	0.0	0
その他のあぶらな科野菜	たかな	0.1	0.1	0.8	10
	菜花	0.1	0.1	0.3	4
ごぼう	ごぼう	0.05	○ 0.024	0.1	1
しゅんぎく	しゅんぎく	1	○ 0.588	1.9	30
レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）	レタス類	0.5	○ 0.214	1.2	20
ねぎ（リーキを含む。）	ねぎ	1	○ 0.561	2.1	30
にんにく	にんにく	0.02	○ 0.008	0.0	0
その他のゆり科野菜	にんにくの芽	0.01	0.01	0.0	0
	らっきょう	0.01	0.01	0.0	0
にんじん	にんじん	0.09	○ 0.053	0.2	3
	にんじんジュース	0.09	○ 0.003	0.0	0
パセリ	パセリ（生）	3	3	0.5	7
	パセリ（乾燥）	3	○ 1.205	1.1	20
みつば	みつば	0.2	0.2	0.2	3
トマト	トマト	0.1	0.1	1.1	20
ピーマン	ピーマン	0.8	○ 0.386	1.0	10
なす	なす	0.01	○ 0.008	0.1	1
きゅうり（ガーキンを含む。）	きゅうり	0.2	○ 0.110	0.7	10
かぼちゃ（スカッシュを含む。）	かぼちゃ	0.1	○ 0.06	0.6	9
	ズッキーニ	0.1	○ 0.060	0.4	6
しろうり	しろうり	0.2	○ 0.080	0.7	10
すいか	すいか	0.04	○ 0.018	0.6	9
メロン類果実	メロン	0.2	○ 0.112	1.9	30
その他のうり科野菜（とうがんを除く。）	にがうり	0.2	0.2	3.4	50
その他のうり科野菜（とうがんに限る。）	とうがん	0.1	0.1	0.8	10
オクラ	オクラ	0.01	0.01	0.0	0
しょうが	しょうが	0.04	0.04	0.0	0
未成熟えんどう	未成熟えんどう（さや）	0.2	0.2	0.3	4
	未成熟えんどう（豆）	0.2	0.2	0.3	4
未成熟いんげん	未成熟いんげん	0.5	0.5	1.0	10
その他の野菜	ずいき	0.05	0.05	0.5	7
	もやし	0.05	0.05	0.1	1
	れんこん	0.05	0.05	0.3	4
	そら豆（生）	0.05	0.05	0.1	1
いちご	いちご	0.1	○ 0.066	0.3	4
バナナ	バナナ	0.05	○ 0.040	0.4	6
その他の果実	いちじく	0.02	0.02	0.2	3
はちみつ	はちみつ	0.05	0.05	0.0	0

ESTI：短期推定摂取量（Estimated Short-Term Intake）

ESTI/ARFD(%)の値は、有効数字1桁（値が100を超える場合は有効数字2桁）とし四捨五入して算出した。

○：作物残留試験における最高残留濃度（HR）又は中央値（STMR）を用いて短期摂取量を推計した。

○を付していない食品については、基準値案の値を使用した。

ホスチアゼートの推定摂取量（短期）：幼小児(1～6歳)

食品名 (基準値設定対象)	食品名 (ESTI推定対象)	基準値案 (ppm)	評価に用いた 数値 (ppm)	ESTI (μ g/kg 体重/day)	ESTI/ARFD (%)
ばれいしょ	ばれいしょ	0.05	○ 0.028	0.6	9
さといも類（やつがしらを含む。）	さといも	0.01	0.01	0.1	1
かんしょ	かんしょ	0.01	0.01	0.3	4
やまいも（長いもをいう。）	やまいも	0.02	○ 0.011	0.1	1
だいこん類（ラディッシュを含む。）の根	だいこんの根	0.05	○ 0.022	0.5	7
キャベツ	キャベツ	0.03	○ 0.016	0.3	4
こまつな	こまつな	0.2	0.2	1.8	30
ブロッコリー	ブロッコリー	0.01	○ 0.002	0.0	0
ごぼう	ごぼう	0.05	○ 0.024	0.2	3
レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）	レタス類	0.5	○ 0.214	2.1	30
ねぎ（リーキを含む。）	ねぎ	1	○ 0.561	3.6	50
にんにく	にんにく	0.02	○ 0.008	0.0	0
にんじん	にんじん	0.09	○ 0.053	0.6	9
パセリ	パセリ（生）	3	3	0.5	7
トマト	トマト	0.1	0.1	2.7	40
ピーマン	ピーマン	0.8	○ 0.386	2.5	40
なす	なす	0.01	○ 0.008	0.1	1
きゅうり（ガーキンを含む。）	きゅうり	0.2	○ 0.11	1.6	20
かぼちゃ（スカッシュを含む。）	かぼちゃ	0.1	○ 0.06	1.0	10
すいか	すいか	0.04	○ 0.018	1.6	20
メロン類果実	メロン	0.2	○ 0.112	3.3	50
オクラ	オクラ	0.01	0.01	0.0	0
しょうが	しょうが	0.04	0.04	0.1	1
未成熟えんどう	未成熟えんどう（さや）	0.2	0.2	0.2	3
	未成熟えんどう（豆）	0.2	0.2	0.4	6
未成熟いんげん	未成熟いんげん	0.5	0.5	2.0	30
その他の野菜	もやし	0.05	0.05	0.2	3
	れんこん	0.05	0.05	0.5	7
いちご	いちご	0.1	○ 0.066	0.7	10
バナナ	バナナ	0.05	○ 0.04	1.5	20
はちみつ	はちみつ	0.05	0.05	0.1	1

ESTI：短期推定摂取量（Estimated Short-Term Intake）

ESTI/ARFD(%)の値は、有効数字1桁（値が100を超える場合は有効数字2桁）とし四捨五入して算出した。

○：作物残留試験における最高残留濃度（HR）又は中央値（STMR）を用いて短期摂取量を推計した。

○を付していない食品については、基準値案の値を使用した。

ホスチアゼートの推定摂取量（短期）：妊婦又は妊娠している可能性のある女性（14～50歳）

食品名 (基準値設定対象)	食品名 (ESTI推定対象)	基準値案 (ppm)	評価に用いた 数値 (ppm)	ESTI (μ g/kg 体重/day)	ESTI/ARFD (%)
小豆類	いんげん	0.01	○ 0.001	0.0	0
ばれいしょ	ばれいしょ	0.05	○ 0.028	0.3	20
さといも類	さといも	0.01	0.01	0.1	5
かんしょ	かんしょ	0.01	0.01	0.1	5
やまいも（長いも）	やまいも	0.02	○ 0.011	0.1	5
だいこん類（根）	だいこんの根	0.05	○ 0.022	0.2	10
だいこん類（葉）	だいこんの葉	0.03	○ 0.012	0.1	5
かぶ類（根）	かぶの根	0.08	0.08	0.6	30
かぶ類（葉）	かぶの葉	0.4	0.4	1.1	60
キャベツ	キャベツ	0.03	○ 0.016	0.2	10
こまつな	こまつな	0.2	0.2	0.8	40
きょうな	きょうな	0.1	0.1	0.3	20
チンゲンサイ	チンゲンサイ	0.1	0.1	0.7	40
カリフラワー	カリフラワー	0.01	○ 0.002	0.0	0
ブロッコリー	ブロッコリー	0.01	○ 0.002	0.0	0
その他のあぶらな科野菜	たかな	0.1	0.1	0.8	40
	菜花	0.1	0.1	0.2	10
ごぼう	ごぼう	0.05	○ 0.024	0.1	5
しゅんぎく	しゅんぎく	1	○ 0.588	1.8	90
レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）	レタス類	0.5	○ 0.214	1.2	60
ねぎ	ねぎ	1	○ 0.561	1.9	100
にんにく	にんにく	0.02	○ 0.008	0.0	0
その他のゆり科野菜	にんにくの芽	0.01	0.01	0.0	0
	らっきょう	0.01	0.01	0.0	0
にんじん	にんじん	0.09	○ 0.053	0.2	10
	にんじんジュース	0.09	○ 0.003	0.0	0
パセリ	パセリ（生）	3	3	0.4	20
	パセリ（乾燥）	3	○ 1.205	1.1	60
みつば	みつば	0.2	0.2	0.1	5
トマト	トマト	0.1	0.1	1.0	50
ピーマン	ピーマン	0.8	○ 0.386	0.9	50
なす	なす	0.01	○ 0.008	0.0	0
きゅうり	きゅうり	0.2	○ 0.11	0.7	40
かぼちゃ	かぼちゃ	0.1	○ 0.06	0.6	30
	ズッキーニ	0.1	○ 0.06	0.4	20
しろうり	しろうり	0.2	○ 0.08	0.7	40
すいか	すいか	0.04	○ 0.018	0.6	30
メロン類果実	メロン	0.2	○ 0.112	2.0	100
その他のうり科野菜（とうがんを除く。）	にがうり	0.2	0.2	1.7	90
その他のうり科野菜（とうがんに限る。）	とうがん	0.1	0.1	1.7	90
オクラ	オクラ	0.01	0.01	0.0	0
しょうが	しょうが	0.04	0.04	0.0	0
未成熟えんどう	未成熟えんどう（さや）	0.2	0.2	0.3	20
	未成熟えんどう（豆）	0.2	0.2	0.2	10
未成熟いんげん	未成熟いんげん	0.5	0.5	0.7	40
その他の野菜	ずいき	0.05	0.05	0.5	30
	もやし	0.05	0.05	0.1	5
	れんこん	0.05	0.05	0.3	20
	そら豆（生）	0.05	0.05	0.1	5
いちご	いちご	0.1	○ 0.066	0.2	10
バナナ	バナナ	0.05	○ 0.04	0.4	20
その他の果実	いちじく	0.02	0.02	0.2	10
はちみつ	はちみつ	0.05	0.05	0.0	0

ESTI：短期推定摂取量（Estimated Short-Term Intake）

ESTI/ARFD(%)の値は、有効数字1桁（値が100を超える場合は有効数字2桁）とし四捨五入して算出した。

○：作物残留試験における最高残留濃度（HR）又は中央値（STMR）を用いて短期摂取量を推計した。

○を付していない食品については、基準値案の値を使用した。

(参考)

これまでの経緯

平成	4年	4月	1日	初回農薬登録
平成	17年	11月	29日	残留農薬基準告示
平成	24年	4月	10日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：いちご、きゅうり）
平成	24年	7月	18日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
令和	2年	3月	11日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：かぶ、こまつな等）
令和	2年	4月	15日	インポートトレランス申請（バナナ）
令和	2年	12月	15日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
令和	3年	5月	18日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
令和	3年	12月	17日	残留農薬基準告示
令和	3年	10月	12日	農林水産省から厚生労働省へ基準値設定依頼（ばれいしょ）
令和	4年	3月	23日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
令和	4年	5月	18日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
令和	4年	7月	28日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
令和	5年	3月	23日	残留農薬基準告示
令和	4年	12月	16日	農林水産省から厚生労働省へ基準値設定依頼（適用拡大：キャベツ、レタス等）
令和	5年	7月	12日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
令和	6年	3月	21日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
令和	6年	9月	19日	食品衛生基準審議会へ諮問
令和	6年	9月	25日	食品衛生基準審議会農薬・動物用医薬品部会

● 食品衛生基準審議会農薬・動物用医薬品部会

[委員]

◎ 穂山	浩	星薬科大学薬学部教授
大山	和俊	一般財団法人残留農薬研究所業務執行理事・化学部長
○ 折戸	謙介	学校法人麻布獣医学園理事（兼）麻布大学獣医学部教授
加藤	くみ子	北里大学薬学部教授
神田	真軌	東京都健康安全研究センター食品化学部副参事研究員
近藤	麻子	日本生活協同組合連合会組織推進本部長
佐藤	洋	岩手大学農学部教授
佐野	元彦	東京海洋大学学術研究院海洋生物資源学部門教授
須恵	雅之	東京農業大学応用生物科学部教授
瀧本	秀美	国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所理事
田口	貴章	国立医薬品食品衛生研究所食品部第一室長
堤	智昭	国立医薬品食品衛生研究所食品部長
中島	美紀	金沢大学ナノ生命科学研究所教授
野田	隆志	一般社団法人日本植物防疫協会技術顧問

(◎：部会長、○：部会長代理)

答申（案）

ホスチアゼートについては、以下のとおり食品中の農薬の残留基準を設定することが適当である。

ホスチアゼート

今回残留基準を設定する「ホスチアゼート」の規制対象は、ホスチアゼートのみとする。

食品名	残留基準値 ppm
小豆類 ^{注1)}	0.01
ばれいしょ	0.05
さといも類（やつがしらを含む。）	0.01
かんしょ	0.01
やまいも（長いものをいう。）	0.02
こんにゃくいも	0.03
だいこん類（ラディッシュを含む。）の根	0.05
だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉	0.03
かぶ類の根	0.08
かぶ類の葉	0.4
キャベツ	0.03
こまつな	0.2
きょうな	0.1
チンゲンサイ	0.1
カリフラワー	0.01
ブロッコリー	0.01
その他のあぶらな科野菜 ^{注2)}	0.1
ごぼう	0.05
しゅんぎく	1
レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）	0.5
ねぎ（リーキを含む。）	1
にんにく	0.02
その他のゆり科野菜 ^{注3)}	0.01
にんじん	0.09
パセリ	3
みつば	0.2
トマト	0.1
ピーマン	0.8
なす	0.01

食品名	残留基準値 ppm
きゅうり（ガーキンを含む。）	0.2
かぼちゃ（スカッシュを含む。）	0.1
しろうり	0.2
すいか	0.04
メロン類果実	0.2
その他のうり科野菜 ^{注4)} （とうがんを除く。）	0.2
その他のうり科野菜（とうがんに限る。）	0.1
オクラ	0.01
しょうが	0.04
未成熟えんどう	0.2
未成熟いんげん	0.5
その他の野菜 ^{注5)}	0.05
いちご	0.1
バナナ	0.05
その他の果実 ^{注6)}	0.02
その他のハーブ ^{注7)}	0.1
はちみつ	0.05

注1) 「小豆類」には、いんげん、ささげ、サルタニ豆、サルタピア豆、バター豆、ペギア豆、ホホワイト豆、ライマ豆及びレンズ豆を含む。

注2) 「その他のあぶらな科野菜」とは、あぶらな科野菜のうち、だいこん類（ラディッシュを含む。）の根、だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉、かぶ類の根、かぶ類の葉、西洋わさび、クレソン、はくさい、キャベツ、芽キャベツ、ケール、こまつな、きょうな、チンゲンサイ、カリフラワー、ブロッコリー及びハーブ以外のものをいう。

注3) 「その他のゆり科野菜」とは、ゆり科野菜のうち、たまねぎ、ねぎ（リーキを含む。）、にんにく、にら、アスパラガス、わけぎ及びハーブ以外のものをいう。

注4) 「その他のうり科野菜」とは、うり科野菜のうち、きゅうり（ガーキンを含む。）、かぼちゃ（スカッシュを含む。）、しろうり、すいか、メロン類果実及びまくわうり以外のものをいう。

注5) 「その他の野菜」とは、野菜のうち、いも類、てんさい、さとうきび、あぶらな科野菜、きく科野菜、ゆり科野菜、せり科野菜、なす科野菜、うり科野菜、ほうれんそう、たけのこ、オクラ、しょうが、未成熟えんどう、未成熟いんげん、えだまめ、きのこ類、スパイス及びハーブ以外のものをいう。

注6) 「その他の果実」とは、果実のうち、かんきつ類果実、りんご、日本なし、西洋なし、マルメロ、びわ、もも、ネクタリン、あんず（アプリコットを含む。）、すもも（プルーンを含む。）、うめ、おうとう（チェリーを含む。）、ベリー類果実、ぶどう、かき、バナナ、キウイ、パパイア、アボカド、パイナップル、グアバ、マンゴー、パッションフルーツ、なつめやし及びスパイス以外のものをいう。

注7) 「その他のハーブ」とは、ハーブのうち、クレソン、にら、パセリの茎、パセリの葉、セロリの茎及びセロリの葉以外のものをいう。